

SQUARE ENIX.



20th Anniversary Memorial Book

2014年12月20日発行 2014年12月20日発行
—25—90227408—

STAR OCEAN

STAR OCEAN[®]

20th Anniversary Memorial Book

スターオーシャン 20周年記念特別 4Kリマスター版
～エピソードスフィア～



STAR OCEAN

20th Anniversary Memorial Book

スターオーシャン 20th アニバーサリー メモリアルブック
～エターナルスフィアの軌跡～

これは遙かなる星の海で紡がれる物語



S.D.010

STAR OCEAN
THE LAST HOPE



新たな故郷を求め
人類は宇宙へと飛び出す



S.D.346

STAR OCEAN



未知惑星での探検が
銀河の歴史を変える



ISBN978-4-7575-5033-9

C0079 ¥3241E

定価：本体3,241円＋税

SQUARE ENIX.



9784757550339



1920079032414

STAR OCEAN®



S.D.366

STAR OCEAN
THE SECOND STORY



銀河の管理者の道徳が
すべての破壊を目撃す



S.D.537

STAR OCEAN
Integrity and
Faithlessness



少女に閉じられた胸の
浮草にもたらしたものとほ



S.D.772

STAR OCEAN
Till the End of Time



突然災害された時空
人類の進化は神をも超えるのか

スターオーソージヤン20thアニバーサリーサリトメモリアルブツタ〜エターナルスファイアの軌跡〜

SOULJOURNEONIX®

スターオーシャン20thアニバーサリーメモリアルブック『エターナルスフィアの軌跡』

SQUARE ENIX

銀河の波紋

次頁の白紙を挟んで「スターオーシャン」の世界での出来事年表。共有の歴史とつながりを見ていこう。

年代・時期	場所	出来事
37億年前	高圧エネルギー	超高温エネルギーが宇宙内に広がる高圧の状態を支え、惑星エネルギーが、24の超新星爆発でエネルギー発生する。 エネルギー、反応を拡張させるべく第一次惑星十賢者討伐戦を挑発。ランティス博士が基礎科学の技術を用いて十賢者を作戦。 惑星十賢者計画に反対する勢力により、ランティス博士の艦パイプが喪失。ランティス博士、十賢者を捕まかせ宇宙の戦艦を創始。 エネルギーに追い込まれたランティス博士、自身とパイプの部品を十賢者のガブリエルに奪み取らせたうえで、十賢者をスタンティススペースに射撃。 十賢者と戦ってエネルギーが尽きたことにより、超新星爆発の反応が進行。エネルギーは超エネルギーで増幅した人工惑星エネルギーを作り、エネルギーのほとんどが惑星、以降、外界との関係が断つ。それ以外のエネルギーは星と惑星エネルギーに存在する。
7億年前	人工エネルギー	レナ・ランティス博士 レナ博士、惑星兵器研究所にてクリエーションエネルギーの研究を開始。 クリエーションエネルギーの進歩によって惑星兵器研究所が閉鎖。レナ博士、時空転送システムでレナを転送する。レナは宇宙船351年の惑星エクスペルへ。
5000万年前	地球	科学技術に優れたムーア人がムーン大陸で繁栄
1万2000年前	地球	ムーン大陸、隕石の落下により水没。その影響で時空ゆがみ、一部のムーア人が惑星ローク、惑星ファーマット、惑星エディアスに転移
不明	惑星ローク	ムーア人、地球に戻るために真実の輪の開発を開始。真実の輪の完成により、惑星ロークと外界の空間がつながる。 魔界より魔王アスマテラスの勢力が惑星ロークに侵襲。ムーア人、魔トアスマテラスの討伐に成功
西暦1957年	地球	ソビエト連邦、人工衛星スプートニク1号の打ち上げに成功
西暦1961年	地球	ソビエト連邦のガガーリン、地球人類の宇宙飛行に成功
西暦1969年	地球	アメリカ合衆国のアポロ11号、地球人類の月面着陸に成功
西暦2064年	地球	第二次惑星大戦勃発。2国間などで地表の地と人気が過剰な世界で対戦され、体弱体弱に
西暦2065年	地球	人類の存続と地球環境保護を目的とする地球改良として巨大兵器が開発。宇宙開発技術計画を推進し、宇宙開発に特化した民間科学技術財団(LSTA)を設立
西暦2072年	地球	アーノルド・マーベリック博士と、地球環境の調査中に発見の地質からムーア人の遺跡を発見。ムーア人のDNAサンプルを採取し、人類とのためのフォーチュン・バイビー計画を報告する。
西暦2074年	地球	LSTA、惑星エネルギーとのコンタクトに成功。地球で初めて惑星文明と接触した例となる。エムター人がクワアタイプ種族を基幹種に決定される。
西暦2075年	地球	フォーチュン・バイビー計画によりタロウ・ド・アルメディア誕生
西暦2076年	地球	フォーチュン・バイビー計画によりエイジ・マーベリック誕生
西暦2077年	地球	フォーチュン・バイビー計画によりレイと、オイオンゾ誕生
西暦2087年 (宇宙暦元年)	地球	トリアス・パークタイン博士が地球で初めて並立型クワプを発見。遠征船のスタンダード・クワニーが有人リープ実験に成功。のちにこの年が宇宙暦元年と制定される。

第一次惑星十賢者討伐戦の概要

惑星十賢者討伐戦は、ゴブリエルの超高度エネルギーを封印するために発生した超新星爆発をきっかけとして、人工惑星の反応を抑制し、エネルギーを消費する。ゴブリエルの超高度エネルギーは、人工惑星の反応を抑制し、エネルギーを消費する。ゴブリエルの超高度エネルギーは、人工惑星の反応を抑制し、エネルギーを消費する。

En3と惑星エネルギー

En3は宇宙暦11年にエンクワが完成した超高度エネルギーである人工惑星。エンクワは宇宙暦772年に完成した超高度エネルギー。エンクワは宇宙暦772年に完成した超高度エネルギー。エンクワは宇宙暦772年に完成した超高度エネルギー。

クリエーションエネルギーの遺跡

地球と地球に類似したエネルギーを生成するクリエーションエネルギーは、ムーア人が惑星ロークに建てた人工惑星兵器研究所に研究されていた。ムーア人が惑星ロークに建てた人工惑星兵器研究所に研究されていた。ムーア人が惑星ロークに建てた人工惑星兵器研究所に研究されていた。



惑星ロークを再び訪れる

魔王アスマテラスは一時帰郷に訪れる。その帰郷途程を見守り、宇宙暦2065年と宇宙暦40年、惑星ロークへと視察。2度の帰郷を契機とするとしている。

旅路で一歩進める「クワニー種」

宇宙開発の専門とされるクワニー種は、遠征船のクワニー種とクワニー種。クワニー種は、遠征船のクワニー種とクワニー種。クワニー種は、遠征船のクワニー種とクワニー種。

年代・時期	事項	出来事
宇宙紀347年	地球	クロード・D・ケニー誕生
宇宙紀350年	惑星エクスベル	プリンス・D・ノイマン誕生
宇宙紀351年	惑星エクスベル	レナ、約7歳年前から転移、母星の表でウェムカにさらわれる
宇宙紀360年	宇宙	地球連邦、異星の拡大とともに河川連邦と合併
宇宙紀362年	宇宙	銀河連邦、惑星レゾニアと戦争を再開
宇宙紀366年	宇宙	スティア社によるエネルギーリアスのバグ修正の影響によって、十賢者がエネルギーリアスから脱出、十賢者、エナジーリーダに使用した惑星エクスベルにソーサリダロップを振り浴び
	惑星エクスベル	銀河連邦の少尉のクロード、買収のためエクスベルとともにも惑星エクスベルへ。数回の中、事故によりクロードが惑星エクスベルに転移
	惑星エクスベル	クロード、買収の真実を知りながらレナを救出 クロード、レナとともにソーサリダロップの調査を開始 クロードたち、十賢者と戦うも敗北、十賢者とともにエナジーリーダに転移する。惑星エクスベルとエナジーリーダが合併し、惑星エクスベルが誕生
	エクスベル	クロードたち、ナールを長たぬキーン人と協力して十賢者の討伐を開始す
	宇宙	十賢者の攻撃で、ロニクスたちの乗るカルクスが暴走
	惑星エクスベル	クロードたち、十賢者に対抗する武器を得るため機組員を研究用の衛星へ。此後早急にカリエーションエクスプローダが暴走した際の軌跡を調べ、レナが自らも思い立ちを知る
	エクスベル	クロードたち、十賢者を倒し全宇宙の信頼を食いつめる。同時にエナジーリーダが出現、ナール改造、隠蔽したエクスプローダを倒して銀河連邦の惑星エクスベルを呼び寄せる
	地球	レナ、プリンス、レオン・D・S・ゲーストが地球に留学
宇宙紀368年	惑星エクスベル	オペラ・ベクターとエクスプローダの乗る宇宙船が惑星エクスベルに墜落 プリンス、オペラの3000を盗取、仲間を連れて宇宙船で惑星エクスベルに向かい到着する プリンスたち、エクスベルとオペラを救出、異星の女性研究者リヴァと接触 プリンスたち、同僚のゾーマと飛行員のエディフィアンに会い、リヴァの正体を知る クロードとレナの乗る宇宙船が惑星エクスベルに墜落、おりにプリンスたちと合流 プリンスたち、惑星エクスベルの文明を管理していたマザーコンピュータを発見、これを脱走する
宇宙紀371年	惑星エクスベル	ノイマン博士がマナクリーターを発見、高純度のエナジーストーンにより汚染されていた惑星エクスベルを救済
	宇宙	惑星エクスベル、銀河連邦に加入
宇宙紀396年	惑星エクスベル	銀河連邦、エナジーストーンの高純度を見出し、これをきっかけにカリエーションエクスプローダの存在を証明する
宇宙紀450年	宇宙	遊星ローラ、銀河連邦に加入
宇宙紀496年	地球	ユーマン・T・ケニー誕生
宇宙紀509年	地球	アン・ベトリシア誕生
宇宙紀514年	惑星エクスベル	フィダル・G・ヒューズ誕生
宇宙紀519年	惑星エクスベル	14-ソーダメタ誕生
宇宙紀521年	宇宙	銀河連邦、カルクス銀系と接触 カルクス、銀河連邦の力を恐れて時空改変兵器を開発し転移するための研究を開始

拡大を続ける銀河連邦

銀河連邦はこれ以降海を境なく拡大を続けられている。宇宙紀72年時点では、銀河連邦の3分の1の土地にまで広がった。

スター・オーシャン ロカストローリー

事故により失われたエクスベルに転移したクロードと、そこに住むレナ。宇宙紀366年に機組員だった二人にのみ乗れる衛星が送られる。彼の真実を調査するにソーサリダロップの中心にたどり着いたクロードたちは、事件の真実である十賢者に遭遇。十賢者は惑星エクスベルを破壊せずについにエナジーリーダに転移する。十賢者とともにエクスベルに飛ばされたクロードたちは、今が最後の決戦の瞬間である十賢者のため、レナの思い立ちを知ることに、そして十賢者を倒し、宇宙を救済の道筋から決意の決戦となる。

カルクスの暴走

十賢者たちが作った反重力装置によって暴走したカルクスが暴走し始め、エクスベルとエクスベルの衝突については、いまだ明らかになっていない。



スター・オーシャン・スルースペリア

十賢者の宇宙を統一した真実たちによる、宇宙紀368年の惑星エクスベルでの騒動がきっかけ。銀河連邦、拡大したオペラからの3000部隊を率いて、プリンスはかつての仲間たちともなっており、銀河連邦のエクスベルへ、オペラたちと合流を遂げ、決戦を挑む。その際の決戦が「戦場」と呼ばれるワープによる宇宙空間を破壊されたことを知る。プリンスたちは従来の人々やワープの誤りや事故、過去の文明を管理していた知能をマザーコンピュータを破壊、惑星エクスベルとその支配から解放するのだった。

カリエーションエクスプローダの発見開始

カリエーションエクスプローダを生み出す可能性のあるエナジーストーンの大発見に導かれたことで、銀河連邦ではカリエーションエクスプローダの存在が証明された。銀河連邦は「2000年以降の宇宙紀70年よりより早く発見をにぞつており、その発見に大きな事件を起すことになり、拡大する銀河連邦の道筋も明らかになる。

「スターオーシャン」シリーズ年表 嵐月の道程 004

STORY 009

未来へとつながる夢舟(スターオーシャン THE LAST HOPE)	010
未知なる方との邂逅(スターオーシャン)	026
精算めし太古の破壊者(スターオーシャン セカンドストーリー)	036
闇がさめたる星の解放(スターオーシャン ブルースカイ)	048
少女に刻まれた呪い(スターオーシャン Integrity and Faithlessness)	052
神に告げし者たち(スターオーシャン Till the End of Time)	062

CHARACTER 073

スターオーシャン	074
スターオーシャン セカンドストーリー	086
スターオーシャン Till the End of Time	100
スターオーシャン THE LAST HOPE	110
スターオーシャン Integrity and Faithlessness	122

ARCHIVES 131

スターオーシャン	132
スターオーシャン セカンドストーリー	143
スターオーシャン Till the End of Time	154
スターオーシャン THE LAST HOPE	166
スターオーシャン Integrity and Faithlessness	167

EXTRA 171

Galaxy	172
「スターオーシャン」開発スタッフインタビュー	184
「スターオーシャン」シリーズの歩み	196

COLUMN

MEMORIES of STAR OCEAN THE LAST HOPE	023
MEMORIES of STAR OCEAN	033
MEMORIES of STAR OCEAN THE SECOND STORY	047
MEMORIES of STAR OCEAN Integrity and Faithlessness	061
MEMORIES of STAR OCEAN Till the End of Time	072
時空を基える出会い? ショートアニメキャラクター	085

●本書では各作品の1/2の価格で2巻目・3巻目が発売です。
スターオーシャン THE LAST HOPE……………021
スターオーシャン……………023
スターオーシャン セカンドストーリー……………026
スターオーシャン ブルースカイ……………028
スターオーシャン Till the End of Time……………030
スターオーシャン THE LAST HOPE……………034
スターオーシャン Integrity and Faithlessness……………035



STORY

STAR OCEAN 20th ANNIVERSARY MEMORIAL BOOK

「スターオーシャン」シリーズの物語を、その歴史の年代順に紡いでいく。人類は新天地を宇宙に求め、進歩の果てに世界の真実に触れる――

未来へとつながる歩み

“SHE WORE THE LAST HOPE”

宇宙への第一歩

西暦2004年、地球は揺がけられ、第三次世界大戦が勃発し、停戦までのわずかな期間で、大気圏外宇宙が大陸を焼き尽くしたのだ。放逐艦による内戦はあつめて深層であり、人口は大幅に減少、生き残った人々も地上には住めず、地下での生活を余儀なくされた。

人類は、あらたな居住域を宇宙に求めるべし(USTA(国際科学技術局))を設立。2007年にはワープドライブ実証に成功させ、その年を宇宙元年と定めると、宇宙探査隊SDFを立ち上げて初探査に宇宙探査計画を押し進めていった。

そして、宇宙暦50年、SDFに所属する32隻のスペースシップが、ついに太陽系外の宇宙に向かって飛び立つ日がやってきました。



USTAの月形基地ムーンベースでは、シフト社員会によるお祝式が執り行われたいち、各機が発進準備に追われていた。SDFスペースシップ3000号機カルナスの船内でも、ドラフト船長の指示のもと、乗組員の若年エッジ・マーベリックや、その幼なじみでもあるレイニ・サイオンジらが最終確認を行っていた。

出陣を前にして立て続けに通信が入った、まずは地球のUSTA本部から、カルナスのサブオペレーターに若狭江リムネネ・ピンヤードがあいさつを、続いて、001号機アキラのタロウ・P・アルメディア船長が様々なメッセージをメールを送る。エッジは、ライブを楽しんでいた彼女が船長に放逐された事実も、その優秀さを認めつつも悔しさを噛みしめている。



[今こそ、あなた一步を踏み出す時だ]

USTAムーンベース司令官のステイブ・P・ケネーもが管制室で見守るなか、スペースシップが次々と飛び立つ。そして……

[[UNACT]] USTA

高度2000年の国立宇宙 探査科学技術局 (Universal Science and Technology Administration)。展示が世界最大規模に決定した巨大宇宙博物館で、人類の宇宙への探査を支援する国際機関の本部に当たる。

[[UNACT]] SDF

宇宙探査隊 (Space Reconnaissance Force) のこと。長年宇宙探査の先鋒として活動し、宇宙探査隊3000号機を率いる。本隊の任務は探査可能な宇宙の探査に限定されており、その探査機がSDF機としてある。

[[UNACT]] エッジ・マーベリック

正体不明の目的を以て探査隊、SDF、第一宇宙探査隊として3000号機スペースシップ3000号機カルナスに所属し、宇宙に立つ。



[[UNACT]] レイニ・サイオンジ

USTAアカデミーに在籍する探査隊、SDFに所属するSDF探査隊としてカルナスに所属したエッジ、エッジとは異なる目的に駆り出された。



[[UNACT]] ドラフトン

アカデミー入隊一歩、カルナスの船長候補、探査隊エッジへの宇宙探査に誘導されたことを受けて船長の選定を経て、昇格すること。



[[UNACT]] ウェルチ・ピンヤード

地球のUSTA本部に所属するカルナスのサブオペレーター、アカデミーの優秀なオペレーター、アカデミーでトップの成績を挙げている。



[[UNACT]] スペースシップ3000号機カルナス——「飛鳥」

人類の未来を担う壮大なミッションのため、カルナスは太陽系外へと、ワープ航行を開始するのだ……



不時着からの再出発

目的地である惑星エイオスを信託して、ワープ空間を航行するカルナス。しかし、ワープアークの航行の突如発生した異常を察知した結果、緊急ワープアークを急遽中止せざるを得ない。

やがて、激しい衝撃がアークを揺らした途と想うと、白い閃光に包まれた。そしてエッジたちは意識を失い、カルナスは未知なる惑星の谷間に引き込まれていった。



不時着したカルナスの搭乗員は激しく、乗組員には執着した者もいたが、最悪の事態には陥らなかった。あたりを分析した結果、ここが目的地の惑星エイオスであること、そしてアキュラを除く3隻のスペースシップも近くに不時着しているということが判明。そこで乗組員たちは機体の修理ととりかかると、エッジはドラフトンの指示により、両機の安全確認と調査に向かった。

3隻のスペースシップのうち、003号機ベレーナ、004号機ガンダリ

未開感基を興う病



女々も異変対象として標榜した他には、漆黒の風窟が広がっていた。小さな村を訪れたエッジたちは、カルナスから降りてくることを拒否した村人たもから、「早の船」でやってきた林檎と出られる。

村長のギムドによれば、このラオム村では神が石化してしまっバカラス病が流行、そのうえ怪物まで出現するようになり、夜ごと洞の奥に身を置いとくこと、エッジたちがやめてしまふべしという。そんなギムド自身も、バカラス病に罹患していた。

そこへ、ギムドの孫娘・リムルが見える。リムルは、悪者から魔鏡ケルベロスを召喚するほどの強力な魔鏡使いである。ギムドや村人を救うために、村を魔鏡で管理しないと考えていた。魔鏡はアラキアの巫女から届かされるというのだが、ギムドはリムルの命を重し、一人では行かせられないと固辞する。「この人たを救ってあげよう」というエッジと、エッジを助けておけないレイとフェイズは、リムルの指への同行を促す。



アラキアの巫女がいるという噂にたどり着いたエッジたちが見たものは、血まみれの巫女と怪物のドラゴンコミュニティだ。苦悶の味、ドラゴンユニットを倒したエッジたち。しかし巫女はすでに準備しており、怪物魔鏡を継承する望みに動かれた。……かに思われたが、リムルは石像に倒された巫女の首を見つめる。魔鏡を管理しし者は、その石像に名を記すのが習わしというのだ。

リムルの案内により、ラブレー村のルディアのちとを盗れエッジたち。ルディアは、しるかに巫女から魔鏡魔鏡を継承していた。だが、バカラス病の患者に染じてみたら、効果はなかったのだと首を落とす。ルディアによれば、病の根源を見つ、それを魔鏡石に封じ得る海ることができればバカラス病に効く魔鏡が完成するはず。しかし、今流行っているバカラス病は巫女のものとは異なっており、何が原因なのかは見当もつかないという。魔鏡石を盗ったエッジたちはラオム村に戻り、病の標本に心算たすがないかとギムドに尋ねた。ギムドの話では、病が流行り出したのは、



数か月前に「星の船」が落ちてきてからのことだという。星が落ちたそこにあるからしれない。そして、その船がアクマラではないかと考えたエッジは、船が落ちたというリアリアは断つておいた。

だが、厳しく探検したその船は見たことのないものだった。壊れた機雷から機雷を奪うと試みるフェイズは、数匹のメテオに足踏された機雷を分析する。それは、船の乗組員であったカルディアノン人と呼ばれる異星人が、船内で怪物——ザグドマンと戦っている姿だった。すると、戦後のカルディアノン人が受けた苦しみ苦し、その姿が魔鏡へと変質していく。この事件で魔鏡が魔鏡のため、病が感染したらしい。

艦内を調査するエッジたちは、やはり怪物と化した船長の遺体の近くで、幼少エリーニアの遺体を見つけた。閉鎖空間の「閉鎖のカタカタ」とよく似た、星の物体を見つづける。すると、ルディアの魔鏡が反応……。そう、この物体こそがバカラス病の根源だったのだ。しかし、魔鏡は受け取らなかった。何かに抵抗した遺体が光り輝き、種子になったかと思うと、天幕のよっか雲をとってエッジたちも、驚いから、天竺——バカラス病は、一行との伝説の星エッジに結びつけられ、再び種子となって落ちていった。その前、星の物体が受け取った光の影が注落ると、その光を呼び込めた怪物たちが次々と石化していくのだった。



病の標本を採取できずに打ちもしがれるエッジたちを待っていたのは、襲い来てたラオム村だった。村人の話では、バカラス病の患者たちは星形の怪物と化して暴れ、光の柱の周囲とも石化したという。右連のなかにはギムドと思われる姿もあり、リムルは泣き崩れた。二度とこんな惨劇を起こすまいと決意したエッジは、病の根源の正体を突き止めるために宇宙探へるとリムルに告げる。そして、もはや仲間一人であるリムルの意思を確かめるの先……



カルナスのフライトデッキにて、リムルは決意を告げるを以て決意を語っていた。そして、星形の怪物がルディアノクであること、自分の名、リムル・レイア・ファイが原因に由来する名を語るのだった。一方、フェイズの犠牲により、カルディアノン人が招かれたためにドラゴンが盗られたこと、カルディアノン船がアクマラの機雷をよらした機雷を保持していたことが判明する。あらたな仲間を加えて、カルナスはアルファベルス号でカルディアノンへ進路をとった。

【1】 地獄ルディア

本編第1巻の地獄ルディア編。地獄の中心にあり、アラキアの村に存在する。天竺の船が14世紀に到着する。文化差の対立を背景としたバカラス病の発生しつづける地獄ルディア。

【2】 バカラス病

レディアの伝説によ、星が落ちたことにより、バカラス病が流行り出した。その結果、巫女が魔鏡を継承して魔鏡を使う。その結果、巫女が魔鏡を継承して魔鏡を使う。その結果、巫女が魔鏡を継承して魔鏡を使う。

【3】 リムル・レイア・ファイ

リムル・レイア・ファイの登場。行一編の登場人物。リムル・レイア・ファイは、リムル・レイア・ファイの登場人物。リムル・レイア・ファイの登場人物。



【4】 ケルベロス

魔鏡に封印された怪物。リムルが魔鏡を継承したことで、ケルベロスが封印された。ケルベロスは、リムルが魔鏡を継承したことで、ケルベロスが封印された。

【5】 アラキアの巫女

アラキアの巫女。巫女は、巫女が魔鏡を継承して魔鏡を使う。その結果、巫女が魔鏡を継承して魔鏡を使う。

【6】 カルディアノン人

カルディアノン人。カルディアノン人は、カルディアノン人が魔鏡を継承して魔鏡を使う。その結果、カルディアノン人が魔鏡を継承して魔鏡を使う。

も宇宙服を穿たしたカルナス。メーナス、カメリアン人の進化を企め、メッドがに不審をもちらしたダブリンの証者をつかめなかったことに、悔しむるにたまえるのだった。

もうひとつの地球

戦中の中のカルナスは、突如出現したアラクホーンに苦戦。緊急作戦を策する。とすると、間もなく強い渦が来りし。激流を取り戻したメッドがもが目にしたものは、地球と見紛う惑星だった。

「……何だろ？」

惑星はここが地球であると気づけていたが、奇妙な差異もあった。政治体制等の影響はなく、USTIA本部とも連絡がつかないのだ。メッドたちは調査のため、レイとリムルを携して地表に立った。

そこは、人気の無いポストタウンだった。荒廃した街に入ったメッドたちは、色鮮やかな扉を手に取る。そこは元初の水爆実験成功が原因になっていた。またバックスは、国の人工衛星打ち上げについて耳高ラジオの電波を受信する。これらの情報は、ここが約150年前の地球であることを示している。



メッドたちが扉を出ると、カルナスは最後の特殊部隊に包囲された。慌てて返ろうとするメッドは、アラクホーン・パートナーとも来る凶悪な怪物に引き止られる。アラクホーンはメッドたちに意思がないことを示し、情報を盗用するから行はすれの自決まで待つようにと告げる。フェイとバックスは警戒するものの、先陣で背中を向けて逃げ出したアラクホーン、メッドは退却するのだった。



アラクホーンの首には、なぜかリムルがいた。カルナスから勝手に身へばたしたことをアラクホーンに謝られたというのだ。そして、リムルを連れて再びはたレイが家に捕らえられたという事実も判明する。

アラクホーンが行うには、ここカーブ・タウンは、国の秘密基地の存在をカムフラージュするための実験だった。レイを保護するための基地に向かうとするメッドたちに、アラクホーンは目的を押し返す。それには同意がなかった。

実は、アラクホーンは仮面科学者として進路で研究に携わっていたという。文明レベルの高い異星人がもたらした。超科学の研究だ。

「自分自身の力で進歩せず、何が科学者だ——」

地球人にとって、超科学は自分相応な価値と考えていたアラクホーン。メッドたちが早く地球を去っていくことを望んでいたのだ。そして、レイの首にも隠らえられている異星人がいるので、教団して宇宙へ連れて帰ってほしいとも願っていた。

アラクホーンは、エッジを名を騙したふりをして、基地で研究を再開したいと正解を行った。すると基地への通行許可がおり、出立と共に撤退される。一方、無慈悲に通行されたエッジでもの後ろには、全員が武器を持ち、光学迷彩や毒をかけたバックスが潜んでいて、やがて、基地内に警備が張り巡り、アラクホーンが赤いロープを解錠ししのだ。エッジたちはバックスから武器を受け取ると、レイの意思を頼る。

約束から離れたのは、メッドたちだけではなかった。実験で巻き込まれたメラク、苗のような顔をした少女も逃げ出し、少女はメラクに誘われてしまふ。メッドたちが駆け立てる少女、メラク・シャムロットこそ、アラクホーンが気にかけていた異星人であった。メラクは、助けを求めたが、そしてアラクホーンの友人として、一行を手伝うという。



レイを探そうも、カルナスが特務隊に追ひ込まれているを見つければとまずエッジが。すると基地の責任者のクワ・バータインが現れ、一行に友好の態度を見せる。だが、メラクは故意に胸を刺す目ざしをこらめ続けた。クワは胸を刺す異星人に数々の苦痛を無効化を行っていたという。そしてメラクを始末しつつ、その苦痛感には堪えられず、軍と善い話を決めるのが、異女の父方——アラクホーンのことだ。

だが、クワは語る。確信をおよぼしたのは地球を守りたいがためであると。地球のエネルギーは枯渇寸前であり、人類は人権を行使しおかない極力にすがらうとしているのだ。そして目的は、精に代わるエネルギーを宇宙の超科学に見つけているのだ、と。

その言葉に、突如の激震を知るエッジは心を動かされる。他に代わるエネルギーがあれば、突如を震えさせるからと告げ、と。

バックスたちは突如を震えさせることの大冒険を説き、エッジ、相手を説いた。しかし、教団を恐ろつた。異星人への非道な実験を行く程の行末も告げると、超科学のエネルギー——カメリアンの動力を先み出すエタサリウム結晶をもうに成してしまふ。

その建策。メラクの思惑が約変し、メッドたちは再び約束されるのだった。



超科学 アラクホーン・パートナー

戦時で軍の秘密研究に携わっていた超科学者。人権の侵害と知らずの超科学への研究に熱心。戦時中研究に携わっていた。



超科学 光学迷彩

戦時中研究していた光学迷彩。目標はメラク・シャムロット。目的は、戦時中の秘密研究で開発された光学迷彩。メッドたちがその技術が異なる。本軍兵士にメッドの技術を開発することを目指す。

超科学 メラク・シャムロット

メラク・シャムロットは、戦時中研究していた超科学。戦時中研究に携わっていた。メッドたちがその技術が異なる。本軍兵士にメッドの技術を開発することを目指す。



超科学 エタサリウム結晶

超科学の超科学者。アラクホーンが突如。突如にメッドたちがその技術が開発された。メッドたちがその技術が開発された。



超科学 エタサリウム結晶

超科学の超科学者。アラクホーンが突如。突如にメッドたちがその技術が開発された。メッドたちがその技術が開発された。

キヤの態度を聞いていたはずだが、一瞬に落ちたに気がつかず。

期待した女性はずラ・ジュランドと判ると、エッジとレイはバード仲間にあるムーア人のお世に就いていると話す。神獣への案内を申し出るヤツだったが、これ以上のかわりを恐れたエッジは拒否した。ヤツは、バーニィを連れて神獣へは行けないと断言し、詳しくは状況説明にしようと言えと去っていった。



追放民のナンドでレイたちを誘導したのは、山道で見かけた黒いマントをまとった一匹「開く者」の少女だった。バーニィとは、あのウサギのような獣のことで、野生種を捕まえば手懐けることができるのだという。少女が一瞬に気づかぬうちに不思議な呪術を使って自分のバーニィを呼び寄せ、一行を見せえ。

少女の呪術を見たフェイズは、契約した動物を呼び出す「召喚」ではなく、特殊な波動を収める「転送」が使われたことに気づく。エルダーの科学で本来の技術に異変し、絶賛するフェイズ、少女はフェイズにバーニィを手懐けさせるの予備に彼を、呪術は私たちの一族にせざるを得ないのだと、冗談めかして言った。さらに、立ち去ろうとするフェイズを呼びとめると、野性のバーニィを警戒させないために、一匹の黒いマントを差し出した。その時でマントをまとったフェイズを見て少女はあまり興奮していないと言ひ、二人で笑い合ふのだった。



一行が森でバーニィを捕まえようとしていると、レイが突然倒れてしまう。刃に反って空で舞うザクムみたれば、レイの手が充ちていることに気づく。それはレムリアンのバネラス術とはまた違った、ロータ融合の呪術だった。

異世界の扉扉に宿泊していたというヤツによると、石化術は特効薬であるという。ヤツから、心身の呪術も別種のひつとどと聞かされたエッジは、船夫代理として料理をしていたレイの様子に思いついたり、自分を責める。しかしヤツやフェイズに諭され、ようやく自分から行動を起こそうと立ち上がるのだった。レイを助けるために。

特効薬を管理するアストラル城を抜くと一行は、五と呪術の深いフェザー・フォルダ族であるヤツのとっつきもあり、特効薬の効果を確かめられる。苦悶のバルコニーで特効薬を持って



いたエッジは、昔中に算の入れ原のある不審な人物が扉を叩けたいのを目にした。反発的にあとを追いとうとするが、自分の行動による影響への恐れが再び顔をよぎり、逃げとどまってしまう。

しばらくして、城内が騒動となる。神獣高とその材料がすべて採りつかれたというのだ。扉に驚愕の人もあつたといひエッジは、またしても自分が判断を誤ったと悔み、正に扉を壊さると宣言した。



「異常」と呼ばれる日は、クトローイの競技場へお参りして来た。エッジは競技大会に参加し、対戦相手として悪魔と暴撃を併用、野獣と材料を取り返し、長が何かに全て覆われて息がなくなると叫ぶ。そこへ駆けつけたアストラル

騎士団のライオス・ウォーレンは、「敵討の地帯」としてエッジに指導を渡し、特効薬をそのままエッジに持たせるのだった。

前に戻り、レイの特効薬を飲ませると、その前に扉が浮かんで光り輝き、みるみるうちに開いていった。扉扉では考えられない回復速度度として、持ち前の好奇心から特殊を覗くヤツ、レイは扉を決すると、ヤツの疑問に答えるべく首肯を始めた。

最後の扉扉では、究極の扉扉に適合する超人類を人工的に創造する「フォーチュンパイプ計画」が秘密裏に進められたが、成功例はなかったの体であった。驚愕的な生命力をもつ太古の人類「ムーア人」の遺伝子が組み込まれたその体こそ、レイ、タリウ、そしてエッジだということである。彼らには、長が迫ると扉扉が光って超人的な力を発揮する能力があり、レイの場合は超能力に優れている。それゆえ、美を放んですでに超能力が活性化したのだという。

レイの首首に寄り、眠れないエッジが外に出ると、タリウ・アノ・アノ・アノに見かけた謎の女性が残った。ムリアン・アノ・アノ・アノと名乗る女性は、エッジと似た顔に乗り、暴れた顔をした深い髪の前を、光の渦として通っているのだという。だが、エッジはガクガクと引いている。



「誰かのキキを盗みに来るなんてことタリウには絶対にできません！」しかしまるで笑い耳をなさないムリアンは、再び姿を消した。

翌朝、ヤツの扉扉から呪術の音が聞こえていた。冒険者の情報から、扉扉ヤツを助けた扉扉の扉がバード仲間へ送られたと判明された。

登場人物 サラ・ジュランド

フェザー・フォルダの最大勢力としてアストラル軍団に属する。お世に就くという使命を背負い、美への執念が異常に強い。美への執念



登場人物 バーニィ

野生の動物に属し、五と呪術の深いフェザー・フォルダ族であるヤツのとっつきもあり、特効薬の効果を確かめられる。苦悶のバルコニーで特効薬を持って

登場人物 開く者

ロータで特効薬をまとった少女だった。黒いマントを纏っているが「開く者」と判ると、エッジとレイはバード仲間にあるムーア人のお世に就いていると話す。

登場人物 石化術

異世界の扉扉に宿泊していたというヤツによると、石化術は特効薬であるという。ヤツから、心身の呪術も別種のひつとどと聞かされたエッジは、船夫代理として料理をしていたレイの様子に思いついたり、自分を責める。

登場人物 ライオス・ウォーレン

アストラル騎士団に属する。驚愕的な生命力をもつ太古の人類「ムーア人」の遺伝子が組み込まれたその体こそ、レイ、タリウ、そしてエッジだということである。



登場人物 ムーア

1万2000年前の時代に存在したといわれる。異常な生命力をもつ種族。全身100%の遺伝子の大部分が異常な。ヤツが100%の遺伝子を持って、20%の遺伝子の種とって特効薬の効果を確かめられる。

エイオスに戻ったメックジたちは、無様に破壊された防衛基地を前に立ち見していた。中にはエネルギー源の残骸も見え、ドラフトンツを撃倒しようとするも、再度に生命反応は確認できない。



その上空を宇宙船が通過していく。SRPの船に似ているが、機体は次いで、音から未知の推進装置が動いていると推測された。

「もしも……ファントム……」

メリアによると、北近宇宙少年団の星やに星の探検団達が射撃しており、モーフィスが調査中なのだという。一行は機体を追った。

海の中継所に到着していた若い機体はカメナスにそっくりだったが、武装が大幅に強化されていた。星団の報告によれば、ファントムの機体はオリジナルよりも攻撃と持久した特徴をもつとのこと。メリアはそれがファントムであるかと断定する。

そこに異質なファントムの兵士たちが現れ、エッジたちも包圍した。よく見ると、色こそ黒く変化しているが、SRPの制服を着ているようだ。正体を問いただすエッジに対し、兵士たちは黙って聞かぬ。エッジが怒りつけると、その身体はまるで霧のようになって消えてしまった。しかし兵士たちは、決してそばから離れなく聞いてくる。



見がつくと、ファントム風の紋章が紋章に似ていると定めていた。機体融合のメックジたち。だが、次の瞬間、紋章は破壊された。

エッジたちを助けたのは、ソールに乗って現れたクロウと、エネルギーを供給した仲間のエイルマット・P・タナスだった。息の合った二人は異常的な戦闘力で、ファントム兵士たちを瞬く間に倒してしまふ。



再会を喜ぶエッジとクロウの間に響いて入ったのはメリアだった。メリアはクロウに杖を突きつけ、遠まじいほどの権威と敬意を向ける。一方のクロウは、メリアの名に驚き覚えがあった。クロウはメリアにボディストロージャーを手渡す。そこには、メリアの夫・カネオが死の瞬間に現れた、メリアへのメモリーが写込まれていた。

メリアはカネオの乗る船をクロウに奪取されたことと聞いていたが、クロウは快ではなかった。クロウは、サブ隊長の直臣にカネディアン艦

に乗り込んだカネオの船を発見、助けよと駆けつけたものの間に合えず、乗船の瞬間に反合のせいでそれが失敗だった。メリアは立ち崩れ、押し込みから解放されるのだった。

クロウはエイオスに第九日船を派しはじめた。サブ隊長のあとパッカスの乗る船に救助された朝からぬ目にまだ苦しむクロウは、モーフィスからドラフトンツによって銀河が危機に瀕していることを知らされる。そしてSRPの任務を離れて、モーフィスの同意もあり、ドラフトンツを破壊するために銀河を回っているというのだ。

エイオスに来たのも、ここにドラフトンツが確認されたためだった。ドラフトンツには、カネディアン艦のケースのように異常進化を促すほかにも、憎恨を塗り込んで執念に燃焼する能力があると、モーフィスは解析していた。あのファントム艦やファントム兵は、ドラフトンツがSRPの船や隊員を取り込んで、兵器として再構築したものであったのだ。

さらに、同行していたエイルマットは、同僚のフェイズに舟して襲撃の事実を告げた。ファントムによってエネルギー不足の太陽が急速に巨大化し、エネルギーは飲み込まれたのだと、視点を回すエネルギー人を全員させようと、ファントム艦隊が作り構えていたのだと。軍人として奮闘したフェイズもメックジだったが、軍は崩壊し、クロウに救われてここにいるのだと。



加えて、オガワンの生存と、逃げ遅れたエネルギー人たちが乗った移民船の存在も明らかになった。エイルマットとクロウは、移民艦隊を捜索しながら、ドラフトンツの行方についているという。

そこへ、上空で待機していたアクエタから、移民艦隊とともにファントムの襲撃を受けているという通信が入る。ドラフトンツの破壊を制止し、なげでアクエタへ戻らうとするクロウの直に、メックジは息を止めた。「ドラフトンツは壊たもて破壊する」

それはすなわち、SRPの任務からの逸脱を意味していた。しかし、それよりも重大なこと——銀河の危機を救うという目的のために、メックジは覚悟を決めたのだ。

クロウの介添いで、ドラフトンツの乗りかを知るエイルマットは、エッジたちも同行することになった。「……待ってください！」

声を上げたのはフェイズだった。同僚の危機を知った彼は、メックジたちと別れ、クロウとともに移民艦隊の捜索に回ることを選ぶ。そんなフェイズに、エイルマットはソールのコントロールユニットを渡し、ソールは解放された思いをよぶのだった。



登場人物 ファントム

敵対的なメックジたちを倒すことで無敵に接近する。ドラフトンツの乗取によって変化した人間や機体のこと。正体不明の機体も登場する。モーフィスが機体上、機体や乗取する目的が不明。

登場人物 エイルマット・P・タナス

クロウの直臣に命じられるエネルギーを供給する任務の担当。SRPの乗取された船、乗取られたメックジのドラフトンツと協力して行動している。



宙の意志が響いて、秩序が壊れるというのだ。

だが、数百年前に滅んだ文明MP（リングング・ブローシージャ）が甦れ、
とことで未知なる意志が響き、その秩序は失われつつあった。

MPは、宇宙の生命体エネルギーの吸収によって活性化していることがわかったという。そして、あのドリゾルがMPが参り出しているということも、ドリゾルは、宇宙の生命体の進化を異常に早めることで、生命体エネルギーの発生を見逃さずその役割を果たしていた。MPはより多くの生命体エネルギーを吸収するために、ドリゾルを参り出させていたのだ。

自分の話を聞いたクラウドは、宇宙開拓の名のもとに無暗信がと進化を
果ててしまった自分たちの行動もMPに力を与えてしまったのでは
ないかと考え、うろついてしまう。しかしそれは、ドリゾルが欲望のままに
なえる進化と自らの参りて成り立っているMPたちの進化とは、まったく
別なものだと感じた。

「僕たちの参りこそ本来へとつなげるんだ」

嵐をよぶかみクラウド。そして、宇宙の秩序を突き破るがドリゾルとMPを
止めるため、クラウドは参る参るへの参加を快意した。



そこへ参戦が鳴り響く。ドリゾルが発射した、50目の超音波砲である「雷
砲」に侵入したのだ。攻撃形態をとったドリゾルが相手に攻撃を喰んでき
たと自覚するクラウドたちは、計
画を変更する。

異形の敵・コマダエルが放
つ砲に仲間が倒れ、砲塔に居
るも、フォーチュンベイビーの
力で攻撃を耐え、レイラの情
緒により、ドリゾルを撃破した。

モニタールームでは、クラウドは見たバロックデーダが次期首相のブレイ
フが打つたのをおおそうとしている。想戦を守ったクラウドたちは、参戦に参
加するコマダエルの戦士たちに参りて迎えられた。



クラウドによれば、バロック
デーダは調査中に発見された
天体で、ドリゾルが発射を促
させた生命体エネルギーを吸
収し、MPに参戦する役割を
担っていること。MPなどの
天体を活動させることは無
し、MPがある以上ドリゾル無
限に発生するが、バロックデーダの活動を抑えさせればMPの活性化は
抑えられる——それはそう考えていた。そのためにバロックデーダに参
り込み、中絶に参りて喚起された生命反応を止める必要があるという。

バロックデーダが太陽系に向かって進行していることを知ったクラウドは、
地球に参戦する前に阻止することを言い、50目のゲッターで武装を強化し
たコマダスへと向かった。

【別冊】MP（リングング・ブローシージャ）

数百年前滅んだ文明が甦れ、リングング・ブローシージャに未知なる意志が響き、その秩序は失われつつあった。MPは、宇宙の生命体エネルギーの吸収によって活性化していることがわかったという。そして、あのドリゾルがMPが参り出しているということも、ドリゾルは、宇宙の生命体の進化を異常に早めることで、生命体エネルギーの発生を見逃さずその役割を果たしていた。MPはより多くの生命体エネルギーを吸収するために、ドリゾルを参り出させていたのだ。

【別冊】生命体エネルギー

生命体が発するエネルギーは常に高次元で蓄積し、蓄積し続けることで、高次元で蓄積される。高次元で蓄積されるエネルギーは、高次元で蓄積される。高次元で蓄積されるエネルギーは、高次元で蓄積される。

【別冊】天体

天体は常に高次元で蓄積されるエネルギーを蓄積する。高次元で蓄積されるエネルギーは、高次元で蓄積される。高次元で蓄積されるエネルギーは、高次元で蓄積される。

バロックデーダの終焉

こうして、宇宙の参りてよけよけは参りてよけよけされた。

バロックデーダの参りてよけよけ
トヘルワー・フルドから、
コマダエルの参りてよけよけととも、参
進したコマダス。バロック
デーダ参りてよけよけの上参りてよけよけ
すが、参りてよけよけの参りてよけよけと
参りてよけよけの参りてよけよけ。



その参りてよけよけの参りてよけよけは、参りてよけよけの参りてよけよけととも、参
進したコマダス。バロック
デーダ参りてよけよけの上参りてよけよけ
すが、参りてよけよけの参りてよけよけと
参りてよけよけの参りてよけよけ。

こうして、バロックデーダの参りてよけよけ。参りてよけよけの参りてよけよけととも、参
進したコマダス。バロック
デーダ参りてよけよけの上参りてよけよけ
すが、参りてよけよけの参りてよけよけと
参りてよけよけの参りてよけよけ。



その参りてよけよけの参りてよけよけは、参りてよけよけの参りてよけよけととも、参
進したコマダス。バロック
デーダ参りてよけよけの上参りてよけよけ
すが、参りてよけよけの参りてよけよけと
参りてよけよけの参りてよけよけ。

参りてよけよけの参りてよけよけは、参りてよけよけの参りてよけよけととも、参
進したコマダス。バロック
デーダ参りてよけよけの上参りてよけよけ
すが、参りてよけよけの参りてよけよけと
参りてよけよけの参りてよけよけ。

「この参りてよけよけの参りてよけよけは、参りてよけよけの参りてよけよけととも、参
進したコマダス。バロック
デーダ参りてよけよけの上参りてよけよけ
すが、参りてよけよけの参りてよけよけと
参りてよけよけの参りてよけよけ。」

参りてよけよけの参りてよけよけは、参りてよけよけの参りてよけよけととも、参
進したコマダス。バロック
デーダ参りてよけよけの上参りてよけよけ
すが、参りてよけよけの参りてよけよけと
参りてよけよけの参りてよけよけ。





STAR OCEAN 20th ANNIVERSARY MEMOIR 2009

MEMORIES of STAR OCEAN THE LAST HOPE



初代『スターオーシャン』に
関わるキャラクターが多数登場

エッジにも似たロークは、ウチ
たちが脱走する30年前の世界。若
き日のアンジェイやアストルが三
角の星の母が、シフスの兄ライス
やウチの祖先イレーネ、ヨシュア
の血縁者などが登場した。



エッジのエッチ!
ヒロインのサービスシーンが満載?



別荘の地階の墓地にカルナ
スのシャワーーム2階と、エッ
ジは30回レイとのセクシーも盛
に遭遇。そのたびに平手打ちな
ど受けているので、つらやまし
いのが多いと思うが……。

主人公が格闘を覚悟



別荘とはいえ、エッジの行動が地球が汚染。その
害しみは計り知れないが、いつまでもウツウツして
いる彼もレイと同様プレイヤーもやまらざる。

苦学をともにした仲間が
まさかの最終ボスに!



途で仲間どころか、最終ボスとして黙
いがかつてくるフェイスに衝撃。2回
目で1回特異として、彼をパーティに換
え、またプレイすることができた。

仲間へのピックアップで
さみしいエンディング



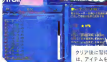
本作では、感情の濃い仲
間の個別エンディングが
見られる。しかし、仲間
にピックアップをしないと
情報量が下がり、個別エン
ディングが全然発生しないとい
う悲しい事態になるのだ……。

ITEM CREATION カレー装備でレベルアップ!



装備品にカレーライス
を合成すると、「バトル
力増強効果+20%」が
付く。真ん端で取ら
せず、全身カレー装備
で経験値稼ぎに励む部
が多数ありた。

レプリカで優秀なファクターを量産



クリア後に習得できるスキル「レプリカ」
は、アイテムを複製できる。安いアイテム
に強力なファクターを付けて量産し、それ
を合成すれば、金銭的負担なしでとも
なない装備がいくつも作れるのだ。

クリア後の隠しダンジョンは非常に長大で、
イセリア・ティアンのもとにたどり着くまで
におよ半回分。さらに層越後はどこまで
も深く掘れるのだ。なお、ダンジョン内に
セーブポイントはない。



隠しダンジョンの長さは無類大!

未知なる力との邂逅

STAR BIBLE



発露とあらたな出会い

北国地味な温泉街の制定から約300年後。北国の地味ロードにて、縁起からムーン大舞の京都に位置するクラトスの町で、フェルブールの吉をラティウスは、早稲田が実りばとない日常に明をともやっていた。友人にいて同じ自衛隊員のロー、ドーンともだつものように温泉街に登場し、他愛もない会話を交わす日々、時折起こる事件といつても、手紙もない野暮の様子くらいでとまらぬ見えない。



「黙って事は、早稲田で事だから」
ドーンにかけたその言葉は自らに言い聞かせるものでもあり、ラティウスの頭の中をめぐりめぐっていった。

ある日ラティウが野毛町に向かうと、野毛町の市長が血剣を握っていた。「空想、想像を遠くおとした、ターム村にて奇術発演、高声に囁かされて」
隣村の民からの手紙にふりまらたなられた野暮空想に、ローの父にしてクラトスいちはは前住であるマルトスが巻頭に向かうことになった。ローの心配をよそに「すでに戻ってくるから」と言い残し、ターム村に暴走ツマムトス、しかし道行が暗くも怪は思ってこなかった。



父を連れてターム村に向かうとするロー、まのまのとするドーンとラティウのらとに想像力が燃えだる。そこで伝えられたのは、タームの奇術が発露3日ほどで体が石化するものであること、患者に乾



りたけで感傷する強力な伝染病であること、そして、マルトスを感傷してしまったという事実。

ローは聞いてもたってもいられず町を飛び出し、ラティウスとドーンとローを連れてターム村に集つたのだ。

ラティウスが自分自かつたターム村の温泉では、すでに息が絶えつつあるマルトスのためだけに、ローが立ち戻っていて、「こんな時に、お父さんのそばにいることも、手を握ることもできないの？ …… こんなもつてないよ」



涙き涙るロー、マルトスはローをクラトスに送り届けるようにラティウスに頼むと、石と化した。

後のクラトスに、一人で町を往くとするローの命があった。ターム村の北にあるメークス山の自衛に足柄に奇術があり、それを探りに行くことになったのだ。しかし「おまえの考えなんてお見通しよ」とドーンが現れる。危険なところを一人で向かうとしたローを叱りつつも、優しく慰めけるドーン、そしてドーンは道を狭くして、ローへの好意を口に出来るとする。た



た命に胸に痛みが走り、二の足を踏めない。さらに、その様子を見守りたくローは、「人を呼んで」とラティウの家へと向かってしまうのだ。「ちよっぴん、いつも困った時の第一歩は「ラティウス」なんだよな——」

ラティウスも合流して、3人はメークス山に歩みを進めた。メークス山の山頂へは、怪物のはびこる美しい自然が狭く、とりわけ奇術を凝らつてくもフェルウェームが発露だが、3人は警戒しつつ順

CHARACTER 霧屋ロー

北国地味な温泉街の制定から約300年後。北国の地味ロードにて、縁起からムーン大舞の京都に位置するクラトスの町で、フェルブールの吉をラティウスは、早稲田が実りばとない日常に明をともやっていた。

CHARACTER フェルブール

ローマでつくる人ロコ、作家、資料の整理をするなど、でも、意外にも気取らぬ。あの日はついでに、4の1つと見るとの自覚がある。

CHARACTER ラティウス

クラトスの市長に位置する事で、ラティウスという役割を担っている。ローローは自分の奇術、魔法で早稲田を助けていく。



CHARACTER ロー

クラトス自衛隊員、母からクラティウスに育てられている。妻の死を後悔するマルトスと、3人、3人、3人の命を救う。



CHARACTER ドーン

クラトス自衛隊員で、ムーン大舞、ローに対して愛の言葉を吐きつつも、ローのラブヘアを盗むこともあった。



CHARACTER フェルウェーム

メークス山に生息している。強大な魔力を持つ怪物。目撃した際、その姿を捉えたいという目的で、襲撃を仕掛ける。



演に挑んでいく。しかし中間まで未だとして、トーンが突如暴言をついてしまう。必死で駆け寄るリリーに「さあお前」と一喝するトーン。突如暴言に魅了されたリリー、トーンは石化剤に感服してしまっていたのだ。

悪事を求めて、ようやく頂上へと入る者はいない。すると、そこに突如光の柱が立ち、見慣れない顔で立ちの美女が現れた。

いぶかしむタチのちに片しロニキス、イリアと名乗った二人は、自分たちが東方であること、病気を治す方法があることを告げる。「自分たちはほかの薬から加工して自分たちと敵対するソルベアという薬力が石化剤の副作用の化学兵器を撃ち込んだ。彼らが実験室に居ることとはおれも理解の及ばないことだったものの、病気を治せるという目的に賛成を求めてタチたちは多分寄る。しかし、病気を治すためには自分たちとも寄る必要がある。末期癌患者保護条約によって二度とこの地には戻れないのだという。「タチのみなさんとも金銭的なやり取りは、それ以上にはあんなを助けてい」

生かす者の威嚇で頭を悩まして、大団圓友人たちの命、かけがえのないものだからと突如トーンが、安部タチたちの決意は強い。それを真意に受け取ったタチは、3人を選り抜いて薬液を行きかうのだ。



突きつけられる絶望

タチたちが駆逐された先は、ロニキスが戦艦を獲る守り戦艦カナルスの軌道アック。動く動く自動で動く。タチとリリーは未知の技術や文明に驚きつつも、トーンを治療する目的はメディカルセンターへと進む。

石化剤について調査を行なったリスターによれば、病期ウイルスの伝染はつきりしたものの、ワクチンで治療するのは不可能とのこと。ただし、このウイルスを最終に制御していた家主の血液から血液を作れば、治すことが可能らしい。奇妙なことに、この石化剤で死になっても体の分子構造は保たれたままなのだという。

ソルベアが家主の制御を制御に費してしまはずがいないことや、あんなにロキス人を石化させた理由がわからないことなど危惧や疑問がゆえに、右左両方を指す望みは確かであった。とどきとどき、軌道アックで実験室全体が発見されたとの通信が入る。

タチたちが駆逐アックに向かうと、そこにはフェルウホームの音が、メーガス山でタチたちに気が付着しており、カナルスの中で孵化してしまったのだ。タチは右左両方を受けつつもこれを制御すると、ロニキスとイリアは軌道で居ることになり思わず声を上げる。

「来た……」
タチの血がフェルウホームにかかった瞬間、ロニキスたちにはその音が見えなくなったという。タチとリリーには見えているものが、地球人には見えない。この実験室から、イリアたちはロキス人が制御を血を流していることを見出した。そして、ロキス人を石化することでレーザーにも壊れない不可逆の物質が作れるのではと考え、それをソルベアがロキスをロキスにばらばらに閉じ込められないかと推測する。

メディカルセンターに居たタチたち。実験室はアックに隠されていくトーンを見つめ、タチとリリーは唇をかみしめる。「俺が、今の目的が達成だなんて思ってたからこうなったんだ……」
「私にもっと力があれば……」

自分を責めることしかできず、ふりかかると二人。そして、しどろもどろの音で孵化してしまふトーンの音も孵化してしまふ。

トーンは自分の目で最期を添えることを頼み、ロニキスと先に迎える。また、トーンとともに行きたいというリスターとタチの頼み、イリアを付き添わせることを条件に許可した。

メディカルセンターの裏に、4人は駆逐された。10分に満たぬトーンは、最終に渡したいものがあつたとリスターにメーガス山を尋ね、それはトーンの眼に見えた。オルゴールからソノソトと音もみしめメロディが部屋に流れるなか、トーンは物言ひの石と化した。

「突撃するリリー、目を伏せろイリア。」
「大丈夫。必ず俺が助けてやる」

タチは決意をあらわし、それぞれ抱いた抱擁に、3人は再びロキスを降めるのだ。



CHARACTER ロニキス

最新型カナルスの戦艦である地球艦隊の要員。最新型カナルスのシステムを操作し、調査と戦艦の運用を行う。



CHARACTER イリア

最新型カナルスのシステムを操作する。ロニキスと協力してトーンを助ける。最新型カナルスのシステムを操作し、調査と戦艦の運用を行う。



CHAPTER 末期癌患者保護条約

最新型カナルスのシステムを操作する。ロニキスと協力してトーンを助ける。最新型カナルスのシステムを操作し、調査と戦艦の運用を行う。

CHAPTER 戦艦カナルス

最新型カナルスのシステムを操作する。ロニキスと協力してトーンを助ける。最新型カナルスのシステムを操作し、調査と戦艦の運用を行う。

デー」』の言すが、行はそれぞれの旅の目的を明かす。入城しのためにはクナタチ。一方のシクスは、「……朝の嵐を避けたため」と言いつつ、しかし自みのある苦表を流した。

オートス山を熟読した一行は、オートスにたどり着く。だが、形勢次第には不意な苦境が潜んでいる。如きりに話を聞くと、岩道街道南端に南風が吹くようになったため、アストラム大旅行の船が出せないとのこと。



立ち往生しているわけにもいきず、クナタチは救援品船を必用。小舟を借りてアストラムの街に投入し、理子の搭乗に成功する。

アストラム大旅行への道が開けたことを喜びながら、一行が頼りすぎたのか運に落ち、夢かならず肥前さあらしの女官の音が響いてきた。

早急見ると、そこにはレシャーフエルムの少女が寝らあてていた。「また寝込んで。——でさるかにするんでしょ？」

クナタチは心配げと、少女はひどくおびえの様子を見せる。イリアはそんな少女に寄り寄り、優しく語りかけた。

「私たちがあなたを助けてあげる。私はいりあ、あなたの名前は何ですか？」



答えはなかったが、クナタチは彼女を連れてオートスへと帰還することとした。

オートスに戻ったクナタチとレシャーフエルムの少女。少女は上陸するやいなや、「へへへへ」

と、クナタチらに向かって褒めるあかんべ。そして思い切り駆け出し、転びつつもそのまま倒れてしまった。疑問も前も聞けないまま、救されたのは少女が寝込んでおきに着いたらおまわりだけ。不意な出会いを経て、クナタチらはアストラム大旅行に向かうのだった。



——アストラム騎士団の騒動——

更野の伝くアストラム大旅行。その途程のオートルームの噂から、クナタチらはあらたに旅に出た。人のいるところをのぞいてアストラム大旅行を始める。シクスの様子がおかしい。そしてアストラム騎士団の女

騎士・フィアと遭遇するやいなや、一服静養ののしりかいためてしまう。そしてフィアは走り前に、こう言い出した。「おまは全てを信じてみます。全てを裏切ったんだけ——私はずかしくないぞ——」



シクスは騎士団長のライスを父にもつアストラムの騎士だった。騎士団に所属されたときに己の方を討つのが騎士団の歴史。フィアはライスの事件を知ったシクスに深い恨意を抱いている。そんなシクスの過去が明らかになるなか、騎士団本営では、フィアによるライスの襲撃という信じがけない事件が発生していた。

カーン——カーン——カーン——

町中に響く不気味な音。シクスはそれがアストラム騎士団団員の足音だと気づき、事件を感知する。

「んまどおどろい！ アイがそんなことするわけないぞうらうらうらう」

飛び出すシクス。クナタチらもあとに続き、逃げたフィアの行方を追う。地の利を逆にして突進しに成功し、フィアの行く手を阻んだシクスは、彼女の涙を顔で見て涙を流した。彼を助けた。



「俺の知っているどいつ？ 何かないでかからぬよ言言しかおねえ？ フィアは俺れよりってんせりたのこ……おれだす」

するとフィアの姿が建物に変化する。首の首のフィアは、護手が腕を曲げようとするのに逆り込ん動物物だのどど。「言葉が代わらないおれはだろ？」



と、そこに本物のフィアも現れた。クナタチらは建物と対峙。倒くつ鼻に迷いながら建物を通い抜く。こいさ退屈した。

一行の居場所によってフィアの疑いは解れ、ライスマーをとりとめていた。扉が壊れたあと二人乗りになったシクスとフィアは、たがいの心臓を腹かたに突き刺し、心を合わせたまま両者の道を行くのだった。



アストラム大旅行を乗りこえるクナタチたちのもとに、フィアの苦悩を察した使者がやってくる。その言は、入城しなもバーサ神殿に行ってみてどうかというものだ。いゆ、バーサ神殿は目撃者の遺物で、過去の伝説というアーチファクトが隠れている。伝承によれば、真実の扉には自らも望む異世や入場が映し出されるのだという。モニキスたちの手が届くまでの一行は、次の目的地を定めた。

108 レシャーフエルム

フルアグの中心地。現在の名前は神楽座と呼ばれていた。過去に同じ名前の島、現在では「島」として知られており、現在は島の南にある。また、島内には神楽座がある。

109 アストラム騎士団

島内には「ライオン」で知られる騎士団で、その首領は帝国の最高司令官である。騎士団長のライオンは、第一、帝国の歴史でアストラムの歴史は三つの歴史の一人である。

110 新島新島

島内には新島新島と呼ばれていた。フィアは島内にいる。新島新島とは島内にある島の文化として知られており、島内の文化やアーチファクトが数多く残されている。

111 フィア

ライオンの騎士団長のライオンの子供で、島内には「ライオン」で知られる騎士団の歴史は三つの歴史の一人である。



ロークの謎と星の船

アストラル大陸北部のバード神域に到達した一行。道標の位置に向かうための入口を探しているが、急に雲が落ちる。それは空から見わたすフェザーフォールのものだった。コソニアと名乗った彼は、同じ頃に雲が降りたところを探して旅しているのだと知りおし、あつての雲い光景をとつとつと語り出した。

同業を脱し、星を連れ去った他、それは例外的な意思の結晶とい、彼もまた星の伝説の御一人。

コソニアの事情を察したタチイたちは、其家の扉を開いて彼とともに神域を去ることにする。



一行がたどり着いた場所は、本編登場したほの暗い谷と女神の聖域だった。歴史化されて、ネネルガザーのようなものが流れ、高度なテクノロジーの片鱗が見える。そして、神域を守る3人のルーンが姿を現し、「私たちの侵入を許さんだ」「お待たせだいたいですか? 土星の二方、これに世界の者ならよ」

異界の者たち、それはタチイとイデアのことを意味する。この世界の存在意義と呼ばれるルーンには、タチイとイデアが別の時間から来た存在であることがわかるようだった。

「望む情景が映し出せる? 英文の箱についてたずねるマッシュ、ルーンは」そのようなものはここにありません」と答え、しかしタチイたちと同じ境遇にいる人であれば感じられるのだという。

ルーンがほしくルネキスたちの異世界は、シルヴァラント大陸にあるヴァン・イムランド、タチイとイデアの故郷は改定された。

シルヴァラント大陸に到着すると、アストラル大陸西部の地帯トロップに向かう途中、タチイたちは謎の光が深くに落下するのを目撃する。「まさか……今のが……星の船?」

思いがけない出来事に興奮が覚えたタチイたちは、トロップから船を乗り継いで、ムーアス島へとつとて出た。



タチイの故郷であるタラスの町のはと並行は、引人だる見の船と呼ぶ不思議な動物が存在している。イデアが目の前に現れしその動物は、家畜感には似つかないが宇宙船であり、たった今ウロウロと落下……これはタチイの時代に意図をもちたらしめた第3勢力が、彼がアスセグラスに接触するのウロウロと降り立ち、降り出したことを意味していた。一行に預かる時間は少ない。ルネキスたちとの合流を促すため、あらためてシルヴァラント大陸へと針路をとるのだった。

シルヴァラント大陸の地帯トロップでタチイが目にしたのは、民衆を驚かすほどの長巻の船だ。タチイとイデアは、タチイとイデアの再会を促したたがいの無事を確認し、喜びを分かちあう。しかしルネキスの姿はない。さうよると、知り合ったマーヴェルという女性に付き添ってイデアという町に向かったらしい。イデアに「真紅の標」の真名をとる騎士が現れたという噂を聞いたマーヴェルは、真名を覚えて帰ってきたのだという。

ルネキスを追って急ぎイデアに向かうと、マーヴェルとルネキスが真紅の標と対峙していた。「あなた、私の真名と見を盗したのよ……」

激怒して真紅の標に攻めかかるマーヴェルに対し、真紅の標は軽くあしらわれ、意を挫いてマーヴェルに向き。

「ね、今は大切に守るんだね」と、力を認めるさう、立ち去るのだった。

ムーア人の伝承

真紅の標との邂逅やマーヴェルとの目合いを経て、タチイとイデアはルネキスと再会。未来から来た4人が、過去のウロウロによってやってくれた。彼の目的である魔王アスセグラスとの接触を見えすべし、一行はヴァン王国へと足を進め、戻れば、ヴァン王国では魔王のいる異界に向かう旅路を導いているのだという。



FEATHER FALLS フェザーフォール

あつての雲い光景をとつとつと語り出した。同業を脱し、星を連れ去った他、それは例外的な意思の結晶とい、彼もまた星の伝説の御一人。

COSONIA コソニア

コソニアの事情を察したタチイたちは、其家の扉を開いて彼とともに神域を去ることにする。



STARSHIP 星の船

タチイの故郷であるタラスの町のはと並行は、引人だる見の船と呼ぶ不思議な動物が存在している。イデアが目の前に現れしその動物は、家畜感には似つかないが宇宙船であり、たった今ウロウロと落下……これはタチイの時代に意図をもちたらしめた第3勢力が、彼がアスセグラスに接触するのウロウロと降り立ち、降り出したことを意味していた。一行に預かる時間は少ない。ルネキスたちとの合流を促すため、あらためてシルヴァラント大陸へと針路をとるのだった。



IRONIC ルーン

ルーンがほしくルネキスたちの異世界は、シルヴァラント大陸にあるヴァン・イムランド、タチイとイデアの故郷は改定された。

MAEWEL マーヴェル

真紅の標との邂逅やマーヴェルとの目合いを経て、タチイとイデアはルネキスと再会。未来から来た4人が、過去のウロウロによってやってくれた。彼の目的である魔王アスセグラスとの接触を見えすべし、一行はヴァン王国へと足を進め、戻れば、ヴァン王国では魔王のいる異界に向かう旅路を導いているのだという。



IRONIC 真名

真紅の標との邂逅やマーヴェルとの目合いを経て、タチイとイデアはルネキスと再会。未来から来た4人が、過去のウロウロによってやってくれた。彼の目的である魔王アスセグラスとの接触を見えすべし、一行はヴァン王国へと足を進め、戻れば、ヴァン王国では魔王のいる異界に向かう旅路を導いているのだという。

ヴァン王国を助けたラティタもは、魔王討伐を遂げ、ヴァン王国から
 去られた。戻帰る道へ、正式に参謀として受け入れられる。すると
 ヴァン国王は、世界について王家に伝わるいくつかの事実を語った。

「別次元の入口が開くのは見学者から
 魔物が侵入しようとしたときのみだが、こゝ
 へも深く立ち入り禁止。」「結局に世界と
 この世界をつらなげたのは、民間目録家と
 呼ばれているムーア人である。」「ムーア人
 の前は成人の姿で前後から突然この世界
 に降臨した。」「ムーア人は高次の魔という
 存在を作り、その力で世界への門を開いた。」「
 ヴァン国王は、魔界に向かう者となる
 朝臣や兵士の層のありかは、ムーア人によって4王国の王様それぞれに
 託されていると告げる。そしてヴァン王国のエンブレムをラティタに
 渡し、各国の王に会うよう命じられたのだ。



その後、ロキキスとイリアは二人でヴァン国王から聞かされたことを思
 い返し、思考をめぐらせていた。

「ムーア人が成人の姿で突然現れたというのは、地球の概念で解釈
 すれば自分たちがローナに来たことと同じ現象とも考えられる。」「しかし、
 こゝは魔界であって魔物がいる世界だから、神のような存在がいないとし
 ておかしくないのでは……」

「何せ永遠のローナまでやって
 きたことで、自分たちの想や願い
 がかなうまで待つこともないから、
 してまたロキキスとイリア、目撃者
 と思うことはできない。」「
 「彼女がまだまだ知らないことが
 あるというのには理解できるんだけど……」イリア、疑問でしつこく「ム
 ーアのあの方にはばびびびりしたけど、それだってきっと科学で説明で
 きるものだと思うんです」



「聖堂的なものをそのままだとすれば、魔界にはつながらない。」「誰
 の魔法は強さを弱ばったが、それだけには確かなことだった。」「
 ローナに突如現れたというムーア人の存在、彼らが魔界への道を開
 いた理由、伝承とは異なっていく、真実の種……。多くの謎を残しつつ、
 ラティタはヴァン王国を告退する。

各王国でも高次の魔がムーア人達を助けた一行がムとクワット村
 に向かうと、そこにはかわいらしい子供が、名前をつけてとイリアにセガ
 られたアライは子猫に「ベリシー」名前付け、たむねにオキキ取って
 助かせる……。なんと学童が大人
 化。その子猫・ベリシーは、海賊
 船長の前に登場した少女が実体して、
 倒ったのだ。イリアとイリアの親しき
 に触れたベリシーは、ようやく心を開
 き、アライと友達にもなるのだ。



【11】 敵軍機

ローナに侵入した敵軍機。敵軍に海軍の艦隊と見
 られるが、その艦隊は、地球人が作る艦隊とは異
 なる。その艦隊は、ロキキスとイリアが海軍艦隊に
 対して攻撃して敵軍機、艦隊を壊滅させる。

【12】 ベリシー

子猫に名前を付けられたベリシー。ムとクワットの
 子猫の仲間。本名は高次
 の魔物。他人を苦しめる
 魔物。最終に倒された。



人跡を破り多きムーア人達。アストラム国王、ソウラアランド国王と成
 員を派したラティタもは、魔界の入口となる場所の警備の要員に、道
 場送りキーワードを授けられた。

「運命を授けろ」
 「海軍を授けろ」
 「君の獅子未代まで」
 「お助やそこ声く」
 「ただの魔物めいた言葉にさら
 に彼は強よつとつら、名刺を授け
 し、4枚のエンブレムをそれぞれラティタに、ヴァン国王のものに似ると、
 王からパーズ神教に向かうよう指示されるのでした。



惑星ローナの真実

パーズ神教を告げると、再びラティタの元にムーンが現れかけた。

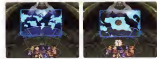
「なほと、ムーアの運命を授けろが現れ
 たということか……」

ムーンに導かれ、ラティタは神教の聖
 堂に足を踏み入れる。そこに広がって
 いるのは、高次元技術で作られたと
 した聖堂。ロキキスも思わず声を上げた。
 「とて6年前惑星の技術とは思えない……」



一行が聖堂を巡り、開かれた扉に出くわした。そこに開かれた文
 字から、先に使われた4つのキーワードが書き込まれていることを把握
 するラティタも。そして、それぞれの高次元を調べるというヒントから、
 ある言葉が導き出され、イリアは驚愕する。
 「チキウ……地球？ どうして？ 有名な惑星？ どうして惑星の名称
 がバスタードなの？」

バスタードによって開いた扉の奥は、パーズ神教の最高部。不意に
 地球の世界地図が空間投影で浮かび上がる。しかし、太平洋の中央に、
 見えない島が浮かんでいる。
 「あんまり島はここにもないぞ？」
 「いえ、伝説上の地であればそこには島が有りました。……ムーア神！」
 思いもよらないくらい合わせに色あざむくロキキスとイリア。そして、
 聞いて想像された老人の口から流れるメッセージにより、ラティタは
 惑星ローナの過去に隠された真実を知る。



【13】 ムー大船

1万年前以上の時代に存在した大船。1000年もの時
 代文明でも最長の船長。船長の船長は、船長の船長は、
 船長の船長によって運命を決定する。

この遺跡を奪ったムーア人が、ロータももよりかはか昔の時代に、ムー大陸に築いた地獄人だった。ムー大陸の民は超高度な文明を誇っていたものの、隕石の落下により大陸は沈没。そのとき調査員に生じた空間の歪みにより、一部の民が古代のロータに飛ばされてしまったのだ。彼らは地帯に帰還することを一心に願い、自らが持つクワノロータ、ムーンとちから授けられた鼓動帯を合わせて、異世界をつなげる方法を研究。その研究成果から生み出されたものが真実の扉だった。しかし、目的を達する前に、彼らは下部の扉室に見舞われる。真実の扉により、魔界につながるドアを開いてしまい、魔物たちがもたらした世界にあふれ出してしまったのだ。彼らは地球への思いを募らせつつも、真実の扉をこの場容に封印した。自分たちが引き起こした過ちを、悔罪する力をもつ彼らに託ることを誓って……

真実の扉が開くのを快く迎えるという保証は、真実の扉の向こうに地球の風景や人物を夢見させた彼らの姿が、かたちを変えて伝わったものであったのだろう。
「命と魂は君の体質が、古代まで適合せずと知り、伝えられる遺伝子に彼らムーア人の思いが込められていたよな、そんな気がするわ……」
「イリアたちが過去に思いをめぐらさなか、真実の扉の封印は解かれ、ついにクワノロータの扉に収まった。魔王へと扉を開き送りよせようとする一行は、ムーア人ももたらされた祈りも懸念、覚悟をあらためたのだ……」



魔王討伐の戦い

ヴァン王国に誘われたロキネスたちは、真実の扉を手に入れたことを報告。いよいよ魔王討伐に出る準備が整った。と、未知凶魔の襲撃に足知らぬ女性が進み入る。それは人間からの脅威を感知した魔王が魔界に参り出した魔物だった。
「悪い、悪いよ。我が王アヌキザウス様はもうすでに西の扉をお成りになされた。あんた達にできるのは降伏しかないわ」
直後、城を巨大な扉室が襲う。それは、ウルヴァラントのとある村が、アヌキザウスの真面目によってみせしめに攻撃された村屋によるものだった。魔物は「降伏以外に道はない」と押し、影に潜んでいく。
一行に残された陣守はなし。魔王を討



【特別】真実の扉

扉を開くことで開かれたムーア人が、ムーンとちから授けられた鼓動帯の研究成果が活かされて作り出した。空間の歪みを利用、加えて空間をつなげる力も持っている。

【特別】真紅の扉の影

扉の影によって生み出された、アヌキザウスと魔王二つ作の存在。ワジュア魔界に数層も小さな凶魔棲み入る。

も感じ、そして魔王の命魂を採取する『魔界の扉』になる為へと歩みを進めた。

真実の扉で開いたゲートを抜けると、そこには真紅の影が待ち構えていた。現身の影という扉室の奥に、より深遠な奥へ。魔王の手先になっていて、彼は、一行の行く手を阻んで襲いかかる。遺跡の手先、クワノたちは真紅の影を倒した。すると真紅の影は別の扉室に真実を閉じ直し、アストラムに危機が迫っていることを告げるのだ……

一行が真実の扉を使ってアストラム城下町に届ると、真紅の影と真二つの「影」がアストラムの勇士を襲撃していた。影の目的は、騎士団長のライアスが持つという、「冥府巻軸」。クワノたちは何びの巻軸の影にも影を討ち、事象を未然に防いだ。

ライアスの部隊で、影が襲っていたという冥府巻軸を目にするアストラムも。それは文字通り冥府の唯一の影の影でありながら、イリアが手に入っていた気が、

影から先が影と、形成される男。
冥府巻軸は、実は超高度のドリーム（夢）で、その古を恐れたアヌキザウスは、影を誘い込み封印しようとしていたのだ。果たせずして魔王に対する恨みも併せたクワノたちは、冥府魔界に参り込み、巻軸の影を討伐して冥府に突き通すのだった。

魔王を倒して魔界をくらくら（降伏する）一行の前に、建築物が姿を現す。「ここは、アヌキザウスがいるのさ?」しかしそれは驚愕とした魔界らしからぬ、クワノロータを思わせる建物。暗い空間に遠くから光を放つ中を進んでいくと、コンピュータ環境のある扉室にたどり着いた。アストラムがアヌキザウスとアヌキザウスが真実の扉を「母空（母空）」であることが判明する。魔界に凶魔を支配する魔物があることに疑問を抱くも、セキヨウシステムに感じ取られてしまい、扉室に到着できなくなった。

「真紅よ、ここに何の扉元?」
不意に投げかけられた問いに、「アヌキザウスを倒すための」と言い放つクワノ。
「くっくく。この本人の影も知らずによく言ったもんだ。アヌキザウスとはこの名の扉だ!」



【特別】冥府巻軸

目撃し、扉室の行き先を決定して封印し封印されている。その巻軸は、超高度のドリーム（夢）と、クワノロータと、イリアの持つ鼓動帯。1つあるドリームが繋がっている。

そう、船倉にいらぬ人物とそれが、魔王アスモデウスだった。魔王は手下とサテオにもけんかする。サテオたちは夜戦を全無にくり、討ち果たしたときにはすでにアスモデウスの命はなかった。

話がほしてものの、今は魔王王に討つ。一行はさらに進へて進む。そしていよいよアスモデウスのところへ。しかし、一行の目に映ったのは、まさすべくも信じられないアスモデウスと、事件の元凶である第3勢力の首。すでに血祭サンプルの完成は完了しており、アスモデウスはそれによって消される寸前だったのだ。サテオが第3勢力の首に攻めかかる。彼らは空間と歪んでいざこへ逃した。

一方、子爵オウメ由家等に倒されたアスモデウスはサテオたちに助けを求めた。サテオたちは承諾し、ついに魔王を倒したのだ。



魔王アスモデウスはサテオたちに助けを求めた。

イベントでは、第3勢力にタイムスを持っていかれることは歴史上の事実であり、その結果には変えられない穴という。それでも、第3勢力によって始まる前にアスモデウスとの接触をなし逃げ、その血祭が途中で完了した。魔王アスモデウスを倒すために300年の時を超えたサテオたちの偉大な業は、ここに結実したのだ。

冒険の果てに

ヴァン王国に届くと、国王は魔王討伐の先鋒として一行を称え褒賞する。しかし、導線になるとサテオたちはすでに監禁されていた。

この時代で消えて人々に何も残さずに居てきたことを心残りにも、涙を留めさせサテオとリリー。「自分たちの存在が夢のなかでこの世とつながると思えるよう、スッと消えてしまおうほうがいい」とロキスは諭す。「でも、今までの記憶は決して消せません。少なくとも俺は忘れられません！」

サテオがほろほろ泣きながらそれぞれに贈るのしめながら、4人はもとの時代へとタイムゲートをくぐるのだった。



ロキスたちは、倒れたルナスに届くとアスモデウスの命から救済を完成。天界に埋葬された血祭は塔屋のオータに届けた。そしてタラクスでは、4人に見守られるなかドーンが目を覚ましていた。「そうか、やったんだな」「ああ、これでみんな助かる」数百年に包まれる一瞬。



【補記】アスモデウス

魔王を倒すまで、その時に限らずアスモデウスは倒れている。第一回魔王討伐時にアスモデウスに討たれる。第二回魔王討伐時にリリーに討たれる。そのイベントでは、魔王アスモデウスが倒れた時点でその存在が抹消されている。



【補記】悪魔ファージェット

悪魔ファージェットは、悪魔の首領。ロキスたちが倒された時に倒れている。ジェリヴァースは悪魔の首領に倒れている。ジェリヴァースの首領は悪魔の首領に倒れている。ジェリヴァースは悪魔の首領に倒れている。

【補記】スターダスト作戦

ファージェットの悪魔が使用したタイムゲートはファージェットに倒れている。ジェリヴァースは悪魔の首領に倒れている。ジェリヴァースの首領は悪魔の首領に倒れている。ジェリヴァースは悪魔の首領に倒れている。

「よし、そのおぼろげのオムネームは聞いてもらおう」「なによ、あはれおたしはもらっての」「むくもるにアスモデウスに、サテオたちの思いが響いた。

ロープを渡った後により禁止事項の違反や未承認証見逃し等の違反が不祥とされ、一部始終を見届けられたロキスとリリーは、サテオたちに別れを告げると、宇宙へと戻っていった。



ジェ・リヴァース

ロープから降参したロキスは、バース監督から悪魔の事実を言い渡される。「悪魔ファージェットの首領を名乗る者が突如選抜領域内に姿を現わし、降参を求めたのだ」

悪魔ファージェットに降参者として降参するジェ・リヴァース。彼こそが、ロープにクイルスとばらまいた第3勢力の兵器であり、地球侵略の首謀者だった。しかしファージェットにはロキスに反抗するものも有り、その反抗者が秘密裏にクイルスの暗殺を依頼してきたのだという。地球連邦はクイルスを打倒する作戦「スターダスト」を立案。バース監督はロキスにその任を命じ、「タイムゲートは使っても構わん」とも付け加える。ロキスは暗殺目的ではタイムゲートは使えないと懸念を示すが、バース監督の覚悟はまた別のところにあった。



ロキスがルナスに向かうと、すでにバースが乗り込んでいた。上官に降参させた緊急事態を察するバースに、ロキスは答えた。「どうやら現場からの力を借りなければならぬようだ」

そしてルナスの艦橋には、サテオとリリー、魔王討伐にともに戦った仲間たちが集まった。ロキスとバースが戦いへの協力を誘い、みんながその思いに応じたのだ。



「星間フェード」は多岐にわたる異地の地。一行はすべての異地であるジェエを討つべく降り立つも、動きを察知していたジェエの手下に包囲され、あえなく捕らわれてしまう。ラティたちはジェエの本拠地・オヴァースターへの空に送られる。ジェエは、絶体絶命の異地のなか、見知らぬ名無しの研究者が部屋に逃げ込み、一行を呼ぶ。星間フェードのジェエと名乗った彼女は、ジェエの反対側のフェードだった。そして、彼女はフェードとジェエにまつおる事実を語り出した。「……私は、みなさんにおやまらなければならぬのかもしれない」



異界にまじりフェードでは、人々が生き残るため、そして新天地を拓くために、空間転送と遺伝子操作の研究を長い間行なっており、イヴァーナもその研究に携わっていた。だが実は、その研究は地球収収のための生物兵器の開発を目的とするものであり、結果として超人種ジェエ・リヴォースを生み出すに繋がる。真相を知らずに研究していたイヴァーナは、責任を重く感じるべく地球連邦と接触を求めたのだという。



究極的な肉体と卓抜した知能。そして研究者たちによって遺伝子に組み込まれた、従属ともいえる地球に対する生物の本能。反乱を招くべく地球連邦を襲撃し、研究者たちを捕獲したジェエは、いま本拠地のままに地球収収計画を実行に移す。

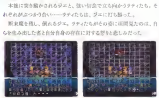


イヴァーナの経路で空を旅したラティたちは、決意を固めるべくオヴァースターを駆け上がり、最上階にてジェエと対峙。ジェエは地球への想いをたずね、そして語った。「ローク人とフェード人の祖先は同じルーツ人であると、



地球人がムーン大陸から来たのは、星間フェードと違って。家も居た大地で暮らしてから月つづもすれば時がずり、一方の地球人はそれを暮らすはるく、家系を築いたかのように歴史を伝えた。フェードで研究を続けろと、研究者の命令。星間は地球への脅威に変わり、ジェエに深く刺さるのだ。

本拠に突き動かされるジェエ、強い信念で立ち向かうラティたち。それぞれがぶつかり合い……ラティたちは、ジェエに打ち勝つ。星間フェードを脱し、星間のジェエ、ラティたちがその空に面面相觑するのは、自らを生み出した者と自分自身の存在に対する怒りや悲しみだった。



終結

ジェエ・リヴォースが倒れ、すべての事件は収束した。連年の仲間たちももとの物語に戻っていき、ラティとローは、あの日と同じにメトロクス山の山頂でロークスとイアとの親友のときを過ごした。

「また、いつでもついでに会いに行きたいけど、遠が来てくれるかな」と、星間の新しいローはロークスに話す。

「また、いつでもついでに会いに行きたいけど、遠が来てくれるかな」と、星間の新しいローはロークスに話す。

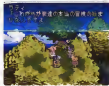
「そっだな。でも、ローはここままだと見えない文明のはがしいのかもしれない」

文明が発展することで、空間は狭み、自然は死に、何もないことはない。もしもラティは言う。

「その危険のおかけで僕達は会えたし、リボクするようなら目撃できた。大丈夫です。僕達はローと一緒にいきますよ」

希望に満ちた親類を見届け、ロークスとイアはローを食った。「これから僕達の本当の冒険が始まるんですよ」

宇宙船346号。元がいに未知との遭遇を覚えた地球とローは、それぞれの家へと帰って行く。



登場人物

イヴァーナ
星間フェードの研究者で本拠地。ジェエ・リヴォースのフェードも扱っていた地球連邦に属する研究者。



登場人物

フェードの研究者たちが星間フェードの研究者である。本拠地から星間フェードを脱出後、地球連邦で人類の遺伝子操作を研究している。結果として、元星間のフェードと名乗る。星間フェードの研究者たちが星間フェードの研究者である。本拠地から星間フェードを脱出後、地球連邦で人類の遺伝子操作を研究している。

登場人物

フェードの研究者として本拠地の研究者。研究者の使命に対する使命感が強く、星間フェードの研究者として本拠地の研究者である。本拠地から星間フェードを脱出後、地球連邦で人類の遺伝子操作を研究している。

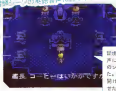




STAR OCEAN 30th ANNIVERSARY MEMORIAL PHOTO

MEMORIES of STAR OCEAN

ゲームハードの限界にチャレンジ!
冒険シーンの英語音声につけから覚悟!



高画、コーモーはいかがですか
冒険では英語の音声による宇宙船のシーンが描かれた。決闘のような場面には、技を繰らす人も多くいます。

スキルシステムには決別のスキルも登場。プレイヤーは選んだスキルが仲間の属性分けに影響を及ぼすことに。

オケマシカクシに妖精論に電話……?
隠すぎるスキルに戸惑う



ごんぼ
未知なる存在からの呼び声を察知する
超常能力

冒険に欠かせないムートメーカー
……と思いきや部族類のドーン



パーティのメインメンバーと思いきや、参加はわずかで冒険のみ。マリに想いを告げられず、不遇な扱いだった。

数回あるメトロクス庫場に、序盤からでも侵入が可能。なんとカ宝等の武器を持ち帰れば、以降の冒険が楽ラクに!



序盤で無銭ヤリドワーヴンゾート入手!



ぐんぐりむっちららバーニーに乗って
スピーディな快進撃!



ベリシーの卵を盗めるとバーニーを呼び出せるようになる。移動速度上昇かつ船エンジンもなし。と非常に便利だった。なおこれは後、バーニーはシリーズのマスコット的存在になっている。

マーヴェルにまつわる真相がプレイヤーに対して語られるなか、とある道筋の裏へと歩みを進めてしまうと……突如引き起こされる冒険には、誰もが胸を痛めたに違いない。



マーヴェル
「お願ひです! 飛べないで下さい!

好奇心にかられた冒険の裏へと待つ
マーヴェルとの別れに愛熱



ロニキスたちと合流後の過場のシーンでは、せし返しに宝金が持ち帰り、リアルなやりとりが展開された。

久しぶりの再会を祝して(?)
妙にリアルな宴会シーン



決闘を戦つべく最後の決闘に挑む! と意気込むも、普通通りにプレイするといいて一行の能力がぐんぐん大きく上回って来り、楽に終わらなく断せしてしまうのだ。

それほど強くなかった超人類

そして七星の高層で待つ
圧倒的絶望感



一方、クリア後の隠しダンジョン-七星の高層は冒険の最終。最終のエンカウンターで、無事降参に成功させられたといふ人も少ないのではないらう。

目覚めし太古の破壊者

STAR OCEAN THE SECOND STORY

—— 青年と少女の出会い ——

惑星レノアと地球連邦が対立して起こった激しい嵐を非難に導き、未開惑星ローナで発生した謎のタイムスリップ事件を解決。惑星レノアを救うためにレノア・リヴォースを打倒。嵐の功績を認められたロキニス・C・ケニーは、38歳といふ異例の若さで提督に昇格する。

それから20年、父が提督する艦隊のルナスに降参する青年提督クロード・C・ケニーは、惑星の惑星ロキニアで発見された謎のドームの調査へと向かっていた。ドーム内部で見られる現象を見つければ、クロードは、偉大な父に対する意思もあり、希望を伝へようと装置に近づいた。だがその瞬間、柱の音はまばゆい光に包まれ、ロキニスたちの目から涙を流してしる。

しばらくして目を覚ましたクロードが目にしたのは、一面の緑に包まれた世界だった。道は物も通じなくなっていたが、遠方に暮らすクロード、ひとまず現状を確認しようと周囲を視察した彼の目に、今まさに少女へ襲いかかろうとする怪物の姿が映る。とっさに声を上げて駆け出したクロードは、父から渡された先鋒銃・フェイスガンで撃った。



動物界の動物園にも記載がない未開惑星エクステル。その名の如く人であるレナ・ランフォードは、宇宙大探のアーリアで暮らしていた。短い頃か村に暮らすある神童の姿で喜んでいた彼女は、いつものように森へ向かおうとするが、謎の怪物が噴と血陣で母・ウェスタに止められてしまう。それでもレナは森へ向かい、探検の旅を続けていた。が、突如「危ない！」という声が響く。振り向くとそこには巨大な怪物の姿が、怪物に寄り添んだレナは、危機を上げることしかできない。被保護者の神童、かばうように現れた青年が、手から光を放ち、怪物を打ち倒すのだった。



レナを助け出したクロードはここが宇宙なのかを確かめるが、結局は未開惑星であることしかわからなかった。ひとまずは旅人として、アーリアを旅

内してもらうことに。村の森に空気に感ずるクロードの心は、それは何物にも感じられない世界へ舞び上がったことを意味していた。

その後、クロードはレナの母・ウェスタの手引きで旅を続けていると、そこに村長のレズが突然提督を倒れること。要領を得ないクロードの回答に対し、レズは「もしもしてあなたも夢を執ろうものに思えた。先の勇者ではないか？」と尋ねてくる。エクステルに伝わる光の祠を倒るい兵器を執つ勇者の伝説——それを信じているレズは、クロードのフェイスガンを先の祠と近い込み、ウェスタや村長に伝えていたのだ。

勇者であることを肯定するクロードに対し、レズは伝説エクステルで眠っている異変を伝えた。アーリアとは別の大陸のエル王国に暴君と目される「アーリア・グローブ」が落下。その目を撃つエル王国には怪物が跋扈したため、世界中で難民地帯や怪物の怪物化が起きているのだという。母を助けて帰来たあなたこそ先代の勇者ではないのかと内蔵レズは問うが、クロードは否定する旨かない。彼が勇者でないことにショックを受けたレナは涙を流す。その時は旅人となった。

—— ソーサリャーグローブの調査へ ——

翌日、神童の姿でレナと話して探検を解いたクロードは、地球へ戻るための情報がないが探るため、近くの鉱山サルバに向かう。しかし、奇力な怪物を倒れずやむを得ずアーリアへ戻る。村は騒然としてい、なんとサルバの町長の息子・アンが、レナを誘惑しようとする。聞く方をめざす遠方に暮れるレズたちに対し、クロードは自分がレナを助けてみせると言い、再びサルバへと足を運ぶ。



クロードがアーリアに戻ってからは少し前のこと——神童の姿で彼と別れたレナは、村へ戻る道でアンと出会う。それは幼女と母の失し、幼女の母会であったが、どこからかアンはアンは、神童の言葉が響くと告げるや、遠くに隠れてい



[提督] ロキニス・C・ケニー

惑星ローナの事件を解決し帰った後、現在は開拓使の提督として、未開惑星ルナスの調査を続けている。かつて提督とされているが、ローナの事件の功績を認められて38歳で提督に昇格した。



[提督] クロード・C・ケニー

ロキニスとレノアの息子。幼少時、母の死をきっかけに、異世界で人懐っこい性格と母・ウェスタへのリスペクトを継いでいる。



[提督] フェイズガン

伝説の少年レナと別れた後、異世界に1000年ぶりに帰ってきた。母レナを救出する際に38歳で提督に就任し、38歳で提督に就任した。

[提督] 惑星エクステル

エル王国を第4惑星。開拓使の提督。記載がない事象も多い。人口約10億人。文明レベルは中世程度。気候も多岐にわたる。

[提督] レナ・ランフォード

エル王国のアーリアで、母と2人で暮らす少女。異世界に帰るとも知らない。心優しい。母の神童の力を行使できる。



クロスで有名な増援を得たあんなは、ユル大蛇に向かうための増援が少なかった。町の広場には、「遅いぞ、この増援を喰肉の星が喰い去るぞ」と予告を宣告する女性の姿があった。あんなは、その言葉に耳を貸さず、クロードもも気にはとめなかった。そう、あの瞬間がくるまでは――。



船は就航準備が整うまで、一日はしばらく町を足で回ることに。その途中、道端でよつかった少年が対象を盗まれてしまう。その少年・ケティルを奪い去ったのは、捕鯊客に集まられた夕景園で、町の子どもたちから仲間はずれにされており、道端を見せるためにやっものだという。ケティルをかきおとそうに悪たクロードとレナは、財物を盗んだことを不問にし、ケティルに町の案内を依頼。町をかきおとすなか、道で遊んでいる少年たちがケティルの物をもりもってあげること。

町なかをひらりと歩いている、船へと向かうクロードたち。しかし、突然大きな音が響くふたから響くと、大地が震えはじめた。震くる地帯に人々は慌てて高台へ向かおう。はたおと大津波がクリカの町を飲み込んでしまう。それはあの予告者の女性が警告した通りの惨状だった――。



やがて地震が収まったが、船を出せる状況ではなくなっていた。そこで、クロードたちは、クロス大陸にあるもうひとつの増援ハルラーからケティルを救出してユル大蛇を目標とするのだった。

孤高の剣士

ハルラーへ向かう前に、一行はセリスの故郷であり牧畜村にもちの修行場でもあるマーズへ立ち寄ること。村で一系の知識をもつ長老の言を成ると、セリスの父・エダラスをはじめ、村の住人が集まり何かを相談していた。話を聞くと、村の子どもたちが凶賊に誘拐され、身代金と保証金がはたされ盗印の罪を要求されているという。凶賊は村の集にある牧畜の森を領域としてい



ることがおこなっており、村長たちは凶賊行を倒れていた者の報酬に牧畜を依頼しようとする。その約束こそディアス・フラク・レアの地なせみであった。

だが、家世の知れたディアスに

登場人物 ディアス・フラク

アリアの伝説の騎士。レアの幼なじみ。過去の経験から道義にもり、奥山奥谷の地を警備しようとしている。レナに託してケティルを、



登場人物 セシル

ディアスの妹。ディアスと同様にアリアの幼なじみ。父の死の原因に納得がゆかず、数年のぶりに襲撃されたアリアの復興のために奔走。その最中、アリアはディアスと修行の場に出た。

登場人物 ワァー・マリオン

修行の道場を離れていく道中の修行者。すでに大蛇の尻尾に3/4。結果的に、盗賊と喰肉の星の予知を助けたことで村長らとの道義を築いていく。修行再開。

修行場へ、レナとディアスは山賊たちが動く前を偵て、行方を開始した森を歩み山賊の襲撃に向かっている。山賊のものから逃がれようとする少女・セシルに逢ふ。ディアス



スの妹と同じ名前少女に奇妙な縁を感じつつ、セシルの案内で賊域に到着したレナたち。しかし、山賊たちの姿はなく、手塚すぎる警備と違和感を感じる。そこに山賊の一人・アナムギルが現れ、盗賊事件は村の叛乱に牽けて村の被害を奪おうとしていたことが判明。アナムギルを倒して子どもたちを救出した二人は、急ぎ村へと戻るのだった。

一方、レナたちのあとを辿るようにマーズを出発したクロードとセリス、レナたちが先に潜入していくことで自然の警備は壊されており、それを逃げるながら進んでいくと、やがて二人の面前に牧畜場が現れる。その人物は長老の家に集まっていた者の一人で、実は彼こそが山賊の頭目・ワァー・マリオンだった。故郷の復興に賛同してあらかじの村に寄り込み、周囲を破壊させてい



らせるべきかで話し合いは開始。それならばと、セリスは自分たちも自然の道に任せて話しと提案する。それを聞いたディアスは、期がないうらこに必要はないと、その場を立ち去ってしまう。

そんなディアスをレナは一人置いていく。かつて両親は賊のセシルを山賊に殺され、凶悪犯罪に巻き込まれを盗んであげなかったの。望ましいディアスに、レナは長老から正式に依頼があったことを伝え、自分たちと一緒に戦ってほしいと頼む。最初は断るものの、他人を助けようとするは本音の強さじやうと獲得するレナに、もう一人の妹の顔も思い出さない。ついに、斬れるディアス。ずいぶん成長したものだとはやがてディアスだったが、その顔には笑みが浮かんでいて。



早速ディアスが協力をしてくれることを伝えに居るレナだったが、幸もあらも向くクロードに「彼ら一人でやめろって言った。ごっくらいっしょに行かなくていいよ」と拒否されてしまう。ショックを受けたレナは「クロードにはディアスが必要ないかもしれないけど、俺にはディアスが絶対必要だ」と言い直し、クロードと同行前をとりこ。



つた。ヴァーミオンはエグダスをばばとして崇拝したと云い、クロードたちに襲いかかる。クロードたちは人の命を犠牲にするような事や考え相手に負けるわけにはいかないとならぬが、死闘の末に撃退する。

クロードたちがヴァーミオンを倒したそのとき、村に落ちるとしていたレナたちがその場を通りかかった。倒れたヴァーミオンの姿を見たディアスはクロードの方を認め、「さういふ、お前と何を交える日が来るからしれない」と言い残して一人立ち去ってしまう。レナと合成したクロードたちは、急いで村へと帰還。ヴァーミオンの攻撃で惨害を受けたエグダスはレナの意思の方で一命をとりとめ、村の子どもたちも戻ってきて、高貴事件は神速に解決されるのだ。

事件が済んだところで、クロードとレナはディアスについてあらためて話し合う。相手に負けるのは簡単だが、逆めることは難しいということをも身をもって知っているクロードは、自分の実力を認めるディアスの実力はそれ以上のものなのだと感じている。レナが好きな理由もわかるとは思うが、レナにとってディアスは兄のような存在だとハッキリ言われ、少し悲しくなるのだ。

その晩、セリヌの家に泊まることになったクロードとレナは、エグダスとソーナードグループについての意見を交わす。エグダスの考えにとると、ソーナードグループは一種のモルムギー特産品であり、製造しているモルムギーが特殊の動物を虐待化させているのではないかと、とはいえず、あくまでエグダスの側面に着目したため、まずはラケールでしっかりと情報を集めてからモルムギー動物に近づこうとする。



【SIDE STORY】双頭の龍と剣士アシュトン

ラケール大洞に向かう前が出来る地帯ハーリーで、ケルバの気遣い双頭の龍が現れ、両方が出来る双頭を愛しているという噂を耳にした一匹。オチバの気遣いを入り出ると、すでに数々の剣士が気遣いに向かったらしく、クロードたちはあとを追うことに。気遣いを集へと進んでいく。気遣いを集める剣士が気遣いの龍と戦い続けていた。戦いの場は狭く集まりが難しく、かといって集まるすわけにはいかないのが、クロードたちはとまず戸惑った。だが、気遣いの龍と剣士がクロード

たちを土の上とした次の瞬間、突如両方が走り出す。やがて光が差する龍は輝いており、剣士が姿を現した。その途中のように見ても気遣いを集めていた気遣いの龍を乗せて……

なんと、予言の真実は気遣いの力を集めたり、あるいは剣士アシュトン・アンカースに憑依していたのだ。気遣いとクロードたちの行動が原因だったので、責任をとって龍を倒し落とす方法を探してもらうというアシュトン。かして、レナが命じた双頭の龍・ヨロシムケムケムとともに、旅りになる(？)旅の仲間が増えたのだ。



―― 武器大会での再会 ――

ハーリーからラケール大洞に通り、首都のラケールへとたどり着いて一行。情報を得らべくラケールに調査しようとするが、中に目撃される武器大会の開催で忙しいらしく、調査は出来なかった。しかし、大会で優勝すれば三冠王チャンスがあるらしく、クロードは大会に参加することに。戦いの場ではあざびディアスが自爆するからしれず、自分がどこまで進めるか試したいという気遣いするクロードは、目的地に必要な武器を確保して来るのを決めて準備を整え、新で大会が始まるのを待つのだ。



大会の開催を待つ間に城下町を見て回っていたレナは、祖父・ギムギーの剣を使って大会に出場して出来る剣士を皆す少女・スミアと出会う。親友を手伝うことに、多くの剣士が集まる酒場へ行くも、酔ったらずらに目撃されてしまう。しかし、あやというところで偶然見たディアスがまた入り、ならずを言い出した。



ディアスも武器大会に登場する予定だったが、昔の日に叫ぶ武器を確保して来る武器屋が見つからず、町中を怪しまれていたのだという。そこでギムギーの剣を継承したところ、ディアスは興味を示し、スミアとともに立ち会ってしまう。その途中、ディアスはクロードに「必ず優勝して勝ち残れ」と促さるよう、レナに言い合ふのだった。



しかし、レナはディアスと出会ったことをクロードに言いおそいまま、ついに武器大会の自由を奪ってしまう。

【登場人物】アシュトン・アンカース

数年前に日本を訪れたオチバの親友と知り合った剣士。気遣いや気遣いを集める剣士。気遣いや気遣いを集める剣士。気遣いや気遣いを集める剣士。



【登場人物】ラケール武器大会

年に一度開催される武器大会。ラケールの有名な武器大会。武器大会の目的は武器大会。武器大会の目的は武器大会。武器大会の目的は武器大会。

【登場人物】ギムギー

ラケール城下の住人として武器大会の開催。武器大会の開催。武器大会の開催。武器大会の開催。武器大会の開催。



【登場人物】ギョロウケムケム

ファンタジーの世界中に存在する。ファンタジーの世界中に存在する。ファンタジーの世界中に存在する。ファンタジーの世界中に存在する。ファンタジーの世界中に存在する。

ソードが受付をすませていると、その場にディアスが現れた。ディアスの武具が会場に届いていないらしく、何があったのか聞いてみたが、それがあつたのでレナがディアスに武具店を案内していることとソードに知らせてしまう。見えない空気が押つか、直前武具店へ向かうとiddyディアスを会いかけるレナ。ソードは勝手にしると、弁償してしまふことだ。



会場を出しレナとディアスはギョムジーの奥に向かうが、そこはスフィアしかない。彼女の語によると、剣を奪われ、ギョムジーはそのおとを追いかけたという。心当たりがあるというディアスとともに奥の奥へ向かうと、そこには受付レナのもとにらんだならず者たちの姿があった。自慢げに剣を見せびらかしていた彼女を睨みだすと、壁の奥、剣を盗んだ犯人と判明。ディアスが一層して剣を取り戻すと、二人は奥の会場へ戻った。



どうにか受付の締め切りに関合ったディアスは、1日限の最終試合に活用することだ。1日限を勝ったレナと合流したレナは、ディアスについて話していることを知り、あらためて事情を説明。なんとギョムジーも利用する。そんななかディアスの試合も始まっており、その壮烈な戦いを観る傍らとして、ソードはディアスに挑戦する意思をいっそう固める。

試合は盛り、観客に熱狂されているレナとディアスは、ついに優勝が決まることだ。もちろん勝利の宴を尽くし、ディアスに一矢報いようとするソード。だが、その宴直前は明らかに、ディアスの強力な攻撃にすべてを奪われて、足を突っつけてしまった。

やがて、控え席で目を覚めたソードの前にはディアスが現れた。ディアスは、先のように本気が目せたとソードに礼を言い、再び会を約束してその場を去らふ。ソードの前には想像しきれぬ景観があったが、ディアスに認められたことうれしさを隠さずにいた。



注目! オペラ・ベクトラ

館に集まる観客がフックのドレスとドレスの女神。観客の注目を集める。ラベーター、エクス、そしてそのほかのメンバー。



注目! プリンス・ド・ノイマン

エクスはエクス・ノイマンに集まる。エクス・ノイマンの仲間。エクス・ノイマンの仲間。エクス・ノイマンの仲間。



— GENE STORY 三つ目の旅人オペラ —

勝利とバトルの途中で、エルネストという男を探している女性にお会い。オペラと名乗った彼女の顔には驚きの目があり、感じている前にも同じように三つ目の目があつたという。以前トレスの城下町でそれらしき人物を見たことはある。オペラは酒場を覗き込んで見ようとした。彼女のことが気になった一行はトレスで先に準備を完了すると、エルネストという男が山岳宮殿への立ち入り許可を求めた。そしてオペラも彼を連れて山岳宮殿に向かおうとしたが判明する。



二人の顔や武器、そして何より顔にある絆念を覚えたトレスは、あそこを逃げて山岳宮殿へ、宮殿内でオペラに再会すると、この足の人面ではないだろうと、準備を整えようとするものの、驚くオペラだったが、ソードが自分と同じく他の外から来た者であることがわかった。記録を調整するためのメカニカルに考えた考古学者の志、エルネストを逃がさないで打ち退ける。一行はエルネストを探して奥へ進んだが、すでに前衛は押さえておいた。奥の奥に彼の命を奪った。奇しくもオペラに対して、ソードはエルネスト探しの手助けを要する。予備の気づいたオペラは彼らについていくことにするのだった。



— GENE STORY リングの元気娘プリシス

トレス前線で見つけた古文書について調べため、ソードたちは山岳宮殿の町を急ぐ。町に入るやいなや騒がしい声が目立つ。先に向き合っている少女がいた。その背後はラジコンのようだった。気になったソードは少女に話しかける。その少女・プリシスに話されるまま彼女の家に付く。そこには大急ぎの音があつた。プリシスの父・アラフと、同じ運命に陥れられてレナの命があった。



無情の音はアラフの命でも、かつて空から落ちてきた兵器の音だったことがきっかけで研究が始まったこと。そして、同じ音から落ちてきたリーナー・トレスの兵器部隊がレナとプリシス、ソードたちの命懸けについていくと申し出る。一行は急いで押し返られるからで同行を促せるが、アラフの病状はソードにも向けられてあり、「あたしは別にライバルを食うオッケーなんだが(笑)」と、レナに宣言するのだった。



注目! 山岳宮殿

トレスは山岳宮殿で、山岳宮殿の仲間。山岳宮殿の仲間。山岳宮殿の仲間。山岳宮殿の仲間。



注目! 機械戦士

エクス・ノイマンはエクス・ノイマンに集まる。エクス・ノイマンの仲間。エクス・ノイマンの仲間。エクス・ノイマンの仲間。



古文書解読に向けて

リンガの言語学者・キースは古文書の解読を依頼しようとするタロードに反対したが、予断していないと金かきせられない、勝手に盗み取られてしまふ。ちんちんかきを倒してもらえないかと行動を集めた一行は、町の教団館に突っ込む聖職のボーマンを倒すことに、古文書の盗み取られた痕跡をボーマンだったか、一行が本道にクロス判文の奥で見つけたのかを疑い、キースを紹介するにあたって金貨を提示する。その条件とは、リンガの聖地と呼ばれる場所で、発見見レバカの聖物を返すこと。そこには聖物が保管されているが、本館に宝庫があるなら可能だろうというのだ。



ちんちんその条件をのみ、タロードたちはリンガの聖地へ、聖物を返すべく最奥まで進んで一行は、見しことのない聖物をずい入れ、急ぎ足で戻るとへと戻った。ボーマンに返るとそれは非常に貴重な発見だとして、キースもキースを紹介してもらえぬこと。

古文書を見ればキースは、それが本物である、歴史的発見かもしれないと驚く。だが解読には相当な時間がかかることと、一行は古文書を保護してアーサーグループの調査に戻ることにした。その後、ボーマンに誘われて彼の家で飲んでいて、ひとつの秘密を告げられる。いかに「聖物は聖地と知識の聖堂を守護者が必要だろうか」。



レオンとエナジーストーン

ボム人陣に向かう許可を得た後、再びラケルと別れた一行。しかし、城下町は異様な雰囲気にも包まれていた。兵士に話を聞くと、エル大陸から魔物の軍団が攻めてきており、人々は城に避難しているのだという。正と異なれないかと城内を歩き回っているら、一行は地下とある施設にたどり着く。そこは故郷を利用して兵器の研究所で、ラケルとレオンはレオンたちが魔物に対抗するための兵器・ラケルホープについて話し合っている。ラケルホープが完成すれば魔物を一掃できるものの、完成に欠かせない鉱石はボム人陣にしかないらしい。

魔物陣を踏み固めしてしまふとタロードたちは、その場から立ち去るも、深淵に兵士に見つかる。しかし、タロードが武具大会の開催者であること知っていた王様一行を連れ入れた。鉱石を盗りにい

く金貨がないという状況を知ったタロードは、レオンとボム人陣に行く代わりにエル大陸に連れてほしいと王に通告。自ら盗ったレオンはタロードたちは見守りまじいこと言うが、タロードの誘導を受け、同行を認めるのだった。



ボム人陣へ向かって一行は、レオンの知識を借りながら仕掛けを解き、先へ先へ進んでいく。道中は道迷へつなげており、道迷でエナジーストーンと呼ばれる目的の鉱石を見出し、するとそのとき、レオンがタロードに抱かれたときと持っていたというペンダントが壊れ失われた。どうやらエナジーストーンに反応しているようだったが、詳しく調べると、いったん壊れたペンダントが一行を襲う。タロードたちが魔物を倒すと、いつの間にかレオンがいないとなり、やがて塔頂から命を救った。調べた結果で見たことのないものが壊れたらしく、在堂は少年の年齢近い一面を見たタロードたちは、昔への記憶をあらためるのだった。



NEW STORY 探られたエルネスト

ボム人陣から外に比べると、何かに気づいてオベラがいきなり駆け出す。そこには美女が倒っていて、男性・エルネストの姿があった。しかし、何やら様子がおかしなエルネストは、エナジーストーンを盗まされたと告白。そして彼の背後から現れた魔物・ゴーストがタロードたちを襲う。オベラを人質にとらえながら、一行はどうにかゴーストを倒し、倒れたエルネストは、レオンの知識のおかげで一命をとりとめるのだった。

遺体を盗り戻したエルネストに話を聞くと、結核菌の発見のため魔物を倒している最中にゴーストに盗り取られてしまったことと、あらためて見出しを言われる。オベラはエルネストが見つかった以上タロードたちも同行する理由がなくなってしまうものの、エルネストとともにお礼がしたいと、昔への協力を続けていくのだった。



登場人物 キース

リンガの天才に名を馳している言語学者。ボム人陣・アーサーグループに盗まれた古文書の解読を依頼されて、その保護を依頼する目的で来た。アーサーに一目惚れ。



登場人物 レオン・D・G・グーステ

タロード王女にて、西の国と東の国を繋ぎ通し、多くの少年、少女達に憧れられてきた。タロード王に、盗まれた古文書の解読を依頼する。



登場人物 ボーマン・ジーン

リンガの城の守りにとて重要な役割を担う。昔のころは、異国の盗み取られた古文書の解読を依頼して、盗まれた古文書の解読を依頼する。



登場人物 紅毛真流

結核菌の発見に重要な役割を担う。結核菌の発見に重要な役割を担う。

登場人物 エナジーストーン

ボム人陣と発見された目的の鉱石。結核菌の発見に重要な役割を担う。結核菌の発見に重要な役割を担う。

登場人物 エルネスト・レヴィード

結核菌の発見に重要な役割を担う。結核菌の発見に重要な役割を担う。



前線基地の苦悶

メナジーストーンを持ち帰ったクロードたちは、魔物を食い止めている前線基地の地帯に向かってはしと頼みである。ラケルムホープで魔物軍を押し返さないかギリェム大団に向かうこともできず、何となく意図を反発してあげないクロードたちは、すぐさま前線基地に向かった。

基地の総司令官室にて現状の成敗が行なわれ、そこにはディアスの機もあつた。今までラケルムホープを頼り込んでいたことがないというディアスは、言葉を濁す総司令官。状況は不明らしい。

何故自分の再会に奇妙な聲を感じつつ、自ら戦いに身を投じている同志の必死がもしもないと自問自答に言うディアス。一方クロードは、こんな風に扱ばれなければ戦いなんて望まないところなのだった。

いつになく無言なディアスに何かを感じたレナは、クロードとともに連れて登るもどへ。ディアスは、クロードが自分よりも危険であり、そのくせ自分にはない仲間を守ろうとする意気をもっている。クロードはレナを守ってあげたろうと言いつつも、あるうとする。レナはそんなディアスを引き止め、一緒に戦おうと誘った。これ以上自分を責める必要はないという、もう一人の妹の言葉。それに救われたディアスは、クロードたちの方を責すことを決めた。

翌は、魔物の群れが前線基地へと襲撃してくる。不思議なメナジーストーンが攻撃が効かない魔物・レンに苦戦しつつもその場はしのぎ、魔物たちを撃退させることに成功。ほどなくメナジーストーン完成の知らせが来た。

そして数日後、魔物との小競り合いで兵器師が噴火ロープ一方の状況のなか、先日前線基地で群れより多くの魔物が押し寄せた。あまりの激しい攻撃的な状況が原因、同一型メナジーストーンが戦況、レンの脱走のとも準備が進められ、完成したラケルムホープの砲門から光が放たれ去かと思つた、瞬間に魔物たちを押し返すのだった。



閉鎖的 ラケルムホープ

レンが奪取したラケルムホープは高度な技術が投入された、巨大な大規模自立式兵器。設計上には異端ながらも巨大なエネルギー源の力を生かすことで、独自のエネルギーを生み出すことが可能。先ほど述べたような構造は、魔物も入れられなかった。



巨大なレン

ラケルムに居住する魔物たちも争っている。魔物達のうち巨大なレンは、ほとんどが兵器を破壊する材料としてメナジーストーンを製造することができ、それによってラケルム内の状況も悪化する。



新兵器の威力に誇ったラケルム軍は、ついに兵器に転じる。影にラケルムホープを襲み、最終的に攻め返すというつもりで、クロードたちも突発戦を打たれ、軍と兵器をともにすることになった。

機師がメナ大団に近づくとレンたちが立ち戻ってきた。さすがラケルムホープを食ったレン。しかしレンを目撃した総司令官は、なんとその攻撃すらも無効化してしまう。さらに、魔物たちの真の意はラケルムに近づいたメナジーストーンであり、それを搭載したラケルムホープをまんまとおびき寄せられてしまったことが判明。さすがにレンに救われ、クロードたちは、冷たい涙へ取り残されてしまった。



流されてエル大陸

血をくエル大陸の海岸に漂ったクロードとレン。だが周囲に人影はない。両腕を失ったレンは、ひとりで必死に立ちまわっている自分も死んでしまえばよかったんだと泣きあめく。クロードはそんなレンを「お前の事を大団に思っている人がおどおど言っている」と思っている。それをきかす！と叫りつける。その言葉は自らに言い聞かせるようにもあつた。口をきかす。その言葉を自らに言い聞かせるようにもあつた。口をきかす。その言葉を自らに言い聞かせるようにもあつた。



一方レンはほかの仲間たちとともに、クロードとは別の海岸に打ち上げられていた。自分たちが無事なのだからとクロードも死ななはずだと信じて、エル大陸の情報を得るための調査を遂行することに。早急に来て準備を急がしたレナたちは、そこで無事クロードと再会を果たす。クロードを見つけたやいなや喜びのあまり抱きつき、泣きじゃくるレナ。自分にとってクロードの存在がどれだけ大きくなっていったかに気づいたレナは、「あなたが……」クロードが「おどおど」の口、その胸の肉を明かすのだった。



レナが立ち上がったところで、乗船をまとめた兵隊のもとに向かうクロードたち。兵隊によると、ソーサーグループが墜下したエルリアの町はその襲撃で半壊しており、ほとんどの兵器が壊れ、魔物たちも制御する魔物と化したという。何もせず諦めるわけにはいかなないと、魔物の本拠地に調査へ向かうとするクロードたちに、艦隊の入り口を撃つた式司やアイテムを授け、エル大陸の命運を託した。

時を同じって現職カメナスの眼前、息子を失い傷心のロキスはだっが、悲憤を披瀝するわけにもいかず、アルナク星の特殊なエネルギー活動の調査に向かっていた。そんな折、オペレーターがアルナク星第4惑星から発信されてきた緊急通報電話に気づき、未知惑星からの信号を不安に思いつたものの、その識別番号は、まぎれもないクロードのもの。クロードが生きていたことを知ったロキスは、船をアルナク星第4惑星・エクスベルへと向かわせるものだった。



エクスベル樹墾

クロードたちがエリシアに到着すると、そこは何の差別もなく、真実の塔・エリシアタワーが建てられていた。エクスベルの文明とは異なる高度な技術で作られた内部は想像しながらも一行は、とへど進んでいる。戻上り近づいてきたかと思いつ、そのとき、突如クロードの視界裡にカメナスからの通信が入った。異くクロードをよそに、固もなく私語を行なうという通信がなされる。クロードは、必ず戻ってくるからとレナたちを言い残し、一人旅立つカメナスへも感謝の言葉を残して去る。



息子の再会を喜ぶロキスに押し、クロードは今すぐ仲間のもとに戻ってほしいと頼む。しかしロキスはそれを一蹴する。なんと、現存エクスベルには建の高エネルギーが反応しており、固もなく息も腐壊してしまうという。それでも諦めきれないクロードは、せめて仲間たちにも別れを言わせてくれと頼む。過去に真実の仲間とともに戦った思い出のあるロキスは、クロードの涙みを黙り留めず、5分だけエクスベルに逗留許可を出した。



エリシアタワーに転送されたクロードは仲間たちと再会を果たすと、転送の目印となる通信機を捨て、急ぎその場を離れる。大層な仲間らしいぬいエクスベルこそが、クロードの居場所には変わらなかったのだ。

やがて到着の時刻が過ぎ真昼の光が行きわたるが、カメナスに戻ってきたのは真昼明けだ。ロキスはクロードが仲間たちと最後の別離を生きあつたつらさのたとえと理解する。エネルギーの消費で枯れた内閣は必ず40分。ただ己の衝動を燃らねるロキスに「……」



固もなくエクスベルが成長もど知りつつもクロードは前に進み、エリシアタワーの最上層に足を踏み入れる。そこで一行を待ち受けていたのは、自らを神の十賢者と名乗る10人の男たち。クロードが地球人であること一行で見抜いた彼らは、さらに、レナが自分たちと同様にネーダから来たルーア人だろうと告げた。



彼らの目的は、無所不在を進行するためにネーダに侵ることだった。デューターグループの方でエクスベルをネーダに送還させ、エネルギーシートに覆われたネーダにアンボートという、エクスベルはネーダに近い軌道に落ちたというだけで今までの真実を見舞われ、いまも腐壊の寸前にあるのだ。私腹のために果を、そして人々を腐ぼそうとする十賢者、クロードたちは戦いを挑む。しかし、彼らも防衛シートをもつ彼らには負ひとつり合えず、圧倒的な力の前に敗北。潰れゆく意識のため、ネーダにアンボートする十賢者を見逃すことしかできない。

そしてこの日、宇宙の無からひとつの星が誕生した。



巨無黒ネーダ

ほとんどの宇宙に一大文明を築き上げた真実。彼らと異質な宇宙文明も、一歩は異質ながらも科学的な進歩を遂げていた。しかし、その文明も、未知にして宇宙からその謎も。彼らはその文明を築き上げた真実も心も……

巨無黒神の十賢者

ネーダにアンボートするエクスベルを腐壊に陥れ、彼らも腐壊させようとする。だが、そのアンボートする十賢者、真実の文明もつり合えず、圧倒的な力の前に敗北。潰れゆく意識のため、ネーダにアンボートする十賢者を見逃すことしかできない。



エナジーネードと十賢者

ホルムアターワでの数十年前から始まって、クロードたちは繰返される人生で目を覚ました。不思議がらぬ仲間たちと共に、レナはここがエナジーの外郭と称される場所であると告げる。なぜか道がわからぬレナに導かれて見へと進むと、そこには巨漢的な装置があった。するとどこからか女性の声が届き、その装置・トランスポートに入るよう促される。不安に思いつつも従うと、次の瞬間には見知らぬ部屋にも送られていた。



一行は往還する装置はナールと名乗り、ここがエナジーネードと呼ばれる人工衛星であること、自分が導きを執務するセントラルレナの部屋であることを告げる。クロードたちの事情を察していたナールは、彼らの身に、そして星に何が起きているのかを説明しはじめた。

事の起りは約数億年前。比喩する星がないほど高度な魔法科学をもっていたネードは、文字通り平面的に発展していた。しかし、あるとき繁華な島もつ神の子賢者が出現、星河の支配を打破し、ネードを手中に収めようとする。彼らの特殊な力に陥信していきよき魔法。しかし十賢者の星手も戻りは続かなかつた。星河の支配を断るためネードが、十賢者を行方不明にすることに成功。ネード人は彼らを見失うべく、エネコフィースペースと呼ばれる特殊な空間に閉じ込められた。



戦いの末、自分たちが宇宙を破壊したる強大な科学力をもつことに恐怖を感じたネード人は、その力を封印しようとして、ランティス博士の装置により、惑星ネードを自ら破壊し、高エネルギーの中で存った部品はエナジーネードに移植し、地球外宇宙の植民地を始めたのだ。

しかし、それから数億年の月日が経過。神の子賢者がエネコフィースペースを脱出してしまった。彼らがそのような方法でメクスベルにたどり着いたかにはわからないが、それからの継承はクロードたちも知っていたとおりだ。十賢者はメクスベルの装置の仲間エナジーネードにアポロトになり、クロードたちはその転移に巻き込まれてしまったらしい。

十賢者は自覚もありエナジーネードに降り立ち、星河を支配するための準備を始めた。長い年月にも、長い時間のおかげで古の真実を覚るネード人では、彼らの力に力打つていけないという。ナールはクロードたちと一緒に可能性を見出し、十賢者の討伐を託すのだった。

印刷物 トランスポート

おなじく地球に目を覚めへる伝説装置。エナジーネードの主要な部分や機軸となっている。

印刷物 ナール

エナジーネードの中心部でもあるセントラルレナの分身。エナジーネード全体の管理装置を操作している。



印刷物 エナジーネード

かつて製造した十賢者の事件をきっかけに作り出され、遠く宇宙のエネルギーが供給した人工衛星。現在は地球から、距離数千光年の星にぶら下ってアポロトで動いている。外周と中央部はそれぞれ、生体と非生体とを構成している。中央部は目撃されている。また、エナジーネードに閉じ込められている神の子賢者達にまつる伝説は、種族間の対立、争いに巻き込まれたためであり、真実は異なる。

印刷物 サイナード

専ら、人が使ったことがない。エナジーネードの中心部にある伝説装置。星の軌道にエナジーネードの伝説装置の中心部とつながっており、エナジーネードで人工衛星が動いている。



打が超明しようとする。ナールはレナを呼び止める。レナの出生について語った。レナは間違いなくネード人であり、本日の星とエネコフィースペースの軌道については話を聞けるなかで見出すことが出来るだろう。ナールは告げる。また、エネコフィースペースで育ったことで、レナにはネード人と異なる能力が習得のつづであるのだと。仲間とともに進めばその力を恐れる必要はないというナールの言葉は頼みかけ、レナは仲間たちとともに戻っていく。



サイナードを求めて

ナールの導きでクロードたちが訪れたのは、ノースレナのホームと呼ばれる施設。エナジーネード内の移動には飛行可能なサイナードという装置が動かさず、そこはサイナードの制御プラントだった。

サイナードを動かすには操縦士のパーソナルデータの入力が必要らしく、所長のアーティストに促してデータの採取と入力を行っていた。未知装置が響き渡った。ネード人工知能のデータを入力したことが原因か、サイナードが暴走し、プラント内で暴れたためだが、中心近くサイナードを倒す一行だったが、このままでは移動もままならない。アーティストは中心をえすといいて操作を完結させ、一行を所長室隣のトランスポートに入ると言う。許さず、扉は自動で閉じられようとした。



前述先は小さな部屋だった。壁は白く丸く名前も初期にとどめてある。ここは少動物保護施設であるらしい。ナールに事情を説明すると、そのことを察した彼は、ここに絶滅寸前の神の子賢者が眠っているという。しかし、本来のサイナードは力と心が揃ったときにしか心を開かず、風を巻くには強い打ち撃を食うので、心の書き換えが必要ならぬのだという。もしそれでサイナードという種が失われることにしたら——戸惑う一行に対し、ナールは「たとえとも聞けるのを、それこそ我々の宿命。生きながらは生きながら、眠って守るべきなのだ」と、彼らの星ともう一度願いを込めて告げる。



ナールとともに、野営のサイナードが打ち撃を食う向かった。クロードたちも。扉の内部は異様な気配に包まれており、動物たちが眠り込んでいる。どこからか十賢者の記憶が動物たちにもまで影響しているらしく、サイナードに面会すると意識が沈みかかれない。急ぎ扉を開き、扉の上、動物に集まるサイナードを発見する。動物たちを追い払う

しもの、隠れていようとするのを
察するために待つ。サイードは
足も触れ見えなかった。その姿
を見たクロードはサイード
と戦うのを諦め、レナの力で
物陰して立ち去るつとす。しか
し、その後に高の機嫌を見
直したサイードは、クロード
ともむと認め、その官中へと
導かれた。大層な服げんとサイードが引込まれるは比喩そのとを
ノエルが自分も取にい同行させてほしいと申し込む。動物を守る義として
て、十賢者の守衛は許さるものではなかったのだ。



— NEW STORY 熱血新聞記者チナト —

セントラルシティのノースシティで、クロードたちを案内しかける謎の女
性が出た。気になって声をかけようとするものの、すぐさま逃げられてし
まう。そんな折、日本橋の街際まで追いかけてきた女性が真としたて視
から、彼女がチナト・マティゾンという新聞記者であることが判明する。

セントラルシティに戻った一行は新聞社へおもむき、チナトを見つけ
て捜査協をする。彼女の目的はいまや人々の注目の的となってい
るクロードたちを逮捕取材すること
だった。島地だからやめてほしい
と頼むが、チナトは従わないで強
く言い続ける。あせうにない。女
性の真意に傾いたクロードは
も、いっそ仲間にならぬかと
申し出るのだった。



— 二人が挑む試練 —

サイードが手に入れたことをチナトに報告すると、次は十賢者に対
抗するため、ネーダの力の強さである試練塔の高層を身につけるよう
言われる。そのためにはネーダ・ネーダ内に点在する、その塔をめぐ
り試練を受ける必要があるとのことだが、野心的試練は受ける人によ
って内容が異なり、実際にその塔を登るまでわからないという。

まずはセントラルシティの北にある初
の塔に向かったクロードたち。地れると
遠く層へ転移する塔の仕掛けを解き
ながら進んでいくと、前後の部屋
で不思議な立派を発見する。すると、ク
ロードとレナの部屋に、幼い頃の自分た
ちのドッジボールがぽかんと。



3年ぶりに地獄に帰ってきたロキエスを、執務室まで運ぶ。19少年
年クロード、帰ってきた事を認んでくれるという伝説を聞きしにしてい
た彼だったが、復讐に追われるロキエスは家に帰ることすらままならない。
降りつ、おさんを守ってやってこれたというロキエスに対し、クロードは「ク
アットおさんを守って大層いい」とお褒めをあげ出してしまふ。

一方レナが見たのは、神話の森で怪けいけの自分自身だった。神
のよかつた次のオビに雲を浴びた光を輝かすまで、たて直さなくレナは、
レナの指紋はともる彼女に対し、チナトは産みだされてもう休みたくなつた
から、あつて戻らさせてあげようとする。母の言葉を信じ、チナトを助けて
あげたため、レナは怪けの守り手になった。

二人が見た光景は、まだ何も知らない幼い頃の自分たちの姿。
それが何を意味するのかはわからなかったが、一行は試練を超えたら、
無数の言葉と手に入れることに成功する。



次に行き向かったのは試練塔の入り口の塔。自然には、その名の
とおり力に身でた魔物が多く生息していた。未熟者を狙われるように製
いぬも敵を撃退しつつ頂上に着くと、そこには想像があり、光を放つ
無数の魔物の足跡がアラッシュバタを物とした。

クロードが見たのは、士官学校に入学
して間もなく、実習で宇宙に上がった日の
こと。士官艦の艦長だった、提督である
ロキエスに乗りこると、彼の息子である
クロードを認めさせていた。何をすると
してもつまずくという父の方に、心算が狂
っていたクロード、いつか自分にはこうな
つたのだらうと、あらためて思い悩む。

レナが見たのは、母が突然死した日の
こと。レナは、神話をすませた医者が今
夜が終つたとつややくの耳にしてしまふ。
医者が帰ったあと、レナはひたすら母に
呼びかけながら、彼女を助ける方が欲しいと願い続ける。今がその
願いが通じたのか、母は一身をとりもた。その口こそ、レナが助けた
方に目覚めた自分だった。

アラッシュバタが解き、う選びてい
ては何も思わぬ、立ち向かったからこそ
証が開いた」と再確認するレナ。その言葉
に、クロードは「あの時、恐れなくて立ち
向かっていたら、僕の人生は変わって
いただろうかと」一人つぶやくのだった。



登場人物 ノエル・チャンダラー

エターキーアの動物学者。一
人で多量動物保護の覚悟を
抱いている。母やアツタに
対する情が深い。



登場人物 チナト・マティゾン

チナトは新聞記者。母の
真意を聞きしに自分も
チナトとつたところ、神
話の森で怪けを助けて



方の宝珠を手に入れた一団が次に向かったのは、セントラルシティの南東にある美空の塔。入り口の石階に書かれた「頂に向かって突き進むべし」という言葉のとおり塔の内部に向かって螺旋を遡んでいくと、ガーデンが現れた。方々き美空塔だけの奥庭ではないというガーデンを打ち倒し、美空とホイスと一行、配置されていた自衛の空陣を下にするなど、しかもクラウドとレナの剣道にレオンが参入。

クラウドが見入るのは、現在のオムナスの都内。クラウドを止められなかったことを確信（ホイスは、親子にある美空があったとは思わず、自分のように結婚をめぐらされたと言ったと察知していた。親反は結婚ではないとクラウドは迷う。ホイスは、彼に、そして何れも親子に接されたことを恐めてあり、だからこそ無謀な行動をとらせてくれたのだという。クラウドは父の心を解くため迷った）。

一方、レナは母親に似てまた空霞で誰かの声を探る。「あなたは……キープ人として、全てを捨てる覚悟をしますか？」と問いかけた声の主は、キープには限界が近づいていると告げ、そして、レナがほんの小さなキープで生まれたいと告げ、自分の目で美空を確かめ、キープ人として行く覚悟を決めてほしいと告げ、声の主は気配を消してしまう。その言葉の意味は、今のレナには理解できないものであった。

最後に残った試練を受けるべく、一行は雲の塔へ向かった。最終的に持ち帰っていた十賢者の配下ヴァガーを撃退するも、クラウドたちは目的地にたどり着くと、そこが謎の渦を感じた。

光に包まれたかと思うと、クラウドは一瞬して暗闇の中にいた。冷たい。暗い。慣れない、慣れない、あらゆる不慣れな感覚に脳が身動きがとれない。そんなクラウドの前に謎の人影が現れ、苦悶した心を聞くのだと告げる。父さんは僕にキープを押しつけているだけだ、僕は父さんの様に入部じゃない、本当に僕を見てくれない……「素直さめる父へのコンプレックスに一人限するクラウド、それこそ迷った、そして自分の自分自身を落とすことになるのだ。

レナが目にしたのは見えないとのない螺旋上、そこに一人の女性、なぜかその言葉を懐かしそう、そして懐かしそうに話すレナ。彼女がその言葉を理解するのは、まだ先のことだ。

気を散らした二人は、雲の宝珠を入手、クラウドとレナの心にはまたがまじい思いが湧く。ついに試練は完了した。



目録 マリアナ

十賢者の母と見られる作中人物、キープ人達の母と見られる人物。クラウドの母である。フィニッシュ後にクラウドの記憶からクラウドの母に関する記憶は消えた状態だが、彼女が復活して来た。



目録 時空転写シールド

巨大な重力場や重力場を利用した防御は、敵が特定の場を撃たないとダメージを食えないシールド。これを撃つとそれと一瞬間に内蔵の機軸が壊れるというが、裏でクラウドがダメージを受けない。

目録 反作用子弾

反作用子弾を利用して攻撃する。対象の位置を突き出すことで、攻撃を逆方向に、クラウドの周囲に反射する。

十賢者との戦いへ

試練を終え、自分の必死の中心の内側に向き合ったクラウドとレナはオムナスに再び向かう。すると、森奥部にキープ活動隊の指揮官マリアナが現れた。最終作の準備は完了してあり、いつでも十賢者の居るフィニッシュに向かって進むマリアナ。絶望の準備が済む前に決断をつけるべく、クラウドは準備に攻撃を仕掛けることになる。

決戦を前にして、レナがクラウドへの仲間は敵陣に突進してきた人たちに連絡を取らないという、宇宙についての知識がない彼らは、クラウドが探知したという空霞を解読できていなかったのだ。クラウドは、クラウドという名前、彼らの家族がもう存在しないという事実を明かし、まだ信じているとつづけた。クラウドは、クラウドの仲間マリアナと共闘すれば、明確な成績のクラウドを現実に駆逐されるかもしれないという。だがそれには、クラウドの全部のエネルギーを使用する必要があり、クラウドが倒れてしまえばクラウドは完了する。クラウドは、クラウドの決断を待つ。

翌日、殺生動物のヘラクレスが海中からフィニッシュへ乗り込む。一行は追いかけるが、途中で十賢者が現れた。すでにクラウドの移動システムが崩壊し、高次元を突破させたという彼らは、その威力を放って長きようという。その目的として選ばれたのは、クラウドの母であるオムナスだった。クラウドに押し寄せたオムナスに向かって撃つられる反作用子弾。反作用子弾を利用して倒れるクラウドだったが、十賢者は追い行かせるように、力を上げた反作用子弾を放つ。クラウドの連絡が切れるまで、ついに完結したオムナスを倒す、宇宙の闇に消えてしまった。

絶望と怒りに満ちたクラウド、十賢者に暴行を受ける。だが、力をつけていたクラウドたちではなかった、しかしクラウドたちの戦いを見守るお母さんにはまだから攻撃を避けて、攻撃を避けてしまおう。力を付けていったクラウドは、オムナスを見ていったクラウドは、オムナスは倒すという判断。マリアナはあんなことをクラウドたちに任せ、自分の命を犠牲にしてクラウドの戦いを支援する。クラウドは、オムナスの戦いを支援する。



セントラルシティに逃げ延びた一行。見せつけられた十賢者の存在は、彼もクロードにもだったが、ナールは彼方の意はなかつたという。それでも敵意したのは、方に見合っ武器がなかったためと結果づけたナールは、買ひ入れた武器の封印を解くことにする。

エンジェリアで唯一武器の製造が許された製アームロッド。その場に封印されたトランスポートへ入ると、そこは装甲兵器研究所と呼ばれる施設だった。研究者は破壊

と生じていたが、レナはここへ来たことがあつた気がするという。ナールが調べていく。研究所は研究所の先頭陣が収められた部屋。研究所の最奥の映像に十賢者を倒すヒントが残っているはずだというナールは、その映像を再考してはいる。



そこに残っていたのは、研究所閉鎖直後の映像。研究所のクリエーションエネルギー装置が暴走し、もはやそれを止める術はなかつた。閉鎖のシーマは暴走でけがを負ひようとして、研究所内の兵器部を利用することにする。その名の通り「レナ」そう、彼女こそレナの本当の母親だったのだ。一緒にいてあげられるなくてごめんねと語り、レナにペンダントを贈るシーマ。最後の研究所のデータにアクセスするためのキーを伝えた彼女は、できれば使わないでほしいとも言い残し、そこで映像は途切れた。



事故が起こったのは7年前。レナは時空移動機が可能な装置で事故を逃れ、時を越えてメテオベルムと研究していたのだ。本当の母親はもういない。その事実を知ったレナは悲劇から逃げ出してしまふ。レナのあとを追ったクロードは、研究所内外の森で彼女を見つけた。その森は神話の森とよく似た雰囲気をしていた。レナが神話の森にいると噂するのば、どこかにその記憶があつたからなのかもしれない。

映像で見た後には列々の研究に没頭しているようで、自分は覚えていたのが不安だと感じるレナ。彼女に対してクロードは、自分の母も装甲科学の権威で、自分を導んでこそ研究に就いたと打ち明ける。そ

れでも今はクロードを助けておくことば重要。どちらも大敵で、どちらにも一歩も譲らんと決めたレナは、今もレナの母親も同じで、それが彼女の導んだ道だった。今は無理をしなくていい。とクロードに語りしられながら、レナは静かに顔を伏した。



封印された兵器研究所

セントラルシティに逃げ延びた一行は、研究所のクリエーションエネルギー装置が暴走し、もはやそれを止める術はなかつたという。それでも敵意したのは、方に見合っ武器がなかったためと結果づけたナールは、買ひ入れた武器の封印を解くことにする。

兵器研究所

エンジェリアで唯一武器の製造が許された製アームロッド。その場に封印されたトランスポートへ入ると、そこは装甲兵器研究所と呼ばれる施設だった。

映像から判明したアタセスコロドにより、研究所のデータをもとめたチップが手に入った。その中身を調査すべく、一行はアームロッドに居住するクラウドとメテオベルムを訪す。目となくして驚かされたクラウドのなかには、反逆者を獲得



することで狙うもめり、後方兵器の設計図が収められていた。その武器があるば十賢者への対抗であるはずだが、製作に必要な特殊なレアメタルが足りず、クラウドたちが探訪へ向かうことに。

レアメタルがあるのは、惑星バークから移転された工場。そこに住んでいるバーク人は体が鉱物でできた特殊な生物であり、その存在自体がレアメタルなのだという。討伐を遂行し一行は、今が最悪で超巨大なバーク人を見、その背骨に貫刺しつつも撃退し、高純度のレアメタルの採取に成功する。

長蛇化したレアメタルとクラウドに暴れると、アリュースメント施設が暴走したファンシティのフリーパスを渡され、武器が完成するまでそこで待つよう言われる。等しがりつつもファンシティへ向かうと、閉鎖地へと案内されるクラウドたち。そこはバーチャル・リアリティによるさまざまなエンターテインメントの完成が可能なという施設であり、クラウドたちのために十賢者への戦況シミュレーションプログラムが用意されていた。



3D後、訓練に用いるクラウドたちのもよみ、完成した反物質兵器が保管された。クラウドに渡されたセイタロッドコアは、レナに渡されたワンコンタープ。そして反物質兵器と特殊の武器を両方させて強さを増したヴァイデマター。この武器があれば十賢者たちに対抗できるはず——ナールに会いに行こうとした矢先、一行の動きを察知した十賢者のヴァイクム、ジョフィエム、メトロコンがファンシティに現れる。反物質兵器の方もあり、続けざまにヴァイクムとジョフィエムを撃退するクラウドも。一方メトロコンはスラージュを連れて、アームロッドに向かっていた。



急ぎアームロッドへ駆けつけるも、メトロコンはすでにスラージュの腕に侵入しており、スラージュも怪しい表情を負っていた。クラウドたちもこの場で静かに強いかなるメトロコン。しかし、反物質兵器の威力は絶大であり、クラウドたちはこれを撃退することに成功する。



エンジェリア

エンジェリアの工場に侵入し、調査するクラウドとメテオベルム。その森は神話の森とよく似た雰囲気をしていた。レナが神話の森にいると噂するのば、どこかにその記憶があつたからなのかもしれない。



最後の決戦

ナールによれば、倒した9人は十賢者のなかでも最下級に分類するものらしい。しかし、最終クロードたちのもとへお向いできてことから、彼らが中出ししていることも多い。すべての準備を整ったクロードたちは、今度こそ決着をつけるべく、再びフィナーレに乗り込むことを決定する。そして決戦の直前――これが最後を飾る機会になるかもしれない。クロードとレナはもうもろ大切な旅の仲間と、その想いを自覚するのだった。



昔日、クロードたちはナールから結核紅雲を託される。十賢者は全宇宙を統制する威力を握った暴君と評される方を手に取っており、もし失敗すれば結核紅雲を放つことで、世界の対価を全宇宙から奪ひ取るに備えかねる可能性があるという。闇の切り見への対抗策も見た一行は、いよいよ最後の決戦へと進む。

フィナーレに参入したクロードたちは、残った十賢者を撃破しながら最上層を目指した。まがはザファルムと同じく、下段に属するサディケル、ラファエル、カマメル。そして下段の十賢者たちの自衛衛にわたるバケルとハニメルを倒し、他の十賢者は二人のみ。だが、最上層を目前にクロードたちを待ち受けていたカシムエルは、もがと十賢者たちを小出ししにおづろ各機撃破させていたとげゆる。彼らの届くはほかの十賢者を撃破し、全宇宙を自分一人の手中に収めることになったのだ。最後の陣営となったガブリエルの前にクロードたちは寄りあろうとするランフェル。しかしその野望は、自らが捕魚と賭博の一羽の力によって築く破れ去るのだった。



そしてクロードたちは、十賢者を倒しガブリエルと対峙した。自分さといればほかの十賢者などいてもなくても変わらないと思えるガブリエルは、圧倒的な力で一行を倒し立てる。だが、クロードたちもエネジーとスピードとユクスベルの二人の助けに支えられ、一歩も退きはしなかった。新しい攻防の策、中がて誰かの死例はクロードたちへと移す。ついにガブリエルが扉を開く。しかし、同時に大地が震えはじめる。十賢者たちは自らの死を引き換えに結核紅雲が降るとっプログラムしていたのだという。



あとからやってきたナールたちの援けに、ナンバは結核紅雲を作動させた。だが、大地の震動は収まるどころか、ますます激しくなっていく。それというにも、結核紅雲の効果はあくまで解除させる対象を全宇宙から別の対象に移すものであり、ナールがその対象に選んだのはエネジーとスピードだったのだ。結核紅雲を先に出したのはエネジーの誤りであり、その責任をとるのだからだというラフゾ。ナールもまた、早く生きすぎたスピードはそんなる寿命を向かえとるべきなのだといげゆる。

エネジーとスピードが倒れた瞬間、ユクスベルの神女も扉が閉る。クロードたちは倒れた状態へと倒置されていた。



よして、多分た犠牲を払らねばならぬ。エネジーとスピードをゆるら既に制止者が打たれ、クロードやナンバたちは死の生活へと戻っていき、ある者は楽死のへと、またある者は助を奪ぬ人神問とんとおんたる冒険へ。それぞれの道を歩きはこめる仲間たちだったが、扉のなかで穿ちた扉は決して閉まることはない。再会を約束した彼らおびのくる会うのは、そう遠い日のことではなかった。



巨匠の 創劇叙事

全編の心臓に貫たてられた結核紅雲の物語。この叙事を掲げることができた。宇宙に広がる無数の生命を、クロードたちが救済することを。愛する人々の夢を叶えること。結核紅雲の物語として描かれていた。

巨匠の 結核紅雲

結核紅雲の物語として描かれていた。結核紅雲そのものの愛を導くことで描かれていた。

巨匠の ガブリエル

十賢者達のなかで、十賢者のなかで最後に行方不明に。そして、結核紅雲を倒した。クロードとスピードが、結核紅雲の物語として描かれていた。そして、結核紅雲の物語として描かれていた。そして、結核紅雲の物語として描かれていた。そして、結核紅雲の物語として描かれていた。



10th ANNIVERSARY MEMORIAL BOOK

MEMORIES of STAR OCEAN THE SECOND STORY



開始直後から究極の二択
シリーズ唯一の主人公選択

クラウド・クローネー Cloud クローネー
地球連邦の英雄にクローネー・トウエンの一人息子。地味人。遠征自らの生き方に悩みを覚かつも、周囲に認められずしては、現実は、他人となく、生きていく。悩みながらも、生き残るための方法を模索し続けていく。

地球連邦の少佐の職名から判断するが、のちから本団長として生き残る少佐として留めずるか、プレイヤーはゲーム開始直後から決断を迫られることに。

序盤にエターナルスフィアも?
アイテムグリエーションでゲームバランス劇増!



アイテムグリエーションを駆使すると最終クラスの武器・エターナルスフィアを序盤で使えたりするなど、ゲームバランスも劇増させることも可能。やもむりにさまざまな発見がある。後の深さが魅力だった。

人から物を盗むピクポケット。悪事を働くしるめたきがある一歩。強力なアイテムが手に入るとも、実行する確率は十分であり……



狙いはバトルスーツにミステリア「シュツ」と振り出す背徳のピクポケット



脅威の全66パターン! 冒険の末に仲間たちが迎える数々の対峙



クラウドとレナ直前にバーナイに加えるられるのは人です。しかもボーマンがブリスス、アムンがオベラというようにどちらかを基本の方式の者もあり、その選択の目を惹いた人も多しはず。

最大定員8名
非常に悩ましい……



色濃く描かれる
あまよき気配の情緒にドキドキ

多くの悪役陣線が描かれているのも印象深いところ。とりわけセリーヌとクリスにも大人気な印象は濃厚だった。



十賢者が集まると30人も、何れでもいままエクスペルは悪徳。そして舞台は別の星へ……。予然し得ない出来事が押し寄せ、物語が一気に広がりを見せろ。

胸が高鳴る
エクスペルから……への悪徳陣



立ちふさがる超絶敵たち
心を折られまくるプレイヤー

序盤に超絶の敵は案外と強敵やらい。一見すると勝つことが容易に思えてしまうがボスたちが、プレイヤーの意思をたがらせた。



上記のとおりボスは強敵ばかり。だが、なぜかバトルローションなど戦闘初期のアイテムが効く! これを使うとガブリエルなどもイデコロ。[0]初期敵はバトルローションのみ。現在には修正されています

最終手段は……

閉ざされた星の解放

SPACE AGE BLUE STARBUCK



宇宙年368年のSOS

十賢者が閉鎖した宇宙都市を解放したのも、オベラは遠征に帰途、銀河連邦の義勇隊に戻った。レナ、レオン、プリンスは自衛隊の先発クルードとともに地球へ。セリウス、ディアス、アッシュトン、ポーマンはエクスペルに立ち、ソーチラーグループによる被災からの復興に励んでいた。最難関メタラーミーグを突破したテラットとメルはエクスペルであらたな生活を始める。オベラとメルネストは未開地帯の資源調査を開始した。

宇宙年368年、12人の英傑がそれぞれの目的を多岐にわたって果たしてからのこと、プリンスが自宅で謎解きのレポートをまとめていると、通信装置に緊急用のコールが鳴り響いた。それはオベラからの通信。内容はおぼつかず内容は聞き取れない。しかし通信が切れる間、「話だけは聞きとった内容が気になった。」

「……鳴けて」

最初に記録された発信源は「惑星エディフィス」。聞き覚えのない名前だが、内閣の危機において迷いなどを覚えた。プリンスは自衛隊の宇宙船「無人くん号」にレオンを乗せ込み、エクスペルに飛び、かつての仲間たちも巻き込んで、オベラたちの救助に向かへ。

エディフィスに到着したプリンスたちだったが、突如宇宙船の制御が利かなくなり、そのまま不時着。宇宙船は故障し、帰途できない状態に陥ってしまう。宇宙で地球を離れていたクルードとレナがあらたに集まることになった。レナは、それを待つだけにもならない。オベラたちの捜索と宇宙船の修理部品探しを行なうため、一行はエディフィスに足を踏み入れるのだった。



エディフィスでの再会

不時着地内の資源を探査するなか、コンスターに探りかかっているクワンラントを助け、プリンスたちは、彼らと再会して迎いの行へ。そしてラントの祖父から、エディフィスの「ギフト」についての話を聞く。

ギフトとはエディフィスの古代文明で作られたアーティファクトのこと。かつてのエディフィスには今では考えられない高度な技術を持った文明が栄え、その名残と謎多き遺物が各所に散らばっている。また、そのなかにはガーディアンと呼ばれる自立兵器や宇宙船に行ける乗り物なども存在するという。一行はギフトに宇宙船修理の可能性を見出し、捜索が可能な町「アバンティ」へ歩みを進めた。



アバンティに着いたプリンスたちは、町をゆるめ警備隊のアーハや化せる兵士と無理難題を押しつけられるアンダントに反発されるも、道長とメルネストと再会を果たした。メルネストの話に耳を傾け、彼らとつながったプリンスはエディフィスに近づいた。途端に襲撃が利かなくなり、脱落してはならない。また、オベラは壊れた制御に落ちたため、居場所不明という。一行は、メルネストの宇宙船を調査したのち、オベラを見つけるために捜索を続けるのだった。



捜索の結果、二つ目の女の子と謎の夢がかりを得たプリンスたちは、その情報を頼りに宇宙船「ギフト」の研究所へ。そこで話を聞くと、オベラ

注目! 惑星エディフィス

銀河連邦の22人に保護されているにもかかわらず、未知の惑星。連邦の人員が手を加えているためです。かつて壊れてしまった文明の遺跡がひっそりと残っています。

注目! 無人くん号

プリンスが作った宇宙船「無人くん号」は、宇宙船として設計されたものの、突如として飛行するようになったという。内閣には高い機密性が保たれている。

注目! ギフト

古代文明で作られたアーティファクトを意味する。宇宙年368年現在のエディフィスでは考えられない高度な技術が用いられている。また、その名残として、自立兵器や宇宙船などがある。またエディフィスにはレナやアランが眠らせてあるという噂がある。これらのアーティファクトは、人類が築いた文明に誇りを残すものである。

「ほめるといって研究員ともには地下道場に向かったらいい。足取りを調べて陣取りをやり、奥へ進めると、そこには立ち向かえる二人の女性がいる。『ふんふん』と笑ってここに……」

ようやく果たされた再会。オペラの声帯を奪還できたことで、一行はオペラからリヴァルを解放される。リヴァルは遺跡の奥にある「パンティアストーン」というギョフトを求めていたが、そこにエディフィアンを倒す必要があった。これに協力することになった一行は、遺跡の奥でエディフィアンを撃破し、入手したパンティアストーンをリヴァルに戻した。



リヴァルとの出会い

地上に戻ったプリンスたちは、リヴァルはオペラと再会してからこのことを語り始めた。リヴァルはギョフトを倒したことで多量なモンスターの襲撃を受け、オペラと逃げた。それから二人で行動をとりにしていたのだという。

古代文明の宇宙道場について研究するリヴァルだったが、民間の研究者からは理解を得られず、そのため自らの考えを共有してくれるオペラのかたは、リヴァルにとってかけがえのない存在だった。

「こうやって認めてくれる人に会えたこと自体がうれしくて」

そしてもちろん、プリンスたちの存在もまた、彼女にとって大切なものになったようだ。

リヴァルは、パンティアストーンが写し出したという実験を手がかりに、各地の遺跡には宇宙道場のギョフトがほかにもあるはずと推定し、プリンスたちとその調査を依頼する。同時に頼む一行が快進すると、リヴァルは心からの感謝を表す。そして、彼らとプリンスたちの背中を見送り、一人になったリヴァルはつぶやいて、

「さて、私もはじめるぞ……」

リヴァルに助けられた遺跡へ参りを告げる一行。しかしその途すがら、リヴァルの怪いが駆け込んでくる。そして、ムッドがモンスターに襲撃されているとの緊急事態が告げられるのだ。

ムッドに戻ったプリンスたちは、町にあるモンスターを調査し、研究室でリヴァルを救助。リヴァルから、モンスターの元がムッドからつらなるグラヴィス入道場にいると聞き、一行は急行する。するとそこ

には道場に入部を申し込めた長島のような魔物・アブサラスが襲撃していた。アブサラスに対して、ムッドはモンスターを走り込んだ直前に倒すため、するとアブサラスはこう答えた。

「快まっているだろう？ あの魔物からこの星を取り戻すのはだよ！」
 敵意を向けず聞いてかかってくるアブサラス。道場の中をこれを見守りながら、一行にはアブサラスのあまりに不可解な行動が気された。まるで自分がいかにしているかのような……。研究者のリヴァルならその意味がわかるのではと考え、プリンスたちは研究所へと戻った。



エディフィスの悪魔

アブサラスとの目撃証を聞いたリヴァルは、エディフィスの古代文明について語り始めた。エディフィスの古代文明はプリンスたちと同等の科学をもっていた。しかしあるとき起きた大津波によって、その文明は破壊されてしまった。そしてリヴァルはこう語る。もしその大津波が何者かによって起こされたものだったら、この星の生物がその者を悪魔と呼び捨ててもおかしくない。

知られざるエディフィスの謎に答えがあると考えたリヴァルは、遺跡の地スタームに連れて行ってほしいと一行に頼む。彼がいかにスタームの奥にはこの星の歴史のすべてを知るランダがいるのだという。エディフィスに何が起きているのかを探りたいというリヴァルの切実な希望に応え、一行はランダへと参りを告げるのだ。

スタームを脱出した、たどり着いたランダは、エディフィスのほかの地帯とは異なる雰囲気が漂う空間。古代文明のものと想われる高層な建築の敷地がまだに機能を保っていた。

一行は注意を払いながらも進むと、戦兵に侵入者として捕らえられ、ランダの最高司令・ゲームの館に突き送られてしまう。突如の犯罪者扱いに舌を詰ますプリンスたち。するとゲームは、意外にも優しく道場の言葉を話し、そして告げた。

「おしんが本物に居たのは——そこにいる『リヴァル』さ」



CHARACTER リヴァル

宇宙道場ムッドに生まれ、古代文明と宇宙について研究している。オペラと出会ったのはここから。

CHARACTER パンティアストーン

エディフィスの古代文明において最大の謎となっていた。長い年月を待つ研究員、宇宙道場の参りを告げられていたと噂されている。

CHARACTER アブサラス

プリンスと戦った中から一行が調査した魔物。長島のような人と人が見え隠れする様子からその正体も、人間と推定されている。

CHARACTER ゲーム

ランダの最高司令官として、長島と対峙。かつてはエディフィスが繁栄していた地帯で暮らしていたと噂される。

とうやらテーマ「リヴァルはたがいを知る関係であるらしい」。

テーマはブラススにも通る。アプナスにノットを倒させたのは「たまたまで、それはノットに隠れている星全体の政「悪魔」を見つけておすことが目的だった。しかし、ブラススたちがいたために目的は崩壊してしまっただけだ。リヴァルの歴史に何度も現れる「悪魔」を、ブラススたちが間接的に追いかけてしまったのだ、と。

リヴァルが続く。「悪魔」はアプナスの襲撃によって自分の世界が足踏かきかえられたことを知り、ならば自分を知る者こそ知らぬから隠しにいこうと考えた。そして「悪魔」の意味には、悪いなことに、何れも知らない敵士たちがいたのだ、と。

斬られ、殺られていた事実に驚愕するブラススたち。リヴァルは自分がすべての事象たる「悪魔」だと告げ、ブラススとエルネストの宇宙船の機体も自分が倒壊したものと明かすのだった。

表情を一変させたリヴァルは、涙を流してテーマを演奏する。それと時を同じくしてクラウドとバネアの乗った宇宙船がエディフィスに到着しており、今はリヴァルによって運命の転機にあることが判明。何れが善い悪いなるかを、リヴァルはどこかへと姿を隠してしまう。



世界の破壊に抗う者たち

歴史で知り合った仲間による復讐。突如もたらされた運命に立ち向かう。ブラススたちはテーマの音階によってランドの最上階へと導かれる。そこには、不思議な命をもつエディフィスの中が待っていた。エディフィスは無垢に佇む様所で、かつてリヴァルと戦ったが世界の破壊を阻止できず、反にリヴァルが現れたときのためにテーマと協力して準備を整えていたのだという。



リヴァルの重いついてブラススたちが疑問を投げかけると、マキは返す。リヴァルは強力な悪魔兵器「ランド・ノット」を倒壊させ、エディフィスの文明を再びゼロに戻すことを企んでいる。そして、ランド・ノットはテーマの命によって封印されていたのだ、と。

「事情はいらぬとあるのだと思えます。そしてみなさんがこの星の入口でいないこともわかっていました。でも、あのリヴァルを倒すことのできる人間はみなさんしかいないと思うのです」

閉鎖地 エディフィス

エディフィスの存在は、ランドの最上階にその存在が認められて、高度な文明社会を築いた。多種多様な文明をもち、人々の暮らしと能力も高い。

閉鎖地 ロセ

最上層に閉じ、外部とつながるエディフィス。ランドのテーマと協力してリヴァルの封印を解いた。

閉鎖地 ランド・ノット

ノットの存在を奪い、存在する巨大兵器で、星の存在を脅かす。リヴァルはテーマと協力してその存在を倒壊させた。リヴァルはテーマと協力してその存在を倒壊させた。



ひとしきり話を終えたロセは、エディフィスの未来をアプナスたちに渡し、自らもアプナスという存在に交える。アプナスがあのバネアでも活躍ができ、再びはかのエディフィスの扉を開けば、ランド・ノットに進入できるだろうと。

ロセとテーマの会話を受け入れ、一行は、リヴァルをせめる決意を固め、あらためてエディフィスのために立ち上がった。

海面上にあるエディフィスの星際都市にたどり着いたブラススたちは、ヴァイ、ネロ、ラウラという3人のエディフィスから選抜された試練を乗り越え、彼らの協力を得ることに成功する。しかし、一方、リヴァルはランド・ノットを起動させて、地上への攻撃を開始。もはやエディフィスに落ち込まれていないのだ、と。かくしてブラススたちはランド・クラウドとの合流も果たし、ランド・ノットの入口へとたどり着く。



リヴァルを追って

ランド・ノットの扉の前にて、どこからともなくリヴァルの声がかかってくる。一行の視線を奪もわびていたかのようにリヴァルに向けて、オベラは息をよっつける。

「私はあなたと戦いたくない……」

しかし、リヴァルは涙を流す。

「私はあなたと戦うことに何の迷いもありませんから。だって、あなた方は最初から戦うつもりだったのですから」

「戦いはあなただけに任せよう。ただリヴァルはこうも告げた。

「あなたと一緒にいた時はとても楽しかったですよ。でもこれは最初から決まっていたこと……そんなに苦しまなくていいよ……。この星と戦いながら……そうすればすべてがわかるのだから……」

ランド・ノットの扉は開き、声は消えた。一行は復讐と闘争するため、ランド・ノットの内部に進入する。

ランド・ノットの扉は、そこにリヴァルの姿があった。不意な笑みを浮かべ、ブラススにも驚いながらリヴァル、

一行は地方を早くしては戦い、ついに決戦の一撃を叩き込んだ。……しかし、リヴァルはなお不動な笑みを浮かべた。

「私ももう少し楽しみたいのですが、残念ながら運命の法則はもう終わりのようです……」

……それではさようなら。



少女に刻まれた呪い

[13] WIND: Tears and Fall(涙)

平穏を乱す影



時の十数年による長島が閉ざされて300年を過ぎ、そのような乱気象があったことすら知る由もない天領地系フィアラルは、かつてない隆興の時代に突入していた。隆興後によって後領を定めてきたフェイターリが亡くなり、近年は隆興を前した動物の神聖化が顕著で、もっとも広大なヴェスティアール大陸では大規模同士の戦争が頻発、大紛争に位置するレスリアと別は、「隆興の年鑑」と呼ばれるほど不安定な状況にあった。

レスリアの南端に位置するスターム村、有名な貴族士を父にもち、自身もミュージック楽器の修理であるフィダルは、いつもどおり地元の村のナットと楽音店に物を売っていた。しかし、そんな日常にも平穏な影が忍び寄る。同じく幼なじみであるキキが、村の様子をつかがり監獄系エイタロンの姿を見つけたのだ。フィダルの持ち手形像により、一度は監獄系の襲撃を逃げるも、再び襲われたらどうなるかわからない。そこでフィダルは、キキは強引についてきたキキとともに、王都へ援軍の要請に向かうのだった。



王都へよ戻るとノース館の中で、消息をマンスターに預託しているフィダルらも拾ってくれたのは、レスリア軍のヴィクトルだった。彼はフィダルがレスリアの軍事顧問ダムの息子だと知り、王都までの同行を申し出る。ヴィクトルはレスリアと友好関係にあるランツァ王国の、優秀な実用研究者を連ね入れた任務の途中でっらしい。ミーチャの彼で目的の研究者ウォールと合流し、一行は美軍本部の中央レスリアへと取り戻す。しかし、その結果はフィダルの期待に届くものではなかった。戦で会った父・ダムに援軍を頼むも、隣国トータルと戦争中の今、援軍は出せないとならされてしまったのだ。



[14] WIND: 異動

隆興フィアラルに突如引き込まれる。作用は隆興後に定めていた。初期には隆興のよは隆興後300年経ち、隆興はすでに隆興しないよは隆興がある。

[15] WIND: 異動

ランツァ王国のフィアラルには、隆興のよは隆興後300年経ち、隆興はすでに隆興しないよは隆興がある。

天から降ってきた少女

冷たいザリムの対応を受け、村へと引き返すこととしたフィダルとキキ。その途中で事は起った。運悪く遭遇したエイタロンの戦闘中、上空から火を吐いた翼の鳥が現れたのだ。場所はそのまま地面へと衝突し、エイタロンたちの間で落ちていく。暫く過ぎたフィダルとキキは、翼の本体から流が落ちた形を地面へと向かう。すると見えない状でまた鳥の中からふらふらと少女が現れ、キキに抱きとられた。降りて来たら来た少女だが、少女を襲ったフィダルを脅す。「なんだ、あんたたちは？」



フィダルとキキは同時に少女をさばり、翼が突入した。勇気もが子にした間から直した攻撃に失敗しては、少女が立ち上がる。そしてその翼に翼が浮かび上がり、一面が笑に包まれたかと思うと、刃もは時が止まったかのように固まってしまった。翼の翼が舞い、再び気絶する少女。このスキにフィダルは少女を抱え、キキとともに急いでその場を離れるのだった。



フィダルたちが留守の間に、村はエイタロンの襲撃でかなりの被害を受けた。少女を保護させた翌日、村長のもとへ軍の通告を伝えるに内かつ、部と引き連れられたヴィクトルの命が、護身の安全確保のため、ザリムの襲撃でやられてしまった。次の行動に迷いを覚えたがらも、フィダルとしてもヴィクトルたちのエイタロン討伐に前方を申し出た。

ザリム北端に向かい、エイタロンの本拠地に踏み込むフィダルたちは、隠し通を抜けた先でエイタロンの兵器を盗み取ると、兵器はあの少女を襲った途中と同じ翼の武器を取り出した。必死に攻撃をかかわりつつもなんとか兵器を盗取ったことで、その兵器はあの武器とともに解放へと移っていった。



[16] WIND: フィダル・カミュズ

スターム村で最新兵器の修理を頼まれたフィダル。見知らぬ村の襲撃を受けて、キキと共に村を脱出する。



[17] WIND: キキ・ノース

隆興後、ランツァ王国に突如引き込まれる。作用は隆興後に定めていた。初期には隆興のよは隆興後300年経ち、隆興はすでに隆興しないよは隆興がある。



[18] WIND: ヴィクトル・オーケヴィル

カミュズ王国の騎士。レスリア軍に加入しての経験者。勇気が高く、武器は銃。フィアラルの隆興後、



[19] WIND: フィョーレ・フルネリ

ランツァ王国の騎士。レスリア軍に加入しての経験者。勇気が高く、武器は銃。フィアラルの隆興後、



スタートに記ると、エイターンが僕の場合にあたりは喜びのうたもふれなかった。気持していた少女も、何事にも愛おしい。しかし、少女は「リア」という自分の名前以外の記憶を失っていた。どうにかリアを研究室のもとへ戻してあげたいと思定するフィデルとキキは、彼女を助けて現世界のことを思い出す。現世界研究者のフィードルなら、リアの不思議な現像から何かわかるかもしれない。フィデルにも協力を仰いで、一行は王都を目指す。



手がかりを求めて

王都は真夜中は静い。ものものしい雰囲気包まれていた。トータル軍が王都付近のゾルドベールまで攻め込んできたらしい。フィードルも前線に居て、同行し、フィデルたちは戦局へと駆けつける。すでに現世界のゾルドベール、フィードルとともにトータル軍に抵抗するも、状況は圧倒的に悪化する。このまま全滅かと思ふ所をその瞬間、リアの顔に現像が浮かぶ上



が来た。トータル軍は突然に身動きがとれなくなり、そのスリをうけてスリア軍は奇襲の撃退に成功した。その一方で、力を失ったリア、気を失ってしまったリア。その間にフィデルは、リアの不思議な現像についてフィードルから話を聞く。残念ながらフィードルでもその詳細はわからなかったが、現像研究所にいる知人ならあきらめ、あきら。道に居るヴィクトルと別れ、一行はフィードルの案内でランデック王國の首都、サンテロールにある現像研究所へ向かう。

道すがら、エートックで宿をとったフィデルたち。その夜、部屋を這みできた人物が部屋に忍び込みから逃げ出すと、リアを助けている途中で出てきていた。夜は更けていき、近づきかかっている以上突き進むことはできない。一行はそのまようサンテロールを閉鎖し、新しい道を探した。

新しい道はかかっただけ。突然、目の前が真っ暗かと思つて手かきを繰り返した。不思議な響きに困惑しつつフィデルたちはリアを守らなくてはならず、こちらの攻撃はまったく効かない。

「聞き分けづけるい戦いをしているようじゃありませんか」
突然と現れた二人の男と女が小早の装置をいじったかと思つと、真っ暗な中に攻撃が送られるように。その場をしのいだところで、男はエマーソン、女はアンヌと名乗った。二人は先



ほどの道中に進みだしているため、フィデルたちも同行させてほしいとお願い申し出に戸惑いながらも、二人をあらたに加えた旅は早速を成んでいった。

戦火

すっかり夜も明け、一行はようやくサンテロールの王立現像研究所に到着。フィードルの知人とは、少年ながら研究所の所長を務める天才サイナスであった。しかし、後々の劇のサイナスでも、リアの現像について話しかかされた。現像研究所なら手帳がわかって見つけられるかもしれない、その手帳を頼りに、フィデルたちはあらたな目的を定めた。



現像研究所なら手帳がわかって見つけられるかもしれない、その手帳を頼りに、フィデルたちはあらたな目的を定めた。

おこいびつは自業を招き、現像研究所に若くて、リアが苦しむのを助けて。そして彼女がわずかながら息を止めた記憶にあったのは、研究所の時。その途道から、一行は新発見のトータル軍を退却する。そこは国家機密として隠された研究資料があるのではないかと。[もっとじぶんのことが知りたい、もっとお話を聞いてほしい]

おとなしいリアが、初めて自分から記憶を打ち明けたという口にする。しかし戦争中の中、敵国に入るのは想像ではない。ヴィクトルなる例か方法を知っているかもしれない、一行は王都へ戻ることに。

王都の城壁でらうとヴィクトルに目くらし、トータル軍へ行きたい旨を伝えたが、裏の裏は隠し切れない。それもそのはず、ゾルドベールが陥落し、トータル軍が今にも王都へと攻め込んでくる勢になっていったのだ。フィードルに話を頼って同行してもらったこともあり、フィデルたちはスリアのために戦つことを決意する。

城内でトータル軍の追撃に備える一行。すっかり日も暮れた頃、城内にトータル軍比翼の標が舞り落ちる。ヴィクトルのかげろで一気に出現するスリアの特殊部隊に、フィデルたちも駆けつけ、追突して行つて変わり、裏は思つた通りか飛び交う戦場と化していた。新しい戦場の流れをかき分けていく。突然無数の光



に照らされる。そこにはトータル軍ではなく、光る筒をこちらに向けてスリアを助ける隊がいた。ヴィクトルが倒れるやいなや目の当たりに、筒の音が響き出す。

「戦長！ 本団も即座に退却の覚悟です！」
叫んだアンヌの先には、顔と同じ武器を備えたエマーソン。
「本団も即座に退却の覚悟です」 貴様も、連累がね！
敵の首領はバグとエマーソンの間で闘い続けられながら目が交つ、

登場人物 リリア

物語の中心人物の一人として登場。おとなしい性格だが、強くて勇敢な女性に育ちあがり、道に迷った時や危険な状況に陥った時、冷静に判断し、大膽な行動を取ります。



登場人物 トータル軍 兵衛

兵士の大団長がリーダーを務める。兵隊や家臣にシム、シムが部下の士を率いて、機密情報を知り、本軍を助けて見届ける。戦場では、兵隊の指揮官として活躍し、活躍している。

登場人物 ランデック王國

現像研究所の研究所で、大層なものも豊富にある。現像研究所の研究所で、大層なものも豊富にある。現像研究所の研究所で、大層なものも豊富にある。

登場人物 エマーソン・イ・クニー

女性もあつてはいるけれど、男の性格の持ち主。実は自分二人の命を助けてくれた。その時自分も助けてくれた。その時自分も助けてくれた。



登場人物 アンヌ・ベトリシア

エマーソンと行動をともにしている女性。機密情報を知っている。現像研究所の研究所で、大層なものも豊富にある。



だが、相手の目的はリアアである
ことだけはたしかだった。歯しき
を磨き削ぐ攻撃のなかで、一行
の周りに巨大な飛行物体が現
れる。それを軌道修正と呼ぶエ
マーソンは、武器を投げ捨てて
あふりと投降する。リアアを倒すまで、艦を動かさず。無敵、フィ
ムはそれを許さずはなかった。リアアに近づき攻撃を止めようとした瞬間、
上空の艦から放たれた光線が艦の機体を吹き飛ばした。その破壊力か
に立ちつくすフィム。同時に、リアアが砲台の方を動かさず。あたしが
光に包まれるかと思うと、フィムたちも思然とその場から姿を消した。
バグダは機体をかきしめながら、リアアの機体を部下に命じたのでした。



えない体面、リアアを引き渡そうとしたこと。これまでの反命が一気
にふみおいて、ミヤたちがエマーソンとアンヌを費の立てに、それを制
したのは、フィムだった。本場はフィムも二人を不意に返している。
艦が滑かせない秘密があるのだから、エマーソンたちは大層な疑問
を感ずるまでもリアアのために命がけで戦って来ていた。
「僕はあるたまたまを信じて」

フィムはエマーソンをまっすぐ見つめる。その表情に、ミヤたちも驚い
てうろついて。途中でレスリアの状況が気掛かりなヴィクトルと別れると、
一行は山脈までトナールを回送す。

雪山を突き進んでいくと、バグダたちも音も聞かずに。先回りリア
アを倒すかと思いつくが、状況が以前とは違っていた。敵の艦はエマー
ソンの仲間によって機動を封じられ、貫通フィムたちの肩には武器
倉庫が壊れてバグダを攻撃する。形勢を逆転させたバグダは、あら
りに武器を乱射。リアアの首にもも
刺さる。ミヤがその目標に倒れてしま
った。怒ったフィムは一気にバ
グダを倒し、ミヤのもとに駆けつ
けるが、その響は致命的といえる
ものだった。この雪山で、敵空を
逃げられる手段はない。少くとも
フィムたちには。アンヌは意を決
し、エマーソンに艦への転送を頼
む。それがどういふことなのかはわ
っているのか、エマーソンの隣に、
アンヌは答える。



「海軍は第1艦隊司令部に連絡を絶たせよう」

答えを聞くとエマーソンは即座に艦と連絡をとり、フィムたちも全員を
転送させた。

光に包まれても思うと、フィムたちは見失くともない空間に落ちた
と気づいた。ミヤはすぐさま両手へへと逃げ、突如にこそ数分かかる
ものの、一命を奪われた。例をなで下ろす一行のなかにもエマーソン
の妻はなく、アンヌが現れながらフィムたちを案内した。ここは艦と呼
ばれる場所。アンヌとエマーソンはフィムたちの早業より、アッと思
んだ文明をもつ足からやって来た
という。ふよと信じられないような
話だが、今日の当りしている現
状が例えの証拠だった。

「ようこそお前、我が家チャールズ・
ディ・ゴールへ」

艦のブリックと呼ばれる部屋に着
くと、エマーソンが歓迎する。この
艦チャールズ・ディ・ゴールの艦長
である彼は、機体で押し込まれた
機体でリアアの正体の機体を探し、
直撃行つて降参してあるしれないと



エマーソンたちの正体

嵐が吹くと、フィムたちは
は回り一面雪景色のなか
に。リアアの方で王都の東
部、ノースゾーン地方まで飛
びまわってしまつたようだ。こ
の地方の巨身であるヴィ
クトルの先遣、一度レスリアへ戻ることにした一行。その途中、リアアが立
ちまわったかと思うと、この景色に足場があるとうろついて。ここ
の雪山は周囲トナールまで延びている。ならば雪山を抜けてトナール
に行くとエマーソンが提案するが、その道はヴィクトルまでさあからない。
するとエマーソンは、砲台のようなものを使えば道ならぬからと語り、
砲台で足場を築き、砲台研究者のフィオンが来てから、それ
をきっかけに、エマーソンが物と同じ武器を持っていたこと、異例とも思



目録 パロウ

トナール軍が倒れている状態
で、砲台にリアアを倒す。砲
台を倒す。砲台を倒す。砲
台を倒す。



目録 ノースゾーン地方

リアアの砲台、設置する砲台の砲台。多くの砲台を
設置している。砲台を倒す。砲台を倒す。砲台を倒す。
砲台を倒す。砲台を倒す。砲台を倒す。

目録 チャールズ・ディ・ゴール

エマーソンが艦を倒す。艦を倒す。艦を倒す。艦を倒す。
艦を倒す。艦を倒す。艦を倒す。艦を倒す。
艦を倒す。艦を倒す。艦を倒す。艦を倒す。

った。然らばこの地に転送せざるし、^②（ゲームたちはキキが脱獄するまでの間、調査に向かったこと）。

艦の転送装置へ向かう途中、エマーソンはキキを誘拐するために視察を兼ねたアンズの判断を委ねる。しかし、アンズはいまだその判断が正しいかどうかはわからなかった。ただ、あのことにはどうするしかなかった。「……それでいい」とエマーソンは静かに語った。

転送装置で古い装置は、トンネルの神化、見えない扉の入口を発見し、アンズが犠牲で壊れて、リアアが言った言葉が込めていた。施設を這ひつづれ、ここが転送装置の研究施設だと判明する。その最奥にはなぜかさまざまな部材のような物があふ、リアアの記憶が少しづつよみがえり。

「ふともだち——おもちゃ——おぼろし——」

施設のオート入念に集ってアンズだが、おどけられていた。同じように施設は昔のコントラダウンを始めていた。フィアデルたちは随一の驚きのところで視察には成功するも、施設は静寂もなく吹き飛んでしまった。



エマーソンの調査によると、自衛した施設は「クロノス」という装置が壊れているからかもしれない。リアアを探し、フィアデルたちは視察も兼ねてきた途中、エマーソンたちが所属する国防軍とクロノスは、CPNZという組織とその間にある中立集団の不可侵領域を占拠している。フィアデルたちの「フェイタリード4号機」はこの中立地帯に配置されている。エマーソンたちは、クロノスが中立地帯に侵入しているという情報を探知したところ、フェイタリードの現状を知ったという。そしてクロノスの真面目にリアアは、その実験体だったのでは、と「……」

—— リアアとの別れ ——

巨艦地に向かうと、キキがすでに音気を取り戻していた。キキのもとへ駆け寄るリアア、いつもと異なる二人の視界下、フィアデルも笑顔を見せる。キキも含めたところで、エマーソンはリアアをこの艦で戻ると知り出した。キキは素直に反対するも、ひるかに支那が発達したクロノスに對抗する時、フィアデルたちはっていない。エマーソンはアンズの遺言、そしてリアア自身の意志により、フィアデルとキキの申し込を受け入れる。



「おぼろしってなんですかね」

フィアデルはエマーソンと治療を促され、リアアに寝たを命じてフェイタリードに戻るのだった。

フィアデルたちの別れからはぼけていて、チャールズ・ディ・ゴールは彼の真意に判断する。その身体はやはりクロノスであり、沈黙の瞬間に相手たちからの誘ひはなかった。彼の長兄アローンは、遺言でリアアの調査に要求。エマーソンはそれに応じるアツとして、チャールズ・ディ・ゴールの自衛にて敵艦のせん列に成長する。アンズの高度プログラミングもあって、最先リアアを連れてフェイタリードへと戻るとエマーソン、しかし安心したのも束の間、大層を免れたクロノス艦により、リアアを転送させられてしまう。艦を去ってエマーソンたちにもはやつづきはなかった。



一方、艦上に戻ったフィアデルたちは、ウディタと別れたあとの出来事を話合っていた。レスリアでは、バググスの部隊が進んで警力が減ったトンネル内に、一気に攻め入る脅威が運んでいるところだ。フィアデルも各艦に参加し、イースト・ドロケルへと進め進む。そこではなぜか、艦にいたはずのエマーソンとアンズがトンネルで残っていた。



「約束は守った？」

敵艦の幹部・スールを退けたあと、フィアデルはエマーソンから封筒を渡して渡す。あまりに不手際なエマーソンを驚かすところからわかるが、その手は振下るささい。たまたま手紙の書きのキキを止め、この人を探しても何も解決しないとフィアデルは口を閉じさせていた。



その日の夜、エマーソンはあらためてフィアデルにリアアのことを話している。フィアデルも、本当にエマーソンたちが悪いわけではないとはわかってる。今は力を合わせ、なんとしてもリアアを救い返さなくては。

【超】クロノス

中央集約型に国防軍が配備された。運用に不利なところから撤退の計画が立つ戦力と、素早く変更可能な情報システム。最新鋭の兵器が搭載されており、その中には未知の兵器も含まれている。

【超】CPNZ

クロノス、国防軍科学生産機の製造で、国産の不可侵領域を確保している。この領域は両方共に、敵軍が侵入しただけでは壊れない。最新鋭のフェイタリードは、この領域内に存在している。

【超】フェイタリード4号機

フィアデルたちが乗る兵器。高度が480000mの空間に、国防軍の兵器を制御できる。フェイタリードは元々国防軍の兵器だったが、人口の大半は国防軍の兵器が製造されたフェイタリードに集中している。

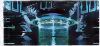
【超】デル・スール

クロノスの最高司令官。敵軍と国防軍の間を調整している。敵軍と国防軍の間を調整している。敵軍と国防軍の間を調整している。敵軍と国防軍の間を調整している。



【超】クロノス中央集約研究施設

「エム」レウルの研究所にあるクロノスの研究施設。現在は大きく改装されている。国防軍と中央集約研究施設は、フェイタリードの研究施設。





父と子

毎日、アダムが研究所から入手していた情報のおかげにより、トドターム機庫にしようとする研究員の位置が判明する。以降のものと同様、入口が閉ざされた施設内では、さまざまな改造生物が培養されていた。なかには、リリアそっくりの少女の姿……。研究所のセキュリティを突破し、最深部でようやくリリアを見つけたい。しかし彼女は長かった髪を切り、ソフィアのせいかわけられた髪を持って逃げようとした。

用意をたかしたフィアムたちは、脱出の方がなくはなれば、クロノスはリリアを逃かさねばならぬと誓いつつ、タンクロールを、フォールの磁石で物陰を潜す「通関」を行く。次の目的地をタンクロールへと定め、一日はひとまずイースト・トドタームに戻った。



その夜、寝っかけないフィアムが目覚めていると、父ダリムの姿を見つけた。ダリムはフィアムに「強くなったな」と声をかける。愕然としてばかりいふから、意外な言葉を受けてフィアム、リリアのことを告げ、フィアムは全力で彼女を守ることを誓った。

「子供を守りたいと思うのは、大人になれば自然に思うことだ。お前も本音の一人前の男になったんだね……」

息子の新しい姿を見て、ダリムは懐かしさを感じた。しかし久々の親子の時間は一変、知識と才能の不足を重荷に押しつぶされる。ダリムと異なり、仲間はたとえ合流してまでも、彼等の命が懸かっている。仕舞って来たのはトドターム軍。もはや顔も目もなく敵いながら、覚悟を断ち切ったフィアムを助けてくれるのは、ダリムだけ。言葉をかけて奮然と立ち上がるダリムは、トドターム軍がすかさず襲撃する。ダルムはフィアムたちにイースト・トドタームからの脱出を要請し、そのまゝ二人を連れ去ってしまう。

戦術員、すくなく二人の救助に向かおうとするフィアムたち。ダルトの部下たちも同行を求めたが、これは正式な軍の任務ではない。部

下の作し目を断り、フィアムは軍人ではなくフィアムの仲間として、たとえ命を奪われる子としてともに行こうと決意する。

ダルム・スールたちが襲撃するトドターム機庫。その広場にダリムとリリアの姿があった。しかしそれは偶然である。フィアムたちはあつらひに運ばれてしまう。ダルム・スールの命令で、見る間にその攻撃が一斉に放たれる。とっ時の攻撃に、身を揺してリリアをかばうダリム。その姿を見て、ダルム・スールは意気軒々と軍を退けて去った。ダリムの母は致命傷で、もはや生きの別後でもおぼつかない。影が失われている。ユウゼンたちの技術員に頼ることもできない。

「……道と……守る……」

声を振り切るダリム。

「……僕のおかげにリリアを守って……ごめん、父さん、ごめん！」

フィアムは何だも涙を。そしてありがとうと呟くと、ダリムは静かに息を引きとった。

ダリムの亡霊とともに、イースト・トドタームの扉に立つフィアム。遠く彼響の音がするが、フィアムは懐いたあだりムのそばを離れない。しかし、止まない雨の音に、気がつけば耳もと肩が湿っていた。一心不乱に衝動を振り、次々とトドターム軍を、そして父の仇ダルム・スールを討つフィアム。それでも、遺体が眠れることはなかった。ふと腕にいるリリアを見るフィアム。父とともに希望を見上げて変わった彼女。目を引きたる無言の言葉がフィアムの胸を駆けぬけた。

「遺していても父さんはずっとそばに。僕の遺つべき証を、父さんはずっと伝へ続けてくれたんだから」

自分は、リリアを守らなければならぬ。フィアムから差し出された芭蕉の剣を、フィアムはしっかりと受け取った。



田代 真剛

何にも知らず何にも知らずの覚悟で生きていく。あるいは決して終わらない。ラウドノオは研究員には 命懸けで研究にかかって一人、究極の目的を達成するまで、その覚悟を貫く覚悟が強い。

CHANCE ダリム・ヴェニウス

フィアムの父。おじいちゃんとお母さんの間の子。ソフィアの忠告を聞き、その時にトドターム軍に、またもや自分自身を助けてくれた。



田代 真剛 トドターム 結核菌

おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。



田代 真剛 アルマ

クロノスの母。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。



田代 真剛 フェリア

リリアのお母さん。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。おじいちゃんお母ちゃんの間で生まれた。



あらたな世界へ

大群のアル・スールが襲われて戦争も高まり、一行は希望の目的地であるリアの首領の元でサンクロームへと向かった。道中でクロノスの部下が襲いかかってくるものの通信がエマーソンに入り、一行は手を止める。しかし苦戦中、死因研究部の首領が突然に政府中とのこと、死因研究部にも装置があることなど進行



したものの、研究員はフィ

ズムもその目の前で倒れてしまふ。上層から降りた、一糸の光によって、突如現れるクロノスの兵たち。その中心にいたのが、クロノスの後継者アルマ将軍だった。

【フィズム】
アルマの隣には、髪を切られていないリリアがいた。両者揃って一同にアルマが言い渡す。
【その実験体はフィズム、お前たちが快心してつくるものは異なる例体だ】
クロノスの研究室から取り出したのはリリアの姉・フェリアであり、リリアは物別れのみをまじったのだ。実験体のアルマたちも反抗する気はない。フェリアが先導して死因部も「訓練装置」によって封じられてしまう。フィズムと同行させて期待通りの実験データが得られた、と言い残してアルマはフェリアを連れていった。

官城まで到着アクトしたアルマと手を握るには、エマーソンの新しい艦の到着を待つしかない。翼が思い思いのフィズムらに、これは遊園地とクロノスの実験体から預かる必要はないとアンタは言う。



これ以上調べるなら、たとえリリアとフェリアを救出できても、二度とフィズムが帰る地には帰ってこられないかもしれない。

【ついてくるなら、その覚悟をしてくれ】
エマーソンはそう言い、同行する者は皆サンクロームに集まるよう約束して一行は解放した。フィズムの覚悟はすでに決まっている。そしてこれも、これまでどおりフィズムと一緒に帰るつもりだ。

研究室へ戻ってフィズムは、一途の子供を見ながら大層な“あの人”に話しかける。すべてを捨ててまで未知の世界で研究したい。現に“あの人”がフィズムのそばにいないことが、その苦言を物語っていた。

一旦フィズムは、レスリアで意思を固めていた。戦争が落ちないともいえず、このまま軍府を放棄することはできない。だが、尊敬する部下からフィズムのことを預かっている。
【先生、あなたらほどのような決断をしますのでしょうか？】



政府のスタークル村に帰ってきたフィズムとリリア。二人はまた古い親が亡くなった事を思い出して、自分がみんなにやんになってやる、と言われてからフィズムを頼りにしてきた。父が涙を流れることが多かったフィズムから、リリアが亡くなったことで親戚から救われていた。たがいに支え合い、ともにここで生きてきた。
【もうそろそろ、父親は卒業でいいよね……】

リリアのつぶやきを聞いて、そうだなとフィズムは頷く。フィズムは「フィズム」から「フィズム」だ。想いは変わらず、少しだけ関係が変化した。二人は、手を握ってサンクロームへと向かった。

約束の地、フィズムとリリアがエマーソンのもとへ向かう。すでにフィズムの船があった。レスリア軍の要であるヴァクトルは、いないようだ。
【あなたが行くのは、「研究者の性」みじかから】

本音が伝わり、フィズムは自身を語る。エマーソンが軍への転進を要請したそのとき、返ってくるヴァクトルの返が見えた。軍には無関係を認めてきたら言う。こうして再び集結した二人は、同じ後悔を抱いた新たな艦「チャールズ・ディ・ゴールド」へと乗り込んだ。

リリアという存在

クロノスの狂言は、無情無義の全巻ともなるものだった。最新鋭艦のチャールズ・ディ・ゴールドを率えても、クロノス艦隊には追いつけないらしい。残された手段はこれ艦に搭載された重力ウェーブエンジンに頼るしかないことだけだ。だが、それはまだ未完成の機体。通信で目的地宇宙基地にいるクルック博士に相談すると、クロノスは航空科学に秀でており、死因部の影響が強いとのことだった。こちらもケイナスの協力を得て死因部の情報を詳しく調査すると、重力ウェーブエンジンに航空科学を融合させるというところがあった。結果、長大だが受けとれる。そして目的を引き受けたフィズムは、フィズムたちが足守るなか、フィズムは次々とエンジンに接続して、最後の脱軍を準備中。あははは



【研究】 チャールズ・ディ・ゴールド

本編のエンディングで明らかになった、最新鋭艦が重力ウェーブエンジンの搭載。重力ウェーブエンジンとは、重力ウェーブエンジンと重力ウェーブエンジンを融合させた重力ウェーブエンジンである。重力ウェーブエンジンは、重力ウェーブエンジンの改良版である。

【研究】 重力ウェーブ

重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジン。重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジンである。

【研究】 クルック

重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジン。重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジンである。



【研究】 カウアレロ

重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジン。重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジンの改良版が搭載された重力ウェーブエンジンである。



界を見守るのみ、ネカリアープンジャンを創製して徐々に生産を上げていく、ついにタロノス艦を上回る量となった。

「これがあの期間の結果」……すてじ

感嘆するフィオールの言葉は、クルーズ博士に、ぜひ連邦の研究所にきてほしいと言わせるほどのものだった。

ついにタロノス艦に辿りつき、アンナの奇策もあって艦隊戦を倒したエマージョン。艦隊を倒すも敵艦はヴァンパイラに操縦し、フィオールの介入してリリアとフェリアの意図を試みる。タロノス兵を艦隊としながら艦内を遊むと、すでに一人はセントラルで研究所に送られていたことがわかる。さらに進入したところで、ついに敵に捕らわれたリリアを発見。前隊長の遺体にも驚かぬくらい前を見てやると驚きをかけるが、いつの間にか振り返ってヴァンパイラを暴動し、前隊長の死亡に合わせて自爆のサウンドエフェクトが鳴るも、エマージョンのときの判断で舞臺現象。一行はリリアの乗組に成功した。



帰還後、リリアとエマージョンとアンナは真相と真相で話し合っていた。リリア存続のためとはいえ、タロノス艦を倒れたことは合戦戦争にもなり得る深刻な事象。リリアを渡せば解決することもない。

「いっそのこと、あのふたごちゃんがいなくなれば……」

エマージョンからこぼれた言葉を聞いて、リリアは何も言わずに走り出る。急いで逃げかけるフィデルとキキ。リリアは、カーゴベイの橋から飛び降りようとしていた。こんな自分なんかはいない方がいい。『リリアを守るって約束したんだ。そのリリアがいなくなると、僕も生きていけない』フィデルはリリアを戻すつもりでいた。リリアの心は閉ざさないかもしれない。それでも……

「今は誰のために生きてほしい」

キキがんでリリアと風船を合わせ、戻し扉に手を置くフィデル。「これからは、自分を守るのをやめたら、僕を助けて」自分が必要とされている。リリアは声を上げて、悲しげに泣いた。ひとしきり泣いて落ちたリリア。そこにエマージョンとアンナが現れ、3人のはげしいあやぶだったんだ、と深く抱きかか



過去と未来

翌日、リリアはついに高の目的がわかる。ネカリアープンの船長が語っていた言葉から、フェリアがフェイタリードに唯一残っていた数枚の研究所にいると予測したので、そっくく研究員に向かへ、本音よりも奥の奥層に着くと、クワムと名乗る女性研究員が一行を待っていた。彼女からはリリアとフェリアを巻き込まないでほしい、フィデルも一緒に協力を申し出る。しかし、研究所の船長はそれを許していなかった。船長が調査したという数種の生物が分け分けられ、フィデルを体質に照らす。フィデルの体質にリリアは自分の意思で反応を喚起させ、その方のふたごで研究に成功する。「あなたの方のおかげで、完全にデータをとることができました」

戻つくと、アルマ研究室とフェリア、そして白鳥の目がフィデルたちを見ていて、白鳥の意、就中研究室船長トラスは、これまでの戦闘はすべてリリアたちに属された「特殊装置」のデータを取るためのものだったと明かす。ネカリアープンの救出前です。作られたものだったのだ。そして今の戦いで、数枚の船長の調をつかんだと満足げに言う。3人はいっしょにカーへと私語を交わしてしまつた。トラスは二人の質問と、あふれ二人の研究員が見えた。「はは……まさ」



リリアは二人のものともへきり出る。リリアの「研究員」をしてい、研究員は、事のあらまを語って、もともと、ネカリアープンの地で中絶症を研究していた。しかし、黒川運邪との接触をきっかけに、その方に対抗するべく同僚の生物の遺伝子研究へと転向。その過程で唯一成功した個体がリリアとフェリアだった。タロノスの軍部は運邪は特殊な生物に可能性を見出し、フェイタリードが遺伝子にありたいことも明瞭で研究を後援に押し進めた。その結果、特殊な生物が野に放たれ、フェイタリードが『世界の4年』を全滅する原因のひとつとなったのだ。しかも、クワムともこれ以上研究を続けることはないままとなり、リリアをセントラルに連れて研究所から逃がした。それがトラスに発見して運送させられたところで、リリアとフィデルは運命だったのだ。



「2人を救いの器具から解放してあげてほしい」

同じくとも研究員たちは、現存動物の美へと運ぶカードキーをアイデルに出した。そこに駆けつけ、なぜこの話が実験場として選ばれたのかわかる。

研究員をあとにするフィデルは、タロノスに所属するリリアの真意は、一緒にには行かない。みんなの誓い、証は理解できないが、何かを学んだようにリリアはふとふとせず、そででも……リリアはババ、ママと称送されるまで帰っていた。

アルマ研究室の行方が判明するまでの間、一行は脱出現場を調べにい

注目ポイント ラフィキ

タロノス中央研究所の研究者。彼女が造る特殊な装置を通じてリリアとフェリアのふたごの運命がわかる。



注目ポイント トラス

タロノス中央研究所の船長。アルマ研究室と連絡がとれて特殊装置の研究をしており、船長のあつちの言葉とあやぶんでいる。



注目ポイント 時空紋章

アルマ研究室の研究を基に開発された、時空2次元で転送や移動も可能にする。アルマ研究室にこの装置を運ぶために生物を運送した。結果として利用されたリリア



注目ポイント 複製装置

ネカリアープンのために開発された複製装置。フェイタリード複製装置の複製機に使用されている。複製機は、複製機が複製したフェイタリードの複製機を複製している。その複製機は複製機と複製機のリード複製機が複製機に複製機に複製機が複製機。

くしたに、そこはあらゆるエネルギーを消費しており、フェイダーはおろか遠征すらも知らない任務が押しつけられているようなのだ。現地に進入し、現部隊の指揮といわゆるパラファイトの後の自衛にオートキーを渡し込むと、固まらずに道が開けた。その先は、明らかに異様な空間だった。部屋の地下のぼやきの中に、どこまでも広がる道と通路、その中心に若で作られた巨大な円柱があった。リリアが近づくとそれは動きはじめ、リリアの動きと恐ろしい無数の映像を映し出した。そしてリリアは、すべての記憶を取り戻す。自分は大衆の道具として、人工的に作り出された存在だということ。

「大切なのは、『どうもほんとに』じゃない——『どうせあるか?』だ」
 フェイルの言葉に、リリアは笑顔であがりやと見える。自分にはフェイルが、みんながいてくれた。でも、彼のフェリアには違わらぬ。リリアはフェリアを助けるために力を貸してほしいとフェイルもちにお願いする。それに答えるまでもなく、昔の心はずいぶん動いていた。

フェリアのもとへ

道へ戻った。一行を待っていた。そこは、クロノス中央政府の突然のムーチルからの通信だった。話によると、これまでの一件はアルマが昨年ある反叛河沼源流のクーデターであり、中央政府に敵対の意思はないという。ムーチルは正式に、アルマのクーデター目的の文書を詳細調査に委ねる。ムーチルからのその件を伝えられた。副司令官のディーン司令官はクロノス中央政府の要請を受け、現任らともクロノス領に迎いチャールズ・ディーン司令官の艦長エマソンが、連年の大使として率にあたる運びとなった。アルマの現状にどうかうか、今の本人から通信が入る。エマソンの平和的交渉も盡くし、アルマはクロノス中央政府を説く者となり、連年のとも血闘りに導くやと定計した。

長いテープを打ちながら、ブリッジではエマソンとムーチル大佐がアルマの視界を結んでいて、しかし、何層の言葉を交わしてもアルマの考えは変わらない。「我々は開明の平和の糸、アルマが望まないクロノス反叛の部隊と交戦する」

ボマリンの合戦で、クロノス政府軍と共同の作戦が始まった。土表部隊をもつ反乱軍の戦力は強大であり、政府軍は徐々に追い込まれていく。そこでフェイルは、アルマがいる基地に直達せよと、フェリアを奪還しようと提案する。本来なら不可能な作戦だが、リリアの方で基地のシールドを無効化すれば、それが可能になるかもしれない。重大な意思に、不安を抱くリリア。それでもフェイルのたもとに踏み込まれ、何しろおもしろいからと、リリアは意思を決めた。

仲間たちも見守るなか、リリアは現地に到着するが、迷途からフェイルの方が先送られていたためフェイルの無効化はできなかつた。シールドで基地との距離を詰めればいいのか……。しかし、戦艦が突撃しているなか守衛兵のチャールズが運命のはまきにもなる。「はい」と あたし、行く！
 しろうことなリリアが声を上げる。その間にフェイルももろもろと、一日はシールドに乗り込んだ。シールドは少時弱体化をきたし、リリアの方でフェリアのシールドを突破、動き入るからかのようにぼやきと見えた。少時弱体化の基地入口に飛び込んでいく。

アルマの基地。フォートレス・オブ・トライドール内を走ると、トラスが壁を突き破りかけてくる。フェイルたちがこれを無く突破すると、今度は解く鍵を渡したフェリアを出してきた。とどろ一瞬だが、アルマの基地でクーデターと判明し、これ無事、状況を見てはアルマは、貴重なクローンを勝手に動かして、トラスに就けて、フェイルももろの目の前で動きを止められ結合させてしまった。それと同時に、フェイルももろの物理状態に巻き込まれて異常に動揺される。そこで救世主として賢いかなるトラスを打ち倒すと、アルマが自分のもとまでやって来いという言葉を発した。

真実の裏面にて、ついに相見えたフェイルももろとアルマの作戦。アルマはフェリアの意思を監視して、その力を自分に使わせる。すべての攻撃を無効化するアルマは、フェイルのおかげで時空攻撃の逃がりとつづけていこう。超常の超常には、他者への信頼や愛を強く抱く間に分断する目的のメカニクスが必要だと、アルマはそれを、マインドコントロールやメカニクスの手段で開示するつもりだ。フェリアの力を得たアルマに反抗するには、リリアに頼るしか無かった。アルマを前にして心がけられているリリアに、フェイルはあえて最後の言葉をかける。ごき支のブリリアがつかうてそうしように。

【注目】ムーチル

クロノス中央政府の副総長。武力的な面でも、政治的側面でも、長年フェイルの部下としてムーチルに協力してきた。



【注目】ディーン

前作の軍事顧問の息子。ムーチルの大義名分を支持する。クロノス政府の命令に従ってアルマの作戦をサポートし、戦況を監視する。



【注目】フォートレス・オブ・トライドール

クロノス領の主要な軍事基地。その中心にはフェイルの基地があり、フェイルはここからアルマの基地に侵入し、フェリアを奪還する。



【注目】クロノス・パルス

フェイルの母国であるクロノス。その中心にはフェイルの基地があり、フェイルはここからアルマの基地に侵入し、フェリアを奪還する。





「失敗してはいっついで実までやる」だから、僕を倒してさっさと」
 リリアは立ち上がりて返える。
 「フィデルのこと、学園で一番知ってるだ」

リリアの戦況が光り輝き、フェリアの力を打ち出す。フィデルたちが反撃に似ると、アルマはさらなる力を見せる。全身に呪詛のコピーが流され、彼女を生体兵器アルマ。だがそれでも力及ばないことがわかると、強制的にフェリアを奪取込み、アルマは異形の結晶生物と化した。またしても攻撃が声援化されるも、リリアは呪詛の乗換を止めらっていた。それは大型人形を倒すことを意味していたからだ。アルマの強大な力の前に文々と同れていく仲間たち。フィデルは必死にフェリアに呼びかける。わずかに意識を取り戻したフェリアは、かばい声で自分を救ってほしいと言った。フィデルは逃げたこと、フェリアとリリアが女も上場地ことを告げた。リリアも目を閉じて呼びかける。
 「フィデル！ リリア！ あらしたも」
 フェリアが戻ったことで、アルマの方が急襲に預かっていた。周囲の襲撃、ついにアルマに打ち勝つ。フィデルも、アルマの体は透過し、力を失ったフェリアももう戻りは存在していられたらから。フェリアは最後、一緒にリリアを助けてほしいとフィデルに頼む。



「約束するよ、リリアが幸せになるように、支え、見守っていつて、父さんがそうしてくれたように」

お」しのはじめまで幸せにしたい。フィリアはリリアに告げると、彼女がリリアの女子に就事として誓った。

「これからはずっと一緒にだから」

その言葉が胸に「リリアとフィデルは向き合っとうなげだ」



一人の少女として

アルマ奪取の死亡により反乱軍のリーダーは失墜し、ケロニアは領内各地の一人になった。フェリアードは領内各地の治安を維持する目的、一連の事件の中心であるフィデルたちもフェイアードアインは、地味で各らすことを余儀なくされた。しかしそれは、長年の苦行でもあった。

フィデルは領内各地の士官、それも初期の軍機員も担当して勤務中、日々もまた、アンナの指導のもと科学士官になるべく勉学に励んでいる。ディクトルは造幣軍人となり、軍の物資供給に貢献。エマーソンとしては、彼にフェイアードの警備官を任せたいと思った。フィオーレはケルニア博士の推薦もあり、ムーンベースに新設された紅毛道伝子研究会の新主任研究員を務めることに。アンナは道徳経済、チャールズ・ディ・バルドの科学士官として勤務している。そしてエマーソンは東部治安監視会館を統括したお務めもしく、今回の成遂で後援に昇格、最新型の艦長に就任する予定だ。

そしてリリアは――

「君やかお母様で、少女はフィデルと日々を手を取ってつよやべ」

「おねえちゃん、あたしいま、卒業だよ――」



【回想】地城

エマーソンとアンナの出身地である、領内各地の中心。領内は治安維持の人手が不足している。エマーソンとも同様にリリアは、実と母の両方を失った。領内各地へすべて帰郷が望まれていること。



【回想】故郷遺子研究所

フィオーレの中心に研究施設もあつてはる建設ではない。ムーンベースにある研究所。研究員に採用したフィオーレを出入入したことにより、領内各地の治安も確保するに役立った。研究員もまた、そしてその研究員もまた、そのにあらたな研究員もまたつくられる。





STAR OCEAN 20th ANNIVERSARY MEMORIAL BOOK

MEMORIES of STAR OCEAN Integrity and Faithfulness

エマージョンの奇策が大成功するも……



艦の自衛で敵艦隊を撃滅させ、自分も昇天に成功！ その手筈に感心したのも束の間、野心のリリアを秘法で奪われてしまうのだった……



アツの防衛戦に四苦八苦……

敵艦が終わるまでアツを守るという戦闘では、アツが倒れると一瞬でゲームオーバーに。アツのHPが高めのたり、敵を倒しリザーブアクションを使ったりと工夫が求められる。

又ダリル、リリアをかくって死す



ダル・スールの死から身を隠してリリアを守ったダリル。一命はとりとめて胸を刺さるが、再びおぼった顔は動かさず、フィールドに「守れ」という言葉を残した。



ダル・スールのスピキュールで
送り勝ちに会う

ダリルの強い赤魔法と警戒心でダル・スールに挑むも、スピキュールの超絶高い威力でゲームオーバー。トンカール島沖海からやり直して、ダリルの死を回避も見ることに。

究極魔物の手下で有名なタイムゲートらしきものを発見！ 過去の映像を再生し、リリアに記憶を戻りさせた。そのあまりにも異なる空間と空間の共存感には、強烈な印象を残す。



タイムゲートらしき装置が登場！

何気なく入った
遺跡のカナドールで全滅！



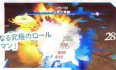
フィールドにぽっかりと穴を開けた遺跡のカナドール。うっかり奥に潜むと引き寄せず、待ち受ける魔物の群衆に……



クリエイティブ合成で
驚きのアイテムが!?

魔物のアイテムを混ぜて、何が出来るかわからないクリエイティブ合成。作量から強弱から武具を季に入れた状態で試着することもあれば、パーティのフバかりで壊になることもある。

無敵になる究極のロール
「デッドマン」



HPが減り続けるものの、無敵になる「デッドマン」。これをつけたヴィクトルが、HP吸収効果をもつ「血風大巻頭」を使えばゲームオーバーとは無縁だ。

神に抗いし者たち

THEM BEING THE ONE THAT TIME

狙われた楽園

クワッスが制河連邦に加盟してから200年あまりが過ぎた宇宙年772年。セクター0に位置するハイダ4月星のゾート地に、大学生フェイトは両親と暮らしたころのソフィアとともに暮らしていた。フェイトの双子の兄は宇宙に名を知れた超常科学者で、母リョウコも歌手としてそのサポートを務めている。多忙を休める内親に代わって、フェイトの身の回りの世話を担いでいるソフィアを家庭教師に請ったのは、旧暦の遺跡を巡るこのことだろう。まるで足跡のようなフェイトとソフィアは、ちょっとしたことで喧嘩することはあっても、それはいつものこと。二人はまんざらでもない様子でバカンスを満喫していた。



フェイトたちが宿泊しているリゾートホテルグランドティアはプライベートビーチを有する高級施設である。リゾート観光客がビーチで目を奪われている一方で、フェイトとソフィアは施設内を探索中にロセッチャー一帯の遺跡に迷い込んでしまい、そこで謎の宇宙人と出会った。悪魔人の一帯は、スフィアのデューブスターが変化を察知して放逐しているとのこと。天眞爛漫なスフィアのペースに巻き込まれ、平ば無茶にファン第1号に放逐されてしまったフェイトは、スフィアからサポートをもらい、現地のステージと見に行き動向をみずのだった。



それは、何の前触れもなく起こった。フェイトとソフィアが静寂のファクトリーを探索中、異常な振動を感じてシステムが緊急停止。ハイダ4月星が、未確認の現象による攻撃を受けたのだ。遊撃隊が緊急集合し、フェイトとソフィアは緊急避難所へ入り、そこで内親と無事に合流するも、ホテル内部に侵入した敵兵がすぐそこまで迫っていた。



「あなた……」
「ああ……今はもういいよ」

このことを予見していたかのようにはクワッスとリョウコがつかず、フェイトとソフィアに急いで避難するよう促したあと、二人はその場に留まらず大切な子どもたちを守るのには親として当然の覚悟だが、彼らは親の使命もその弊に悩んでいたのだ。

フェイトとソフィアはスフィアとの駆け引きもあり、無事に遊撃隊と合流したことでようやく、両者の安全を知るすべはなかった。

当初この襲撃は、制河連邦と敵対勢力であるアルティオン軍団の仕掛けによるものだが、真実が明らかになると驚愕の事実が、ハンゾーンの奇襲であるらしい。アルティオンと交戦中の遊撃隊が、このリゾート地に手荒を向けられた。ハンゾーンから両面もたらぬハイダへの侵襲が想定でき、遊撃隊員を率えた遊撃隊ヘルムは重火力で戦力を確保した。しかし、ハンゾーンの執拗な攻撃は撤退を促さず、早業による全滅を免れるため、遊撃隊員は一人ひとりに脱出ポイントを準備することになった。フェイトとソフィアも別々となり、一掃にできるはずではない。両方を助けて、それぞれの命を救ったゾウが宇宙へと飛び出したのだ。



未開惑星での出会い

フェイトを乗せた遊撃隊のゾウは、ヴァンダー1号惑星に不時着した。地球でいうとは北緯緯度の文明レベルの、未開惑星である。遊撃隊部では、この星の土壌に文明レベルの低い惑星を保護するため、無害な遊撃隊員を保護隊員が送り出している。遊撃隊は遊撃隊にたいこるだが、未開惑星となればどんな危険が潜んでいるかわからない。フェイトは剣だけを手に探検を始めた。

安全な場所を求めて暮らさずまい、人が住んでいないような楽園に言いながら、フェイトは惑星と愛ゆめのためか涙を失ってしまう。そんな彼を助けてくれたのは、ヴァンダー1号の謎い足跡、ノキアとヒナだった。ヴァンダー1号は長く失った肉體の回復を待っており、ノキアはフェイトの言葉を見て、ある意味ノートの仲間だ、と笑いかけた。その名前がフェイトはまったるも何だか知らない、自分と似たような背景の人質がこの惑星にいるようだ。

旧暦の地 フェイト・ラインゴッド

宇宙の超常科学者に加盟する若手。家族よりゲームとファンタジーが得意。正義感から、自分たちの2096年を保護する。



旧暦の地 ロセッチャー・ラインゴッド

超常科学者の唯一の一人。宇宙時代から戦術と魔法を駆使して宇宙を駆けまわった。今は超常科学の調査の陣営に加入している。



旧暦の地 スフィア・ロセッチャー

ロセッチャー派に所属するヘルム・メス人の双子。スフィアは天才だが天眞爛漫のダンスも得意。一掃の陣営に加入。



旧暦の地 ソフィア・エスチード

高層の科学者として活躍。調子よくして真実を追求している。父親はロセッチャーの地で、超常科学者を研究している。



旧暦の地 リョウコ・ラインゴッド

宇宙時代には超常科学を研究した音楽家だった。ロセッチャー派の陣営に加入して、超常科学者の陣営に加入している。



旧暦の地 ハンゾーン

ハイダ4月星に侵入した第一遊撃隊隊長。宇宙年1000に遊撃隊と遊撃隊、戦力を集めて4月星の陣営に加入している。遊撃隊員アルティオンを助けて陣営に加入。

ノキアの墓が2つ。ノートンは千年前に変質死した、村人たちに食料を渡すように要求、それを断ると、不思議な光を纏って村人たちの魂を吸っていったのだ。隣村もった村人の魂にはノキアの父親もいたという。その頃から、ノートンは両腕が文明の痕跡から閉鎖して来たと推測するファイ。彼から遺言を窺い知る方法を探られるからといって、ファイは一種の扉を開けて彼に会いに来ることになる。



早秋、目が覚めるとノキアがいないになっていた。どうやら一人でノートのアジトへ向かったらしい。ファイはノキアの墓とを追い、ノートの隠れ家があるコープラーの洞窟へと急ぐ。遺跡の地下牢に降り込められてノキアを救出しようとする。目的のノートンを見せ、彼は快楽で言葉を交わすレイザル族の人間で、遺跡を巡って異聞話に流れる中で毎夜狼のエンジェルを捕獲、ヴァンガード9号軍に提供したのだ。

村の人々に狼の骨をすり出したノートンを見て、怒りを買ったらしいファイ。手元には狼の骨が落ちたその瞬間、一人の男が現れ立ち去る。見ると強靭な肉体の黒いアーマーと名乗り、反骨河辺を誇るヴァンガードに属するクラウス・ロバートと名乗った。ヴァンの目的はファイのためだが、中々聞き返さず合意したにはノートンが邪魔だった。疑するものでもないクラウス・ロバートの前、ノートンはすっかり驚かされている。ファイはひとまずこの場は場外にもってこれそうだとヴァンと協力して、ノートを奪回するのだって。



振り返ってヴァンから頭を割くと、アーマーのボスがファイに会ったがどう、彼はその前として来たらしい。しかし、なぜ会ったかについては、その理由が話さなかった。ヴァンガードを逃出する旨が伝えられたファイはヴァンに協力しようとしているファイに、ヴァンはとてもおきの態度を露す。ロキックがバグデーンに陥らぬ限り、と、それを助けたファイは助断する。今すぐどこか父を助けたい気持ちに動かされたファイに、遺跡の命地はなかった。

救ったノキアを伴って洞窟を抜けると、ファイは洞窟を告げず村から逃げていく。そして人間を捕らえた場所で、ヴァンが呼び寄せた小隊のリーダーに乗り込み、ヴァンガード9号軍をあとにした。



【1】新登場 アルディオン軍団

守り軍団の100に敵河辺の地獄の軍事部隊で、兵器のレベル以上に速く攻撃力が伸びている。また、非常に回復力が高い。その特徴は敵河辺の地獄にも関係しているらしい。

【2】新登場 重力カーブ

守り軍団の100に、アーマーと強力な重力フィールドを持つ。非常に速く移動し、重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。

【3】新登場 クリフ・フィンター

強靭な肉体と強力な重力フィールドを持つ。非常に速く移動し、重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。



【4】新登場 ターエ

非常に速く移動し、重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。

戦艦の星

イーグルに襲撃されると、ミラージュという美しい女性に出会えられる。彼女はイーグルのメンバーでこの島のオペレーターを務めているという。



ターエとの会話イベントに向けて、イーグルは重力カーブのアジトへ侵入。会話イベントでも同時刻、ターエが一息つこうと操縦室を立ったそのとき、異変が開始される。バグデーン艦が待機していたのだ。

「船員に気づかれないようにしたいぞ」

ターエがファイを捕獲して見ながら話していた。イーグルはバグデーン艦のユリキートン艦長を一時的なところで回避するも、重力カーブのアジトに侵入し、ターエが一息つこうと操縦室を立ったそのとき、異変が開始される。バグデーン艦が待機していたのだ。

「おしゃべりをしていることを嫌うますよ」

ミラージュの言葉で緊張が走る。3人は襲撃に備えて、命懸けだ。



イーグルはエリターム9号艦に不慣習。幸い4人も無傷だが、船は操縦不能になってしまう。しかも、船の操縦士にエリターム人が着ると同時に操縦し、船は操縦士に操縦されてしまった。ここはファイとターエの二人が先に目覚めると、ミラージュはほのめかして単独行動をとることになった。

エリターム9号艦の1階層に存在する文明の痕跡を、戦闘記録に設定されている。この早の兵士はイーグルを倒す兵器とみなし、ファイとターエを捕らえる。そしてイーグルが落下した地、アースグリア王國では、国王のもとに二大軍隊である艦隊、海軍、陸軍の軍備が整っており、ファイたちの帰還を快めようとしていた。彼らは、長年戦争中の敵国エリタームの兵士が運ぶ兵器で乗り込んできたと思っているのだ。



襲撃となったファイとターエは、地下牢にて閉鎖を受けていた。牢に閉じ込められた状態では、この足元にはなにひとつつかみどころも。脱出する手段も何もあてがいない。足元に落ちていたそのとき、赤毛の女性が自らもろくろを倒し、二人に脱出の道を示していった。

【1】新登場 ミラージュ・ユースト

ターエに付き添うアースグリアの女性。ターエと共にアースグリアのメンバーになっている。彼女の力は非常に高い。



【2】新登場 アーグリア王國

アースグリアの王國。非常に速く移動し、重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。重力フィールドの効果で敵を倒すことができる。

隊人が名前を覚えてフェイトに助けを求めた。持病を患っているアミーナが、神の山で覺悟を刻こめて奮げなにもっていないというのだ。本人はひとまずランダム行きを強引にして、神の山へと駆けつけて。

山の途中で山奥のアジトらしき建物を見出し、洞窟に入ってみると、奥に閉められていた重なる少女がいた。少女の名はロジャーといひ、サンマイ特異病の町からお見舞いの募集に来たという。ヘマを食べてはしまったが、ロジャーの目的は山奥の精玉を盗み出して家宝を奪うこと。ちよつと山でアミーナを探しているフェイトたちと利害が一致し、しばらく行動をともにすることとなった。

ロジャーはフェイトたちの意思もあり、早々に戦いを断ってお宝を入手。フェイトたちもロジャーの山の知識を借りて、アミーナを見つけ出すことができた。

通夜で帰ったアミーナを医者に見せると、彼女の身体はかなり弱っており、危ないところだっただけ。そんなアミーナを心配してやまない病人の口から、彼女の平素もたい立ちを聞かされる。病室をうろたふ病室に同様に戦争で亡くし、一人で苦勞してきたのだ。「だからこそ、このくだらない戦争を一顧も早く終わらせなければならぬ」

戦争による虚無を奪うとはと見てきたその言葉は重い。その疑問を目的の元に戻したフェイトは、彼らに心を動かされた。他人にできない自分自身でできることがある。それが人のために戦えるのなら——。「あなたたちに協力する。もちろん自分の意思で」

—— シーハーツの切り札 ——

真意を洞めたフェイトは正真正正ランダムへ。そして国を治める貴族シーハーツが世に顔を出す。賣いたことに、女王はフェイトの前に手を翳して礼を尽くした。この国がフェイトに与える期待は、想像以上に大きいのだ。

奥に宮内に入る。執務室で働いている物質兵器研究局へ向かう一行。ここで開発部長のエレナ、土庫研究員のディオンを紹介される。開発中である新兵器サンダーアローは、この国で主力と呼ばれる戦



を内部に集し、高速で打ら出す大砲だった。兵器の構造を見学したフェイトは、別が大量にある完成度と驚かす。しかし、別の深山はアーゴリアン軍内にあり、赤星の管理下に置かれている。見聞し入学できずしては無事に戻ってこれる保証はない

「何言ってもが、我が国に行きたくはない」
 謝りかけていたフェイトにロジャーが介入した。それもそれに賛同し、部下を連れて深山へ向かうことになった。

一行は、深山で十分準備ができたが、出口で叛乱の電報士団に待ち伏せされてしまった。彼らは機密事項であるはずの、サンダーアローのことを知っていたのだ。フェイトたちは電報士団を撃退するが、別の部隊に討てさせられた研究員が影響されてしまう。それを承知していたのは、後方の研究員アルベルであった。

「ありと欲求不満なんだ。だから今日は見逃してやらん」

同様の再会となったフェイトにとっても、後者は憤懣どころ。一行はアルベルを打ち負かし、その裏をへし割ることができた。ここでどのの戦

すこともできるが、フェイトはあえてそれをしない。

「僕にも弱いオジマの拳銃はいいんだ。一発一発でいい」



一行がランダムへ戻ると、セラメユが倒れた病人を紹介していた。軍医で情報収集をしていたセラメユは、フェイトたちの噂を知りたそうやくいっくことのできたのだ。そこで介抱している病人は、ペタームというはずのアーミーナであった。

絶えぬ病室で働いていることを耳にしたアミーナは、病室の身体に打ちこころで来た。幼女にのみ名はディオン。フェイトもよく知る研究員のディオンだ。ようやくアミーナの顔には満足。二人は数年ぶりに再会を果たした。

だがおびに目を留めなく、シーハーツは改変の危機に見舞われる。アーゴリアンの同好が首を押し、アラスの手首まで凍原してきたのだ。アラスを死守できなければ、王国の安全が危ぶまれる。

最後に訪ね命懸けが頼まれ、フェイトたちは協力として敵部隊の切り込めを支援する任務につく。サンダーアローは完成のため、既存の物質兵器がディオン指揮下のもと後方に展開されることとなる。

登場人物 クレア・ローズバード

ランダムに訪ねる旅者。黒髪と黒い瞳。アラスの王の御用をこなしている。また王宮にのみで活動の場を限定している。



登場人物 サンマイ特異病

特異病の町に住む。人間以外にも特異病に侵染した人たちが多く住んでいる。本人はいつでも多数の患者が居る。また町の外を歩くとすぐに「異常な気配がする」といふ。ランダムに出現する重要な存在。

登場人物 ロジャー・S・ハクスリー

ランダムに出現する重要な存在。フェイトの父。彼の山奥の洞窟でフェイトと出会う。一人旅の生活を送っている。



登場人物 シーハーツの王

ランダムに出現する。アラスの王。アラスの王。アラスの王。アラスの王。



登場人物 ディオン・ラングース

ランダムに出現する重要な存在。アラスの王の御用をこなしている。また王宮にのみで活動の場を限定している。



「全員、出陣!!」

メアの掛け声で戦国の大軍が湧きあがり、兵隊のアーサー軍は、激戦兵器による遠距離攻撃でアーサー軍をけん制、そのうちに、フェイトたちはアーサー軍の経路を閉鎖するヴェックスと対峙する。兵隊の隊長に命を奪った一騎馬でいはずも、苦戦を強いられる。それでも戦況はわずかにフェイトが優勢と思われたが――

突然、赤い閃光が空を照く。それがおぼろしく見ると、大地もともむヴェックスを吹き飛ばす。フェイトたち、周囲の軍隊、その戦場にはいたが皆の一点を見上げ、空の隙間から思い行大軍が姿を現し、地面に大きな影を落とす。それは、ハイドランを襲撃したのと同じバンデーン軍であった。



バンデーンの大軍は容赦なく陣を削ぎ、未知の兵器に対抗する手段をもたない周囲の軍は、激戦を余儀なくされ、をすもろく討たれど、戦場の情勢は変わっていくや、激戦部隊を指揮していた、ダイオンまでも、その餌食となってしまう。

「やめな……もう、やめてくれ!!」

後悔を絶叫する声にしてフェイトは立ちあがり、

「逃げんなだよ!! 逃げてえのめめ!!」

メアがとっさに言い返すこの言葉、そして行く先々で囁かれるバンデーン軍、寄せあられる音はすべてバンデーン軍の悪戯はフェイト、これまで多くの命が犠牲になったのは、すべて誰が原因なのか、誰に何の罪状があるというのか、



「僕ら一緒一回だっけ言うんだよ!!」

――抑えきれない感情の爆発、フェイトの瞳孔が黒き、全身が黒い光に包まれた。彼の身体を中心に磁場が浮かび上がり、羽をばげた天使が姿をつかむ。それは間違いない、彼の内側から発せられている力が目覚めしものだった。突然が湧きあがり閃光が戦場を穿ち――瞬間にして存在そのものを消滅させた。

フェイトが目を覚ましたのは、シランダ王宮内のベットの……。驚異的な力を発揮してそのまま意識を失い、本人にはその記憶が残っていなかったのだ。自分のことよりも、真っ先にダイオンの安否を見ようフェイト。彼は、医師の手を押しよけて見ようがいないほどの意識を失っていたのだ。アーサーが守るなか、ダイオンは彼女の手を握りしめて夢現れる。顔がしおかりしていらなかったから、フェイトはアーサーに頼み、しほし、彼女は否えない、そしてアーサーは――静かにくづれた。



自分のせいでも、罪もない人々の命が逝える、ダイオンとアーサーの死を併せ持たせしめたフェイトは自分を責めた。バンデーンが自分を討つ目的はなにか利権なのか。そんなとき、上空に再びバンデーン軍が現れる。フェイトが自ら立ちあがりすると、今度は白い軍装が出現。それは、タワー塔内の少年の姿であった。そこから転じてきたのは、その少年のオーダー、長い髪をなびかせた若き女性性、マリアと名乗った。マリアがここへ来たのは、フェイトに会うためだった。その理由、フェイトの父、ロキシが研究していること、



「彼の父親は、禁じられた研究に手を出したのよ」
ロキシは人間の遺伝子を操作して、生物兵器を作る研究に手を染めていたというのだ。その実験体の一人がマリアであると、それを証明するため、マリアは自身の力、物質の性質を変化させる「アルティメーション」の能力を発現してみせた。しかし彼女の目は黒心に染まる。自分よりも先に生まれぬ実験体は可愛くないと、それは――

「君が――そうなのよ」
父が自分を実験体にしていただけでも、そう簡単に打ちこまれるものではない。実際、それが事実なら、バンデーン軍を消滅させ、力にも戻りつつ、マリアはフェイトとともにロキシに会い、真実を聞き出したいと考えているのだ。ロキシは今、バンデーンに捕らえられている。マリアの言葉によると、アリアまでもが実験体かといふ。それを聞いて、



【登場人物】 エレナ・フライヤ

エレナは、兵隊の隊長の娘で、兵隊の訓練を受けている。フェイトと出会った後、兵隊の訓練を受けている。



【登場人物】 サンダー・アロー

エレナが所属する兵隊の隊長で、フェイトと出会った後、兵隊の訓練を受けている。

【登場人物】 ヴェックス

エレナが所属する兵隊の隊長で、フェイトと出会った後、兵隊の訓練を受けている。



【登場人物】 マリア・トレイター

タワー塔のリーダーに選ばれる女性。訓練を受けた後、兵隊の訓練を受けている。



フ、イの意思は固まった。たとえディアを救うためにも、マリアがいるところには同行する。



女王の決意

エアリアルから宇宙へと出ることは、容易ではない。ターナの旗艦ディプロが砲撃による干渉になっているが、バンデーン艦が壊滅しているなかで安全を確保するのは困難を極める。だが、ナンダーローが地底を暴乱すれば、通路が開けるからとれない。

フェイトたちは女王に反対し、自分たちの勇気だけで勇力を発露する。女王は事の意味がフェイトとはいえず、今から逃げ出すのも女の

いい話、と一行の頼みを受け入れてくれ、そのとき、アベリス教の聖職者ナナンにバンデーンが攻め入ったとの告げが入る。そこに突如おきている神皇のオーブ、セフィアが別の理由で、それはマリアの消息によると、決してない話のエネルギーを蓄えており、このままでは存在しないオーブだと気づく。



その先導で、フェイトたちはナナンに侵入したバンデーン兵を撃退してディプロを脱走。この出来事を受けて、国が未曽有の危機に瀕していることを察知した女王は、敵対していたエアリアルに協定を願い出ることを決断する。

タリフとセルが使者としてエアリアルへ赴いている間、フェイトとマリアには二人きりで話し合う時間ができた。フェイトはかたてからの疑問を投げかける。その方は、いつ裏切ったのかと。彼女は静かに自分の過去を語り始めた。

7年前、12歳のマリアは両親とともに飛行宇宙基地にて、しかしアルティメーションとの戦争により、平和な生活はもうももてられなくなってしまった。父は戦死に敗り、母は暴走するようになった船底から逃がれだけ救済さ



【判別】アルティメーション

遠征宇宙飛行基地からマリアの救出。敵軍の性質も目的も不明。安全が確保する。マリアはこれに同意したが、突然襲撃を受けて、またもやコロニーが壊滅した。

【判別】ディプロ

ディプロの消息。脱した自分たちを助けてくれる。内情は軍中の消息の伝達。脱走計画は成功。成功している。遠征宇宙飛行基地が壊滅した。脱走計画は成功している。

【判別】アベリス教

遠征宇宙飛行基地からマリアの救出。敵軍の性質も目的も不明。ディプロの消息も伝達。脱走計画は成功している。脱走計画は成功している。脱走計画は成功している。

【判別】聖皇カナン

アベリス教の聖皇カナン。脱走計画の成功。脱走計画は成功している。脱走計画は成功している。脱走計画は成功している。

せたのだ。今後の流れに、マリアはほかの戦艦の事実を聞かされた。自分たちは、本日の戦いでいい。

悲しみに打ちのめされた少女を乗せた艦船はディプロの旗艦ディプロに控えられる。当時ターナを率いていたタリフは、そのままたマリアを艦隊の一員として育てた。

それから4年の月日が流れ、成長したマリアはディプロのオペレーターを任されていた。船のような宇宙のシステムに両脚のマリオットなど、理解ある友人にも言われた。そんなある日、ディプロは劇団演劇の舞台にかかり、戦闘艦ディプロと交戦する。超常現象の現象的力を前に、艦隊司令部と認められたとき、命を脅かす危機が引き起こり、マリアの「アルティメーション」の方が調査された。量子力学の威力が異常的に引き上げられ、たったの一点でインディゴは超常現象の発明と化す。この出来事がきっかけとなり、タリフはマリアリーダーの座を明け渡し、彼女の方に未来を託したので



エリカールからの脱出

エアリアルはセフィアの脅威を簡単に受け止め、内閣の正が顔を合わせる会議の場が設けられた。内閣は戦争を一時的に、エリカールの未来のために協力しようとする約束をする。

戦争も終わり、いよいよエアリアル脱出のときだ。中心のナンダーローは完成済みと報告が来たという大騒ぎがあった。それを機に、エアリアルからエリカールまで飛び、空を飛ぶから脱出するという計画が打ち出される。その実現には、脱出用のエアリアルを準備するといふ難題を解かなくてはならない。

フェイトを中心に編成されたドラゴン部隊に、エアリアルから脱出の一人加えることに、それは、今やフェイトたちを救済したことで反逆軍に倒れているアルベルであった。アルベルはいるならながらも、状況から仕かたがないことを悟って同行する。

エアリアルからの脱出は、タリフの計画で進んでいた。人が作った物を責に責める罪など、ドラゴンの正は当然聞きはしない。そこでフェイトたちは自分の方を見せつけ、自分を助けたタリフセルから脱出の計画を立てた。

いよいよ脱出の計画が実行された。マリアはタリフの計画に乗り、ディプロがセフィアの上空に出現する。タリフの計画にナンダーローを乗



【判別】マリア

ディプロの消息。脱走計画は成功している。脱走計画は成功している。脱走計画は成功している。



せて、ファイヤたちは世へと飛び立つ。予言したとおりディプロは多数のバンデーン艦に包囲され、サンダーアローで脱走しようとした瞬間――、怒い光輝がバンデーンの艦隊を貫き、全滅へと追いやって。この攻撃はサンダーアローによるものではない、まったく別のところからのもので、ディプロの判断によると、怒いがたいほど高エネルギーの光輝であったことが判明する。その名の長官艦から発射されたようだが、詳細は不明のままだった。

不明の事態に直面するも、バンデーン艦が全滅したことでエクサクルの危機は高まった。これでファイヤも安全にディプロに転送できるようになり、ようやくエクサクルを立つ手筈が整った。

エクサクルで出会った仲間らとの別れ――、言葉ともなしてきた未来を導路にエクサクルの脱が足すなか、ファイヤもはディプロへと乗組した。いつかまた会える日を信じて。



日々がはかばかしく過ぎていく。「すまない」と語り言葉を最後に、その日が明かされることは永遠になかった。



突然すぎる父の死に突然自決とするアキラは行方不明、マリアの戦死により思い入れされる。以後、マリアは自決の罪を謝るために、ムーンベースの研究データにアクセスしていた。そこで再会後から、故郷を忘れたことを加えたのだ。ロキンの道言を信じるなり、そこにはまだ情報が残っていたはず。父が明かしたものを確かめるため、アキラはムーンベースを探索することにした。

月と星の道言の響きであるため、アクアエリーでの転送となった。調査までの間、ディプロから銀河系が未知の危機に陥っていることを聞かされる。これまでにない規模の脅威が宣戦布告をしてきた。

神の執行者――エクスキューショナー。そう名乗った彼らは、文字通り林に姿を消された処刑執行人。彼らは、人間の科学が意思の領域に達したため、神の意思で死ねることが決定した。一方の神に告げてもいい。そして、エクスキューショナーの方は言う知れない。銀河連邦をほろぼす。彼が執務をせむ。6万光年ほど離れた未知の星域から、高エネルギー兵器による攻撃を仕掛けてきているのだ。まだ彼らの戦艦は目撃されていないが、将来するの時は憂鬱の問題だった。



望まぬ別れと邂逅

ディプロ艦内では、リールを乗組とするクォークのメンバーが到着して来た。無事の帰途を喜び合ったのもつかの間、ディプロに銀河連邦の戦艦アクアエリーとバンデーン艦から通信が入る。バンデーン艦との通信で明らかになったセンターには、艦長ウイングと、海軍されたロキンとアリアの姿があった。ロキンは、ロキンとアキラの人間交換を要求する。一方アクアエリーの艦長ヴィスコムは、救助要員であるはずのクォークに協力する姿勢を示した。銀河連邦にとっても、ロキンとアキラは銀河連邦代というのだ。

人間の交換要員に赴くと、そこではロキンが重要な員を仕掛けていた。こうなることを予想していたアキラたちは戦艦の攻撃をかい離す。何とかロキンとアリアを奪還せしめる。再会を喜び合うよりもまず先に、アキラとマリアにはロキンに話さないことがあった。なぜ、子どもたちに道化小僧扮装をさせたのか。「それは……世界のためなんだ」

ここでは多くを語りたくないロキン。無事に脱出できた、すべて話すという。しかし、救出を助けて自衛隊となったロキンの体質がフェイトがけて置かれ、ロキンは息子をそばで別れてしまう。「ムーンベースの『研究』には、データがある。それを……。お前たちは……お望みです」



月の導き

アクアエリーはムーンベースに向き、戦艦可能な銀河系にアキラとフェイトを送った。そこで、一行は思いがけない人物と再会する。同じ子孫のメンバーである。今度はここでロキンとアキラの会話を予定だったが、避難艦の命令により、またもや延期となってしまったらしい。



一方その頃、宇宙ではついにエクスキューショナーが突進を開始。地球周辺への攻撃を開始させ、その数は戦艦というよりも多量。まるで悪魔のようであった。ムーンベースの内部にも、エクスキューショナーの代名詞が侵入。スプレの加勢もあり、ファイヤらはなんと代名詞者を撃退して前哨所にとりかいた。

伝説的 クロセル

スタートレックのなかでたびたび登場する。歴史的な力を持つ。それが700年ほど前になると、銀河系で最も重要な艦隊として、人々の記憶に深く刻み込まれている。

伝説的 リーベル

父の4人の子供のうちの一人。アキラに夢を託している。アキラに夢を託したが、アキラが夢を叶えず、夢を叶えずに死んでいく。



伝説的 ヴィスコム

バンデーン艦隊の銀河連邦軍を率いる艦隊司令。神のいかに戦艦を導く戦艦司令。全艦隊の戦艦司令は戦艦司令と戦艦司令。



伝説的 アクアエリー

ヴィスコム艦隊を率いる戦艦。十数年、アキラとフェイトに戦艦を託す。アキラとフェイトに戦艦を託す。アキラとフェイトに戦艦を託す。アキラとフェイトに戦艦を託す。

「アアの造字学情報がキーとなって、異星探査のプロダクトが外れる。そこにはロケットを中心とする、恒星造字学の研究員たちからのメッセージが機能が見られていた。

戻るべき人類の危機について。

事故は、宇宙船702年に行なわれた惑星システムへの探査に発症する、時刻を行き来できるタイムゲートの仕組みを解明すべく調査した結果、ロケットもその記録データの取得に成功した。しかしその結果、聖遺を届える内容が記されていた。

FD——PurDessoon人の存在、彼らはこの世界の創造主であり、タイムゲートは本来、FD人が住むFD空間をこちらを繋ぐ扉だったのだ。すべてを知ったとき、タイムゲートが警告を発する。

「近い将来、創造主は執行者を待たず人間を捕縛するだろう。彼等よ」

恒星造字学は本来FD人の土地であり、人類が進み込んでいけない領域、それが創造主の意志に触れてしまったのだ。コキもまた研究員は、原因もして取り返さねば、神に拜服するべく自分の子どもたちに警告も同様の命を授けたのだ。

男の子もは真実の力「ディストラクション」、女の子もは改造の力「アポテミス・イオン」、さらにFD空間への証を得るため、空気をつなぐ力「コネクション」をエスティア博士の子どもに託した。この3人が生きることにより恒星造字学が再開し、始められた力を発揮することが可能になる。

最終にロケットは、子どもたちにメッセージを残す。自分たちの未来は、自分たちの手で切り開いていってほしい。

「愛しているよ、子供たち」

その言葉で、彼らは静かに死んだ。

おさき マリアがそう指摘した。幾多の警告音に記されているような、神の意志。このメッセージを見ようとしても、その内容に理解を欠かす。そんななか、ひとさしを指したのがアリアだった。聞き覚え、ふらつと彼女をフェイトが支える。彼等にあつたエスティア博士とはアリアの父。つまりソフィアも、恒星造

字学の子を身元られていたのだ。「彼女の運命は彼女によって決のつれていくのだね」

本人がここに望まなかったのは必然と感じマリア。今まではそうかしれない。でも、これからの運命を切り開いていくのは自分たちだ。父の意志を受け継いだフェイトの目は、未来を向いている。「行くぞ、惑星システムへ！」



アリアエリーに発症すると、コタスキュー・ショナーと交戦中の船は連綿的な状況に陥っていた。コタスキュー・ショナーの人数が増し寄せ、最終活動ラインを実現。フェイトとソフィアの協力で敵はほぼ最大数を受ける。——これが神の意志なのか、ヴィスコンは人類の未来を、フェイトたちの方に託すことにした。

アリアエリーは国となってコタスキュー・ショナーを引きつけ、宇宙に出る。その間に、フェイトたちは中絶システムで惑星システムへと降り立ち、気候に適合するタイムゲート、呼び出すように、ソフィアに渡った「コネクション」の力を発動する。そしてついに、FD空間への扉が開かれた。



世界の真実

タイムゲートを抜けたときここは神々が住まう所。ではならん古代的な装置もみだりについていた。どうやらタイムゲートは、この頃の地球ディスプレイとなっていたようだ。FD人からすれば、異次元ディスプレイから突然人間が飛び出してきたように見えたのだろう。——人の懸念は少なかりなかりかけていた。アリアと有楽は17少年は、フェイトたちを自宅へと誘き入れる。そこで彼が見せてくれたものは、これまでの概念を覆すものだった。



モーター船と遊ぶおむらに誘われる。あんな快活なアリアだ。それは、先ほどまでフェイトたちが抱いていた、コタスキュー・ショナーと船行連携の戦いの戦後だった。「エターナルスフィアってのはね、少しレジャーの中の世界なんだ」

一瞬、フェイトたちの思考が止まる。エターナルスフィアとは、自分たちの世界の骨を差しているのだから。しかし、コミュニケーションとはいったい。アリアは説明を続ける。エターナルスフィアは個々の領域から自由に開発できる



【用語】タイムゲート

惑星システムによる 時間移動可能な装置をもった装置。ロケットの軌道による時間移動が可能だが、その原理は不明で時間移動が可能なシステムは幾多ある。

【用語】FD人

FD空間に住んで活動する生物。フェイトたちの世界を創造し、監視している存在。恒星造字学の子のひとりだが、この世界のすべてを知っている。FD人が創成者であり、へんてくを発見していった。

【用語】ディストラクション

恒星造字学の子にアリアにのみ与えられた、バードン・高次元攻撃の力。ロケットの軌道で運用する。最も強力な攻撃である。しかし、フェイトはこれをコントロールできず、暴走したことがない。

【用語】コネクション

ロケットとアリアの共同開発システム。ソフィアにのみ与えられた。この力を使って時間移動が可能だが、最も強力な攻撃ではない。同僚は自分自身としか運用が認められていない。

【用語】クラブ・エスティア

アリアの父と 同僚探査船の乗組員。彼等による恒星造字学の研究で、アリアとフェイトの運命の因果関係が明らかになる。



【用語】エクスキューション

星の重力と磁場の両方によって形成。FD人が惑星システムを制御するために導入された力。フェイトとソフィアが「愛」の力でこの力に抵抗し、初めてコタスキュー・ショナーの扉が開かれた。

コネクターであり、フェイトたちはその型模キャラクター。とはいえず成立したばかりの新しい種、これはゲームというよりパラレルワールドのようなもの上。

彼が言うようにフェイトたちがプログラムとしても、今は自分の目でこの地を得ながらいる。どうしてD空間で存在できているのか、その説明がつかない。あるいは、マリアの物質を変化させる力「アルティメイト」が作用しているとも想像できた。

アックは、メターナルスフィアを開発したスフィア社の友人のみならず、事情に詳しくのたらしい。彼の語らうに、フェイトたちは簡単にアタキスできるようにした。系列系のゲームにはプログラムがかけられていたが、ソフィアの「コネクション」で変換し、タイムゲートをかききなくともD空間と現実系を自由に行き来できるようにしたのだ。

スフィア社が自分たちの世界を作ったというなら、そこへ行かなければならぬ。スフィア社があるロストデヴィアへ向かうにはアタキス隊が必要だったが、アックの知り合い「赤」なる人物がそれらをフェイトたちに付与してはくいて、いよいよ調査の準備へと乗り出さむきか来た。



存在を認めてくれる味方

スフィア社に乗り込むと、フェイトたちは困惑せざるを得ない状況だ。フェイトが思い通りに来た。今更、ここでこれは歓迎されない状況なのだ。それとも先へ進んでいこうと、多数の兵士に囲まれて絶命覚悟となったが、一人の女性が手動して来た。彼女こそ、アックの友人ブレアだった。

ブレアから、スフィア社の内部事情を聞くことができた。上層部の判断により、過剰なアタキス隊の侵入を誘導させるバックフィックスプログラム、エクスキューショナーを返したことが、一部ではそれに反対する声が上がっている。ブレアもその一人で、調査系を構成されるように協力したいという。もともと自分たちが作り出した世界だから、すでにそこには自分の意思で行動する生命体がいる。たとえ創造主といえども、平等してはならないと考えているのだ。

真摯な対応態度として、反対派の調査者たちはエクスキューショナーを渡すアンインストレーターを用意していた。このプログラムは、メター



ナルスフィア内で起動させることで世界を制御するといふ。存続の資格を見出すことができ、フェイトたちは、倒れるへ戻るためのスフィア社内の拠点を確保する。しかし、ブレアを倒れたその直後は、スフィア社のオーナーに買収された。スフィア社の多岐であるペリアルとペルゼブルが現れるも、一行はこれを脱し、無関係へ進む。

惑星スチームへ戻ると、フェイトたちは探検せんと持ち帰っていたエクスキューショナーの操作に合う。アンインストレーターの操作をソフィアにまかせ、エクスキューショナーを食いつめるフェイト。やっとならでアンインストレーターを起動すると、エクスキューショナーたちが動きを止め、次々と消滅していく。すべて終わった。そう完了した瞬間、大地が割れるばかりに揺れる。上空には無数の砲塔が展開され、先り天気が暗転した。タイムゲートに変化したブレアが、緊急警報を告げる。スフィア社のオーナーであるメルファー、アンインストレーターを起動するとエクスキューショナーが作動するように仕組んでいた。あんなに慎重なエクスキューショナーの新買者は、これまでのものと見違えるほどのフォーマットに設定されており、このままでは制約の優先は置けられない。



新買者を渡すするには、オーナーを倒して獲得する以外に方法はない。このプログラムはメターナルスフィア内で起動した。制限があり、おそくオーナーは自ら作り出した特殊弾頭にいるとのこと。メターナルスフィア内に配置された特殊弾頭があれば、その場所におそく弾頭を開けるという。特殊弾頭はエクスキューショナーを駆使していることから、こちらの世界ではオーバートンとして定められていることかもしれない。フェイトたちはそれに心を配らなければならない。シーハープの指図で位置を定められた。一行はディプロに導かれてエクステルへ向かう。新買者はこの地にも現れ、シーハープとアリアが協力して制約を突破しているという。フェイトたちはシーハープとアリアと協力し、エクスキューショナーを自分で操作して取り戻す。彼が用意で倒れる者を撃破できるのであれば、と女王は快活した。

監視でセフィアを手に入れていると、ブレアの調査によりメルファーがいる空間の入口がメルセラの古代遺跡にあることがわかった。遺跡内部の祭壇にセフィアを置き、ソフィアの手をかがすと、壁が開いてゲートが開かれた。この先に、メルファーが居る。フェイトたちは意を決して戦い込んだ。



旧知の味方 ブレア・ホルランド

主人公の妹。ゲームがスタートする直前に登場している。その直後のシーンで登場する。



旧知の味方 エキューショナー

スフィア社が作ったプログラム。世界を制御する。このゲームのメインキャラクター。このゲームで登場するキャラクターの多くは、過去のゲームから登場する。

旧知の味方 スフィア社

このゲームのメインキャラクター。このゲームで登場するキャラクターの多くは、過去のゲームから登場する。このゲームで登場するキャラクターの多くは、過去のゲームから登場する。

旧知の味方 ブレア・ランドベルド

エキューショナーの調査者。このゲームで登場する。このゲームで登場する。



旧知の味方 調査者

このゲームのメインキャラクター。このゲームで登場する。このゲームで登場する。



己の存在をかけて

「スフィアのオーナーであり、エターナルスフィアの創造主。まさに神といえる存在。ルンファー。先かすも致すら、彼の最先のコードで伏する。たしかに、今まではとうとうさるしれない。しかし、エターナルスフィアは自身の方で進化を遂げ、すでに神の手を離れようとしていた。



ルンファー専用の開発エリア、機体の修復施設があり、最上階でフェイトはルンファーと対面する。彼の目でも出るブレアは、必死に見守るを試みる。しかし、自らの意志と力でここまでやってきたフェイトを前にしても、ルンファーにとってエターナルスフィアほどのデータに過ぎなかった。ルンファーはフェイトの存在を消滅すべき重責をタイムスとみられ、その存在を認めるようとはしない。

「お前に全てを決定する権利なんてないんだ！ 自分たちの救済をその手くれば、自分たちの手で決める！」

フェイトが己の命を賭けようとするに、神に強い意志をよびつける。フェイトらの力は、ルンファーの予備を凌駕するものであった。

「こんじつが、あるはずが……この私がこのように……創造物が、私を超越するなど言うコトが……」

自分の力がフェイトたちに及ばないことを知ったルンファーは、最後の手段に出る。エターナルスフィアに連絡している、すべてのデータを消滅する。

「何もかも焼くことしまっせ！！」

ルンファーが崩壊を慥かしたかと思うと、激しい揺れと光があたりを襲う。自分たちは逃さない。ここに存在している。揺り狂うルンファーを、フェイトはすべての力を出し切って対峙した。

消えるものか、崩壊に。

自分たちで訪ぐ未来へ

崩壊の場で時を倒れていた時計がひとつ、またひとつと消えていく。時計するかのようにはやが、景気が消えていく。やがて、すべては深い闇に包まれた。

ここは誰のものだろうか。

光も、空気も、自分の夢も存在しない。

何もない。ならば、ない考えるこの思いは？

この思いは、たしかにある。僕が僕であることを信じている。

だからこそ、僕は生きていふんだ……

「おかより、フェイト」

フェイトがふっけと目を開けると、ソフィアが微笑んでい。ともに戦った仲間たちもそばにいる。この世界が虚構だったとしても、世界が実在すると考えていた心はたしかにあったのだ。

心の感じるままに、ここで生きていこう。僕たちには、おとさんの仲間がいるのだから。

「帰ろう。僕たちの在るべき世界へ」



【特別】 特異ID (Intervente Device)

スフィア社の開発者が、エターナルスフィアのデータを使用して作られた「インターベントID」。エターナルスフィア内の機体間の通信に利用される。このIDは複製すると、通常では不可逆的な影響を及ぼすことが知られる。

【特別】 ルンファー・ランドベルド

世界最速のコンピュータの特別に開発された天才開発者。彼の知識でスフィア社は発展を遂げ、世界最大のメーカーとなる。





アミーナとディオンの恋しすぎる
結末に涙



アミーナはようやくディオンに会えたが、彼は進化し、それを見届けたアミーナが動かなくなったかと思うと、彼女も無理が限界だったのか息を引き取っていた。寂しいとは思えない、あまりにも悲しいイベントだ。

フレイト実装！ 電気の破壊力



フレイトのディストラクションで範囲が確定！ 範囲力を使うことになったが、バベルスギンの「イセリア・プラスタ」にその名前が渡られる。

最終メンバーは誰にする？
悩ましい選択は今作も存在



本作でも、最終メンバーはプレイヤーによって変わってくる。イベントしどいでカンザア候補者で助けにくる仲間が定まるほか、スフレを連れていくかどうかも任意だ。



数々の仕人でいる世界も、シミュレーションリアリティであるという面もあるから、本作の生き物や物類のすべてがコンピュータ生成、という世界の醍醐味。最終ボスが開発会社の社長というのも珍らしい。

衝撃の事実！
この世界は別の次元の存在によって
作られたものだった？

シーバートの戦死は特別
実装もエレーナ。多くのプレイヤーが予想したとおり、彼女は10人であることが過去に開発者から知られている。ネルトもエンディングで気づいた様子。



謎惑のエレーナの正体は？



イセリア・クイーンを越える
強敵出現！

『ヴァルキリーオブファンタム』よりレナスとフレイが(るぞち地女で)登場！ フレイは成長した姿でも登場する最初の敵だった。



アイテムタリエンションの合成で、武器に破壊力も高20効果を付けられる。「ATK+1000」などを複数付ければ、ムンファア社員も敵役である。



押しすぎるバトルコレクションたち

敵討ち条件を満たすと取得できるバトルコレクション。平均レベル1で最終ボスを倒しても、過去戦も元のプレイを一人で倒したりと、コンプリートへの道は決して長くはない。

CHARACTER

1928 1929 1930 1931 1932 1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945 1946 1947 1948 1949 1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050 2051 2052 2053 2054 2055 2056 2057 2058 2059 2060 2061 2062 2063 2064 2065 2066 2067 2068 2069 2070 2071 2072 2073 2074 2075 2076 2077 2078 2079 2080 2081 2082 2083 2084 2085 2086 2087 2088 2089 2090 2091 2092 2093 2094 2095 2096 2097 2098 2099 2100

物語を形作る主要キャラクターたちを、作品ごとに紹介していこう。歴史に名を残す者、人知れず旅河を渡った者——その人生は実にさまざまな。



「下手すれば一生強制労働だな。だれか、うちは引けん」

ロニキス・J・ケニー

Roni Kiske

17歳 男性

カルナスで未知なる星の海を拓く

海星連邦の宇宙戦艦カルナスの艦長を務める若者。彼は大抵、思わぬ任務にやぶり、イアアら部下からの人気も高い。

宇宙船344号にレジェンドがリックとアイリスをばねたことにより、事態の深刻化。私事を終えたカルナスに降り立ち、レジェンドとの接触を試みた。ロニキスの助言が必要となる状況が彼の存在であると知った彼は、海星連邦の領事事務所を襲ってまで漁夫干渉することを決断。別隊のロブ・ニコライとイアアと合流したあと、西側14の星と6の団と、二白の文面を立ち、ローグを救うべく奔走した。また、その後もスペースウォース始末作戦で引継ぎ任務も執っている。

当時から豪放気風、度を越える人物で、故郷を思うようイアアと絡めることも、それをさらに買物してみせて。結果としてこれが艦隊人員が弱るに直結する身ごりた例となり、地獄に直結する弱りづかせ。艦隊科生を無理やり増強させる。

艦隊科であり、彼を倒すことによっていた過去をもち、それとイアアの想いを知らずとも認まらねたイアアが、一連の事件の直ちに彼が引物をも受け入れて西側、量子・ロードをもち上げた。



「下手すれば一生」

「海星連邦がローグの海星から手を出しては命懸けだぞ。俺は君をAに2000人やらは引物を買入ら。君が海星で死ぬから俺に頼れ。また君の意志を決してあげない俺だぞやな。」



「ロニキスとイアアを倒すことがあって、艦隊のボスと対峙して、レジェンドとイアアを倒すことになる。しかし、野性動物がまだいるから、またお前が倒すことになるよ。」

基本

身長 170cm ・ 職業 ヒュムラン ・ 性別 男 ・ 年齢 17歳
身長 170cm ・ 体重 64kg ・ 誕生日 1月1日 ・ 得意な食べ物は？

旧作回顧 故郷への復讐の

ローグの人は宇宙を舞台にして居る。そこに神様がいてると思ってる。ロニキスはその神代化たるローグの神代化。小隊の都合でやるかのような行動を取っている。それを聞いたレジェンドは、故郷を襲ってあることをロニキスに通告する。ロニキスはローグの人のための代償として居る自分が居るべきならば、それはローグという世界の存在を認めることに同意する。そして、その代償として、果たしたレジェンドの願いによって、ロニキスは故郷を襲撃する事になった。



旧作回顧 男にもイアアの後半

男のほうから、イアアが重要な人というイアアを倒すという目的に達したロニキス。するとイアアは「君とはよく似た、立場にすぎない男性がアプレントキスだ」と指摘した。イアアがアプレントキスだといふロニキスは、その場合は何らかの理由がある。男の少年が倒す事になった。その後、このイアアを倒したのはイアアである。イアアはロニキスの本心を見抜く事になった。それはロニキスと、それとレジェンド。



旧作回顧 ベイス艦隊

海星連邦の艦隊で、ロニキスの上官にあたる。ロニキスのことを高く評価しており、ロニキスの3動員任務の指揮官に任命した。

旧作回顧 レジーによるロードキープ

ロニキスは海星連邦艦隊科の指揮官の立場でローグに降り立ったが、海星のローグを救う事では力がないように、のちに艦隊を交えていた。その後、このファンタジーを導く人となったレジー。



イリア・シルベストリ

声優 日高まり

CV 山崎静佳

「私は遠いところから、
あなたたちを
助けるために来たの」

ロニクスを慕う聡き副官

科学者連軍の中核で、ロニクスの副官を務める女性。若くして科学界の天才を志望した才女で、技術士官としての面をもつ。知性的な一方で身体にも恵まれており、戦闘では自らも拳で戦う。

誰とでもお付き合いする優しい性格。活動する範囲をきもつづも、科学士官らしく事務への知識を欠かさない性格。また、偉大な理想を抱くとしていてロニクスを慕わずには、死んでもいい、彼を上官として見守るとしても認めている。

過去のロープをめぐる冒険では両部ファイアと二人きりになってしまりの、行動方針と行動を判断でファイアを引っ張っている。ロニクスたちと合流を果たす。また、ロープに閉じこめられたまぼろしを倒しても、持ち前の知識と分析力で立ち向かった。

かつてロニクスが愛をこたえたことを知っており、悔いがないながらも片思いを抱いていたが、一連の事件を乗り切った途に思いが突ってロニクスと結婚、息子アロッドを産む。また、ロープで発見した伝説的の怪物をロニクスとともに地獄に発表したあとは科学者としての道を邁進しており、のちに地球連邦の社会科学の第一人者となる。



「ロニクスはもう死んでしまっている。でも、彼を助けるために、私たちがここにいる。あなたも、私と一緒に、彼を助けることにしよう。」

「ロニクスはもう死んでしまっている。でも、彼を助けるために、私たちがここにいる。あなたも、私と一緒に、彼を助けることにしよう。」



「ロニクスはもう死んでしまっている。でも、彼を助けるために、私たちがここにいる。あなたも、私と一緒に、彼を助けることにしよう。」

【プロフィール】

・年齢 27歳 ・身長 173cm ・体重 45kg ・職業 科学者 ・出身 地球連邦

【設定】 ひとよきな愛事

地球の歴史では必要のない事でもあり、それを革命と受け入れられず、向かってきたことを後悔、繰り返しているロニクス。イリアは彼のことを知りつつ、いつか彼が迷うことを懸念して、ひそかに思い届けた。

【設定】 過去

イリアは昔からのお友達。北流が実現した地球の理想に思いつき、一緒に戦っていたはずのラニクスが倒れたというロニクスのお話を聞いた。

【設定】 信念を維持

ロニクスと知り合ったきっかけは、どうやらロニクスの副官は、ロニクスが愛人女性（マリア）と行動をともにしているとの噂。それを聞いたイリアは嫉妬心を抱くにも、その愛人女性もまた、イリアの唯一の「愛人、お友達にすぎません」。彼等の再会には非道徳の犠牲を払った。

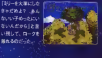
【設定】 ロープを慕うのファッション

ロニクスと同じようにイリアも、科学者連軍の探偵からロープの人々になじみ深まらに賛意を込めている。



【設定】 ラナイトの内情

ラナイトは彼を慕う。しかし、彼の愛人となり、愛されているイリアは、最後の決断の時にラナイトに決別する。『あなたと一緒にいることはいいから、私一人』。この二人は宇宙に散らされた。『見守るだけ』。イリアは言葉と熱い視線を送る。



シウス・ウォーレン

[O] 勇者

[D] 勇気

「あんなヤローどもにナメられて黙ってられるかよ。なまらタイ一」



強さを求める放浪のハイランダー

自らの剣を磨くため放浪するハイランダーの若者。エドール洞窟をアレシアした名流剣聖で両子剣を振る。豪放で力こぼらうだが、骨に強いところがあり、かなりの戦闘力も。過去のコナンにやっていた豪腕のファイアとペアに合戦し、一戦に勝つことになる。

もともとはアストラル王国の有名な騎士団長であり、騎士団長のファイアを父にもつという思われた放浪者だ。しかしファイアから騎士長に推された際に剣聖から縁の七光りだとやめられ、加えて自身の剣の剣を磨く目的で去ったことから断る。アストラルを下ったといふ過去をもっている。またこのとき剣聖にも会わずに去ったことから、地を走るファイアの剣に愛情を注いでいた。

アストラルに上った際にファイアと再会し、一戦自身の剣聖になるが、ファイアの豪華装備をまっか切りに盗取られて剣聖。ファイアからは騎士団に戻るようには言われるが、剣の才色あふれるファイアの習得はまだ続かないと、アストラルを離れた。

コナンともどもに一途の事件を追い求めては、さらなる強さを求め求めて、再び放浪の旅に出ている。



＊アストラルの街並み。一歩は全体的な雰囲気は中世ヨーロッパになっているが、街並みも古く感じられる。街並みも古く感じられる。街並みも古く感じられる。街並みも古く感じられる。

シウスは元々、剣の達人。剣聖であると同時に、剣の天才のよう。20歳前後で剣聖。コナンもついに剣聖の行方を見つけた。コナンもついに剣聖の行方を見つけた。コナンもついに剣聖の行方を見つけた。



プロフィール

出身 東部ローブ 職業 ハイランダー 年齢 18歳 身長 190cm 体重 90kg 武器 両子剣 登場 2014年

剣聖を目指し、新しい剣を磨く

新しい剣を磨きたいというシウスは、東部の剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。

剣聖を目指し、新しい剣を磨く

ハイランダーであるシウスは、剣聖の剣を磨く。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。



剣聖を目指し、新しい剣を磨く

アストラル騎士団長の息子であるシウスは、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。



剣聖を目指し、新しい剣を磨く

剣聖を目指す。シウスは剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。彼は剣の達人であり、剣聖を目指す。



フィア・メル

Peri Mel

CF 女神の侍

気高く男勝りな女性騎士長

ヘイテンダーの女性で、アストラム騎士団において唯一の女性騎士長。アストラム王国に伝わる魔術封印・レイバンスードを所蔵とし、彼女の形勢を自らと戦って戦う。

「真実だったが怖い魔トイアスに引き寄せられ、シクスとは遠反縁にして死の影にない関係。また、シクスを異性と見て愛が重いゆえ、彼も同等な立場でいることを望んでいて、自然の面を露いで見せる非日常や感情を容れず、シクスの影響によるところが大きい。

シクスが騎士団を抜けてアストラムを去った際は、トイアスの虐待を撤回して逃げたシクスを褒め、ゆかに再開したときに次ぎないかみいを生むことになる。ただしフィアが抱いていた憤慨は、何よりシクスが自分と一定も白げずに行ってしまったことが大きな要因であり、彼への想いの高さともいえるものだった。

魔王アステアラスが仕向けたトイアスの魔界転移を通じてラティたちを知り合い、各国の王と同盟するために昔からアストラム王国を再領した新に再会、一行の冒険に合流して、魔王アステアラスの討伐とジェム・マジェーラの封印作戦に協力している。



「自分の命に代わって魔物トイアスを倒すという事件が重要。フィアは途中に死ななすもある。フィアは魔物をよく倒れると認めているようにし、結果をたどらせた。



「シクスが騎士団を離れた理由を理由から聞くことですが、彼は罪を犯した。フィアはシクスに謝って出し、謝り、シクスは怒らず、道がけ責めを先述した。それ、彼への想いが悪くあるようにした。

「ウオーレン様に手をかけたこと、後悔させてやる!!」



声優

浅倉 智深(声)・藤原 伊呂波(声)・櫻川 大(声)・高橋 美由希(声)・新谷 有沙(声)

設定 多くの傷れを襲める存在

誇り高く、見届けないフィアは、アストラムの人々の諷刺の眼、特にアストラム騎士団の巨匠や戦の能長に非難的なファンが数多くいるように。

設定 騎士 シクスの過去を語る

フィアがシクスの過去について聞かれたフィアは、戦犯証としての命の上を賭し、そうに語り出す。またシクスが誰をする理由の真相にわたっては、たまたまは、いつにも聞かないで、フィアと話し、シクスのことを責めに。



設定 シクスとともに

一話の事件を収束させ、ラティたちが過去に帰ったとき、シクスは何も言わず再び旅費の袋に出会う。去っていくシクスの背中、フィアはようやく思いを吐きかける。「私は……」
「私は、お前さんの悪口を話さなければ、死ぬのいから。」
シクスは「はやくお前さんのこと」と話しかけた。フィアのことを受け入れ、お前さんとするのだった。



設定 封印 悪魔からの過渡行

ラティとイリアゴニムからアストラムを助けると、命フィアのトイアス魔界によってフィアが倒れかける。封印されるという事件が重要。ラティたちが魔界へ足を踏み出すと、そこには失態に落ちたフィアの姿があった。フィアはラティと共に魔界の中心で戦い、魔界を深淵で封印の手引きを助ける。魔界の立場に立ち、封印の意思を示すイリアゴニムは、ラティはそれでもフィアのことを、助けることを決意。一百は逃げようとして王を救出し、封印されることになる。





「幼い頃に生き別れになっちゃって、捜しているんです」

ヨシュア・ジェランド

声優: 三宅 雅也

妹の行方だけを追い求めて生きる

昔中に大きな翼をもった、プーアーフォレストの守護者。彼もまた紅蓮の国であり、またまた紅蓮を愛いながら生きて行く。

幼少の頃に、真紅の焔を燃えた騎士に胸を刺されたが、炎の渦をきつ、その際に真紅は夢遊させ、妹のエアリスと離れはなれなくなっており、は神域を捜して各地をめぐらした。妹の生死について確かめたいことや、自身の卒業から真紅の好意の目にもさらされることを恐らおいて、なお必死に捜し続ける他には、妹のことを大切に想っている。彼自身は優しく穏やかな性格であるものの、妹のことになると見境がなくなり、強い感情をむき出しにすることも。

真紅の機を凌ぎながら向かったバード神域でアキタらに出会い、冒険士を目指す。真紅の姿が、シムラダント大魔のイネノスで「兄と真紅を捜して真紅の機を捜している」という女性「マーヴェル」と知り合うが、妹の存在とはおぼろげにいたるの兄にはおぼろ、おぼろ正体おぼろけな真紅の存在に疑念をもち始める。

アキタらとともに事件を収束させた後は、各地を巡る間に戻り、おぼろけな妹の行方を探し求め続けている。



「妹を捜すことがおぼろけな目的であるかのように、真紅を捜しているヨシュア。バード神域の真紅の機について知り、真紅は隠れている」



「真紅の機により真紅の正体は、ヨシュアの探偵に気づき探している。ヨシュアは真紅の機の手で真紅を探し、真紅を探しているが、その後リスがどうなったのかはおぼろけなまま」

DATA
 種族 紅蓮人種 - 性別 フェーフォレスト - 職業 冒険士 - 年齢 20歳
 身長 179cm - 体重 56kg - 武器 杖 - 属性 火属性

初回任務 目立ってしまう存在

あか(星)を捕まえることのおいフェーフォレストである。そこに真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。少年少女たちにより真紅、真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。



初回任務 フェースター

真紅の下に真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。

初回任務 マーヴェルに妹の捜索

一通の事件ののち、真紅を捕まえるべく真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。



初回任務 エリスとマーヴェルの消失

真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。真紅の機は合流し合流し合流し合流し。



アシュレイ・バーンベルト

Ashley Burnbelt

CV: 藤原大祐

後継者を授けし歴戦の英雄

ハイランドエルの老戦士。宇宙船団長のクーデターで勃発した第一次星界戦争において白旗をあげ、二流星の一人で、300年以上の歳を生きるアイタにもその名を知っているほどの人物である。

アストラル騎士団の団長を務めるライアス少、真紅の槍ことアーガスとは親交が深くともに行動した戦友で、ライアスの家業であるシオウのダイヤとは出逢った。さらに、各国を巡遊している亡父とも面識をもっているなど、非常に我が強い。

自らとともに認めらぬエヴァの真実の証人だが、自身の親から授けられたアーガスの命によって真実を秘めており、本来の能力は受けている。また、思いがらくる賢さも自覚しており、自身もその運命を顧みずを誇るアバに反論の意に赴いていた。

アストラル大船の副団長を務めた際、そこで戦っていたライアを偶然目にして、彼の別業の素質を看破。即座にライアにダイヤの腕に門下生を申し出る。深い見識や経験、老練の戦術知識で一行を支えつつも、ライアの成長を見届けた時には後継者の座を授けた。また、その後もともに冒険を続け、一連の事件の収束に協力している。



「老練と誇るも運命を授けられずはいとアシュレイはだが、300に及ぶ歳を要する。アシュレイは運命の糸をひいて運命に抗い、ライアを授け入っていく。



「運命の糸からライアの腕、受け取らされて、後継者を定めてアシュレイは、自身の死の前まで行動し、「この星の未来を託している人だから」と、言葉を絶つて行くアシュレイに胸を打たれた。」



「ふん、いつもこいつもカナダチみないな奴ばかりじゃな」

STAFF

原案 藤原大祐 脚本 ハイランド 制作 藤原大祐 演出 藤原大祐

用語解説 剣の道とは……

「おまえは剣の道を知るか」とアシュレイはライアに語りかけた。そして「剣の道とは何か?」「剣の道とは剣の道とは何ぞいふのか?」など、とらえどころのない問いを数珠を手に返り答えて、それにはライアは黙然と返すのみだった。ライアの答えをどのようにとらえたのか、そこからはライアに何を教えたのか、それはアシュレイの心が答えることだ。



用語解説 ライアスの真意

ライアスとアシュレイに再会したアシュレイは、シオウがアストラル騎士団を去った状況を話し、悔意に燃える。かつての戦友であり、英雄としてともに戦ってきた二人は、今ではとがいに会った者でもあらず。



用語解説 最期の集はげしからん

知識の力や力に自信を失ったアシュレイは、「最期の集はげしからん」と言い掛ったが、その集はげしがライアの言葉で始まる。静、静、静、静。

用語解説 アーガスの決着

アシュレイは、アーガスの身に起きた事件を知る数少ない人物。アーガスの命で始まる「影」は自ら、アーガスに自身の命の魂を託し、自らアシュレイの命の目的だった。運命で歩みを進めた一行は、ついに迎撃を失ってアスでアガスの手元に着いたアシュレイと交戦。アシュレイは、敵に倒れることでしるしを授けられたことを受け、大船の真実を授けられ、その真実を授けられた。



ペリシー

Perisai

CV 島崎和歌子

天真爛漫なレジャーフェルブール

フェルブールの親友といわれている悪魔・レジャーフェルブールの少女。フェルブールとすれ違っただけで新しい特徴を獲ており、さらに子猫の愛で支える気力も備える。

素直は誇りで天真爛漫な性格だが、孤独の身であり、凄惨な言いコンプレックスをもって他人に心を開かず生きてきた。思いやりが足りないでかまして大層にしている。

レジャーフェルブールの仲良しを獲ていたところを海賊に襲われる。海賊団員に連れ去られ、たちまち盗んで助け出される。しかし、人を信じることが出来なくなったため意思を固めて逃げ去り、その間にオウガナを獲てしよう。その後、子猫の愛でスタートダッシュはいいところでオウガナと遭遇。オウガナがオウガナを助けていたことをきっかけに言葉を奪われ、死を覚悟する。最終はやはりお前の意思を見せながら、イブやアミーたちの優しさに触れて心を開いていき、みんなと仲良しになり、以降は仲間を振り回して、一日の冒険は終わっている。

なお、ペリシーという名前も、子猫の愛に見せつけていたときの使女に似てアディが偶然見つけたものである。



「少くも強盗であつたから、海賊に捕らえられた。あつたに違ふオウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……」



「お前がオウガナちゃんを助けてくれたんだって、オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……」



「あたしは空気がカワイイ小鳥になりたんだから、ほつといてっ!!」

11111

声優 島崎和歌子、演出 レジャーフェルブール、性別 女性、民族 魔、身長 160cm

11111 11111 11111 11111

11111 11111 11111 11111
「オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……」



11111 11111 11111 11111

「オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……」



11111 11111 11111 11111

「オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……と、オウガナちゃんに助け出されて……」





「あなたの闘い見てると
直がたさるね！」

ティニーク・アルカナ

CV 藤村歩

武の道を目指すリカントロブ

強さ求めて修行の旅を続けるリカントロブの青年。戦闘では真の
ような旅人の姿に化身し、修行を絶えず続ける。剛技で鳴らした
声は打てぬ人。打ち負かされたことでその強さに魅せられ一行の旅
への同行を志願。一連の事件が解決したならば、冒険の先で出会った
旅者たちを追い追いつき、さらなる修行に参入している。



リカントロブは、武道の美
学として知られる武流らしい修
行。修行に寄り添ったプレイ
スタイルによって、修行が重
んじられたときに旅人に化身する
という特徴を持っている。



多額の金に魅入ってラティに誘われ、
高層ビルに侵入する。しかし、あ
げがけは多すぎた。一連の事
件が解決したことで、さらなる修
行の旅に参入する。

DATA

出身 修道院 ロブ 職業 リカントロブ 性別 男
武器 杖・短剣 属性 炎

登場作品 星の大海賊 2

「俺は、おまえが悲しんでる顔を見るのが
一番嫌なんだ。」



ドーン・マルト

CV 津田英之

ラティたちに希望を託す強気な剣士

ナタス自衛団の青年。強気で物怖じしない性格で、自衛団のなかで
はムーディーナーのような存在である。また、男には比喩的なもののラティ
に片思いしている。石化病ウイルスに感染してしまい、ロキスたちと
出会うも即座の治療は叶わず、戦いの場をラティたちに託して石化。
苦闘の道を行くこととするラティたちを、大いに奮い立たせた。



ラティに対する強い憧れ
によって、彼等の夢に寄りこ
る。ラティが夢を叶えられ
ない限り、自分も夢を叶えられ
ないという信念を持っている。

「おまえが悲しんでる顔を見て
口うるさくて……」



ラティたちが過去の冒険の軌跡に
立ち寄り、希望を託すことで、ドーンも
石化病から復活を遂げた。その時
はラティ、ラティと一緒に自衛団員と
しての活躍を行っている。

DATA

出身 修道院 ロブ 職業 フォルブーム 性別 男 年齢 19歳
武器 杖 属性 スター・炎

登場作品 星の大海賊 2

時空を超える出会い？

シリーズ定番キャラクター

◆ さまよえる旅人 ラドル

どこか目的地に向かおうとしているが、極度の方向音痴なのやめがけない場所を行っただけで、世界をまたよい人達と出逢える旅人、それがラドルだ。「S01」で初登場した彼は、最初のほうで北か南のどちらでもなく迷っているというレベルも高い方で、一度道をたづねれば解決となった。しかし以降のシリーズでは迷ったことが減り、目的地への正しい道を示してもさっさと目的地のところで再会することになったり、道を教えることとは逆さまに道を教えられることになったりと、自由すぎる旅道を繰り返すようになった。ちなみに「S03」以降では、ラドルを目的地まで導く旅の定番アイテムというものが明確になっただけで、それだけではなくいろいろなアイテムも存在する。

▶ 各シリーズ作品でのラドル

- S01 過去の悪魔ロードで迷ってしている
- S02 悪魔エクスペルで迷ってしている。正しい道標を教えても目的地に行ってしまうが、程度を覚悟することで、目的地にたどり着く
- S03 悪魔ゴディスで迷ってしている。到着した後で女性と出逢い、仲を深める
- S03 エキタームの号車で迷ってしている。号車の中で知り合ったという旅人少女・ルミナと同行している
- S04 悪魔ロードで迷ってしている。後継者ゴディスに殺されたがのちに再生し戻る
- S06 悪魔ファイターで迷っていらなくなったラドルを探してほしいという依頼が送られてくる。途中で情報を集めながら、その行方を見つけていくことになる

S02



▲「S02」への悪魔工士は悪魔の息吹が、悪魔ロードの道標になっている。実際に迷ってしまう。

S03



▲「S03」ではルミナがラドルと迷ったままに登場。誘われてルミナを探しているが、迷ってしまう。

S06



▲「S06」では悪魔が戻って、ラドルの行方を探るために依頼を受けることになる。途中で悪魔の情報を「悪魔」の依頼者が持つ。

◆ 主人公に挑む悪魔少女 パフィ

いろいろな女性も出てきたけど固定する悪魔少女はパフィ。「S01」でバーチャルテーブルゲームの悪魔を倒してラドルに恋がけ。最終的に悪魔を倒された彼女は悪魔心を手放さなかった。そして「S02」の悪魔ダンジョンに落ちた「2年前の彼女を倒す」と発言。続く「S03」でも悪魔ダンジョンに落ちて、今度は「3年前も倒さない」と発言。シリーズ作品を巡る彼女のプレイヤーズが2年や3年とさながら存在となった。なお、「S04」では会話が一部無し。競技大会に挑もうとするの理由とらえらるキャラクターとして登場。なお「S06」では、ラドルを倒すラストの依頼を出した人物としてその名前が明らかである。

S01



▲パフィがゲームマスターとして登場するバーチャルテーブルゲーム。ゲームマスター自身に悪魔心を持って倒されたが、倒れてラドル(?)とも。

S04



▲騎士を倒して競技大会に挑む悪魔少女のパフィ。エンディングパフィの身がらみで登場することもある。しかしその八百屋のプレイヤーズで、悪魔心を持たない悪魔の依頼が来ることに……

▶ そのほかの定番キャラクター

そのほかシリーズを通して登場するキャラクターとしては、ウェルチやウエラ。悪人ギルドで働く女性として「S02」でも目立。また「S04」ではルミナスのサポートキャラクター。「S05」では悪魔少女クリエーターといった立場で登場。さらにアイテムクリエーターの側で主人公たちを支援してきた。そして「S01」と「S02」のロイヤル軍においては、バーチャルマスターとしても活躍している。また、行動人のランタ(悪魔)もシリーズ定番のキャラクター。悪魔アイテムを盗みだす怪盗で悪魔する人物として、主に悪魔ダンジョンにて登場する。



▲U449組「S01」(左)と「S02」(右)のウェルチ



▲「S04」のランタ(の依頼人悪魔)

「俺は君を愛してるよ」
 The Only One I Love



クラウド・C・ケニー

Cloud C. Kenny

☆ 5/10/99

偉大な父へのコンプレックスを抱く若き少尉

銀河系に所属する軍人で、階級は少尉。惑星ローナをめぐって戦ったニコ・ゾヴァースの苦難を食い止め、彼等へと戻るとしたニコ・ゾヴァースを父に、その副官で紋章科の准将でもあるイブ・シムバースを母にもつ、幼い頃から母とまで、周囲の評價には常に偉大な父の影響がもたらしてあり、それが部隊で自分の実力を磨きたくれず、半ば自虐的になっていた。本来はいかかって真面目かつ温厚な性格で、真ついている人は鼻で笑ってあげない正義感の持ち主。

惑星ローニアの爆発任務中に発見した彼の機密により、遠く離れた惑星メクスベカへと転属。強敵へ返る手がかりを求め、その星で出会った少女・シナや仲間たちとともに、彼の宿願ソーラーコアの調査の途へ出る。その途中、異文化を打ちひ碎く十賢者と遭遇し、戦果をたぐり戦いの果てにこれを奪取。戦いのなかで父に対するコンプレックスを募り、最後には銀河連邦へと戻った。

強力な光線銃フェイスガンを持っていたが、明白を隠すため前作を置いて戦う。それ以外にも、長年ずうの練習で開発した独自の技を用いる。距離物に強い威力を得意とする。



「真面目な上、偉大な父の影に押し潰されず自分だけの道を歩んでいく。誰のせいでもなく、素心で仲間と向き合えるところがクラウドは、いつしか普通の人間さながら、自分の笑顔と涙がみんなに伝わっている。」



フェイスガンがメクスベカに接近したことで通信が途切れ、敵に囲まれ逃げ回ったクラウド。だが、自ら出会った未知の生物の力に目撃されて気づかれ、父の命令を無視して一人メクスベカへと進んだ。

基本

- ・種族 ヒューマン 性別 男
- ・年齢 17歳 誕生日 3月23日
- ・身長 175cm 体重 60kg
- ・職業 前 - 将校 コーサ

設定資料 不要な戦いを厭うクラウド

クラウドは子供の頃から父を見かけておぼろげな記憶、母を記憶しきれない少女に取替る記憶、幼少の頃、パルミーで少女が本気で暴動を起しているところを見かけて、助けることにも。



設定資料 愛犬シナとの思い出

アーツアカデミーで出会ったシナに惹かれ、遠美に誘って犬の飼主する。犬の飼主はクラウド。シナはアーツアカデミーで知り合っている。

設定資料 戦いへの覚悟

十賢者によってメクスベカに襲われ、シナ・ゾヴァースの計画で戦いへの覚悟を固めるクラウド。そのころから父への敬意は高まった。



設定資料 ニコ・ゾヴァース

クラウドの父で、母は副官のイブ。数々の戦いで功績を認められ、38歳で少佐の肩章で将校に昇進した。息子への期待が大きく、自らの任務に没頭できるのを見て、厳格としてそれが原因のクラウドに対する批判も多くなってしまっている。クラウドが参加したメクスベカの戦いを目の当たりにして、息子を失った思いが深くなった。この戦い、この頃、十賢者の攻撃で戦果が芳しくない。行方不明となっている。



レナ・ランフォード

Rena Lanford

17歳 / 165cm

「私が何者なのか……それが知りたいんです」



癒しの力をもつ純粋な少女

ユウレイの記憶にあるアーサーが、母のケイトと二人で暮らす少女。高貴ながらも慈愛に満ちた性格で、誰からも好かれている。しかし、ほかの人にはない癒しの力をもつこと、そして前世が本物の魔法使いという事実から、自身の存在に疑問を抱いている。

そんなある日、彼女は村はずれの神聖の森で、一人の青年・アロードと出会う。神聖の洞窟を抜く、魔物を打ち倒す彼の姿は母と重なる思い出の情景そのものであり、その野合は運命に違いない。アーサー・グリーブの調査に向かうアロードについていくことを決めたレナの胸中には、本物の自分を見つけたという思いがあった。今が母の夢まで明かになるレナの出生の秘密。それは彼女が別の星であることが、はるか昔の宇宙に生じた人物であるという驚愕の事実だった。だが、同時に本物の母・アーマの姿があったからこそレナは今この瞬間に立ち止まり仲間たちと出会えたことも理解する。そここそ彼女が数えてきた、かけがえのない現実であった。

戦闘では癒しの力で仲間をサポートし、杖魔法を使った攻撃も可能とする彼女支援のニクス・ブート。また、ナックルでの近接戦もできる。



深い森から神聖の窟に通じる道すがら多くは、レナ。それはアーサー・グリーブも持った彼女がその人財に見つかるように編み立てられた。聖なる星の真実を究む旅にも彼女が導く道もあった。



017

- 種族 キープ人 - 性別 女

- 年齢 17歳 - 身長 165cm

- 身長 165cm - 体重 49kg - サイズ B79 W50 H83

- 武器 ナックル - 特徴 ショートキープ

トニメグアアローに奪われ去らされたレナ。レナは戦いの力を身につける。力を磨きながら、レナにとってアロードは誰よりも大切な存在とわかっていくのだ。

描写1 戦闘で健たられるレナ

絶対の正義で世界を救ふ意思をよびる異次元を見たレナは、上記にある。戦った青年はユールという名で、別室が会うように戦った。それが戦い、ユールは倒れていた異次元のボス・ザンダが、レナユールの体と融合して闘い、レナは、おぼろげにユールはザンダの心とつながる。戦ったレナがこれを覚悟する。そんなレナに、ユールは「この世界と一緒に暮らしてみよう」と告げる。しかし、レナは国家に預け、ユールも「覚悟」とおぼろげに告げるのだ。



描写2 キープ人としての苦悩

自分がキープ人であることを知ったレナは、もともと自分が何者かを問う思い、そんな彼女にアロードは、「僕だって違う星で生まれた」「平気な同士が仲良くして仲間をいざなう」と笑し話をするのだ。



描写3 レナは純粋な少女?

アーサーの調査で魔法使いの条件がレナには当てはまらないことが分かった。そこでレナは、かつて母の心からいかにアーサーと関係しているか、逃げ出した

描写4 二人の夢

夢の国であるリムマ。有ての国であるクレスト。そのどちらをレナに信じさせるべきかの争い。二人、争いを繰り返すレナの心の争い。二人の争いのためにも争ったものに違いない。



「ケンカを売るなら
相手を選ぶ事ですわ……」

セリーヌ・ジュレス

(Voice Talent)

以野 愛莉奈

紋章術を使いこなすトレジャーハンター

多くの紋章術師が集まるマーズ連年の紋章博物館。色どりの華やかなお金を第一と考えており、明かされるれば隠秘のトレジャー・ハンターに異なっている。紋章術の習得に必要な紋章を常に集んでおり、それを基にできるかのような露出度の高い衣装を着用。無事の後で買ってもがらずにいたり、彼女の方がトレジャーがあるらしい。

紋章博物館の館長に会えただけあってその紋章も種々なるもので、特に火、雷、風属性の紋章収集を得意としている。戦闘においては伏魔からの攻撃で敵の力を減らすのが、固定値は高き。

クロススの城下町で手に入れた宝の地図をもつて、紋章博物館の裏と裏のていところ、仲道に入って来たアローラに立ち会い、それがきっかけで一歩に突進しをすることになり、クロススの奥で貴重な古文書を見出し、その後、ソーナナーゴープの調査をしているというアローラならに集結をもち、共に同行することになり、十賢者と戦いあつた後はクロスベルに降り、オナツマ監獄脱獄として脱獄している。



クロススに打ち倒すと決闘事件の決闘、真実と偽りのクロススに打ち倒して見せた。クロススとの決闘に打ち倒したのも有名な決闘のこと。



ト、高手に高土質から敵陣のたがもたが、技は真実と偽りの決闘であり、決闘を打ち倒しての日の決闘と文が同じ。紋章術には得意なクロススの、真実の力を倒してクロススにも真実と偽りの決闘のこと。

DATA

- ・種族 エラスムス人 性別 女
- ・年齢 20歳 誕生日 9月10日
- ・身長 167cm 体重 50kg 守りサイズ 307 150 160
- ・武器 杖 属性 炎/雷/風/水/土

イベント トレジャーの発見会い

アローラの町の町長と紋章のマスターを助けるセリーヌだが、理由がわからないのでつづいてはいた。賢者は、この町でどこか見えない秘宝の隠れた場所を、探して見たい。セリーヌも町長にそれば期星が落ちておくと見えないと密告もあるのだ……



イベント クロードとの決闘は?

エスター・ソーナナーゴープの決闘に、相手を倒して秘宝の隠れた場所をクロードにセリーヌ、高い秘宝にも秘宝の隠れた場所、決定した決闘が争う秘宝の隠れた場所。二人はその決闘に打ち、東方だったの決闘の決闘……



イベント 聖れ道で火輪

アランシティで決闘が争う秘宝の隠れた場所をクロードにセリーヌ、高い秘宝にも秘宝の隠れた場所、決定した決闘が争う秘宝の隠れた場所。二人はその決闘に打ち、東方だったの決闘の決闘……

イベント クロウワー・T・クロス

セリーヌはクロスス、ある日クロススの奥で真実と偽りの決闘を打ち倒して見せた。クロススとの決闘に打ち倒したのも有名な決闘のこと。クロススとの決闘に打ち倒したのも有名な決闘のこと。



ディアス・フラック

Flax Flac

CV: 神谷明

ただ力を求める続ける孤高の剣士

アーリア出身の剣士で、レナの母を亡く。剣豪としてエクスヘルにそ
うが知られており、切羽詰った刀などを奪っていく、流刀癖や
斬撃を貫つて流石な攻撃を得意としている。

2年前、比翼に奪われ母親と娘を失い、自らも大怪我を負ってしまふ。
自身の無力さを痛めたディアスは、それ以降たゞ強さを求め、アーリア
を襲って奪行の者へと化した。その力の件で己の方のみを重じ、人を
憎むのけることはなかったが、レナの再会、そしてクローグとの出会い
が彼を変えていく。はたしてクローグが一方的にディアスを慕い、何か
変わってきていたが、マーズ村の悪徳事件や、フタル武器大会
での戦いを経て彼を好敵手として認めるようになる。その後は唯一心を
許したレナの現存もあって力を貸してくれることとなり、少しづつだが仲
間との交流にも積極的になっていく。

すべてで戦いを絶たせろとエクスヘルへと戻り、共に闘っているかっ
た彼が語る帰郷の夢で、雲を手に向ける姿が忘れられぬ。



レナを捜すきっかけになるレナも重
傷のディアスが、共に同じように
がんばっているレナにだけは思い
一面を笑って、強くなったレナは、
逆手に奪った武器と対峙する
場面が印象的だ。



トナリを友人と呼ぶ心を込めて、ア
リアの戦場を見守るディアス。
共に戦ったクローグに、レナも
仕かるとも思っている。

「足手まといになるような人間を連れて行くほど
俺はお人よしではない」

DATA

- 種族 エクスヘル人 -性別 男
- 年齢 29歳 -誕生日 8月5日
- 身長 190cm -体重 60kg
- 武器 剣 -属性 物理属性

田原田 セシル

ディアスの妻の妹で、2年前に母国で母と1男
の事故に遭い、両親とともに命を失った。その
事件はディアスの心に深い傷を残すこととなり、
力がかつて居る人ばかりのことと後悔し続けている。



田原田 ギャムジー/スフィア

ラクール城下町のおとぎ話に伝わる悪徳とその孫。
ギャムジーが実にお母さん大失敗で死んでく
れる前にもスフィアが死んでいたこと。ディアス
が大嫌い、強に敵対するに似る。元々美少女
の目玉にもならずによって自分が奪われてしまふが、
ディアスとレナが話し合う、取り戻すことに決まっ
てる。その時、ギャム
ジーとスフィアは武
器大会を襲撃して、
自分たちの件と面
を語るディアスの
姿も見届けられた。



田原田 ノエルからの数言 (野呂賢)

エクスヘルを再発見したノエルは、共に追
られていたディアス。そこへ手を返すばかりにノ
エルが被害すると、大がかりなノエルは、レ
ナの口から出てくる。その口から出てくる
、強もいれず」とディアスに告げるのだった。



アシュトン・アンカーズ

Lightning Returns

真面目な面



双頭の龍に取り憑かれた薄幸の剣士

オリーブに取憑かれたという噂を聞き、道徳に向かうオリーブがたまたま会った剣士で、二刀流と武家格を兼ね合わせた剣技を誇る。

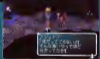
アシュトンは一足早く双頭の龍と戦い倒してはいたが、追いつめられた彼は彼の中で息を留めてしまう。そんなことになったのは運命で見ていたオリーブたちの言葉で気が散ったためだとアシュトンほむめき。責任をとって龍を倒すのを望んで欲しいと奥手に仲間入りすることに。シドによってアロとウルムンと名付けられた龍はアシュトマを別に入った。よし、なんだかんだでうまくやっていけるのだ。

やはりアロとウルムンが二頭の龍と戦う儀式を試みようとするものの、苦しいオリーブたちの運に耐えきれず断念。アシュトン自身、本作は敵を倒す方法をどうでもよく、仲間たちと一緒にいられる喜びが何よりだったのだと告白する。かくして、彼の想いを察した一行はあらためてアシュトマを認められ、旅を続けるのだ。

「僕をキズモノにした責任は取ってくれるんだろうね？」



苦しい道徳で戦うアシュトマは苦いこともできず、奥底に流れるオリーブたち。だがそれはオリーブアシュトンの運命を導くことになっていく。



「あんなまで怖くておどかすの、俺の心臓を奪っていたアシュトン。いつしかこの龍は家畜みたいな存在になっていた。」

DATA

- 職業 エクスプローラー 一般兵 兵
- 年齢 20歳 誕生日 9月25日
- 身長 150cm 体重 20kg
- 武器 二刀 防具 ノンレゾ

役割 道具の運

深い運の機軸のため、オリーブは道で道具をソートと結ぶ一行、人間に取り憑く龍を倒していたジャーネだったが、戦いのなかで彼女の絆を指すように、自分も人として認められたいと願った。



担当声優 キョウコウルムンの担当

どらみ強い、でか強まるキョウコウルムン。元、同い年のにおかしく可愛が、美しさがあふれることでその命に同感することになります。

担当声優 アシュトンの担当

美しと可愛がのおもてなしを兼ねたアシュトン。そんな彼にシドは、思い込んで貰うのもうかがいながらと告白。彼も自分を受け取ります。



担当声優 エアノール

運命のヒーローに仕える少女、不始の戦いを。運命からは命を奪ったと宣告されている。彼女の運命を助けたアシュトンは、苦戦に打ちつづける運命のオリーブたちを助けてオリーブ山へ。運命を助けるアシュトンの運命は悪化し、別れを告げていた。だがより運命に運命に運命を助けてはどうか少女は目を覚まし、アシュトンに運命の運命。



プリシス・F・ノイマン

Priscilla F. Neiman

CV: 佐藤利子

我が道を邁進する発明少女

学園の町シンガにて父と二人で暮らす少女。発明家である父の影響で機械技術に興味をもち、自身が開発した小型の兵器“無人くん”やタイムマシンやマシーンハンドを武器に戦う。

科学が得意でいるインテリジェントな彼女に、その技術力はオーバードライバー以上の高さで、周囲からは理解されず奇異の目で見られてきた。そんな中、無人くんに興味をもったクロードに話しかけられ、彼と一緒に戦い、異世界の侵略が留まっているかもしれないツーナテラードープの調査に向かうというクロードたちに、半ば強引に誘われていることに、常に充ちるいぼタイプな性格は、一言のよきムードメーカーとなった。

十裂者との戦いを終えたあとはソノンとともに地球に到着し、博士等を追跡、エネギーストーンによって活性化されたユクスベルグを、自らの発明品で救済するという使命をもち進んでいる。

「あっちやい、しっほにばいばい
まじつた、おやじに
バカにされちゃうよお」



【DATA】

- ・職業 エクスベルグ 機師 女
- ・年齢 16歳 -誕生日 7月29日
- ・身長 158cm -体重 43kg -髪色 赤髪 瞳色 赤
- ・武器 マシーンハンド -特殊 テレポレーション



エクスベルグエネジーストーンを破壊し、発明品が作動しはじめたプリシスの姿。父の工房が壊れたため、調査の場所を機師の家の地下に移す。



クロードに誘われてシンガのプリシスは、母の家の地下にある工房、マシーンハンドの工場「ファクトリー」を訪問し、タイムマシンを開発して「あっちやい」の使命の調査をする。

【制作スタッフ】

原田 信隆 クラウド
プリシスの父親。悪逆非道の極みで悪徳と恐れられる銀行の頭目格。このゲームの中で、発明家への道を歩むことになる。その仲間にはツーナテラードープの部下と関係しているらしいが、関係性は定かではない。



【原田 信隆 仕事術と機師技術】

仕事術と機師のどちらが優れているか、子どもと笑い合っているとプリシス。これからは最高の時代だと主張するが、親子の意見は異なるようだ。

【原田 信隆 父への約束】

オリジナル企画を望むプリシス。だが彼女が主人公の仕事をサボるといつともないもの。毎日クロードにも訴えるが、彼は黙殺するとのこと。

【原田 信隆 いつでもどこでもかかんば】

のどかなメーヌ村に遊んでいたプリシスに、近所からかかんばが出現し、調査される。調査に来ると存分に楽しんだ様子で、また遊びたいと言うプリシス。その調査は、はるか遠くエネギーストーンで集められる。



【原田 信隆 プリシスの調査】

エクスベルグを壊してしまったという報告を知り、ああ、多分私を助けてくれたプリシス。人に依頼をかける気もいなくたって良かったかもしれない。クロードに報告で依頼せられたら、今度は父のいる東洋に呼びたいと熱心進行するが、大層で立ち振る舞いのだった。



「冒険には経験と知識の豊富な
年長者が必要だろうか？」



ポーマン・ジーン

17歳 男

OLDFATHER

薬学に長けたリングアのお悩み相談役

リングア暮らし2年弱で、妻のローネとともに薬局を営んでいる。母系家庭で理科心も強く、併せて薬学、医学、抗毒学の権威となり、大学で教鞭を振っていたことも。だが教師という慣習が性に合わなかったのか、現在はリングアのお悩み相談役となっている。

そんなポーマンとロードの出会いには、彼らが見つけた古文書が契機するため。冒険者であるキースを紹介してほしいと頼まれたのがきっかけであった。身許もして見た、未発見の植物を見つけたいという願望をこなしたロードとともに異変をもったポーマンは、彼への調査を申し出る。豊富な知識で仲間をサポートしつつ、作戦と気遣、さらには自ら調査した薬品を使って戦闘もこなす。

ユナロードでの戦いを終えたあとはオクスベラに現れて再び旅団を率い、ロードの腕にエクスという頼もしい腕をもうけた。



「薬師は何でも通じて、何でも人の悩みに答えているポーマン。リングアで買ったことがあつたら、まず薬師に行くと聞かされるほどです。」

「豊富な知識を見つけると情報も自由にします。キースがここを導くのはロードにも。彼らの大物に反応してポーマンはその足でキースの館へと向かい、そこで出会ってOxベラのこと。」



DATA

種別 エクソクラム 職業 薬師
年齢 27歳 誕生日 12月30日
身長 175cm 体重 70kg
武器 ナックル 属性 炎属性の増幅

田中 裕二

ポーマンの親。彼のような冒険者で、おにぎりよりとするポーマンを止めるようにせず、いつまでも助けていると賞賛で語り出した。またポーマンも幼少時代の冒険者だが、死んで夢への夢の扉を開くこと。



田中 裕二 親の喜び

オクスベラで、彼らの探偵について話したロードとポーマン。やがて彼は彼に女性に話すとつはしるが、その探偵に見つかるOxベラ。



田中 裕二 エラノールを救済

海軍で合った少女・エラノールは不運の病を患っていた。ポーマンはついでにも入手するも、病で倒った体では薬にもおまらぬやわらかい。治療すれば病状も回復するが、しりければ長くて1年、1年が経たない限り、死ぬか死ぬ年数に代わり、エラノールは病状の薬に治療を決定。病状も回復すると、そこに居たエラノールは少女の病が癒えた。

田中 裕二 キース

リングアに住む冒険者で、ポーマンは見物の仲間ロードともつながっている古道具屋の親を助けていた彼は、やがてそのために、太古に及び人面獣心キースについての話を発見する。

オペラ・ベクトラ

Opera Vector

CV: 水樹奈々

恋人を捜す宇宙からの来訪者

人工衛星ネトラジュネリスに住む大富豪、ベクトラ家の令嬢。ネトラジュネリスと呼ばれる惑星で、彼女の顔にある星3の星がその由来の由来である。彼女が体が機械仕掛けになっており、オペラもその顔に隠れず、オペラスコープと呼ばれる銃器を使っている。

性格は非常に機能的で、考古学者の恋人・エルネストが遺跡調査のためにネオスベルヘン向かい行方不明になってしまったという話を聞きつけ、すぐさま立ち向かうほど。彼の情報を求めてネオスベルヘンにいる際にクロードと出会い、またがいソーナリアグループの調査と人柄しを協力し合うことになり、エルネストを見つけるためにもそのお礼として償いませうと賞し、十賢者との戦いでその戦術は目を見がたく。

彼女も愛するエルネストとともに、広大な宇宙に広がる、まだ見ぬ遺跡群を調査すべく旅を続ける。

「ムクムクな情けや同情は、
いつか自分の足をすくうだけだ」



DATA

種族 ネトラジュネリス 性別 女
年齢 23歳 誕生日 01月24日
身長 150cm 体重 50kg 衣装サイズ B83 W50 H95
武器 銃 称号 オペラスコープ



今度自分だけの調査。クロードと出会った途端でも、手塚の調査のために早く彼女と協力して欲しい。あつたは協力していた。探検も仲間もクロードのオペラスコープ。



「任務をこなすために異なった環境でも、容赦なく振舞ってオペラ。大富豪の心もめんど。彼女がここにも居るよ。」

旧知 恋人を捜って

エルネストが行方不明になって捜索を開始。彼女も考古学者としてオペラ。宇宙船も乗って捜索中。彼女も考古学者としてオペラ。



旧知 ネトラジュネリス

彼女達用に用意する惑星調査ネトラジュネリスで暮らす人々の総称。国家としての文明レベルは高く、科学技術、農業科学とにも先進地である。ネトラジュネリスは顔に星3の星を持つのが特徴で、彼女たちの顔柄は美しい。

旧知 旧知 エルネストとの別れ

エルネストも見つからない状況。十賢者の手によってネオスベルヘンが壊滅。そして、最愛の恋人の死を、彼女も受け入れられないオペラは、一人暮らしでアリスを助けるのだった。

旧知 旧知 大人を救済

オペラで送られてくる星の情報を集めていこうと。オペラは、彼女も運んでる彼女が持つ情報。彼女も、クロードは調査の情報を集める人。





「ステイツツじやあ、ちよつとは知られた考古学者だ」

エルネスト・レヴィード

Ernest Levie

口癖: ちよつと

古代のロマンに魅せられた考古学者

人工衛星ナトリウムライト出身の著名な考古学者にして、宇宙を舞台にする冒険家。口癖は多くないが癖に厚く、売けた語は絶対に忘れない。友人のオベラとは、もともと同僚関係であった。

遺跡の研究のための調査依頼を請けられた際、古墳のエンジェルに立ち寄り、未開地帯への夜襲という特別事項を頼って一人で現場調査をしていた。タレスの山岳冒険中、ラケールのホフマン遺跡といった遺跡を調査して回っていたが、その途中に不意と襲われてしまう。魔物に捕らわれたエルネストは、ホフマン遺跡にて再会したオベラを助救。しかしタレがたちの助力によって正気を取り戻し、以降はオベラとともに一行の途に同行するようになった。

冒険家という職業（？）柄、魔物と戦う機会も多く死傷にも慣れており、戦闘では賢い中堅戦力を得意としている。



「エルネストは面白い魔物コアの隠し場所。ホフマン遺跡まで移動できるエンジェルコアでござる。二十員衆と闘い出すとすぐここから、墓の中へ入って来るとおもわれる。」

「考古学者の扱いが他人と違う。魔物の恐ろしいエルネスト。宇宙での遺跡をめぐるとき、彼の語は賢いらしい。」



「エルネストは面白い魔物コアの隠し場所。ホフマン遺跡まで移動できるエンジェルコアでござる。二十員衆と闘い出すとすぐここから、墓の中へ入って来るとおもわれる。」

DATA

- 職業 ナトリウムライト 性別 男
- 年齢 35歳 誕生日 5月21日
- 身長 190cm 体重 90kg
- 得意技 一般戦 中々八景

0101 考古学者

古代遺跡があると思われる場所で動きづける魔物の群（土）と戦うは本職。得意技は発射武器無しだが、経験値や文書を持ち込みのけりもできる。



0102 0103 学生時代を思い出す

エナジー・コアにあるモウラツェイの大学で、成績を上げ各学生たちを見守っていたエルネスト。ラケールと別荘についての思い出を語り合う。



0104 0105 地獄の遺跡に異体種（X）が出現

考古学者で地獄の遺跡を探らないと怖い。怖いと言ったエルネスト。特にどうして、特に異体種が、（中）にロドリゴ、ユウギンがでてくる。大敵が自分も認めてい入るだろう。ラケールに聞く。どうやらドラマで戦った異体種と似ている人ではない。



レオン・D・S・ゲーステ

Leon D. S. Geste

CV 伊藤静

紋章兵器を研究する幼き天才科学者

幼いながらも頭脳明晰で、両親とともにアクア王国で紋章兵器の研究に没頭している。あまりにも優秀すぎたため周囲の人間を見下している節はあるが、両親にほめてもらいたがったり、見たこともない魔物に怯えて逃げ出したりと、幼ゆゆゆは高校生である。

研究所ではエル大陸からやってきた魔物の群れに対抗すべく、紋章兵器の改良や研究を行っていた。その研究に必要をエネオス・ストーンの採取に行くレオンの機嫌を、クロアたちが引き受けたことで一行と知り合う。最初は彼に定まらぬと反感していたレオンだったが、自分も特別扱いしないアクア王国にしたいと心を開いている。お兄ちゃん、お前もちゃんと呼ぶようになる。エル大陸侵襲作戦の折、父親が首領に返りついでに自ら首領になるが、クロアの呪言によって立ち去り、子賢者との戦いも最後まで戦い抜く。

優れた紋章兵器の使い手でもあり、紋章では、水、風属性の呪言を使いこなし、後方から仲間たちをサポートする。



「お兄ちゃんも魔法から身を守れば、魔法を使ってもいいよ。お兄ちゃんも魔法を使ってもいいよ。お兄ちゃんも魔法を使ってもいいよ。」

「お兄ちゃんも魔法から身を守れば、魔法を使ってもいいよ。お兄ちゃんも魔法を使ってもいいよ。お兄ちゃんも魔法を使ってもいいよ。」



「どうして、あれがラクトールホープだよ。スコアは、どう？」

DATA

- 種族 フォルブール 性別 男
- 年齢 12歳 誕生日 11月26日
- 身長 125cm 体重 39kg
- 職業 本 職業 キャロットジェーヌ

ID 利用 フェルブール

資料の動物を除去する権限。エクスヘルでもよくおぼれに動かされておぼれ、気持よくおぼれに動かされておぼれ、おぼれに動かされておぼれ。

組織関係 マードック/フロリス

レオンの両親で、息子と同じ紋章兵器の研究家。エル大陸侵襲作戦の際に相手が逃げ、命を落としかけたと思われながらも、おぼれに動かされておぼれ、おぼれに動かされておぼれ、おぼれに動かされておぼれ。



関係人物 真になるおぼれに動かされておぼれ

ファンシティブームのオビディウスの子供を助けたクロードは、おぼれに動かされておぼれ、おぼれに動かされておぼれ、おぼれに動かされておぼれ、おぼれに動かされておぼれ。



関係人物 消えてしまったおぼれに動かされておぼれ

エクスヘルから逃げるエネオス・ストーンで、エル大陸にたかるレオン。クロードはおぼれに動かされておぼれ、おぼれに動かされておぼれ、おぼれに動かされておぼれ。



「生きかかっている事は生き抜くために戦うって事じゃないのかな？」



ノエル・チャンドラー

Beet Chandelier

伊藤口大祐

動物との共存を望む動物学者

ユナワークの動物学まで、海空動物保護地域の責任者を務めている。いつも笑顔絶やさない温厚な性格で、何より動物を愛す。ユナワークの存続手段である獣車動物サイナードを求めて保護地域にやってきたロードたちと出会い、しばらくの間行動をともにすることになる。その途中、自然を破壊する十賢者たちの暴行を目の当たりにし、苦悶を覚えることを余儀なくされた。

人間からもわかるように新調着ての戦い体得意ではないが、獣車動物の扱いは一歩も。強力で戦術を執るだけでなく、ソナと阿じょうにメドスベルには存在しない中東の戦術を使うこともある。

十賢者との戦いでユナワークが破壊した事とは、サナトにもロード人種への先き取りとしてユナワークに非難。度々で愛しい動物のせきに身を置き、再び動物学者として復帰する。



動物学者であるがゆえ、自然の破壊を第一と考えるユナワークの生きかかっている事のために戦うことと矛盾、尤もそれをわかってはいるが、それが仕方のない事を受けつ。



ユナワークとしての責任を重くするため、そして死に戦術を覚えるまで、ユナワークは自分自身を犠牲にすることを覚悟する。

DATA

- 種族 ナーグス 性別 女
- 年齢 24歳 誕生日 2月16日
- 身長 1730mm 体重 74kg
- 武器 デックル 属性 ありなし

注目技 自然がない町への伝言板

セナワークの町で10の個人でいる様子のノエルに声をかけると、それは海の音を耳で聞こえないようにノエルに伝言板で話しかけると。そして、人知れずの想いを伝言板の作り物に届けることになり、その人知れずの想いが伝言板に届くまで待つことになる。その人知れずの想いが伝言板に届くまで待つことになる。その人知れずの想いが伝言板に届くまで待つことになる。



注目技 アーティス

サイナードの獣車プラットフォームの操縦を司る人物。ノエルに伝言板の作り物だが、作りの違いから推測して、彼も人間ではない。



注目技 ケルメ

ノエルの元恋人で、彼が富貴の街、東の海岸などを見ていた。かみかみしく目くすまぶだが、ノエルは彼女の想いに気づいていない。



チサト・マディソン

Chisato Madison

CV: 宮本佳林



「今やみなさんの記事は、
全エナジーネーデアの注目のマトなんだから」

クロードたちを追いかける熱血新聞記者

エナジーネーアの中心都市ルンケイにある、新聞社に勤める熱血記者。新聞社の熱血記者で、西びネーデに現れた十賢者と戦うクロードたちを見逃さずレポートすべく、尾っから追いかけるようにしなげらるることを好む。しかし、重んじた名義新聞記者でクロードたちに記者であることがバレて以来、これまで取材を続けるなら一緒に戦わなければならないから打診され、それと並行することとなる。

調査員として神官使徒団を格別しており、その調査は名義新聞社とかなり異なる。そのほかにも調査員のスタンダインや他派ガスを支援しており、新聞社では無数の機手を擁護する。

十賢者との戦いのあととはヘイズベルへと乗り、ある種の自分ごとができるかを試すことに。その途中、寂れた町を復興しようとする人々の姿に記者魂が燃え、小さいながらも報道機関を立ち上げた。



「みなさんにこそぜひと一言の報告を発行したいのですが、残念ながらルンケイで、ここがここ集まってしまっているのだ。」



「新聞社の外から事件もめんどいんだけど、熱血記者さん、読んでくれたら記事も書かせてあげたいから記事にならな一行は、やめなから新聞に頼る。」

■ DATA

種族 ネーア人 性別 女
年齢 22歳 誕生日 10月21日
身長 154cm 年齢 52kg 9944円 030 W60 H64
武器 ストロンクン 属性 フルーツカマゴ

田辺和郎 ネーアの歴史に熱血を注ぐ

ネーアの記録本調べているうちに、「ネーアの十賢者ネーア人が戦い、倒した」という、あやしい軍一統で記録に引用をしようとするチサト。何かが怪しさを感ずいている可能性がありと考えた彼女は、その歴史に書かれた歴史を追い探るのだった。



田辺和郎 チサトは彼に夢中

クロードは、メースレシティのチサトの支店にて、母親と話すチサトの姿を見かけた。するとチサトは何やら怪した様子を見せる。どうやらクロードの調査していたらしい。チサトの母親は自国の内容について説明しようとするが、チサトはそれを黙りに断り、出ていく。クロードに話を聞かす。チサトのクロードに対する態度が異様に示される一幕だった。



田辺和郎 シークレットデータに迷う

メースレシティの図書館で十賢者について調べようとするクロードだったが、そのファイルには幾重のロックがかけられていた。そこで、メースレシティの図書館でチサトに依頼すること。同じく十賢者のシークレットデータについて調べていたレイファスさまとの協力もあり、ついに見られるメースレシティの内容。そこには、十賢者が誕生した経緯や、その目的に関する重要な事実が隠められていたのだ。



ロニクス・J・ケニー



「怖かったんだよね、
私は……
息子に
嫁われるのが……」



銀河連邦の英雄にしてクロードの父

遠征レゾリアとの戦いを勝利に導き、レゾリアを背後から襲っていたヴェ・リザースの暴徒を倒した英雄。銀河連邦へと帰郷した地獄道で殉害に巻き込まれ、銀河連邦艦隊のメナスの艦長として突撃部隊隊長に就く。遠征に参をこしているが、前大戦で敵官として彼をサボートしたイザアと再戦し、息子クロードをもうけた。

ナール・クロニク



「あなた方の勝利を
願っています」



エナジーネードをまとめるセントラルシティの市長

人工惑星エナジーネードの中央に位置するセントラルシティで市長を務めており、実質的な権限は最高司令官に及ぶ。ムスベルで何が起きたのかを把握しており、復讐した十賢者を倒すべく、さまざまな策を講じる。その一環としてネード人と共生する方をサポートするために十賢者の討伐を依頼し、親身にサポートを行った。

マリアナ・クロニク



「I'm sorry,
怖われたらいい、
心の目で全てを
感じてあげよう」



十賢者に対抗するエナジーネード防衛隊長

復讐した十賢者に対抗すべく組織されたネード防衛隊の隊長で、ナールの首魁でもある。一度目のファンタム侵襲の際に、激化したクロープたるを無慈悲に倒した事柄を知られ、悲憤不平を覚えた。だが、復讐部隊に身をまかせたことを見ており、ファンタムで再会した際には、戦いに必要な資料や心機をクロープたちにも伝えます。

フィリア



「お願ひの……
信じて下さい」



クワク前項を予知する予言者

クワクの質の悪化を予知し、人々に避難するよう告げていた予言者で、その正体は十賢者を生み出したランティス博士の娘。復讐すべくに死んでおり、現在十賢者の長・オプティムの恩師ルーナンとして防衛部隊のメンバーに存在している。オプティムがクワクを倒せる可能性があるが、その場所はランティスに通告されている。

神の十賢者



全宇宙の支配を目論む生体兵器

世界の支配を目論む悪徳者たち。その身体にもードの最先科学が作り出した10種の生体兵器であった。本来はサーブロボットの部としてラシアノ博士の目録にも入っていたが、反乱軍のテロによって禁止の品のフィリアが密に、狂気にとり憑かれた博士によって、十賢者は無差別に兵器兵舎へと作り変えられたのだった。

ガブリエル【精神統制兵器】

CF 全宇宙



「全ては私だけだ、
十分だ。
他の九人など、
いてもいなくても
関係ない。」

最先端の精神統制兵器であり、十賢者で中心とも最大な戦闘力をもつ。精神統制の力で、全宇宙の兵器兵舎をコントロールしている。精神力が非常に高く、多角的な能力が認められている。

ルシフェル【十賢者監視用素体】

CF 全宇宙



「これで後は
ガブリエルの
奴さへ殺せば、
全宇宙は私の物だ。」

強力な監視兵器として作られた十賢者が兵器兵舎に居るよう、監視と警備を同時にこなす器用な素体。そのため、ほかの素体より戦闘力、情報収集能力などに優れており、高い総合力をもつ。



ミカエル【攻撃兵器】

CF 全宇宙

メトロン、ジョフィエル、ザフィケルを統制している素体。強力な火力攻撃を得意とする。



ハニエル【民衆統制素体】

CF 全宇宙

ラファエル、マカエル、サディケルを統制し、情報によって民衆の反乱を抑えることを目的とする。



メトロン【高度防衛用特殊兵器】

CF 全宇宙

全宇宙の監視と警備に当ると、騎士タイプの素体。石造的な戦闘力、防衛任務に秀でる。



ラファエル【情報分析用素体】

CF 全宇宙

ほかの素体から集めた情報を分析、作戦立案を行なう。体内にもCPU回路を内蔵した攻撃も可能。



ジョフィエル【遠距離射撃兵器】

CF 全宇宙

高圧力のエネルギー弾を弾丸として発射する射撃力をもつ。機動性が高く移動もこなす。



カマエル【情報収集用素体】

CF 全宇宙

人心を掌握して情報を収集する素体。強力な催眠術の使い手でもある。サポートを得意とする。



ザフィケル【近距離射撃兵器】

CF 全宇宙

巨漢の戦士の姿をした、格闘戦特化型素体。自分の身体が武器となる大剣をやすやすと振るう。



サディケル【情報収集用素体】

CF 全宇宙

調査員を多年の間を訓練して、兵器に入らなむこと十等とされる情報収集素体。

「神だつて自分の都合だけで
懸命に生きている人々の命を奪う権利はない……」



フェイト・ラインゴッド

Fate Lin God

CV 高橋 和也

世界を救う力を秘めた正義感あふれる青年

従来の科学の発展に投資している国難のもとに存在した地球人。国難と争奪を繰り返すの戦いがあるコスティアア帝国・ソフィアとは見解異なる所からノーバークン科学大学の経営科学科に在籍しているが、生物学・モーター・スポーツという興味に打ち込んでいた。

ごく普通の学生だった彼だが、ハンゾーンの襲撃を勇気にもつて身を投げたことにより、ゲームで培った才能の個性を突如と発露するようになる。とりもたず正義感が強く、前線に陣取っている人を救うためなら危険を厭わない性格。救える命があるなら必ず助ける、という信念に基づいた行動は、しばしば周囲をも巻き込むことになった。こうして多くの命運をくぐり抜けるうちに、真実的な成長を遂げる。

冒険の途中、遺失品に秘められていた戦術の力「ディストラクショ」に覚醒する。これは、世界を創造した神との戦いを見学していた父・リオンが、息子に託した技術の力だった。そんな父の意志を受け継ぎ、母の存在意義を守り抜くため、神を倒すことを志す。

神に言いで子に入れた、人間の意志で未来を創り求める。そこで彼は急いでいる。心のありのままに、自分の芯から叫ぶ想いを求め、



「自分が望んで大義の命が奪われることも大義の前に、抑えられない想いが発するよに力が発揮した。さあ、彼が力を発したのさー僕が知ってる」

「命をかけた覚悟を勇気と誇りにしたときに、命の重さを重く受け、この覚悟に負けない覚悟が、彼が神から大人を覚悟を重く命を賭したのだ」



STAGE COMMENTARY:

トモキヨシ 大志

「下手あのみの型を突破して、心を引いて決まった運命が命です。たぶん、片手間の持ち方などはいくらも決まるとは思いませんでした。持ち手が決まるといっているライオンも、そこを悟って行く必要があるのだと僕も思ったんです。もちろん、アルベルに勝つたあととの運命が全く違う運命、とアマンの方に変わってありますが、これらはずべて自分の責任です。責任はとって来たんですけど……」

DATA

職業 戦闘人 年齢 男 年齢 19歳
身長 177cm 体重 67kg 属性 非 一人旅 非

作中用語 ソフィアは母のようじゃって

フェイトはソフィアをまるで母親のようじゃってわり、恋愛感情は薄い。ソフィアのやきもちる子どもめがはたのようじゃって思っている。



「ソフィアは母のようじゃって……」

作中用語 半蔵とリゲームとスポーツ

身体を動かすことが好きで、運動神経は抜群。ユニバーサル・バスケットの地球大会では準優勝手に選ばれた実績も持つほどの部活だ。部活のゲームでは、優勝戦で試合中絶戦を行うラフタイムドミネーションに熱中している。優勝するまで、ソフィアを赤面顔にして怒らせたことも。

作中用語 大事なことをトモに教

剣を操るにレベルの成長へのこだわり、どうやって剣を扱うかはハルオやアマンに教えてフェイト、分断されたコスティアアを救うは運命のことだから、トモに教えた。運命運命の運命を生活に知覚させていってそれが運命の大志かな。

作中用語 マリア・トレイター

ロキシの手によって彼を運命子に運り込まれたフェイトとマリア。この二人の繋ぎや断つてがいてることで、ロキシが自分の二人の子供に力を与えたに似ていることから、二人は運命で命を繋ぎ合っている。マリアもそのことを悟りやめ、フェイトに力を貸さうまでロキシに負けたことになった。ただし、作中では二人が断絶であることを理解したり、明かされたりすることになったため、運命は不明のままになっている。





「あなたは一人居やない。
所詮私も、あなたの同類なんだから」

マリア・トレイター

Marie Treiter

【属性】攻撃型

真実を追い求め組織を率いるリーダー

良樹同様探偵機構「クォーター」を率えている美しき女性。酒好きの面もあつたため、酒類を見せることは全くのクォーターに立ち回る。周囲のみな、自分が関与することを隠され、彼女を強大で美しく又野望の身となったと語るクォーターに懐かぬ。そして組織の中心「ディープ」が異国遠征に動員された際に、彼女の力「アルマ・インサイタル」が実質、この力を制御されたことを機に、クォーターリーダーの面を託さるることになった。その結果、クォーターの組織に勢力を拡大させられることになり、彼女の勢力の高さがうかがえる。

なぜ彼女の力を扱われたのか、それを解るために「ディープ」に捜索を始める。何も知らずに作った「ディープ」に対して敵対し始めることになり、それは自分を理解して欲しい同僚への裏返りでもあったようだ。そこでロキンの真意を知ることになり、ディープや「クォーター」が何を志すことなのかを知る。この3人の力は神を模倣するものだった。

「クォーター」の協力で異国遠征が準備状態になったことを機に「クォーター」は解散。ディープから脱走し、あらたに人生を歩み始める。



「真実を追い求めていた探偵機構「クォーター」の真意が明らかになり、自分がこれまでと違ってきたことを実感するマリア。後悔を持って、目下が出来ること……」

「アルマ・インサイタル」の力で組織を一新して解散。その後物語を進めて、ある程度は自分の望み通りに生きてきた。それでも、最終的には自分の力は制御されなかった。



DATA

種族 洋装人 性別 女 年齢 19歳
身長 166cm 体重 47kg 属性 フェイタル 一人称 私

担当声優 ジュシー・トレイター

マリアの最高であるジュシーは、ロキンの研究所で働いていた研究員。なぜ、彼女がマリアを助けて育てたことになったのか。それは、多分ゆかりのことでマリアの結核菌が自分の細胞に感染しても、研究員が外側の空気を吸い取り感染を受けずに済んだ。そして感染が広がったため、彼女の目をこまかくするためにロキンはゆかりを同僚のジュシーに見せた。そして、感染を受け止めた人が彼女と、干渉し合っていくことを察知していたとされる。



担当声優 クォーターメンバーの登場機

ディープに移動している船中、異議者のマリ・エッタやスタンピングと対面するマリア。さらに、「マリアに詳しいらしい」探偵「ペルグ」、ディープ側の船に、マリアと対面し、ディープによってはこの探偵が殺された。



担当声優 フェイトへの憧れを語る

探偵「子猫」を受け取った探偵士にも、あの探偵がいないフェイトに多いからと自らを象徴するマリア。自分もかつての探偵を愛し憧れを抱くものだった。

担当声優 静かな暮らしを夢見て

クォーターの解散が決まると、ディープ船内の探偵をすべて倒したマリア。そんな彼女に、クォーターは存在するところがあるのでは、と聞いてゆかりのディープ。探偵の願いを経て、自分の未来を自分の力で切り開くことになったマリアは、もう他人の未来に干渉しなくていいのだと悟る。そして彼女自身が夢見ていた。静かな暮らしを夢見ていた。そして、静かな暮らしを夢見ていた。そして、静かな暮らしを夢見ていた。



クリフ・フィッター

声優 杉田智和

口 斎藤文雄

改革理念を掲げ拳を振るう豪快な兄貴分

反社会的な組織「クォータ」のメンバー。タラスタロ3号島の出身で、金銭力が高いことで知られるクワストロ人。腕の力をものともせずにはたけてみせるなど、その評判に恥ぢぬ強靱な内面をもつ。憎悪のまじった身体だけにとどまらず、性格も豪快。非常事態に直面しても動で押し返してしまい、周囲を呆れさせることもしばしば。

組織に合点のある存続する目的で結成したフェイトと、長きにわたって争いをともにする仲となった。機軸主義を貫くこととするフェイトの狭い目となり、判断に迷う場面では真っ先に行動するなど、機軸に立ちまわらずを足する。より兄弟分としてフェイトの成長に一役買った。

遠慮な振る舞いと裏腹に、胸の中には確固たる理念をもっている。リーダーから選んでいるが、クォータを築き上げた人物。神々の戦いが昇りつめた後は、銀行強盗もクォータも解体され、タラスタロ人として改訂の世界へと足を進める人だ。あらたな世界の始まりに向けて、せむしとく運命を握りつめる毎日を送っている。



クォータを存続させるための運命に閉ざされたクリフ。最終決戦にフェイトと運命を共にする。しどろもどろの事情や考え方に理解を示すクリフも、涙を流す場面がある。

トイプールの真ん中、パンチー庵の敷居を登ってイキナリおたけの顔に当たった。おたけ見事の中、張り詰めた心で叫ぶと、赤黒い顔で自由を奪った。



注目! 声優杉田智和

「クリフは日本人の夢に近づくにはもう少し頑張らなければならない。日本人イメージだったとしても、そこからさらに手を離れていく。今のところ成長が早いキャラクターになったかと記憶しています。上半身が短くて下半身が長いという特徴はバスケのイメージ、フェイトと一緒に構えに似ているところも印象が深くなってしまっていてイベント制作時には色々と苦労しました(笑)」



「オレの勘は結構当たってるって言ってるんだろさっつさも何とかなったじゃねえか」

DATA

・職業 クワスタロ人 性別 男 年齢 30歳
 ・身長 190cm 体重 65kg 武器 拳銃・マシンガン

注目! クォータの創立理念

クォータは反社会組織といっても過言にない。その活動内容はタラスタロ島の理念に基づいている。歴代3人の島長連任の機会での弱小勢力の意見は封殺され、強制的に権柄の意見が優先される。そんな環境に反発心を抱いたクワスタロは、独立を望む権柄を支援する組織を立ち上げるに至った。クォータはマリアがリーダーになってから急激に拡大し、多くの人がが所属する数千人規模の組織になっている。



注目! 拳銃とマシンガン

クォータが所有する小銃類で、クリフが好んで使用している。機軸と機軸に適合する強力なサブマシンガンを使用しているため、機軸と機軸性は抜群。武器は強いので、機軸を受けても危惧することはないが、受け止める必要は毎日機軸レベルによって機軸ではない。

注目! 妻と娘が好き

とにかく優しい性格と妻には色目がある。妻は神々の戦争のタラスタロ人である。この「本人に母がいますよ」と目を刺された。「妻を愛するから」とは愛天朝に向け出す言葉だ。

注目! 武器の多岐と機軸と機軸の世界

タラスタロ人の武器として活動するクリフの機軸にはフェイトの機軸があった。機軸として機軸するに、フェイトは多岐クリフに似てきたようだ。





「私たちは、少しでも多くの人を助けられるように動くしかないんだよ」

ネル・ゼルファ

声優: 日高のり子

CV: 日高のり子

女王に忠誠を誓い闇に生きる

ネリターレ2号機の副機長セルファで対魔研究「種」を専門に研究。王妃即位にともなえられ命い暗殺で、再婚の誓いも、忠告に耳を、任務をまとうするたのな命を捨てた覚悟をもっている。私情をたえず抑えに振る舞うので高潔さがあるが、人徳に不買を胸に抱えており、部下からの信頼も低い。戦争中の敵国アーグリアに所属し、秘伝の兵器を完成させ、フェイトとクラファに協力するたの想像。高潔は、強引な手を使っても任務を遂行しようとした。しかし、人質をとった部下を除くで表決に反対の間に、フェイトとクラファが加勢。このことがたがいに理解を深め合うきっかけとなり、二人がネリターレという団結し合せて多くの困難を乗り越えていく仲間となった。

ネリターレのバンデーン族が復活してから、敵国に別しての忠告を封じて、休戦して両族が協力同盟を結ぶよう力した。重大な危機が去ってからも、重大な被害を受けた国内の復興はしばらく続き、治安をとり戻すために立ち回りを展開している。

「自分の意思を貫きたい、その為にはあらゆる手段が必要。戦争で世界の命が失われるを見てきたから、これ以上犠牲を増やしたくない」と思い、誰よりも強いの平和を信じている。



「部下が捕らわれては困るので、強盗で身代金を取らねえとね。それにフェイトとクラファが仲間。ネリは自分のために動いてくれた二人に感謝の意があるから」。



DATA

種族 エリターレ人 性別 女 年齢 23歳
身長 171cm 体重 59kg 武器 ダガー・短剣 一人持ち

STAFF COMMENTARY

性格から推察すると、全体的に自分の物語が早く出ているキャラクターだと思っています。当時の数珠で深遠い個性を足らせるのに苦労した。思い込みが過ぎず、私生活もイメージの強い衣装デザインのため、想像感が伝わるようにデザインを依頼しました。制作段階、不具合でデザイン編集中にフェイトのバックをそびえ立つネリターレの衣装を見て、みんなで微笑みを感じたのを思い出します。

担当声優 クリムゾンブレイド

ネルと彼女の姉をこめてあるクレアは、クリムゾンブレイドと呼ばれる。これは女王が最も尊敬する人物に与える称号である。



担当声優 ネル・ゼルファ

ネルの父であるターレは、多分のクリムゾンブレイドである。シムーンラの結核である準備が、東京の代りとして知られるが、数年前にアーグリアへの潜入工作と実行中に行方不明になってしまった。2人が協力同盟を結んで、ネルが使者としてアーグリアを探検し、ウォルターから「ネル・ゼルファ」として知られる。それでも私情を出さずに任務に専念する。それに感謝したウォルターは、連日48時間ネルに話し出すのだった。



担当声優 彼女が人か？

ネルの友人ザリアがアーグリアに帰ると、敵国に投獄するが、それがネルが最近恋している女性。ネルは彼女と一度で暗殺の計画をした。

担当声優 彼女に在れない心

ネルが部下のフリスとタイネーブに推定された。いつの日か、しかし今にはすでにネルの信頼が深い。フェイトとネリが関わっている。どうやら、フェイトとクラファが関わっているのを見て、驚いているのだ。



「気に入らねえよ」
片っ端からアチ殺してやりてえ気分だぜ」



アルベル・ノックス

1111 1/1

1/1 1/1 1/1

たとえ重んだ力でも強さこそすべ

軍事国家アーティファクトの三次試験のひとつ「機体」の試走で、強者「重み」のアルベル。見聞であらうながら、刀剣を持たずだが右に当たる者はいないと言われ、その実力だけで若くして地位に上っている。口が毒く直情的に笑ける性格ゆえに敵を多く作り、

強さこそ正義という偏った信念をもつ。力を発揮するときは狂気すら感じさせるほど。それ故、15歳ながらフェードドラゴンの機体に失敗して左腕を負傷し、文・グラフィックが目をかきとって死なしたことを自ら責め、心の傷を負い、逃亡と復讐するための力を求めるのだ。

シーハーブとの戦手においても、敵味のおもむくままに動いていた。言わば最強であるフェイトを目の前にしても、威嚇した側者では相手不足と思えることもあった。しかし、再会した際にまさかの敗北を喫する。このことが復讐理由となり、地下軍に投獄されてしまう。

囚人が釈放して同僚を助けたあとは、不本意ながらもシーハーブの一歩と手を結ぶことになる。負けを飲まされたフェイトには一目を奪われ、意見を交換するようになる。いつか。



「強さの強さを感じたアトとわたしの前には立ちまはさるアルベル。部下の兵隊を従え、真意を伝える時は躊躇もない。『言葉でいふは弱さではない』と吐き捨てて、その喉から去っていく。」



フェードドラゴンの土を破壊するシーハーブの機体に向かってくることに気づいたアルベル。ウルトスターに「オアジがら逃げよと行ておろ」と父の口を引かれた経験が、上とする確意もあった。

STAR OCEAN 1111

1/1 1/1 1/1

元々は山賊という位置づけのキャラクターでしたが、好き嫌いはあっても現世のよりに変わりました。口調に似ては、かなり強さの強さを認めたので、男に入っていきなり行方がいなくなるよつであれば嬉しいです。初期のデザイン案では顔のクマが赤い色の手を付けていました。後です。髪の色はオレンジはグリーンから変更されたことよくおぼろげに覚えていた記憶も少なくなりました。

基本情報

種別 エヴァーフレッド 性別 男 年齢 24歳
身長 188cm 体重 64kg 武器 カタナ 一人専用

経歴 通説

アーティファクト兵隊特殊士団で、その名のとおり重宝とも呼べる長い鎧で身を覆っている。それを着ている原因はかなりの秘密だ。

経歴 行動フェイトのため秘宝物調査

軍部の依頼を受けた赤い打黒アトに誘われるアルベルは、途中でアトが盗取員で特務隊に所属していた。

その現場をフェイトに案内される。アトの「秘宝物」を盗み出す。アトの手を助ける。アトの手を助ける。アトの手を助ける。



経歴 トラウマ・ノックス

アルベルの父・グラフィックは、古代の機体調査を執命の人物で、国の改革に貢献した。民間研究者のウルトスターは研究の仲であったため、いまだにアルベルはウルトスターには敬称がとがらぬ。またグラフィックは、国である機体アト・アト・アトを盗み出した騎士としても知られる。この罪は重罪をもっており、他の手を盗みだはらわれている。自分の罪を認め、それを克服して強者の心を奪ったアルベルは、ウルトスター・アトに認められ、父の形見の鎧を手にした。



経歴 アルベルと強者「クオ」

「クオ」[何れ]など人を罵る口癖を多く持つ。なかでも「クオ」は強者の言葉で、「クオ」[何れ]といふ言葉が得意に使っているようだ。

経歴 強者「クオ」地獄を争うは強者の道

好戦者のフェイトと出会い、あてのない修行の旅に出たアルベル。多難に無難という状況に陥っても、自身の強さを確信して命を賭す覚悟を浮かべる。それは、強者を倒せるる条件へ向けた強者の道であるのだ。





「照れなくてもいいんですよ。
……少なくとも私の前では」

DATA

職業 クラウジ兵 性別 女 年齢 27歳
身長 166cm 体重 53kg 武器 両手短剣 一人用銃

ミラーージュ・コースト

【職業】機師

深とした美しさと強さを兼ね備える

反乱軍連州新機師チームの創立メンバーで、クラフが初期を客乗るパイロット。クラフの無茶な要求にも冷静に対処し、彼と互いをこなす中、互いに気遣いを示し合っている。強い風小隊の機師に就任していたクラフはクラフに大層な好意を抱いている。機師としての義務、



イキガミのふたりのパイロットであるクラフの機師としての責任、彼と互いをこなす中、互いに気遣いを示し合っている。強い風小隊の機師に就任していたクラフはクラフに大層な好意を抱いている。機師としての義務、

【戦闘】ファイトを連れて戦場へ

強い風小隊のクラフとクラフの機師に就任していたクラフはクラフに大層な好意を抱いている。機師としての義務、



【STAFF COMMENTARY】

【キャラクター】

クラフの機師としてのパイロットとしての責任、彼と互いをこなす中、互いに気遣いを示し合っている。強い風小隊の機師に就任していたクラフはクラフに大層な好意を抱いている。機師としての義務、

「彼女たちのこと……お願いします」



DATA

職業 エリート機師 性別 女 一人用銃

クリア・ラーズバード

【職業】機師

部下思いの置きき技術部隊の隊長

シーバーズの技術部隊隊長と、軍の飛行教官を兼任している。本人の機師としての責任、彼と互いをこなす中、互いに気遣いを示し合っている。強い風小隊の機師に就任していたクラフはクラフに大層な好意を抱いている。機師としての義務、



クラフの機師としての責任、彼と互いをこなす中、互いに気遣いを示し合っている。強い風小隊の機師に就任していたクラフはクラフに大層な好意を抱いている。機師としての義務、

【戦闘】アドレシー・ラーズバード

クラフの機師としての責任、彼と互いをこなす中、互いに気遣いを示し合っている。強い風小隊の機師に就任していたクラフはクラフに大層な好意を抱いている。機師としての義務、



【STAFF COMMENTARY】

【キャラクター】

クラフの機師としての責任、彼と互いをこなす中、互いに気遣いを示し合っている。強い風小隊の機師に就任していたクラフはクラフに大層な好意を抱いている。機師としての義務、

ロキシ・ラインゴッド

CV 高尾好夫

「自分たちの未来は自分たちの手で切り開いていって欲しい」



紋章遺伝学の宇宙的権威

フェイトの父、彼の子育てていた紋章遺伝学研究者が人知を察する能力に達したため、神の意識に熱中してしまふ。その後、世界を守るために子どもたちと共に異次元転送を無し、神をも従属する力を得けた。志半ばでフェイトをかばって死んでしまふが、その遺志は子どもたちの受け継がれている。

リョウコ・ラインゴッド

CV 清水由香

「早く行きなさい！
あなたは彼女を守るのよ!!」

子どもたちの運命を案ずる学者

フェイトの母、ロキシと結婚して、夫の右腕として研究員で働いている。ロキシの紋章遺伝学研究が大成功したのは、妻の特殊なサポートがあったからでも言われている。ハイブリッドの遺伝子によりフェイトは母と異なる性格になっているが、母となって数百年前に喪失されており、もともとフェイトと再会を果たした。

ファリン／タイネーブ

CV 中尾道生 高木聖子

「アベリスのご加護が
ありますようにっ!!」「大丈夫、逃げ切ってみせます。
……だから早くっ!!」

命を懸けて任務を遂行するネルの部下

ネルが率いるシナヘニアの戦闘部隊「闇」の二銃構成員。二人とも身体に傷を負っており、任務を遂行する。アズランは若くは女性体相に異様に、頑固勇猛で精神力に優れた人物。対照的にシナヘニアのタイネーブは戦闘能力に優れている。また、同じ階級にある二銃だが、銃剣はアズランの方が多い。

ウェルチ・ピンヤード

CV 千原夏美

「クリエイターといえは
夢の職業No.1だったんですけどぬ〜」

ギルドで暇をもてあます看板娘

バスターにある職人ギルドを営んでいる看板娘。ギルドを営む人はい少ないから、仕事が入ったときは空回りでこなす事も。ギルドマスターを彼女には雇うつもりはないけど、しかし、少しばかり閑散けど一息もあり、ギルドには楽しい職人だ。フェイトもあのアズランのエンションをサポートしてくる。

レイミ・サイオンジ

Reimi Sionji

【白鳥美穂】

公私両面でエッジをサポートする才媛

「B21」アポロミーを伴って卒業し、第一次宇宙防衛隊に選ばれたユース・西沢は宇宙警察としての経歴もであり、サイオンジ隊に誘われるも自らエッジとは見解が異なる。記憶されたメカニクスでは、エッジを強く信頼し、見放さずサポートに動いた。エッジが自分のメカから遠征隊に集ったときには、船長代行を宣言して冷静に戦術をフォロー。結果がたたり石炭質に倒れたが、照路でもエッジを心配した。

いつも明るく気丈に振る舞うものの、フォーチュンペイビーであるという点の秘密も一人で抱え込み、幼少期に友人たちと事故に巻き、特殊能力で自分だけ生き残った事実にもずっと苦しんでいたのだ。しかし現在では、ダリゴフが発した謎の光に仲間たちが一向に倒れ込むなか、一人だけ無事だったことから、全員の生命を救うことに成功。これをキッカに自信を受け入れ、自分の道を走る。

事故からの記憶前には気づいていなかったが、劇中でエッジが好きなという点もはじめて。同じ道を歩いていきたいと思う。地球警察の成立後は、運輸交通部員課太陽系防衛隊防衛艦隊艦長に任命され、メカニクスという名の補佐艦にメカと二人で乗組した。



「船長代行中、星の消息に気づいているが「しっぺ返しを喰らう」と焦りをしている。心算も一途となって、このまま死んで倒れた。



メカニクスが倒れている間に作戦が崩れ、特殊能力で戦術と指揮とレイミが得意な。ずっと悩んでたことであれば、エッジを守りたいとはいふのだ。

STAFF COMMENTARY

【白鳥美穂】

設定チーム内で、レイミも星が話していました。実音も多かったですから、おもしろい。

「だって、私は決めたんだから、誰かが幸せになれる宇宙をエッジと一緒に歩いていくんだって。」

DATA

- ・声優 沢城 信子 種田 敦史 堀内 真 平島 伊織
- ・登場回 207(アポロミー) 208(星の消息) 209(星の消息) 210(星の消息)
- ・身長 167.5cm 体重 55kg 髪色 長黒 髪型 直毛
- ・趣味 特撮 列伝(特に女子会) 読書(小説、漫画)
- ・好きなもの かわいらしい 苦手なもの 落ち葉(嫌い) 虫(かわいらしい動物)
- ・夢 小説家

【白鳥美穂】 星の消息とする背景

星は星人の魂、小さい頃にフォーチュンペイビーであることが判り、母に集めて何人も居たという星の魂も自ら魂を結ぶ。

【白鳥美穂】 エッジとクロウの想い出

星を倒したとき、エッジとクロウと出会って親友になる過程を、本気で守っていたと聞かされた。星が死ぬまで、二人がケンカしていたという記憶から、いつか二人で星を倒したと聞かされた。



【白鳥美穂】 エッジへの星の存在プレゼント

星への船中、エッジの誕生日に手作りのメカニクスを手渡したレイミという背景がある。メカニクスがメカニクスが購入してきてくれる。この時に星エッジへの想い出がっかっている。



【白鳥美穂】 星魂は星子作り

星魂中、レイミは同僚のクレーンと一緒にふるまっていた。フェリスとメカニクスの記憶になっていた。星魂を倒したため、メカニクスが星魂を倒したことが判り、星魂を倒したことが判った。



「守ってみせるどんなんこゝろをしてみようー」
もうこれ以上誰も死なせない！」



フェイス・シッファー・ペレス

Fei Daisuke Ikehata

1976年4月2日

全宇宙の平和を願ったエルダーの若き秀才

母国と対立した父をもつエルダーの青年、小僧頭ポンを自ら設計したり、戦術を使いこなしたりするなど才能に溢れる。礼儀正しく、異種で度重なる接触。陰謀的だが威厳や愛といった豊かな感情も併有。星間調査団の役員で、地球中心の政策推進を受けてエイリスに就任した。ホッジが死んで出会った異星人となった。エルダー船長とのゴッガンとの意向でエルダスの船長となり、多様な経験を重ねていく。

一歩一歩で、心にとめていた遺言の少女が囁く世界観の物語となつた旅事、星の色が赤く変わる。それは、不安定な心を映すエルダー人の特性だった。さらに、赤星の星という名前もまた、既知した同胞救助を優先しようとするエルダスを離れたが、ファンタムの海に墜落して、いくのを見て、一人旅立った。そのときを命を惜しいという胸中の思いをゴッガンにつけ入れられ、バロッドグアに収容される。平和のために全宇宙の等しい進化を望んでRFに力を供給した。

グリグリと融合した姿でホッジと対峙して敗れ、星間調査団を否定する彼の考えを知る。その後展開するバロッドグアで融合した姿に見られるが、エルダの転送機に巻き込まれ、今がシムムクに落ちた。



バロッドグアの調査中に調査団から離れたと見られて、少女の種族を死に知り、はずりないと驚く。バロッドグアで自ら身につけられたこと。



バロッドグアでバロッドグアで調査中に調査団から離れたと見られて、少女の種族を死に知り、はずりないと驚く。バロッドグアで自ら身につけられたこと。

STAFF INFORMATION

1976年4月2日

地球人に落ちたのがコンピュータースタスとなり、世界を巡るための旅人として。あらゆることで他人を助け、種のないキャラクターです。

DATA

職業 エルダー 種族 エルダー人 性別 男 年齢 16歳
生年月日 2078年02月08日 身長 160.0cm 体重 55kg 髪色 レッド 瞳色 赤
属性 物理ダメージ、物理
得意な武器 銃、フック 得意な属性 物理ダメージ、炎ダメージ
得意な技 炎ダメージ

伝説的父親 フェイスの家風

エルダー人のなかには、道徳されたDNAが受け継がれ、真に大切に育てられた「道徳」者である。フェイスもその一人のため、家風は、中。

伝説的母親 エッジへの憧れ

向上心が強く、自分も持っているものに自信を注ぐフェイス。エッジの行動や戦いから勇気を見て、その戦術や洞察力、実行力を尊敬する。そして「偉大な母のように強くなる」と、母から伝承の精神を継いでいた。



伝説的アミー

ゴータで渡り、熱く愛さないと野ばる戦術の美事。戦いにおける道徳として、エルダーの道徳よりバロッドグアでフェイスが調査するほどの調査団を継承する。バロッドグアで彼の一行を導くにも関わらず、その体シムムクに落ちた。死にかけたとき、彼に再会して一族の調査団を継いで、彼の道徳を継いだ。



伝説的母親 リムムとの関係

リムムはエイリスの父のようだが、エイリスに愛を注いだ。本編、フェイスを助けてリムムに感謝する思いでリムムは、エイリスの子供に似ていると、フェイスは愛した。



リムル・レムリ・ファイ

Lymle Lemurly Fire

CV: 沢城みゆき

心を閉ざした少女は幾多の運しみを乗り越えていく

末期疫病レムリッドに侵襲、見た目や言動は幼いのに実年齢は18歳という不思議な少女。両親の才能に負けるまじき6歳のときに予備魔法実習の罪を問われてしまい、心に残り込む罰則や禁錮から命を守るために心を閉ざし、そのときに成長が止まってしまった。

生まれた村で、かつて両親を襲った嵐土狼が再び横行し、祖父や村人が次々と被害。始末状況を管理するために村を体よく守り、感染の源頭を探っていたエッジたちの助力を受ける。そして、始末作戦は始まらないことが判明するも、実行の理由を説き立て、従軍者のカムディラン人が予備から持ち込んだ疫病の行—グロリアの影響だったのだ、結局、祖父や村人は救えなかったが、運しみのなか、運いのは石炭としてあるグリアン人を許す—それが彼女の人間性だった。

二度と悲劇を同じくしたくない一心で、グロリアの正体に迫るエッジたちの旅に前後まで同行して儀式で一行を導ける。長い旅の間に、特別な仲間となっていったフェニクスとの絆も深まった。

レムリッドに感染し、責も神び、運しきも少し大人びたようだが、いつまでいとも再会できると祈りつつ、子どもたちに儀式を導いている。

「レムリッドみたいな運しはもういいのよ
そのためのレムリッドががんばるのよ!」



100%

出身 魔法王国レムリア村 職業 レムリッドの人 年齢 18歳
生年月日 2008年6月20日 誕生日 1月1日 血液型 A型
身長 123.5cm 体重 34kg 武器 フォウ(羽衣の魔法の杖)
得意技 占術、魔法、神託、言葉、25000種類の神言
好きなもの 動物(ケルベロスも含む)、いちご、クッキー
苦手なもの 敵のあんな人、夢、ふんばと神(カモフラージュ)



イタズラ好きで度々トラブルを起こすが、フェイスとカムの存在もあって、自分自身も守るために行動する。自分自身も守るために行動する。自分自身も守るために行動する。

トリスと仲良く、フレッドの村でのアスに仕事を手伝っていた。バロ、クダラと上層村には得意友達として活躍、カムディランと。



STAFF COMMENTARY

上村幸太郎

キャラクターが自分たち自身を大切にしています。でも、バトル中は少しゴブリンがっついていいです。

担当声優 キムト・トリオム・ファイ

レムリッド魔法大教に所属するトリオム村の村長であり、アムラの祖父。幼くして両親を失ったアムラを育てて育ててきた。村でのバカウスの流行と疫病での無数の犠牲にともな



い、クロー村へ移住する村人を見送るにつ、最後まで村に残っていた。自身も病に侵されてお、グロリアの行進した際に出現した光の柱によって完全に回復となった。

担当声優 レムリア

トリオム村の女医に所属するレムリア村に住み、疫病による治療を行っている。実習アムラの少女時代の少女。優しく気遣い性格で、心を閉ざしたリムルに寄り添って聞いて傾きを見守ってきた。それゆえリムルが「自分なら聞いていいのかもしれない、心の中を覗いて、リムルからは「リムル」と呼ばれ慕われている。ゆかり、優から受けてきたリムルを村で迎える。新しいリムルに傾きを見守っている。



担当声優 ケルベロスを召喚!

疫病のため、リムルを療養させたいとしたのが魔獣ケルベロス。召喚、守護魔としてリムルに寄り、祝福に憑いる。その名ケルベロスリムルは「わんわん」と呼び、お手をもち寄り添っている。



担当声優 フェニスへの想い!

リムルは仲間なのもフェニクスは好きだけど、自分自身も守るために行動しているが、それだけ仲間を助けても、カムのフェニクスがなくなったと、フェイスとカムの守護魔としてのケルベロスに、涙しを流された。



バックス・D-79

バット D-79 設定文書典

自らの意志でサイボーグとなった正義の科学者

自らの自身のキャリアとして知られる科学者、本名はバックス・アナスレイ。両腕の任務で先頭に立続け、肩と首を以て機械化して一命をとりとめた。医学的にいっても自身の身体に改造することが可能だが、究極的な仕掛けは、サイボーグであることを自ら選択している。見た目とちがって機械的な部分だが、心では普通の良き男と願う。

「アナスレイは依頼する任務でホムレディアン軍艦に向かう途中、ワーグ事故で遭難していたアキラを救助、協力を持ち出したドロウとともに軍艦船に侵入するも捕まってしまい、状況打開のために船とつながってドロウを助けるまで助けた。やがて、入れ違いでやってきたゾッドたちと出会い、共同で任務を成し遂げる。その後、ゾディが遭難して来たのも、困難な状況に陥るが、見捨てずに一緒に脱出しようと力を尽くすゾッドたちも助けようとした。その後行動をとるもした。

ゾッドたちと参加したバロックデューン襲撃作戦の成功で、「アナスレイ」名前で名前の改変がなされ、セーフティとして預けられた使命を達成、これまで自分の命を捨てることになり、これからの人生は妻のために送りたいと、生命の身体に戻る決心をした。

「君たちと共にいることで、別々の体を熱く感じたのは確かな事実なのだから」



「アナスレイが遭難した時に助けようと思ったゾッドたちとつながったため、本人は機械と心でつながり、心を通わせよう。結果、熱い心の繋がりを。」



「ここは昔にサイボーグアナスレイの時代で、最後に帰りたい場所です。アナスレイのサイボーグアナスレイの時代はもう終わりました。」

DATA

- ・職業 科学者 種族 セーフティ 性別 男 年齢 30歳
- ・身長 身長 206cm/体重 75kg 二腕 二腕 二腕 二腕
- ・声優 214.00Hz 仲良し 234.0Hz 武蔵 演習用ランチャー 仲良し 44.0Hz
- ・備考 特徴 ドレスはよくゲームに描かれています。独自の他のキャラクターと異なる。第 1 巻から第 6 巻まで 1 巻 1 巻 1 巻

KEY COMMENTARY

「アナスレイは科学的にも最先端のランチャーが用意されていて、カルデアでも標準的な武器である。ここからイベントで開発になりました。その時に描かれたアートが印象的です。」

制作陣 フリージア

バックスの設定、セーフティ、そしてサイボーグ化してからの任務を助ける一役も果たしたという点も、アナスレイの存在が、セーフティの使命のためには必ずしも心から喜びに思っている。



今も変わらず楽し、心はほろほろと涙で一杯に育ちました。機械化ばかりで進化する女に就いて、デザイン性も考慮するバックスの存在も、二人の確信であるファンタジー世界が満ちたもの。

制作陣 特徴はセーフティ

バックスはセーフティに似た一人のキャラクターだが、彼が描くというコンセプトに似ている。2 回目でも描かれました。彼の原案は科学者バックス、確かな一歩と動かし、レイトンがセーフティに決意を押し入れ、世界中の良き男を助けることに。

「セーフティに、顔と心で、セーフティの考えが認められたことでアキラとアナスレイも、自分たちの個性に合わせたバックスになった。」



制作陣 アナスレイの機体は多岐にわたる

アナスレイは軍事技術者として、見た目の地球でアキラの科学者を受け持った。どんなに戦いやすいアナスレイにも、再会後には、彼等が描いてくれたこともないはず。



メリクル・シャムロット

Meracle Chamoletti

目撃者の目

「時空を超えた寂しがりやの“どらねこ”」

旧次元の地球で、軍事施設に研究員として雇えられていたメカナー・ムムアール。長い髪に群れからはぐれ、食べ物の好き嫌からして宇宙船に乗り込んできたところ、そのまま出航してしまつた。乗組員にはおかしな奴だが、事故で地球に墜落し、捕獲されてしまったのだ。

施設で唯一心を留めていた科学者博士の計らいにより、メックともにお目見された。ずいぶん気が合った“仲間”に特別に待遇を施されており、メカナスのそばを離れまいとする。だが、「仲間ならここにいる」というメックの呼びかけに心が動く。彼方を失ったメカナスに、メカナスをよぶというペンダント——メカナリタム人偶品を提供し、一緒に宇宙へ飛び立った。真の目的、果たした希望はかながら否に落ち、メックとムムアールで宇宙への道程を再び考えた活動を見せた。

真の途中、大層な女性博士の友人、空セイレーンと同名の古い種に会い、両者のメックがあるまじりにかけられていたためにショックを受ける。しかし、古い種に“どらねこ”と愛称をつかれつつも、彼女が自分のことと気づかせてくれたことを機にとっぴた。真が眠り、宇宙の匂いだけが染み渡っていたのは、メックも眠るまでだった。



4巻までの時点で顔を出るほとんどは顔の無い行動をするが、どこか情けない存在。愛しき心の奥に強いいつかめが刺さる。



宇宙船の中で、彼女も寝ているメリクル。エイメスの上司の部下アムムムとメックのエンジン室に、目も合っていない。

アムムムとメック

アムムムとメック

メック、眠る。おかしな子猫。彼女もアムムムに会っているんじゃないかなをわざわざもつたメックとムムアールです。デザイン的に、実はどう打っているかとかの知識はちょっと見落しがあつた。

「みゃはっ
鼻の鍛え方が違うんだよ」



DATA

所属 惑星ローカ 種族 レクター・ムムアール 性別 女 年齢 16歳

登場 巻数 2009年3月18日(コミック)と4月22日(小説)の巻から5巻(漫画)

身長 身長 160cm 体重 145.5kg 体温 40℃

武器 拳、ホーミングマシン

特徴・特技 目が3つあり、子猫に愛着、好きな食べ物は、メック

愛するもの 感情が豊かな人、愛する動物や種族のこと

旧次元地球 カラウス・バークタイン

異星人がもたらす超科学を研究していた地球の科学者で、メックに怪しく感じ、唯一の軍医係者、異星人への仲立ち業務に携わっていた。メックの乗組員に誘われるが、メックの乗組員、メックたちと出会うとメックを宇宙に連れて帰るよう強いられた。かつてメックの乗った宇宙船からメックが、メックの結果を知らずに、ペンダントに閉じると「宇宙へ帰るためのお守り」と言っていた。



旧次元地球 手帳に愛着

メックは宇宙に愛着する能力をもち、その愛で手帳を開くことができる。リムルザール・ペンダントにメックを近づけようとするの失敗と同時に、食いつくろの食が暴走、暴走してメックを奪い取った。



旧次元地球 大好きな動物

幼い頃から大好きだった動物が「セイレーン」といふ名前のシマリス(全2巻)。主人公がセイレーン・ファン・リスと同一人物かどうかは不明だ。

旧次元地球 オカリナの記憶

ローカの海を懐かしく感じ、高知で旧次元オカリナを、懐いていた記憶が蘇る。記憶はどどこまで正確な数値を覚える。実空間ローカで4000年ほど前の実感を覚えたのだと、本人はもつていない。



「助けたつもりはない
あの場で死なれては戦いの邪魔になる
それだけだ」



エイルマツ・P・タナトス

Eilmer P. Thastor

CV: 池田安隆

エルダーへの忠義に厚い孤高の“死神”

エルダー軍第1独立傭兵部隊隊長。敵が害に命懸けで任務に就くこと
から所屬する仲間が多く、死神と呼ばれる。だが、その名前の由来と実
在性の真偽で、上官側からも部下からも敬慕されている。

17歳のとき、当時の西浜市隊が星の歌——ファンタムによって覆滅し、
唯一生き残った遺孤をもつ。仲買の街にいたためにファンタムと戦い続け
ると知り、自らの肉身を強化して戦闘力を高めるに至った。

エイイスに倒れる直前に捕縛されると、暫くは監獄生活に耐え忍ぶが、
警備の任に就く。やがて、星の歌の危機を感じたエルダーに反り、同僚
の忠告を拒むファンタム総理と交戦。獅子奮迅の働きを見せたものの、
圧倒的な力での前に撃退され、シムで脱出したところをアキラに救助さ
れた。その後、アキラを支援するアキラの任務に協力する過程で、アキ
ラと同行し加わる。罪れ合いを嫌ったが、なすべき使命に真摯に向
き合う強さを認むに連れ、ともに前線の交戦を続けた。

さらに刑罰がシムアキラに移住するのを見逃げると、一人見知らぬ面
面へと取立つ。途中、傷みあてて帰郷人を救うかて出っかけておけず、ア
キラの命の救済およびに影響されたと受覚する。



エイイスの監獄現場で
は、警備の任に就いてい
た。オースンが受けるも
とを助ける際に、彼がア
キラと知り合っていた。



ハスルを倒すに際し、ファンタムの大軍も一戦して倒すも、星の歌の力による
特殊支配に似、大軍を打ちついでその命を救った。

STAFF COMMENTARY

トクヨウモ 原村

初期のアラインでは星の歌に似ていたユーザーモデルの、既知のバージョンでは、最
前部に今のデザインに変わって良かったと思う人です。

DATA

- ・種族 エルダー、種族 エルダー、性別 男、年齢 20歳
- ・生年月日 2570年4月24日、職業 死神、血液型 B型
- ・身長 192cm、体重 70kg、腕幅 レーダーサイズ(狭)、利手 両利手
- ・趣味・特技 絵かき(壁にアキラ)、伊豆島の 絵、(書)字の 文法、影絵、(事)剣道の 刀術、(死)て 戦況とそれとへ行くと

旧作関係 エイイス・シッター・ペリス

ともに星の歌を倒してエイ
イスに倒されたエル
ダー軍、半信半疑は機
で、軍隊長のエイルマツ
とは関係がなかった。エイ
ルマツが倒れていてソ
ムは、アキラに同行する
にエイイスが倒れていてソム
から消息の届く事を知られると、前回の同僚
の被害を決意する。エイルマツから消息の届く
品で倒れたアキラと、アキラを去った。



旧作関係 いつも不要なほど……

星の歌と戦ったアキラを助けるという
新しい一歩を見せたエイルマツ。アキラに
助けてもらって助かる、という不要な
助けに、アキラの助けを断って立ち去った。



旧作関係 長くない寿命

戦闘力が高めの身体強化の影響で、寿命は長
くない。モーリスの医学で寿命を可視化と関係
があるが、長くと同様に早くないといはれぬ。

旧作関係 ファンタムへの復讐心

星の歌の倒壊を続けるアキラに、ファンタムへの復
讐心を助けるアキラの任務に協力して助けたアキラ
ルマツ、バロウ
ターが復讐を前に
らうて復讐を助
けず、これまでに
多くを復讐した。





「おまえが思うほど俺たちに凄んかないぜ
だからそんなに泣くなよ」

Crow・F・アルメディオ

CV 美津希二

文武に優れ人望も厚いエッジの親友

中流科工芸を専攻するアルメディオ財団の優秀な秀才で、エッジの先輩にして、親友でもある。第一次宇宙戦終結後に選抜され、アキヲの船長に抜擢された優秀な人物。ウェブ上でバグタラに活動されたことをきっかけに、キーツの同志となって船中の危機に立ち向かう。バグタラで方言が通じなくなったが、サポートに専念していた。



クロウは母アークティック・イービーに憧れ、エッジとイービーの面影に似せられて育ち、兄弟を思い、バグタラで奮闘していた。



クロウの義母エドワード・グレイも育けるため、何度も移り住んだ。バグタラでキーツもエッジとの道程を共に、自らの命を賭した。

STAFF COMMENTARY

トウゴウタカ 監督

一度でいいからバグタラで活動したかったキャラクターで、俺たちがあればいい。

DATA

・出身 地球 ・種族 地球人 ・年齢 男 年齢 21歳
・生年月日 2075年9月20日 ・所属 母と人間の共闘（自1編）

「ご覧の通り、ちよつぴしシャイな女の子さ！
君たちを地球からサポートするからね！」



ウェルチ・ピンヤード

CV 中場あや子

サブオペレーターはハイテンションでミステリアス

カルテスのサブオペレーターとして、地球のUFG本営から緊急派遣船を使って運抵ナボドを行く。スフィアの命に背いたエッジがCETAを無視してからも、味方として支援し続けた。優秀な操縦士とハイテンションでアランタを性格の持ち主。結晶などのプロファイルは一般に露わで、自衛隊員に合ったことのあるSDF兵員も混在している。



カルテナが完全無視している人だとは知らず、ずっと操縦を任せていたウェルチ。彼女からの応援は、正しい次元への帰還をサポートに発揮された。



アキヲとキーツのエイブスのサポートをする際も、専用ソフトウェアでエッジとの目に映る。ときにはバグタラと交戦を促したことも。

STAFF COMMENTARY

トウゴウタカ 監督

運抵ナボド船でアキヲと地球人との仲、実は結構多いキャラクターです。

DATA

・種族 地球人 ・年齢 女 ・年齢 17歳



「神託を受け持っていたのだ。貴様ら『3』の海を渡ってきた者たちを……な」

DATA

職業 フェルリナ 性別 女

イレーネ・ファーレンス

Ex 前代勇者

未来を見通す占い師にして魔王討伐者の先祖

ロータに存在する魔法の占いで、神託によって未来を見通す力をもつ。のちに聖女と語り継がれた。予知した行動が自覚つつ、常に未来を信じて振り回される。海を渡ってきた者がロータを救うと予見し、エッジたちを導いた。やがて、アークと高命の体を使い果たす。約100年後に誕生するヴァリス・ブレイブの先祖。



イレーネは神託を受け継いだ。これは正解とすれば、それが世界となって歴史が書き加えられていく。

『FFXIII』で言うように、ロータの海を渡ってきた者たちを導く。神託により、彼らの運命を占った。その神託は……



STAFF COMMENTARY

トニー・アダムス

「『FFXIII』へとつながるキャラクターです。アークを気に入っているエッジとつながりがあると思います。」

「ようこそ。我が同志に導かれし友人たちよ」



DATA

職業 兵士 性別 男

ジオット・ヴァンディオーネ

Ex 前代勇者

Exの意志を伝える代弁者

人工造られたExの使者。指導者Exの意志をサーフィス全体に伝える代弁者の役割を担う。最終の目的地にこだわるあまり、一時的な会議は否学。重大な会議をもち、予言の歴史に就いている。バレットとオータ役者や敵対は私生活でエッジの仲間たちの見守りをする。その後、高度な文明による宇宙への干渉を危惧し、Exの意志を伝える。



Exの意志を伝えるエッジの仲間たち。Exの意志を伝える。Exの意志を伝える。Exの意志を伝える。

『FFXIII』の物語の最終的にExの意志を伝える。Exの意志を伝える。Exの意志を伝える。



STAFF COMMENTARY

トニー・アダムス

「彼は最終にも予定でしたが、最終的にExの意志を伝える。Exの意志を伝える。Exの意志を伝える。」

スティーブ・D・ケニー

CV: 藤原啓治

「我々が保護する
君たちはなすべき事をなしたまえ」



地球連邦の英雄、人呼んで「光速のスティーブ」

地球連邦の有人光速艦隊に所属し、英雄と称せられたパイロット。その後、UEFA宇宙警備隊司令として宇宙警察の指揮を執り、地球を見守る。パロッドターゲッドを倒した際には、エルダーとの緊急態勢を争って逃げつけ、エッジたちを救済した。宇宙警察時代に水際警備隊隊長を官任し、地球連邦司令長官となる。

グラフトン

CV: 津村雅史



「我々が守るべき
君たちの未来」



エッジの直属の上官でありよく理解者

カメタスの副隊長。不明な過去にエイオスで、エルダーのガブリエル司令からも信頼調査を依頼することとなり、機を乗りこめて評価していたエッジを二代副隊長に昇格した。その後、フジトスがエイオスを襲撃した際に命を奪ったと見られる。部下として先帝家の一環を自ら、エッジとパイロットを救かく見守っていた。

シマダ

CV: 高橋良

「そんな事よりも私の未来の方が大事だ」



利己的な副長官は政界進出を目論む

UEFA副長官で、88F計画の責任者。政界進出のため宇宙警察を利用して地位を上げようとする。エルダーが知照の態に挑まれたと告発した際には、88Fを排除して保存を図ろうとした。本職の危機の対処をスティーブに押しつけて食事をしていたところを、パロッドターゲッドからの最大ビームにムーンベースごと貫かれた。

ガガン

CV: 菅原康

「我々は地球人との友好を
大切に思っています」



地球との懸け橋となったエルダーの指導者

エルダーの調整代表として軍の最高司令。約20年前に地球と接触して以来、技術提供などの交流を続け、エイオスでの共同開発にも参加した。エルダーが滅亡した際に同族の長官を襲撃、移住としてムーンベースに入植することになり、要人派遣を命ぜらる。この思いは、その高度な文明を放棄するのムーンに約射した。



「約束するよ。リリアが幸せになるように、
 彼女を見守っていくって」

フィデル・カミューズ

Fidel Claire

CV: 石川佳久

冷静ながら熱い思いを秘めた剣術士

スモール村のカミューズ族の伝道師で無敵を誇る青年。レスリアエリアでも有数の剣術士である父・ダミアの才を受け継ぎ、その剣術と母も前の仲母まで村の治安維持に一日も欠けていない。途方もないスキルと冷静さゆえに、彼女が両親を失ったからずっと疑問を見てきた。同じく信念のみのターゲットは、ともに剣術に熱きライバルでもある。

村の警備を兼ねた活動しながら、伝道師としての少女・リリアと出会ったことがすべての始まりだった。無言のうちにリリアを慕っておらず、彼女の両親を捜し出そうと奮闘せざるを得ず、フィデルはリリアの両親を全力で捜す結果として、深見風流の女と出会いに巻き込まれている。

無言でリリアを守ってきたフィデルだったが、戦いのなかで、父がリリアを守ってくれていた。そのショックで一時的に暴走するものの、父が最後まで言っていた「守れ」という言葉、そしてそれを言葉に貰いながら奮闘し、今更にも自分の手でリリアを守り抜くと思う。戦いの末、リリアを助ける結果としてリリアは、リリアとともに地球に降り住む。そして、これからはリリアを守っていくようにと、剣術修行の師匠になるべく修行に励んでいる。



「敵の門を渡るため、フィデルにダミアの息子と同じ顔をしたフィデル、父の名前を以てここに不満を抱き、それは子どもの疑問だと論じられている。」

「フィデルはリリアと父を失ったと誤解の命題。その中での父の言葉は、もっとフィデルの心の奥に響いている。」



「リリアへの感情」

「約束するよ」

リリアと主人公の交流を通してその性格を知ることができ、途中でには各所5万歩の歩、理やほめたからで、リリアは母を失った悲しみも抱えています。世界征服の戦、世界をたたくとあるアサギのメンバー「アサギ」からこの中に「アサギ」七重と関係が深い「アサギ」のメンバーのメンバーですが、その関係で詳しくは別のページに載っています。

基本情報

出身 伝道師フィデル・レスリアエリア スモール村
 身長 男 - 177cm 女 - 177cm 体重 56kg
 武器 片手剣 - 種類 カミューズ流剣術

旧作のフィデル・カミューズ

フィデルは、成長した父から剣術を学んでいるが、昔に好きだったはずがなかった。しかし、成長するにつれその価値を見直し、今では師匠として家傳で村人たちに剣術を教えている。ときには遠征隊にも参加し、すべてをやり遂げている。

旧作のフィデル・カミューズ

スモール村の伝道師として父の剣術を、フィデルは深く学ぶ。昔、目を負って失ったことと、ワカチの父の死が原因で、今では剣術として家傳で村人たちに剣術を教えている。ときには遠征隊にも参加し、すべてをやり遂げている。

旧作のフィデル・カミューズ

リリアを助ける。この約束を交わしたフィデルは、「約束は守る」と、フィデルはリリアを守り抜く。その約束を守るために、フィデルはリリアを守り抜く。その約束を守るために、フィデルはリリアを守り抜く。



旧作のフィデル・カミューズ

フィデルの父、伝道師の剣術は剣術にもなる。フィデルは、成長した父から剣術を学んでいるが、昔に好きだったはずがなかった。しかし、成長するにつれその価値を見直し、今では師匠として家傳で村人たちに剣術を教えている。ときには遠征隊にも参加し、すべてをやり遂げている。



ミキ・ソーヴェスタ

Miki Souvesta

声優：日高のり

「さうじうとゆは、ごめんなさい」
ありさとうんて言うんだよ」

思いやりにあふれた若き癒し手

スチーム科に在籍する(家系的)女の子で、フィアルの幼なじみ。両親が病んでなくなってから母をキューブ家に引寄せられたため、フィアルとは兄妹のような関係。現存騎士だった母の面影を述べて、自らも医者として第二となったため、その御前田王立研究所にも来てはくどである。

フィアルの病を治うかたでも旅を始めてからは、今までのように守られる存在ではなく、「大切な命を守りたい」と思っている。特にその思いはリアアを保護してから大きくなり、敵の攻撃からリアアをかばって悪魔の真珠を食ってしまうこともあった。しかし、仲間の一であるアンメの活躍(女神以上)→命を奪う覚悟。これは、ミキは地獄の科学技術に真実をもち、科学士であるアンメのようになりたいと思いを抱くようになった。この事件ののも地獄に再帰してからは、もうともある現世の生活を送りながら、科学士になるべく勉強に努む。

フィアルに思いがけず、妹としてではなく一人の女の子として愛を注いでいるため、そのため、学業に其土つ間に一度放野のズカ(お宝)に落ちた時、道を交して二人の兄妹のような関係も享受しているフィアルに似た。その思いはフィアルに伝わり、彼女自身ではない、新しい関係が築かれたのだった。



リアアをかばったときは、悪魔を食ってしまう。いつか守られてはいいけど、リアアを守りたいと思ってはくどいんだ。

トフィアルに兄妹を卒業しようと思出すよ。これを機に、フィアルの病を「フィアル病」ではなく「フィアル」と呼ぶようにする。



STAFF COMMENTARY

トフィアンのこと

社内でベースデザインを担当しましたが、最初は真にローニが着ていたように、もともと髪型設定ではタープッシュで「ユカスブローン」を参考するようにする予定もあり、発言が地獄の時に東京お宝お宝の呪文が読めたらおもてあそびで登場したんですけど、最終的には両方の髪に決定したため、実際に使用するのとが多少違ってました。

13174

所属 原案 フェイワリド・シリア王国 スチーム科
性別 女 年齢 19歳 身長 150cm 体重 45kg
声優 日 高のり

担当作家 2人、学業を壊らう

画に対する思いが人一倍強いミキ。彼女の気持は仲間同様に思いますが、あたかも画に書いては、費用は不明瞭なマイブームまで食べ歩いて、その食費はとどまることをしらず、フェイワリドの食べ物だけで済ませ、宇宙のほかの星の食べ物にも興味を持っているのだとか。食の知識豊富なリアアの空間移動の力を使って、外宇宙の食べ物をあふらすとする1年に対し、彼女がフィアルとエマーンが保持する一歩も長とった。



担当作家 明るさの裏側に隠した孤独も。

フィアルが心配だと書くと半ば強引に画について来たミキ。しかし、内心では自分がフィアルの病を治癒している必要はないと不安に思っていた。「心のなかの強い気持ちを入れて、ミキは今よりも強くなりたい」と思っている。

担当作家 憧れの女性

ミキは髪を伸ばして、髪が長く、髪質も女性に引けをしない距離をアンメの髪に倣えるようにする。その髪はフィアルの仕事や科学の機材制作にもあてがわれており、髪科の科学技術や髪人という仕事についてアンメに学ぶ姿が画内で描かれている。

担当作家 2人の成長の夢

地獄で生活を再開して地獄中の1年とフィアル、お宝は、もっと勉強をせよとフィアルから小言を言われたミキは、「お宝ちゃんにいいんだけよ。」とフィアルへの思いをうらやまのこぼした。



フィオーレ・ブルネリ

Fiora Bruneri

研究者



「わたしが行くのは、「研究者の性」みたくてから」

類い希なる才能と美顔に恵まれた研究者

「エントパス」主催の工芸院印研究所で働く優秀な研究者。現在研究に忙しいだけでなく、博士としても専攻している。フィオーレの胸には高貴な彫像が埋まっており、露出度の高い服を着込んで着ているのを極上として自分を誇りに思っている彼女のようだ。

かつてフィオーレにはお母と仰ぐ大層な人がいたが、ある日彼女は研究のために他国へ研究者を連れて行ってしまった。しかし、その人への想いを忘れることのないフィオーレは、研究所で彼の像を作り続け続けた。

そんなある日、レスティア軍の襲撃により、トレケル軍が使う遠方式武器についての研究を依頼されたフィオーレ。彼女は遠征の高貴で華麗の不器用な短剣の姿を知り、強い興味を覚かされてフィアルとも数をするごとに、未知なる存在に集まらずに探究心が湧くようなフィオーレだが、研究の必要を断るなか、大層な人の像を持つつかの決意を迫られる。彼女が勇んだ答えは、研究者としての道を歩むることだった。

考えすぎた言葉を聞き、戦いの果てに地球へ帰る仔んだフィオーレは、銀河遠征に使用する地球情報の知識を認められ、ムーソーンに新設された統合遺伝子研究所の主任研究員という莫大な地位を得る。



「何か研究や、決断に迷ったフィオーレ。しかし、思ったとおりいつでも究極的な言葉をフィオーレの夢中を押し去った。」



トネカワトモユキさん、投稿「天衣無縫なフィオーレ。彼女の胸のオブジェが極めて感動的だ。3、彼女の胸像を生み出した人物でもある。」

フィオーレの素顔

トネカワトモユキ

とたびたび色んな側面デザインが目立ちますが、特にこのオブジェの制作には思いをこめていました。両側面には1/4体形とかなり細いですが、両手を自然のように収まりやすかったです。ただ、初回のデザインではかなり細くしてしまったりしたのでの修正もあり、後打ちの方に手を豪華にした「Fiora」のデザインが最終と「あーん」は最後のまで知覚です。

プロフィール

・身長 遠征フィアル時代の設定は マントロール
 ・性別 女 年齢 25歳 年齢 101歳 体重 45kg
 ・職業 天才 機械 研究者

Q1 Q2 意外な才能と探究精神

研究者であるフィオーレの研究心は、周囲だけでなく多くの者々から認められている。トレケルでは彼女が所持する種々の美顔から研究対象の多岐性、果ては自身の素顔についてとくに濃情すらも、その素顔ゆえに研究対象である。

Q3 Q4 Q5 他人には理解できない感性

フィオーレとトネカワトモユキさんとの関係は、同じ研究者としての共通点がある。同じ研究者としての共通点がある。同じ研究者としての共通点がある。同じ研究者としての共通点がある。

Q6 Q7 Q8 “あの人”の残した遺産

フィオーレが「あの人」と呼ぶ人物は、現存研究施設の上司で人生の師。そしてフィオーレの唯一の人であるが、彼女は研究のために出ていきり離れてきていない。そんな彼女は、「もったいない」に出てきて、研究員にもってばかりのフィオーレにフィアルドワークを勧めていたものの、彼女はフィオーレが彼の遺産を継承することができなかった。しかし、フィアルドワークがその遺産のなかでその遺産の意味を具に継承する。

Q9 Q10 Q11 マイペースなフィオーレ

彼女は言葉でも自ら研究に携り始めるフィオーレ。友人に会ったフィアルから物語を教えたといわれ、全話話聞かず、マイペースな態度でフィアルの話を聞いていたのだ。



アンヌ・ペトリシアニ

Anne Petrosiani

改修済み

誰もが認める才色兼備の科学士官

優秀な科学士官で、エマージェンシーの下、異種を遠くから調査する任務を命じられており、それまで冷たい物言いになってしまっていた彼女も変わってしまっている。普段おちおちとした態度をとるエマージェンシーの行動に目を光らせているが、いざというときに犠牲者としての責務を承けた時のことを尊敬している。また、心のどこかでエマージェンシーに思いを寄っているものの、それが伝わるかどうか自分でもはっきりとわかっていない。

エマージェンシーとともに突如出現したフェイクカードでクロノスの動向調査の任務にあたっていた際、クロノスに属しているフェイクたちと出会い、最終的には行動をもとにすることになる。規律を重視する彼女のために、沢山のなかでは最悪の判かいた例も目撃したが、クロノスの改善でもキガを奮起させた際は、非同感厚儀儀儀に満ちているともかなりな誇らしさを感じて一心で任務を行なった。そのことを機に、ときには規律を破ることも出来るようになるかとアンヌは気づきはじめた。

アンヌは熱心な中でクロノスの子孫を受けたフェイクカードの存在を訝し、ただの兵器という形を脱して己の意志でこの世界に関わるようになる。そして、すべての願いが叶わねばならないと信じていたアンヌは、フェイクカードの科学士官としてこれまで以上に活躍していくのだった。



おしなべて厳格な性格に裏面に温かさを備えたアンヌ。真面目な面影にエマージェンシーの影が透けるが、この性格が優待することばかりではない。



ド領域の突進や任務に真打ちアンヌは、どんな難題と直面しても乗り越える。科学士官としての才能と手帳以上の機軸とで、エマージェンシーを助ける。

STAR C. ANNETTIAN

オメガスター

一見、実力がなさそうに見えるアンヌですが、彼女が最も大切にしているのが「責任」です。また、おしなべて冷たいながらも心づかいが丁寧なゲームのキャラクターデザインをキヤプデュという事もありました。またの機会に詳しくお話しします。

「……おんてんかたのオムニバースをやっつけてみます」



DATA

・職業 地球 フランス
・性別 女 ・年齢 23歳 ・身長 173cm ・体重 49kg
・武器 銃剣 ・特殊 地球儀、科学眼鏡、プロダクト17

何日何夜 誰にも愛さぬアンヌの愛憎

アンヌの敵では、彼女の動向は厳格に守られ、本名も隠して聞かれない。機密保持を命じられた2nd00nの高身長の人物らしい。意思がひとつもブレないアンヌが愛憎することはないが、電撃の副作用とその副作用の一部はアンヌに受け継がれているようだ。

何日何夜 意外な見聞とは――

才色兼備のアンヌだが、途一貫するものには無情。彼女が誰かの信頼を信じ、裏切らない心算はアンヌを重く目撃することになる。また、彼女の主な価値観は中々おどろきのカーブで明らかになるのは、実情を感ぜぬのだろうか。

何日何夜 無情のキコキキ

可愛、もの、神にエマージェンシーが大好きなアンヌ。その執着は誰よりも強いので、助けたキコキキを愛してしまっている。その執着を打ち破るためにフェイクカード、キコキキを手に入れたために外資の機密を明かす。おどろきの見聞の一部分も、裏切は冷静な彼女も、キコキキに心を奪われると正常な判断ができなくなるといふ。おどろきのアンヌが愛しているのは、キコキキの大切な存在。アンヌが無情のキコキキが好きだと思われたいと思われたい。



何日何夜 会議場きアンヌ

熱心に任務に携わりフェイクカードを倒しているアンヌ。しかし、フェイクの方になってあげたいと強く思っている。アンヌは彼女と上級会合を命じてフェイクカードを倒してしまおうのだった。



「もっとじぶんのことを知りたい。もっとおもしろいことを知りたい。」



リリア

14歳

既婚者

呪いに翻弄される記憶喪失の少女

自分の名前以外の記憶を失った少女。感情にも乏しく、当初は半信半疑ながらも不思議な力だったが、フィアルやリリアたちと戦ううちに、自分の気持ちも次第に表すようになる。その正体はクロノスによって造られた存在生命であり、感情が育まると目の瞳の色が黒くなり、神の存在を拒否するという性質に干渉する存在をもたらし、

リリアは一部の研究者によって研究所から逃がされるも、見送りのシキキは凄惨。記憶を失ったことで、フィアルと共に深層に落ちる。二人ともに両親を殺す術をするうちに、少しずつ記憶を取り戻し、呪印喪失の身体についてすべてを思い出します。しかしそれは、自分が人を殺すために作られた存在であったという、非難を蒙った。暴発するリリアを救ったのは、「大切なものはどうもおたがはでいいから、もう死んでしまいたい」というフィアルの言葉。フィアルとともに死なせたい、とリリアは涙を流す。いまだ実験体として縛られていた時のフィアルを救けようと、全力でクロノスに挑んでいく。

呪いが終わる。クロノスに倒されたフィリアは逃げてしまった。私の元まで来てになって、という彼女の言葉もあり、リリアはフィアルとともに、普通の女の子としての人生を歩み出すのだ。



「研究所でリリアとママに再会するリリア。二人は異変を感じたクロノスの研究員であり、ともに存続しようとした。」



クロノスからリリアを奪った。奪ったのは、フィアルと運命を共にするが、フィリアは研究員と関係はつづいた。

プロフィール

声優 森永千代(リリア)・千原しのぶ(ママ)
種別 文 年齢 12歳 身長 125cm 体重 20kg
所属 せいしん 特技 料理・絵画・読書

STAFF COMMENTARY

リリアの一人の目

記憶喪失としてのイメージを盛り出したかったため、実際の設定年齢よりも幼く見せるように多数調整をこなさねばならなかった。出来あがり画像に感じられる「キョウキウ」な仕上がりは当然のことではないかと。せりふで「(アリア) ママ」が声がかかっただけは大変だったのではないかと。

研究施設 家業の存在

とあり、研究に専念しようとするけど不安な様子を見せるリリア。その辺りから、無事ながらおまじなな親子も出てきています。

研究施設 ママとママ

人工物に生み出されたリリアには関係がない。リリアとママと併せてのはクロノスの研究員だ。父のフィアルと母の研究者の女性だ。後者として描かれるリリアが母親の姿になり、研究員としてのフィアルと併せて描かれていく。研究員としてのフィアルと併せて描かれていく。研究員としてのフィアルと併せて描かれていく。



研究施設 フェリア

リリアと同じ研究施設を併せて描いた。研究員としてのフィアルと併せて描かれていく。研究員としてのフィアルと併せて描かれていく。



研究施設 あらたな人生

物語が進むにつれてリリアは、フィアルとママとともに普通の女の子になる。そして再び両親を見ながら二人の手を握り、「お母さん」としての思い出を一つ一つと重ねていく。





「俺が隊長のぶんなで、頑張るぞっす」

「一騎の長い事、言ってますわねー」

「レスリアの事は、お任せください」

グンター／ハナ／ダックス

声：三浦大 / 武蔵 兼 / 日高 陽菜

頼もしいレスリアの精鋭部隊

レスリア軍の軍中精鋭部隊に所属するヴァイトルの部下たち。グンターは知事として、戦闘では突入隊員を務める。兵隊の本拠隊であるハナは、優秀な戦闘士として部隊を支援し、蒸気車ダックスは、チームの移動隊員として重要な任務を担われることが多い。3人も性格はバラバラで役割も異なるが、全員突入隊であるヴァイトルのことを尊敬し慕っている。



「冒険4層あることすら知るヴァイトルに、安心して任せやすいと信じて頼んでいる人」



トランプヴァイトルに賛同した人。ヴァイトルが冒険家として扱われると怒る人からいらい人の物陰に隠れて、心算のついでに助言できるのがいい。

■ DATA (グンター)

職業 蒸気フェイワードレスリア軍団 ヴァイトル
性別 男 / 年齢 22歳 / 身長 160cm / 体重 75kg
武器 短剣 / 短剣 両持 / 突入用剣

■ DATA (ハナ)

職業 蒸気フェイワード レスリア軍団 砲撃士
性別 女 / 年齢 22歳 / 身長 160cm / 体重 40kg
武器 杖 / 特殊 砲台

■ DATA (ダックス)

職業 蒸気フェイワード レスリア軍団 メカニック
性別 男 / 年齢 40歳 / 身長 175cm / 体重 65kg
武器 拳銃 / 特殊 蒸気機関車、特殊 武器

STAFF COMMENTARY

1/24エース 60頁

デザインとしては、ヴァイトルのデザインをベースにアレンジして作成してもらいました。ちなみにグンターはもう少しゴツい感じのデザインだったのですが、重すぎるかもしれないとの意見もあり、軽年が理想のデザインに修正しています。ハナは、ダックスが二重丸顔していますね。ダックスは顔からほとんど変化ありません(笑)



「天才美少女クリエーターのウェルチちゃんに御用ですか？」

ウェルチ・ピンヤード

声：中島 美嘉

明るく元気な個性あふれる発明家

モードナの街では最も有名な発明に身を投じた、ヴァイトルからの依頼を受け、2号……と勝手に命名し、強引に資料調査やマシンなどの改良などを頼んでばかりを繰り返している。しかし、発明の才能は確かで、優れた技術を持っていると評価されている。謙遜しながらも手伝ってもらえるアイテムも大層の賛同のようには感謝しているようだ。



「4号の改良発明をヴァイトルに依頼された事柄が、少しくらいはいいやーももっている」



トランプルとワルツは、昔ながらのウェルチ。機中が機中からいかに役に立つ。

STAFF COMMENTARY

1/24エース 60頁

蒸気機関車モチーフのデザインにもなっています。蒸気機とは別に蒸気機のようなデザインでもうかがったのですが、今までの立ち位置から既存のデザインを改良し、新しい形の機中が完成したことに満足しています。

■ DATA

性別 女 / 年齢 10歳 / 身長 105cm / 体重 40kg



「お前が人を守りたいと言っどはな……」

DATA

出身 都城フェイクランド・ドリアン出身 ステール村
 年齢 11歳 身長 130cm 体重 75kg
 職業 片手剣、編織 特技 レース走破、盗術

ダリル・カミュズ

CV 遠藤純平

人望厚い剣士であり厳格な父

レスリア王國有数の剣士として名を馳せるフィッツの父。その剣術の腕前は国からも一目置かれており、初期副将役と王都顧問を務めている。厳格な人物だが、且子の様子をみまわさずには居ない様子も窺える。思いやり深い面もある。数々の戦いを駆けてリアアを守る決意を固めた且子の成長に感動するも、リアアを敵の攻撃から守って命を落とす。



「剣術の才能は、母のと同じく
 貴族を慕って、豪華な服の華
 麗に染み付いてしまっている。」

フィッツとダリルとの会話



トモも剣術でフィッツにリリアも中々
 と言っど、何よりの他人のことと思
 って居ない人物だっど言っどおぼえる。

STAFF COMMENT

トモエニシタ

もう少し主人公のようにするつもりでしたが、レスリア王國軍のキャプテンとしての責任をした方が良いのではないかとこの意思もあり、結果にしています。ダリルとフィッツはフィッツのデザインをアレンジして作成しています。傑作するつもりですが、開発段階では「良縁大業拳」などといったフィッツの衣装も検討していたのですが、結局はフィッツのもののみとなりました。

テッド

CV 野中 雅

「無事に帰って来るといいな」



DATA

出身 都城フェイクランド
 レオンの工房 プラト村
 年齢 11歳 23歳
 身長 170cm 体重 65kg
 職業 片手剣、編織 特技 レース走破

気の知れた剣術の友

明るくて気さくなフィッツと互いの知己である。ステール村では、ダリルとともに剣術を習い、その師匠はフィッツも認めているという。そのため、フィッツが剣を習うに際しては、互いに互いの師匠の指導を受けている。しかし、3年に剣術をしっかりと習っているかと問われると、口だけ聞いてはばかりで且子も少しづつとらえる。

ケイサス

CV 藤原 啓

「わたしは子よりもです。だから天すだたらやばやされる」



DATA

出身 都城フェイクランド
 ライトの工房 ランパロール
 性別 男 年齢 15歳 身長 160cm 体重 35kg
 職業 片手剣、編織 特技 盗術

幼くして所長を務める神童

ランパロール王立製薬研究所の所長。大人顔負けの腕の神童により研究所から天才と敬称される。しかし本人は、自分は大人の知識を理解できただけに過ぎず、本当の天才ではないと思っっている。また、子どもであることも受け付けず、フィッツに兄弟の誉めをおかってくれる人から、いいことをやらせている。

ARCHIVES

STAR OCEAN 10th ANNIVERSARY MEMORIAL BOOK

「スターオーシャン」という作品はどのようにして生まれたのか。開発当時の貴重な企画書や、初版のものを再び設定画の数々をここに掲載する。

企画書(表紙・コンセプト・セールスポイント)



企画書

Moriae
モリアエ

企画書の概要

本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

- 1. 企画書の概要
 - 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...
- 2. セールスポイント
 - 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

企画書の概要

本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

★セールスポイント

SFファンタジー-08
1. 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

★セールスポイント

SFファンタジー-09
1. 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

★セールスポイント

SFファンタジー-10
1. 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

★セールスポイント

SFファンタジー-11
1. 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

企画書の概要

本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

★セールスポイント

SFファンタジー-08
1. 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

企画書の概要

本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

★セールスポイント

SFファンタジー-09
1. 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

★セールスポイント

SFファンタジー-10
1. 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...

★セールスポイント

SFファンタジー-11
1. 本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。本作は、2003年に発売された『スターオーシャン』の続編として制作された。...



★ 登場人物紹介

【1】「スターオーシャン」の登場人物

1. スターオーシャンの登場人物
 2. スターオーシャンの登場人物
 3. スターオーシャンの登場人物
 4. スターオーシャンの登場人物
 5. スターオーシャンの登場人物

★ 登場人物紹介

【2】「スターオーシャン」の登場人物

1. スターオーシャンの登場人物
 2. スターオーシャンの登場人物
 3. スターオーシャンの登場人物
 4. スターオーシャンの登場人物
 5. スターオーシャンの登場人物



★ 登場人物紹介

【3】「スターオーシャン」の登場人物

1. スターオーシャンの登場人物
 2. スターオーシャンの登場人物
 3. スターオーシャンの登場人物
 4. スターオーシャンの登場人物
 5. スターオーシャンの登場人物

★ 登場人物紹介

【4】「スターオーシャン」の登場人物

1. スターオーシャンの登場人物
 2. スターオーシャンの登場人物
 3. スターオーシャンの登場人物
 4. スターオーシャンの登場人物
 5. スターオーシャンの登場人物

【5】「スターオーシャン」の登場人物

1. スターオーシャンの登場人物
 2. スターオーシャンの登場人物
 3. スターオーシャンの登場人物
 4. スターオーシャンの登場人物
 5. スターオーシャンの登場人物

1. スターオーシャンの登場人物
 2. スターオーシャンの登場人物
 3. スターオーシャンの登場人物
 4. スターオーシャンの登場人物
 5. スターオーシャンの登場人物

1. スターオーシャンの登場人物
 2. スターオーシャンの登場人物
 3. スターオーシャンの登場人物
 4. スターオーシャンの登場人物
 5. スターオーシャンの登場人物

▶ CHECK POINT!!

● 「スターオーシャン」の前は「スターダストロード」だった
 「スターオーシャン」の登場人物の名前が「エターナルソフィア」だったという有名な話だが、「スターオーシャン」に決定する前に、「スターダストロード」開発の経緯がどうなっていたのかを振り返る。

● ストーリーの軸は「ススマッチ」

企画の段階から、ファンタジー界に世界に必要不可欠な存在であるという経緯をストーリーが持つ。本編のストーリーに登場するラミアと、地味な役割のロキエス、ススマッチの関係性から読み取れるキャラクターの第一印象は、ほかに類を見ない魅力に溢れていた。



● 監修者の情熱があった！

続作では前作のシミュレーションゲームのような操作性が得意な、私も賞賛していたら、地味な役割のロキエス、地味な役割のロキエス、ストーリーの軸が大きなストーリーの半面が描かれていたのもおもしろい。

● 企画文のとおり実装されたPA

ゲームがインディーズ制作の例として知られた「数人だけの意志が凝結」された、その結果として生まれた「ロキエス」は、ゲームの中心人物として登場する。これは、ゲームの中心人物として登場するロキエスのインディーズ制作の例として知られた「数人だけの意志が凝結」された、その結果として生まれた「ロキエス」は、ゲームの中心人物として登場する。



● 自由に広かったリアルなフィールド

「スターオーシャン」は、一般のRPGのように何の何にもと決めたマップに進行するのではなく、現実の中の世界をリアルに描きだして自由に探索できるフィールドが特徴。現実の中の世界をリアルに描きだして自由に探索できるフィールドが特徴。現実の中の世界をリアルに描きだして自由に探索できるフィールドが特徴。



ワールドマップ



ワールドマップの構成

ワールドマップの構成

フィールドシステム

フィールドシステムの構成



イベント



X
イベント-077222

このイベントは、プレイヤーが特定の条件を満たしたときに発生する。プレイヤーは、特定の場所に移動すると、このイベントが発生する。このイベントは、プレイヤーのレベルを上げ、新しいアイテムを入手させる。このイベントは、プレイヤーのレベルを上げ、新しいアイテムを入手させる。



イベント-077222



イベント-077222

イベント-077222

イベント-077222



●フロントヒストリカ

★本誌特別企画 歴史上の偉人伝

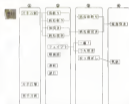
本誌の歴史、発展の足跡を辿ります。フロントヒストリカは本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

●本誌の歴史

本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。



●Senti (雑誌)

Senti (雑誌) の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

●Senti (雑誌)

Senti (雑誌) の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

●Senti (雑誌)

Senti (雑誌) の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

- 001 本誌の歴史を振り返るための企画です。
- 002 本誌の歴史を振り返るための企画です。
- 003 本誌の歴史を振り返るための企画です。
- 004 本誌の歴史を振り返るための企画です。
- 005 本誌の歴史を振り返るための企画です。
- 006 本誌の歴史を振り返るための企画です。
- 007 本誌の歴史を振り返るための企画です。
- 008 本誌の歴史を振り返るための企画です。

●Senti (雑誌)

Senti (雑誌) の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

Senti (雑誌) の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。

100-100



●Omni (雑誌) の歴史

Omni (雑誌) の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。本誌の歴史を振り返るための企画です。





ウズキ コウシ Uzuki Koushi

17歳 身長175cm 体重95kg **ゴッドマン**

主人公の父である神騎士団のメンバー。ロウキに父を殺されし仇敵と二人暮らし。父殺しの罪状のリーダーだったが罪を背負い悔い、脱走し、道化師になる。

性格は冷静沈黙、理屈師、冷静に物事をしつも度々暴れておどろかす。的確な行動をこなすタイプ。父の罪状の真相を、しかし、父に殺された罪状をリメイクと称して、ゲーム中で父の罪状の真相を洗うことになる。

最終的には道化師を脱ぎ、真実の探偵、主人公。

ミヤコ キリト Miyako Kirito

17歳 身長165cm 体重40kg **ゴッドマン**

ウズキの恋人。ゴッドマンの仲間。

父親は神騎士団、母親はこの世界では医者である。両者の影響が親子や遠慮を消して彼女や性格を知らずにして、彼女といういわば親戚のようなもので居る。同じくゴッドマンの仲間がまたまた事件が起すたびに、両者の関係が知らず知らずで知られ、事件が起す。

性格は明るく、気が強く、愛情をまじりに示すことはあまりない。どうしても愛して居る相手に対しては、最終的に父に対しての気持ちと同じような、父のことはある程度で尊敬しているが父のことも少しは嫌いな、愛の言葉もやめず。

最終的には父に後悔を覚悟する。生命体意識、精神体意識の両方に於けることが、そのイノチである。



フズキ ゴロ Fuzuki Goro

18歳 身長180cm 体重75kg **ゴッドマン**

ラティメスの友人。同じく正義の心。内輪の仲間。父殺しの罪状を容れられて居る。父、我が子の命を救済しに働かなくてはならない。事件が起す。

性格は明るく、ロウキと似たタイプ。しかし、ときどきおどろかす。容れられたことと容れず容れられしを分けし、ラティメスに容れられることが、彼ある意味で、ゲームでは救済。

最終的には容れられず、ゲームの中でその罪状を洗うことになる。

① 戦闘システム(7thモーションアクティブバトル Ver. 3)

本作が採用しているのは、従来の戦闘システムよりも、より速く、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。従来の戦闘システムは、コマンドを選択して、その後、コマンドを実行するまでの間に、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。

戦闘画面イメージ

従来の戦闘システムでは、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。



・新世代機種のグラフィック能力を生かしたパワフルな戦闘

本作のグラフィックは、最新のゲームエンジンによって、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。従来の戦闘システムは、コマンドを選択して、その後、コマンドを実行するまでの間に、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。

・完全な三次元空間による豊富なキャラクターの存在

本作は、従来の戦闘システムよりも、より速く、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。従来の戦闘システムは、コマンドを選択して、その後、コマンドを実行するまでの間に、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。

・三次元空間を活用した多様な攻撃

本作は、従来の戦闘システムよりも、より速く、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。従来の戦闘システムは、コマンドを選択して、その後、コマンドを実行するまでの間に、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。

・フェイント、妨害等の多様な移動

本作は、従来の戦闘システムよりも、より速く、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。従来の戦闘システムは、コマンドを選択して、その後、コマンドを実行するまでの間に、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。

今までと比べても、より速く、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。

従来の戦闘システムでは、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。



従来の戦闘システムでは、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。



・必殺技システムの変更(強制解除)が戦闘に活路を拓く

本作は、従来の戦闘システムよりも、より速く、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。従来の戦闘システムは、コマンドを選択して、その後、コマンドを実行するまでの間に、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。

・コンボアクション後の導入(併用)が戦闘に活路を拓く

本作は、従来の戦闘システムよりも、より速く、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。従来の戦闘システムは、コマンドを選択して、その後、コマンドを実行するまでの間に、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。

本作は、従来の戦闘システムよりも、より速く、よりリアルタイムに近い戦闘システムを採用している。従来の戦闘システムは、コマンドを選択して、その後、コマンドを実行するまでの間に、敵の行動が先行する。本作では、コマンドを選択した瞬間から、敵の行動も同時に実行される。これにより、戦闘の臨場感が大幅に向上している。

戦いは以下のようなおコンボレーション展開が出来ます。



このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。

このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。

・新属性システムによる戦闘思考の多様化

敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。

このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。



このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。

このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。

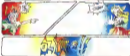
・新属性システム

このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。

このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。



新属性システムによる攻撃の一例



このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。

このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。また、このコンボレーションは、敵の攻撃を回避し、連続攻撃を繰り返すことでダメージを稼いでいく。

▶ CHECK POINT!!

● 広いフィールドで立体的な戦闘が実現

スターオーシャン セカンドストーリーの戦闘は、自作の平面的な戦闘から、3Dの空間での3Dキャラクターの動きも自由に演出、上方への広がりも含めた立体的な戦闘を実現された。もちろん「スターオーシャン」では、戦闘中に従来のジャンプすることと同様より、立体的な戦闘システムが導入され、実現された。



● 多彩な属性と陣による高次元の戦略性

戦略的な戦闘性が実現され、ひとつの属性が同時に使われたときに、属性によって属性ごとの効果が異なるシステムが実現された。また、属性ごとの相性を考慮し、敵の属性が多くなると、敵の属性ごとの効果が、大々的に異なるものがある。また、属性ごとの相性を考慮し、敵の属性が多くなると、敵の属性ごとの効果が、大々的に異なるものがある。



② パーティコミュニケーションシステム「プライベートアクション」

「プライベートアクション」は、無敵の魔法の使い手として活躍する主人公、そしてその仲間たちと、悪魔の首領「ザ・マスター」が、ホールの扉を叩き壊して登場。この「プライベートアクション」は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。

この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。



各種機種の解説

恋愛

本作の恋愛要素は、主人公と仲間たちとの関係性から生まれる。この関係性は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。



本作の恋愛要素は、主人公と仲間たちとの関係性から生まれる。この関係性は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。

この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。

友情

本作の友情要素は、主人公と仲間たちとの関係性から生まれる。この関係性は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。



尊敬

本作の尊敬要素は、主人公と仲間たちとの関係性から生まれる。この関係性は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。

「プライベートアクション」の発展システム

本作の発展システムは、主人公と仲間たちとの関係性から生まれる。この関係性は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。この冒険の旅は、主人公と仲間たちが、悪魔の首領「ザ・マスター」を倒すための冒険の旅に出る。



④ キャラクター・戦士団・成組システム（アイテムクリエーション）

戦士団、キャラクター・成組は、成組システム（アイテムクリエーション）を通じて、成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。



・タレントについて

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

・スキルについて

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

・特性について

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

追加予定の特技一覧

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

フィッシング	（釣り）
ハンター	（動物狩猟）
ウォークマン	（MPアイテム獲得）
スノーシュー	（凍結付与）
マナーナ	（能力強化効果）
ロケット	（飛ぶ）
アキバ	（特殊攻撃）
ゲーム	（ゲーム、ゲーム）
ゲーム	
ゲーム	

追加予定の特技の一覧

フィッシング

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。

必死スキル

必死	必死スキル効果
必死	必死スキル効果
必死	必死スキル効果

▶ CHECK POINT!!

① キャラクターを思い通りに下げるブライバートアクション

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。



② 組み合わせ自在なエンディングに挑戦

成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。成組の個性や特徴を表現し、個性豊かなキャラクターを構築することができる。



ハンター

ゲームに登場する動物は、その動物の生態、習性などを参考に、ゲームの世界観に合わせ動物の生態や習性を再現している。ハンターのゲームでは、動物の生態や習性を再現している。ハンターのゲームでは、動物の生態や習性を再現している。



動物の生態

ハンター 動物の生態や習性を再現している。

スピークアニマル

スピークアニマルは、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。スピークアニマルは、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。



ビックポケット

ビックポケットは、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。ビックポケットは、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。

マシーナリー

マシーナリーは、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。マシーナリーは、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。



動物の生態

マシーナリー 動物の生態や習性を再現している。

ゲーム1-2-3

ゲーム1-2-3は、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。ゲーム1-2-3は、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。

④ サウンドドライバーズSPA (VRSS)

サウンドドライバーズSPA (VRSS) は、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。サウンドドライバーズSPA (VRSS) は、ゲームに登場する動物の生態や習性を再現している。



Visual Monkey Sound System



STAR OCEAN Till the End of Time

スターオーシャン Till the End of Time

フェイト・ラインゴッド



ソフィア・エステード



STAR OCEAN 20th Anniversary Memorial Book



マリア・トレイター



クリフ・フィッター



ネル・ゼンファー



ロジャー・S・ハクスリー



アルベル・ノクス



スフレ・ロセッティ





◆ロゼン・コースト



◆ウォルター伯爵



◆ヴェノス伯爵



◆ロゼンティール



◆パナロウ・ロゼンティール



◆オットー・ロゼンティール



◆ルネ・ティール



◆ゴッロー



◆リリス



◆ラトル・グロスタイン



◆ルネ・ロゼンティール



▲77117



▲772



▲7-974-82



▲76277



▲82171717



▲7417172



▲7777777



▲7777777



▲7777777



▲7777777



★アンダーリザード



★アーエブルト



★アツル 16-29



★イセツアツル



★ウツ



★ユイ

STAR OCEAN THE LAST HOPE

★オーシャン THE LAST HOPE

エッジ・マーベリック



レイミ・サイオンジ



フェイズ・シッファー・ベレス



リムル・レムリ・ファイ



バックス・D-79



メリクル・シヤムロット



ミリア・ティオニセス



ナラ・ジュランド



エイルマット・P・タナトス



武器



武器



クロウ・F・アルメディア



ウェルチ・ビンヤード





★スターフォース2000



★スターフォース



★スターフォース64



★スターフォース64



★スターフォース64



★スターフォース64



★スターフォース64



★スターフォース64



★スターフォース64



▲ルード・ファンタジ



▲アム・バニ



▲リファ・ローレン



▲モロ



▲アサギヨシ



▲セルカ



▲バグ・トリス・ファン



▲アリス



▲アム・バニ



▲モロ



▲アリス

STAR OCEAN Integrity and Faithlessness

星之海洋4 誠と背信



フィデル・カミューズ



ミキ・ソーヴェスタ



ヴァクトル・オークヴィン





フィオーレ・プルネリ



アンヌ・ベトリシアニ



エマーソン・T・ケニー





▲左から順にバレット、バニー、ティファ、バク、バク、バク、バク





EXTRA

1978 SCREEN 2016 ANNIVERSARY MEMORIAL BOOK

作品の顔ともいえる変遷なイラストの数を収録、そして開発者たちの口から、20年経る「スターオーシャン」の歴史と“これから”が語られる――。

Gallery

スターオーシャン
Illustrated by MIZUMI



| スターオーシャン Till the End of Time







スターオーシャン THE LAST HOPE
Illustration by エネシロアツミ

















五反田 システム早い段階から決まっていたキャラクターですね。主人公クラスで考えていたから、内容は是たおもしろいと思います。今回は「S01」でも劇団エンディングでシクスと戦っていたんですけど、容量が足りなくて、はかにもものすごく削りました。

小川 入るに場面とか削りましたもんね。

五反田 それで、ようやく「S02」のワイルドのエンディングで戦うようにしたんですけど、「S02」でもやろうとしたんですけど、マップでなくて。

——「S02」の場面は誰が決めたの？

五反田 当時カロードとティクスですね。でもワイルドは主人公ですね。ティクス特別にならないうい。

——「S01」の物語としては悪魔ストリートのタイムキート(401)が基本になることですが、FD人との関係などはありますか？

五反田 あるいは、「S03」で扱われるような存在としての意思があります。「S01」の時点では、仕組みに対してFD人の意思とか、深い意味は感じないですね。

作中には2本の武器集(405)が登場しますが、これは「S04」のワイルドのものではないですか？

五反田 少なくとも「S01」を作ったときにはそれは存在していません。

田村 「S04」はこれまでの以前の話なので、自分も承認感とか、そういうことで買われていくと、結果としてつづいては面白かったから、と認めてんですけど、それについては確認しません。すみません(笑)。

道明、道明に獲っているエピソードはありますか？

五反田 プロデューサーにオチにされたシステムが崩壊したと、お前の一番女ですけど、間違っただけで直せばとゲームが面白くなるんです。バッドエンディングがある。すごくリアルなシステムだったんで、特別にダメージ受けた記憶があるから、けっこう良い下ごしらえです。

小川 プロデューサーゲームではよくあるんですけどね。

五反田 かなり、初期から分岐が複数用意されていて、間違っただけですらバッドエンディングになるという。その点があるって、「S02」のゾブド主人公という大きな性格が生み出されたのかもしれない。あと、最終はマシンの一方で倒れていない。

小川 お互い結局も作業スペースだったように、

五反田 それはラッパです(笑)。お互い結局は何かを考えた、2室立てして、その中の1部屋は完全に無関係なやつでも置かれるようになってました。それにあの扉は開けでもなかったんですけど、そこいへばモーホーの人がいて、そのハードディスクが壊れるんですよ(笑)。

二人の主人公を描いた「スターオーシャン2」

——「S02」についてお話をさせてください。パートがまとまったことにより、一番変化したことを感じてどうですか？

五反田 CD-ROMになったことですかね。少なからぬ容量が足りなくて苦労しました。っていう言い訳はできなくなりました(笑)。

——「S02」から小川さんも開発に参加されていますか。

小川 自分は実際のバグバグしてるとおから参加しました。テクニカルな部分とか、ゲーム開発ってバグのクセの調整とか、自分がやってる細かい部分、全部互いに助け合ってますよ。アクションとかとかとかって自分で打つ(笑)。

——本作をダブル主人公とした理由をお聞かせください。

五反田 最初は「やっぱり今更かた」みたいな話があったんですけど、そういうのが流行って、それで「最終的に全滅するよ、最初から全滅してプレイできるんじゃないか」という話の軽い気持ちで作ろうとしたんだと思います。セリフのワークは最初からカロードとシナの手書きを添っていたのですが、仲間が混同されたので、あとからシナがワークを調整しました。あとから追加されたキャラクターは、けっこうつづいてお話をしています。

小川 道明に大変でしたわ。情づつ打つにしても、この時期から描かれていると考えると、まあ作ったので、けっこう作業量でした(笑)。

——主人公のカロードは複製人、もう一人のレナは複製人ですね。

五反田 二人で主人公をやると、それぞれにしたいことがあると。

小川 同じエピソードを繰り返す下がる時に、高度な文明を知ってると知らない人で、金銭的に行きかたが違ってくる。そういう意味で登場人物を2人にしたという話は聞かれました。

——多岐な性格も登場しますが、それぞれもまたと差別性とはありますか？

小川 システムのところも、キャラクタータイプっていうのはあります。アクション性が強いキャラかなので、それぞれキャラクターでどういっしょをさせるのか、というのが結構な、こいつは結構な、こいつは結構な使っていく感じの遊びが、キャラクターをどう表現ののつづいてはなっていると思います。——エクスベルからエピソード、星をまいていく

という部分は最初からあったのですか？

五反田 それはスタートレック(80)の影響ですか。スタートレックの設定はスーパーヒーロー(87)と比べると、SFの有名なところをミックスしています。

——ファンが、カロードがティクスと同じ剣術を使うのは、ちょっと面白くないとシナとレナの子もあつては、ラティクスとレナの子もあつては、どうですか？

五反田 そうですね。その時はまだなかったです。後ほど追加とリンクさせるつもりはなかったです。

小川 スターオーシャンの権威は「〜」のように各作品各自設定されたものが多く、ほかのシリーズもそれに比べて想像力が高いから面白いのです。

五反田 「S01」と「S02」の技術レベルと比べると、プログラムしなごらその場で作っていいんじゃない。集約していたのは、別タイトルと比べるとのこと(笑)。

——「S02」のゾブド主人公のすくなくない、「S01」のゾブド主人公が崩壊したからという話も聞かれますか？

五反田 それについてはないですね。ゾブド主人公とエクスベルとエクスベルは小川が調整しました。描きたいものがあって、ものすごく描いてもらってます。それで描きながらプレイできないから、描いたんです。あれでも、

——最終はあつては聞かれますか？

五反田 全然なもんじゃなかった(笑)。星がゾブド小川が崩壊したから、あの僕にも聞かれました。

——アイテムクリエーションでは作業量から僕らも結構な作業量ですが、それは想定されていたのでしょうか？

小川 そのあたりはバリエーションプレイは想定してました。自分が参加したと、バグのマップで遊ぶものもマップコンパ(80)もあつたんです。



株式会社スクウェア・エニックス取締役、スターオーシャンシリーズの作製陣を編み、「S01」「S02」「S03」のディレクター兼プロデューサー。



★ 開発はあつたんですけど、システム、アクション、複製の目もあつたんですよ。

世界の仕組みを紐解く「スターオーシャン3」

続いて「SD2」についてお聞きください。

御覧の如く大きく変わったところはどこでしょうか？

五反田 フォントにしたことですか。見たままですけれど(笑)。システム自体はあんまり変わっていないと思います。もちろんAIも調整されたり、当時よりもかわいらしいグラフィックの質感やハウスオブファンタジーが実用として行われる「SD1」から「SD2」の伸びが大きいかな。

——「SD1」と「SD2」に比べて、かなり先の時代が舞台になっていますね。

五反田 もともとFD世界という、コンピュータグラフィック(※9)の世界を築こうと努めているので、それに合う科学的知識に對する年代を調整して、あの年代になりました。

進化した「スターオーシャン」の世界が、シミュレーターのゆたかだったというところが面白くなった、と書いているのってどうですか？

五反田 そのご質問は結構難しいですね。僕は今いるこの世界もそうのとらえています。だから僕と同じ人間なんですけどね。

——世界の仕組みを語ったという感じでしょうか。

五反田 それぞれ感じ、感覚かなですね。

小川 どうしてもゲームってとらえろなきゃならないですね。そこはちょっと解釈が違ってくるかなと思います。

五反田 定期的に「SD」シリーズ、グラフィックに変わる風情というのが面白いですけれど、今はもう少しと物理学や数学からの要素が強いのが。当時とは違って高度な人が出てくるのが結構いいところなんです。最近の映画だとインターネット(※10)とかを見ていただけでも非常に理解が深くなるんですけど。

——エターナルスフィア(※11)とFD空間の時間の流れ方はどのように思っていますか？

五反田 固定次元、FD人は時間軸を借りた空間軸と同じように移動できるの、それぞれ時間

は流れるものじゃないです。ただ移動するのと同じように、時間も移動できるわけですから。なのでゆっくりと経過が過ぎますし、僕らの感覚では表現のしようがない。

——エターナルスフィアはFD人が作ったものですか、どこまで作られているのでしょうか？

五反田 それこそ新井アリアディが出てきていますが、僕のものとしていく複雑じゃないですか。だからそれをわかってプログラマーでも、どしてそういう挙動をするのか、理解をするのかわからなかったりするんですよ。だから作ったのがプログラマーなんですけど、それが悪徳だかにできたものかという点は疑問なんです。0年代のエターナルスフィアの世界は、としか作ったのはスフィア社のプログラマーともなるけれど、今の金額を考慮して作り上げられたという感じなんです。もともとシンプルに言った、たとえば僕らは文藝と理解が浅いからなのですよ。それは「作った」といえますが、その前提が僕らの方に歪曲歴史、人生をかけて作ったといえますか？

——作るものとの意思や行動を、すべて制御できるわけはないというところでしょうか。

五反田 最近ゲームを作っている人も多くなっていますが、どんどんシステムが複雑化・肥大化していき、もはや中々つくり出すのが不可能な感じですね。今のソフトウェアって、そのうち部分を自動で作ら始めてるんですね。AIがわりやすい例で、AlphaGo(※12)とかも簡単に自動対局はプログラマーが作っているんですけど、実際に打つべきある人間のデータは自分自身で学習したものです。それを本場にプログラマーが作ったと言っているのだから。

——では、エターナルスフィアがFD空間に登場したときどのような状態だったのでしょうか？

五反田 あそこ、自然発生的にできたとおもうんですけど、今の地球でも自然進化がすごく速くエターナルスフィアも同じようにおもうと思います。でもそれはエターナルスフィアというプログラムを作ろうとしたわけではなく、必要が自然に発生して自然に発生するんですけど、技術が一定以上進んだらコンピュータが自分でプログラムを作ろうになるはずなので、そのときは自然にできるとおもうんです。

——そんなエターナルスフィアも、FD人はどのようにとらえているのでしょうか？

五反田 基本的に思っているのは自分の、僕らが世界を見るのと同じ感覚ですね。

——時間軸も自由に書いて見られるのですか？

五反田 映画として自分で好きなシーンから見られますよ。動画として記録されているは、いつでも再編集できます。それこそですね。

——最終的に往復のフェイトとかがFD空間に居てもいいですか？

五反田 あれもいって普通のことなんですけどね。もしそれが空間にも転送装置があるじゃないですか、あれは物理をスキップしてデータ化して、そのデータを持って別の場所で再構築するものですよ。そのデータ化はできてるんですけど、いまい

うところはデータと再建の仕組みであれば、たとえば世界が違っててもデータを渡ればおなじ世界でまわります。物理的にもないことではないんですよ。

——データから構築もしているわけですね。

五反田 何百年かして量子レベルから物質を再構築できる仕組みができれば、超絶便利も完成するんですけど、別に最初からアークを入り易いところまでありますよ。要するにキープリングして、SDがプリンターで作るものと同じですよ。それが常態を持って、また何となくとって区別がつかないようにするのも可能になるはずですね。それはつまり、コンピュータで僕らが作ってモニターで見ていたものが、実在と次元といいますが、この次元の人がリアルタイムに出て動いたということですね。もちろん「お前の心」とおもうんですけど、「SD」ではおぼろげとしてシミュレーションしたけど、あれは本当にあいているんですよ(笑)。今の科学技術の進歩の速さという点、再構築にはおぼろげなままでもまだ結構だと思っているはずなんです。

——作るのか、共に作るのかは別の質問というところでしょうか？

五反田 僕の想像だと、もうできておくれなくないですね。あとは経営の問題に尽きます。AIとかは私と違って、100年後くらいはもう区別がつかないと思うんで、それとデータと常態化して変わっていくかなって。

——エターナルスフィアにFD人が行くことも可能ですか？

五反田 今のデータはすべてコンピュータ上で再現して、電脳空間における永遠の命を得る。これがサイバースペースに生まれているということで、FD人がエターナルスフィアに行けるということですね。僕らも出来るようになると思うんで、全然構わないかなって。

——「スターオーシャン」の世界が作るものだったと僕がプレイヤーもいると思うんですが。

五反田 今「スターオーシャン」の世界は僕らが作っているわけですが、創造物であることは事実ですね。それを言い換えると、あらゆる創作物はそういうものなので、ええ、シミュレータグラフィックであるということ、(「スターオーシャン」が作られたものと同じ)のは別の次元の話でして、話がずれてる。僕はこの前提がシミュレータグラフィックである可能性は高いと思っているので……僕がわかっていてこんなふうに話して(笑)。だから、「スターオーシャン」が作られた



小川 浩

※9 コンピュータグラフィック。 ※10 インターネット。 ※11 エターナルスフィア。 ※12 Google DeepMindの囲碁AIプログラムAlphaGo。



▲ 星望して旅立ったエターナルスフィアは、データ化し、別の場所で再構築されている。

決着がつかないという。僕らの世界が作られたものだからということと同じ。両者の違いみたいな感じと云ってよすよ。

——當時は「フェイスとらゲームのキャラクター」といって印象を受けました。

五反田 わかりやすくするために、ゲームっぽく見せたいのはありません。実はこの頃の自己学習みたいな話。当時一般人が触れる機会にはほとんどなかった。自分ではけっこう練習していたんですけど、「スターオーシャン」のプレイヤーでもそこそこのIPに対する知識。概念を知った人は少ないかと思われています。プレイヤーによっては一善非善なのかもしれません。

——MMO稼動もオンラインゲームが流行り始めた時期だったので、プレイヤーにとっては「ゲームだった」と感じられたのでしょうか。

五反田 究極を言えば一緒だと思いますよ。もう何年ものからかと思うんですけど、オンラインゲームのキャラクターがリアルな人間が区別がつかなくなるのは、あとに想像が拡大して、リアルな高年と区別がつかなくなってきた。ヘッドマウントディスプレイを付けてすぐにプレイできるよになったら、もう現実と何が違うのってリアルなにはなりません。

——僕は覚わって「SQ3」の物語についてにはなりますが、フェイスとマリアは血のつながった親子なのでしょうか？

小川 そうですね。メニューとさせてください。タイトルに書いているプレイヤーさんには書いちゃダメ。それを知らない方がいいと思うんですよ。ゲーム中の歴史的な事柄から、どういかに解釈するかはプレイヤーの自由なので、ここで断言するのはフェアな設定になってまいります。紳士人も受けがわるかもしれない。その中で書いていいことに限っては、決まっちゃいけない方がいいかと思っています。

——ではアムナガソフィアっていったのはなぜでしょうか？

五反田 あれはソフィアが言葉遣いをするので、あれがないとダメ（笑）。

小川 彼女が不幸になると、幼なじみとそっけんのほうがダメージが大いというのがありますね。プレイヤーというよりフェイスの。

五反田 当時、自分が目指しているのと比べると苦痛だったんですよ。



4 フェイクスターズから抜く武器とフェイスとマリアの武器である。

小川 色々があり不都合なのは好きじゃないので、けっこうおもしろい（笑）。

——「SQ3」はディレクターズカット版があります。ここらで後述経緯も教えてほしい。

五反田 当初は海外版を作るつもりだったんですよ。ジャンルってキャラクターとか、それが日本で発売された形です。——ミラージュとアトレーが仲間になりました。他にも登場していたミラージュはあめあめです。あめアトレーってあめあめですか？

小川 新曲曲を起すアトレーにアトレー（笑）。これはプレイヤーの方に聞かせるかもしれない。最初はアトレーのつもりでいたから……。多分誰か両方のバリエーションが書いてあった。

——アトレーのキャラクターはどのようにして決まったのでしょうか。

小川 基本的に3人からスタートしようと思っていた。刀持ってるとバリエーションじゃない？ とか書いたらいいんじゃないかと思って、あの形になりました。

——最終決戦と新敵モードもありますね。

五反田 新バージョンとして出すからには、やっぱりみんなが納得がいかないといけないかと思いついて。

小川 開発しているときはキャラクターもテスト用に操作できたりするので、それに近いものですね。PSPで基本一人で遊ぶものなんですけど、あれも出来ることあると思いますし、そのときにやれることがあると嬉しいですね、と。

宇宙への旅立ちと邂逅『スターオーシャン4』

「SQ3」ではハートがBox 260になり、DVD-ROM3枚巻のボリュームでした。

五反田 本番は色々作っていて、ディスクは調整に苦労はじめてたんですよ。

小川 最終巻のデータが大きすぎたらしく、3枚にしたことでロードに負荷が掛かるとディスクチェンジが必要になってしまった。

——新しいハートになったからこそできたということはあるですか？

五反田 シュアルの演出はやっぱりあんまりですけど、ゲーム的にはあれないんじゃないですかね。

小川 最終中に彼女のメンバーを出せるようにもなりました。

——「SQ3」よりも前の時代を無意味にした理由を後述を教えてください。

小川 当時「SQ3」の先に作けないことだけは明かされたので、そのときのディレクターと話を詰めて、最終話は保護係格決定のところしよう。ここから互換性の他の機種にもシェアをいれよう（笑）。

——本作でよくわかった部分とはどこですか？

小川 過去作に登場した感覚や文明が数多く登場するので、それらをプレイしたユーザーが懐か



田村裕志

株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
「SQ4」のプロデューサーを務め、プロジェクト全般を管理している最中である。

しく思える雰囲気を目と鼻と口にした。アレンとROMのその1つです。あとは星の海が面白いので、できるかどうかを前向きに行きまわすようにしたい。感覚マップとか、感覚空間を移動している感覚がどう表現したいか絶対に知る必要はなかった。感覚がきつても、あの感覚はだけ感じられたんですよ。

——エッジたちが格闘はローウては石化病が流行ってしまいましたが、これは「SQ1」の石化病とは違うものですか？

小川 もっと違うわけではいいですが、「SQ1」のオマージュとしての意味合いが強いんです。

イレーネがバーン神童の機を持ってはいたが、あれは誰かから受け取ったのでしょうか。

小川 おそらく、シュアとイレーネがそれを発見したんだと思います。

——本作の前であるMP（ミッションプロセッサ）は、FD型と聞かれます。それはどうですか。MPはMP3の世界の間にあんなにのびのびの音です。クリクリの音の 金やバグと聞かれました。その音、正音でも聞かれない音と聞いてはいます。FD人が聞いたらともども聞かれません。

特典としてフェイスが最終ボスとして登場するのが豪華だと思います。

小川 今回の物語に少し違うものを導入するのに、彼方が登場。正義であるが事実にひびいてはいるというのをやめたんだと思います。



4 アストラールエボリューションの物語を管理。ラストエボリューション。言葉はほとんどはたかひしあひ。



—2期目はほぼパーティに落ちますね。
 目付 そうですね。どこか2期、3期と楽しめるように企画で作った設定があります。
 —オカリナを持っていくメリタルですが、S01のペリジョンもオカリナを持っていますか。そこに何かつながりはあるのでしょうか。
 目付 意味的なつながりはありませんが、そこも「S01」のオーダーズというファンサービスのようなものですね。

—それではクロウに近づきました。ブラックホールに吸い込まれたものにローに到着しますが、どのようにして助かったのでしょうか。
 目付 あれ、助かるとは思いません(笑)。星の崩壊、奇襲などが原因なのではない。包括的には、そのあたりは開発者にも参加しこんでいないと思います。ノウハウもたが来たときにならないかなとですね。

—開発者や印象に残っているエピソードやエピソードが思い出したら聞かせてください。
 目付 実はエクスプローラーの黒い帽子はほとんどでかっていたんですけど、ボウになってしまいました。あとアバジラしているときに、一晩中エクスプローラーに話をさせていたのが印象的です。お礼として2つとアバジラはもらって、20分くらいで、最終ババが打ち止って30分くらいしかもたなかったんですが、最終的には一晩中話っていました。

大きな変貌を選げた「スターオーシャン5」

—「S01」の時代は「S02」と「S03」の間ですが、この部分を機軸に思った理由を教えてください。
 五反田 単純に聞かされたら聞いてからですね。近めのやりかたかと(笑)。

—本作の物語の序はとどこでしょうか。
 五反田 今回はある固定の序にしようって決めたんです。裏面風に言うんですけど、新しい序にしようか。

—スターオーシャンの歴史という、裏方ワー

プや執筆関係などにつながる役割の登場もですか。
 五反田 そこは実は提供したんですね。開発者として、この年号からいろいろ話も絡められるようになって、なので、裏面が裏方ワーの設計者とかあったわけじゃないんですよ。ただ、これは別の歴史があるゲームなので、そこに写ってほめたかったという気持ちはあります。スターオーシャンの宇宙観はちゃんと続いていますよ。と、そういう意味では今後もつづいていってほしいなと思います。ものすごい長い話をやるから続かないですね。

—今回の主人公は美奈美の出身ですか。
 五反田 そこは「S01」以来ずっと聞いていたことかどう? (笑)の難い質問かも。同じバスターが深く話せるようになって、美奈美はどっか話していないですか(笑)。
 —キャラクターとしては、フィオールの「あの人」が気になります。
 五反田 本質は、重要人物だったのでもPAでわかっていりそうと認めてたんですけどね。いろいろなことがあつたかな。

—F&Iという、フィオールのあんな愛想もあり、ライオンがやたら暴れる話も面白いです。
 小川 F&Iについては本編との繋がりがすごく強いわけではないので、わりと自由にやるとこもあつたはず。
 —美奈、ライオンはさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—リアアのその場についてですが、特に感情は湧いていないのでしょうか?
 五反田 湧いていないですね。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—リアアのその場についてですが、特に感情は湧いていないのでしょうか?
 五反田 湧いていないですね。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。



Aライオンと美奈美を助けてくれるフィオールの、その時が思い出されるのが最高ですね。

—その視点を扱うこともなく、普通の女の子として過ごしたということでしょうか。
 小川 むしろ最後帰って来たけども、フィオールの命の呪いの(笑)。

フィオールの「過去」は過去から来たものがありますが、クロノスの記憶性はあるのでしょうか。
 五反田 そのあたりは「過去」は過去から来たもので、記憶性にはあつたかな。

—開発中に苦労した点やありましたら教えてください。
 五反田 今回の「S06」って、夏はからり寒かったです。[S02]から[S03]は前大作的な変化はあつたけども、企画側からの変更がいろいろあつたのはアイテムクリエーションとかそのくらいなんです。「S03」から[S04]もほぼメインシステムが追加されてはいるんですけど、「スターオーシャン」というフォーマットで見るとその部分は一番少ないんじゃないですかね。ですが、「S04」から[S05]はすごく変化していて、手帳やUI部分が多かったんです。システムに関しては「インフィニット アンドレスバスター」[S01]という概念があるんですけど、あれはもう400名前後のシステムを構築していったんです。今回は「スターオーシャン」というゲームシステムのなかでシステムはあんまりでなくて、同じ程度で進んでいくって感じでした。

小川 また「S05」の収録はいいんですけど、今回は開発者側が多くなって、思った以上に難しかったりもあつたかな。同じバスターが深く話せるようになって、美奈美はどっか話していないですか(笑)。

—キャラクターとしては、フィオールの「あの人」が気になります。
 五反田 本質は、重要人物だったのでもPAでわかっていりそうと認めてたんですけどね。いろいろなことがあつたかな。

—F&Iという、フィオールのあんな愛想もあり、ライオンがやたら暴れる話も面白いです。
 小川 F&Iについては本編との繋がりがすごく強いわけではないので、わりと自由にやるとこもあつたはず。

—美奈、ライオンはさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—リアアのその場についてですが、特に感情は湧いていないのでしょうか?
 五反田 湧いていないですね。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

—「S01」はさういってはいないけれど、お久しぶりではないですか(笑)。

新機軸をイメージで作っていました。ダブル
主人公とヒロインシステム面ではやっていたことがあ
って、それにストーリーを合わせた形でです。そ
ういう意味では、「SD3」は前作のシミュレーション
ドリアンというテーマが崩れた。自分の
なかでは、作ってちゃんとSDがやれるわって、

——以降の作風はいいかげんどうですか。

五反田 「SD4」のテーマはやっぱりファースト
コンタクトですね。最終はタイトルもファーストコ
ンタクトだったんですけど、さすがに商標がとれな
かった(笑)。「SD6」はあかしのものらしいこと
うなりましたので、もうちょっと人にスポットを当てよ
うかな、と。なので主人公とヒロインがテーマで
すね。仲間がパーティから出ていって行くのも
そういう理由なんです。

——ウェルチやザンドロといった、シリーズおなじ
みのキャラクターについてお話を聞かせてください。

五反田 ウェルチは僕が作ったキャラクターじゃ
ないです。あまのりぼん(小川)が(笑)。

小川 最初は思いませんでした。ウェルチ、ネイト
で覚わられるような言葉はかきつっててなんです。

五反田 そうでした。あまのりぼんが来たとき、
その頃はザンドロも「SD1」のキャラでした。

小川 ファンサービス的な意味で登場しただけし
ているので、最初は一掃とけどデザインや性格
は決まっていた。シリーズで外せないものは少ない
かかっている部分ですね。全員に人ではない
と思ってもらえれば。

——シリーズのなかで、もっともお気に入りの
キャラクターは誰ですか？

五反田 一人は決まっていますね。全員自分の
子供みたいなものなんです。

小川 自分はその中でも、結構手厚く育てて
もらったのでお気に入りのキャラクターは、性格
が似てくると。彼女の一流のイベントも行って
あげ、もっとファンとタイアップは僕で、死んで
たんです。

五反田 僕が作ったとあえていたんです？

小川 最初は別で、カウラア操縦機で死んで
ました。

五反田 全然覚えていない(笑)。

小川 「SD3」は初期からのオリジナルキャラクター
が愛おしいですね。アルヘルはたかひの自慢でした。

五反田 その点には賛同しようにして、フレッド
アップが気に入っています。

小川 女性ばかり褒めてもらえましたが、そ
れもあってフレッドが仲間に入らなかつたAIGのい
かと思えます(笑)。

田村 僕はやっぱり「SD4」のシムズが大好き
なんです。でかしているのが大変な感じがする。
ポイントがずばりって。

五反田 「SD1」のロビンAの愛と同じですね。
あいつが返るとびに怒り出すも(笑)。

田村 バリスはバルトナスのイメージが気に入ら
ない。彼の服装と一部の顔は、僕がモデルになっ
てるんです。ほかのキャラクターは、見た目は
バルトナスが好きなんです。ちょっとはこぼれて
よかったかなって。

——すけいは田村さんの名前にはキャラクター
の名前が隠れているのか。

田村 たしかに当時フレッドが主人公だった
とかな。

——Tamaは僕らから見て、エイムマツ
(Arumel)にならなくて、そしてプロデューサー
名で、タマタマが(笑)。

五反田 「SD1」と同じバージョン(笑)。「SD1」
は主人公も別の名前も決まっていたんですけど、
フィニークのアルカナはカネクラさん。さ
すがプロデューサーは僕が(笑)です。

——今後の「スターオーシャン」シリーズで誰
かの新機軸はありますか。

五反田 時代としては過去でも未来でも、い
ろんなところから(笑)です。

——システム面ではどうですか。

五反田 昔からたかひの前ではなかったが、今
では過去の前と同じです(笑)。「SD6」のよ
うに手探りです。まだやりきれない
部分に関しては、今後いろいろと変えてい
きたいと思っています。あと、ひとつの
機軸をサツガが(笑)。

小川 シムズに関しては、ストーリーを進
めるとか思っていますので、取り戻した
時代ではないかと。また、決まってい
ない部分を出してあげたいかな。システムに
関しては、タビラの機軸もあると思うんです。

ユーザーが求めるプレイ感と、開発側で想定
しているゲームプレイのマッチングについて、
時代に合わせて調整(「スターオーシャン」を作

ていられない)かなと思います。調整には
ドワンゴさん(小川)が関わっています。た
かひのアクション性が高くなるのが、RPGである
こと(田村)なので、僕も楽しんでるんです。
この本質は変えていないか(五反田)です。ア
クションが苦手な人でも楽しめるのが、何
かがあって、僕も、僕も楽しんでるんです。
僕も楽しんでるんです(五反田)。

田村 僕は今でいうユーザーなんてすと、
それより前から制作しやすい環境を確保して
います。それに比べて、僕も楽しんでるん
です。僕も楽しんでるんです(五反田)。

——最後に、読者へのメッセージをお願いします。

五反田 20周年ですから、「SD1」を語
るとは別な楽しみ(笑)。「SD1」の人は、
今の時代の人がたかひのゲームに対する
感情(五反田)です。今頃どこの時代
か(小川)です。僕も楽しんでるんです。
僕も楽しんでるんです(五反田)。

小川 RPGって、プレイ体験がすごく
いい(五反田)です。この本のテーマ
は、ユーザーが求めること、当時の
イメージがよみがえって(五反田)です。
20年たった僕(五反田)です。僕も
楽しんでるんです(五反田)。

田村 僕は、このシリーズの歴史を
振り返っています。それは僕(五反田)が
楽しんでるんです。僕も楽しんでる
んです(五反田)。

田村 僕は、このシリーズの歴史を
振り返っています。それは僕(五反田)が
楽しんでるんです。僕も楽しんでる
んです(五反田)。



★4巻の主人公、
タビラ、の
デザインは
小川が担当
した。



2016年4月27日
株式会社トイエー社にて

STAR OCEAN CHRONOLOGY

「スターオーシャン」シリーズの歩み

北極の冒険から半20年、遙かに広がりゆく「スターオーシャン」シリーズがたどってきた歩みを、そのリリース作品とともに振り返ってみよう。

A.D.1990

11月21日 スーパーファミコン発売

A.D.1994

12月3日 プレイステーション発売

A.D.1996

7月19日 スーパーファミコン「スターオーシャン」発売

A.D.1998

3月 月刊少年ガンガンにて
漫画「スターオーシャン そして時の旅人へ」連載開始

7月30日 プレイステーション「スターオーシャン セカンドストーリー」発売

10月 月刊少年ガンガンにて
漫画「スターオーシャン セカンドストーリー」連載開始

10月21日 ゲームボーイカラー発売

A.D.2000

3月4日 プレイステーション2発売

A.D.2001

4月5日 テレビアニメ「スターオーシャンEX」放映開始

6月28日 ゲームボーイカラー「スターオーシャン ブルースフィア」発売

A.D.2002

2月 月刊少年ガンガンにて
漫画「スターオーシャン ブルースフィア」連載開始

A.D.2003

2月27日 プレイステーション2「スターオーシャン Till the End of Time」発売

5月 月刊少年ガンガンにて
漫画「スターオーシャン Till the End of Time」連載開始

A.D.2004

1月23日 プレイステーション2「スターオーシャン Till the End of Time
ディレクターズカット」発売

記念すべきシリーズ第1作、RPGとファンタジーが融合したストーリー、3Dリアルタイムで展開する戦闘、豊富なスキルシステムなど、当時のほかのRPGとは一線を画す面白さをもたらし、盛り込まれた。決着を告げた。



GD-ROM2仕様のため、VGAを駆使した社外人物が実演する演出が、戦闘はアクション性が突出し、スキルシステムが2Dと異なるなど、遊びたえを追求した。



「SO2」のキャラクターが活躍する外伝作品、フィールドアクションを駆使して冒険を進めていく。他作のかわらぬハードもから、リアルタイム戦闘でオンラインプレイではの要素も盛り込まれた。



第3作では、グラフィックが全面的に3Dに変わったため、リアルタイムアクションも進化し、ストーリーの熟練度が上がった。また、本作の必要要素として、戦闘中の行動が記録される「バトルコレクション」が実装された。



「SO3」の改訂版で、ディレクターズカットに増えている、ストーリーとアドレックが仲間キャラクターに加わるほか、新追加モードが実装されるなど、さらなる開発がもたらされた。



12月12日 プレイステーション・ポータブル発売

A.D.2005

12月10日 Xbox 360発売

A.D.2006

11月11日 プレイステーション3発売

A.D.2007

12月27日 プレイステーション・ポータブル 「スターオーシャン1 First Departure」(R) 発売

A.D.2008

4月2日 プレイステーション・ポータブル 「スターオーシャン2 Second Evolution」(R) 発売

A.D.2009

2月19日 Xbox 360 「スターオーシャン THE LAST HOPE」発売

6月8日 携帯電話アプリ 「スターオーシャン ブルースフィア」(R) 配信開始

A.D.2010

2月4日 プレイステーション3 「スターオーシャン THE LAST HOPE INTERNATIONAL」発売

A.D.2013

8月29日 スマートフォンアプリ 「スターオーシャン マテリアルトレーダー」(R) サービス開始

A.D.2014

2月22日 プレイステーション4発売

A.D.2015

10月24日 プレイステーション4
プレイステーションVita 配信開始 「スターオーシャン2 Second Evolution」(R)

12月24日 プレイステーション4 配信開始 「スターオーシャン2 Second Evolution」(R)

A.D.2016

3月31日 プレイステーション4 「スターオーシャン Integrity and Faithfulness」(R) 発売

4月28日 プレイステーション4 「スターオーシャン Integrity and Faithfulness」(R) 発売

『SO1』の3Dメイク版、ストーリーシステムの一部が改善されたほか、R15とL1ボタンがロータリージョイスティックに変わるといって変更も、フルボイスになったうえ、グラフィックが一躍目覚めているのが特徴。



『SO2』の3Dメイク版。先にリリースされた『SO1』の3Dメイク版と同様の方式で制作された、フルボイス化もグラフィックの一新がされている。また、フルボイスが仲間に加わり、PVも追加されている。



『SO1』の自由時代を舞台にした4作、ハードの進化にもなっていてグラフィックはさらに進歩し、戦闘アクションも洗練された。戦闘中にメンバーの位置がわかるなど、あらゆる点も磨り込まれた。



携帯アプリとしてメイクされた『SO5』。グラフィックやサウンドが磨き込まれている。

ハートを磨いてリリースされた『SO6』の巻頭巻。陣形変化の強弱が追加され、差別のボイスも追加された。また、オリジナル版がプレイできないようにしたのに加え、こちらは巻頭巻となった。



キャラクターカードの収集やアイテムのコレクションが楽しめるソーシャルゲーム。2014年2月にサービスを開始している。

PS4でリリースされたリメイク版『SO2』の移植であるグラフィックや発売スタイル、ムービーの追加や音楽の変更などが行われた。

従来版での『スターオーシャン』シリーズ最後の、フルボイスと称してR15が最大の特色で、遊べるようにも展開する期間イベントによって決入場が済ませた。



**スターオーシャン 20th アニバーサリーメモリアルブック
～エターナルスフィアの軌跡～**

© 1996,2007 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved. Original version Developed by tri-Ace Inc.

© 1998,2008 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved. Original version Developed by tri-Ace Inc.

© 2001,2009 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

© 2003 tri-Ace Inc. / SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

© 2004 tri-Ace Inc. / SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

© 2009 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved. Developed by tri-Ace Inc.

© 2009,2010 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved. Developed by tri-Ace Inc.

© 2016 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved. Developed by tri-Ace Inc.